

令和7年度  
市民意識調査 報告書

令和7年8月

## <目次>

I. 調査概要	1
II. 調査結果	2
◆1. あなた(回答者)のことについて	
[問 1-1 単一回答]あなたの性別を教えてください。	2
[問 1-2 単一回答]あなたの年齢を教えてください。	3
[問 1-3 単一回答]あなたが住んでいる地域を教えてください。	4
[問 1-4 単一回答]あなたは糸満市に何年住んでいますか。(通算)	5
[問 1-5 複数回答]「2年未満」、「2～5年」を選択した方※は、転入された当時、糸満市に移り住んだきっかけは何でしたか。	6
[問 1-6 複数回答]「2年未満」、「2～5年」を選択した方※は、転入された当時、なぜ糸満市を転入先として選びましたか。(選択は三つまで)	7
[問 1-7 単一回答]あなたの家族構成を教えてください。	8
[問 1-8 単一回答]18歳未満のお子さんと同居していますか。	9
[問 1-9 単一回答]あなたの職業を教えてください。	10
[問 1-10 単一回答]あなたの勤務先・学校の場所を教えてください。	11
[問 1-11 単一回答]あなたは現在どのような家に住んでいますか。	12
◆2. 結婚や子育て、仕事について	
[問 2-1 単一回答]あなたは、結婚(事実婚を含む)していますか。	13
[問 2-2 単一回答]「結婚していたことはあるが、離別・死別した」、「結婚していない」を選択した方※は、今後、結婚したいと思いますか。	15
[問 2-3 複数回答]「結婚したいとは思わない」を選択した方※は、その理由を教えてください。	17
[問 2-4 単一回答]糸満市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。	22
[問 2-5 複数回答]「どちらかといえば思わない」、「思わない」を選択した方※は、その理由を教えてください。	24
[問 2-6 単一回答] 今後、就職または転職するとした場合、どこで就業したいと思いますか。	29
[問 2-7 複数回答]糸満市以外で働きたいと選択した方※は、その理由を教えてください。	31
[問 2-8 複数回答]糸満市で働く人が増えるためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。	36
◆3. 住みやすさや今後も住み続けたいかについて	
[問 3-1 単一回答]あなたにとって糸満市は住みよいですか。	41
[問 3-2 複数回答]あなたが「糸満市の住みやすいと思うところ」があれば教えてください。	43
[問 3-3 複数回答]あなたが「糸満市の住みにくい」と思うところがあれば教えてください。	47
[問 3-4 単一回答]あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。	52
[問 3-5 単一回答]「そう思う」を選択した方※は、今後の居住予定について教えてください。	54
[問 3-6 複数回答]「おおむね5年以内には市外へ転居する予定」、「将来的には市外へ転居したい」を選択した方※は、その理由を教えてください。	57

[問 3-7 単一回答]「おおむね5年以内には市外へ転居する予定」、「将来的には市外へ転居したい」を選択した方※は、今後の居住予定について教えてください。..... 62

**◆4. 日頃の暮らし(文化、公園、男女共同参画、自治会)について**

[問 4-1 複数回答]観光客の誘客や地域文化の発展を目的として、「シャボン玉石けん くくる糸満」が2022年4月にオープンしました。くくる糸満を利用したことがありますか。..... 65

[問 4-2 単一回答]あなたは、市内の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。..... 69

[問 4-3 複数回答]「年に数回」、「利用していない」を選択した※理由を教えてください。..... 71

[問 4-4 複数回答]現在、西崎運動公園等の在り方について検討しています。今後の管理・運営に当たり、重要だと思ふことを教えてください。(選択は三つまで)..... 76

[問 4-5 複数回答]西崎運動公園の施設の維持管理を続けていくために、どのような取り組みが効果的だと思ひますか。考えが近いものを教えてください。(選択は三つまで)..... 82

[問 4-6 単一回答]あなたは、家庭、職場、地域、社会通念・慣習など社会のあらゆる場面において、男女の地位は「平等」になっていると思ひますか。..... 86

[問 4-7 単一回答]あなたの世帯は、自治会に加入していますか。..... 88

[問 4-8 複数回答]「加入していない」、「退会した」を選択した方※は、その理由を教えてください。..... 90

[問 4-9 複数回答]自治会活動に期待すること、加入して良かったことを教えてください。(選択は三つまで)..... 95

**◆5. 市政について**

[問 5-1 複数回答]市の情報をどのような方法で入手していますか。(選択は三つまで)..... 100

[問 5-2 複数回答]あなたが市政に対して、意見や要望を言える方法について、把握しているものを教えてください。..... 105

[問 5-3 単一回答]あなたが市政に対して、意見や要望を言える機会や方法が十分だと思ひますか。..... 110

[問 5-4 単一回答]この1年間で市役所職員の窓口や電話対応(服装、対応など)をどのように感じていますか。..... 112

[問 5-5 複数回答]「どちらかと言えば悪い」、「悪い」を選択した方※は、その理由を教えてください。..... 114

[問 5-6 単一回答]糸満市における行政手続きのオンライン化(電子申請等)、情報発信のデジタル化(市公式 LINE アカウント等)の取り組みをどのように感じていますか。..... 119

[問 5-7 複数回答]デジタル化の取り組みについて、今後特に力を入れてほしいと思う取り組みは何ですか。..... 121

**◆6. 政策ごとの満足度、優先度**

[問 6-1-1~6-6-3 単一回答]政策ごとの満足度、重要度..... 126

**◆7. 市への意見等について**

[問 7 自由記述]これまでの設問にかかわらず、ご意見などがありましたらご記入ください。..... 127

**III. 【参考】過年度調査の設問..... 138**

**◆4. 日頃の暮らし(文化・スポーツ・健康、災害への備え、男女共同参画、性の多様性、生活交通、公園、自治会)について**

[令和 5 年度調査 問 22 単一回答]あなたは、過去1年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツをして

いますか。.....	138
[令和 5 年度調査 問 23 複数回答]あなたは、健康のために何か心掛けていることはありますか。..	140
[令和 5 年度調査 問 24 複数回答]あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。.....	145
[令和 5 年度調査 問 25 複数回答]あなたは、災害が発生または発生の恐れがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。.....	149
[令和 5 年度調査 問 27 単一回答]すべての市民が暮らしやすい社会の形成や性的マイノリティへの支援を目的として、「糸満市性の多様性尊重宣言(仮称)」をするために取り組んでいます。あなたは、「糸満市性の多様性尊重宣言(仮称)」をすることについてどのように思いますか。.....	153
[令和 5 年度調査 問 28 自由記述]「宣言をした方がよい」、「宣言をしない方がよい」を選択した方※は、その理由を教えてください。.....	156
[令和 5 年度調査 問 29 複数回答]性の多様性に対する社会の理解促進や支援について、どのような取り組みが必要だと思えますか。.....	159
[令和 5 年度調査 問 30 単一回答]あなたの通勤・通学・通院・買い物などの主な移動手段を教えてください。.....	163
[令和 5 年度調査 問 31 単一回答]あなたは、交通弱者の移動手段の確保・維持を目的に市内を運行している「いとちゃん mini」を利用したことがありますか。.....	167
[令和 5 年度調査 問 32 複数回答]「利用したことがない」を選択した方※は、その理由を教えてください。.....	169
[令和 5 年度調査 問 35 複数回答]公園で有料でも利用してみたいと思う施設について教えてください。.....	174

# I. 調査概要

## 1. 調査目的

本調査は、「第5次糸満市総合計画前期基本計画」、「第2期糸満市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取り組みについて、まちづくり全般に関する市民意識を調査し、「第5次糸満市総合計画後期基本計画」等の基礎資料として活用し、今後の計画推進に役立てるために実施した。

## 2. 調査内容

- (1) あなた(回答者)のことについて
- (2) 結婚や子育て、仕事について
- (3) 住みやすさや今後も住み続けたいかについて
- (4) 日頃の暮らし(文化、公園、男女共同参画、自治会)について
- (5) 市政について
- (6) 政策ごとの満足度、優先度
- (7) 市への意見等について

## 3. 調査方法

- (1) 調査期間:令和7年6月27日(金)~8月1日(金) ※締切は7月25日(金)から延長した。
- (2) 調査対象:令和7年6月1日時点における18歳以上の市民
- (3) 対象者数:2,003名
- (4) 抽出方法:住民基本台帳から調査対象を無作為抽出
- (5) 調査方法:郵送による配布、郵送又はインターネットによる回収

## 4. 回収結果

- (1) 回答数:662件(郵送 362件、持参 7件、WEB 293件)
- (2) 回答率:約33.2%

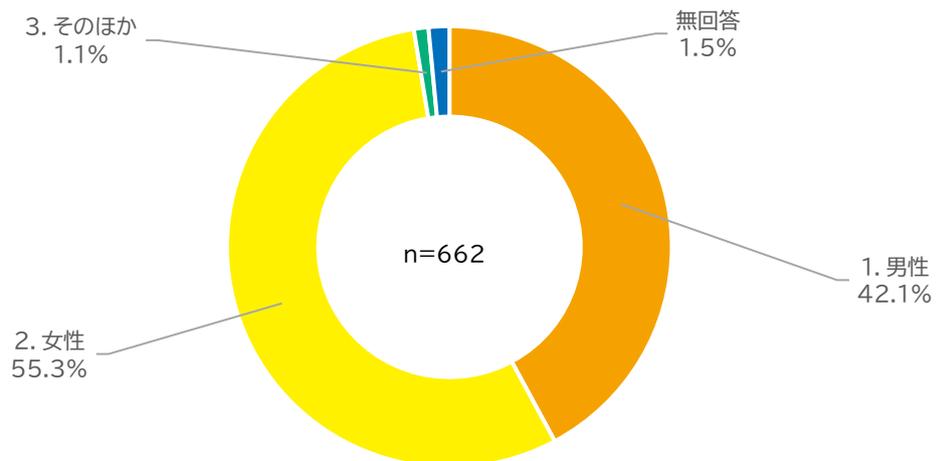
## 5. 留意点

- (1) 図中の「n」は、各設問の回答数を示す。
- (2) 図中の「R」は、「令和」を指す。
- (3) 調査結果の数値は、原則として百分率(%)で表記し、小数点以下第二位を四捨五入する。そのため、合計値は必ずしも100%になるとは限らない。また、複数回答については、回答項目ごとに算定しているため合計数値は100%にならない場合がある。
- (4) 文章にある複数選択肢を合計した数値(%)は、それぞれの数値について小数点以下第二位を四捨五入した後に合計しているため、複数選択肢の数値を合計した後に小数点以下第二位を四捨五入したものと、一致しない場合がある。
- (5) 分岐先の設問については、回答対象者以外が回答している場合は無効の回答として集計から除いている。
- (6) 男女別、年齢別、地域別の分析においては、性別、年齢、居住地域が無回答の回答は、集計から除いている。
- (7) 経年変化に係る分析は、過去の市民意識調査(令和元年12月、令和5年2月、令和6年2月)のデータを用いている。

## II. 調査結果

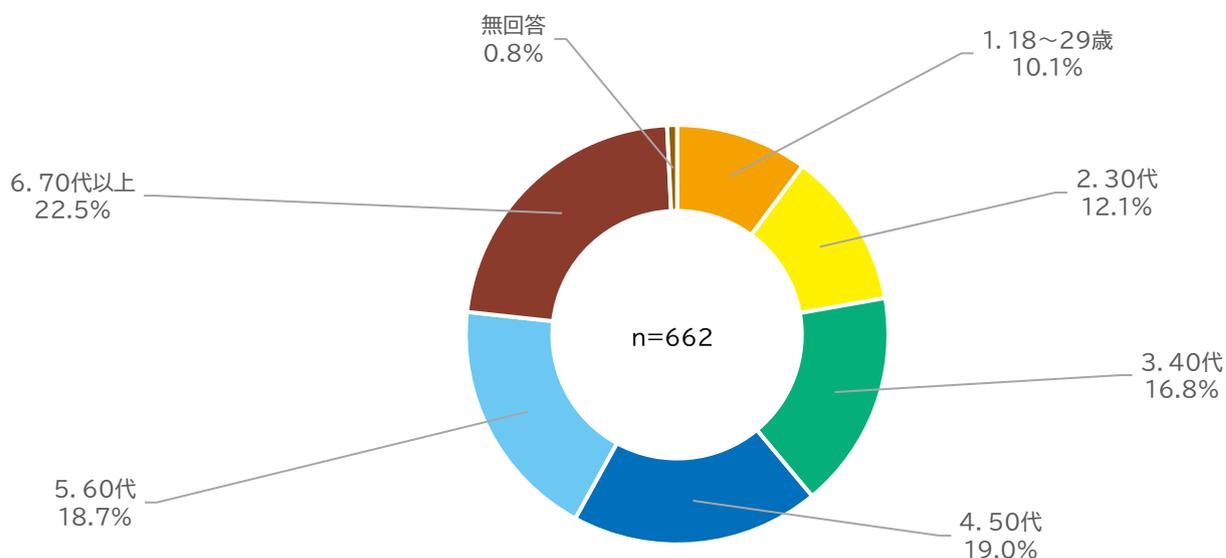
### ◆1. あなた(回答者)のことについて

【問 1-1 単一回答】あなたの性別を教えてください。



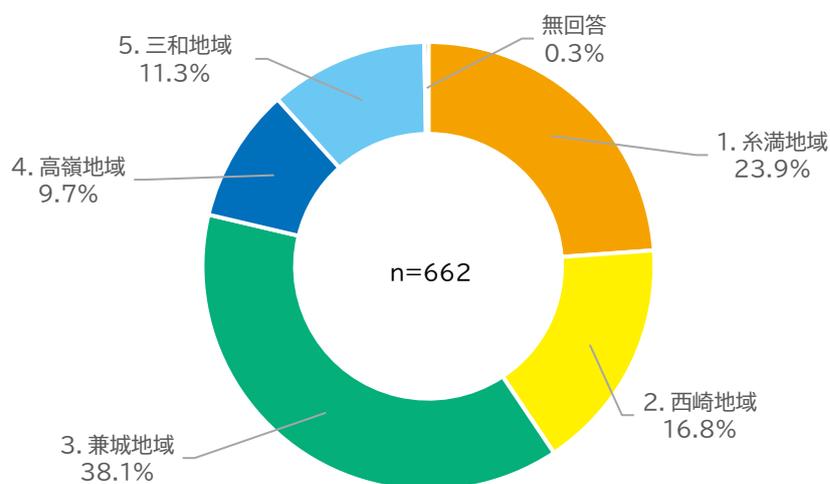
選択項目	回答数	比率
1. 男性	279	42.1%
2. 女性	366	55.3%
3. そのほか	7	1.1%
無回答	10	1.5%
合計	662	100.0%

**[問 1-2 単一回答]** あなたの年齢を教えてください。



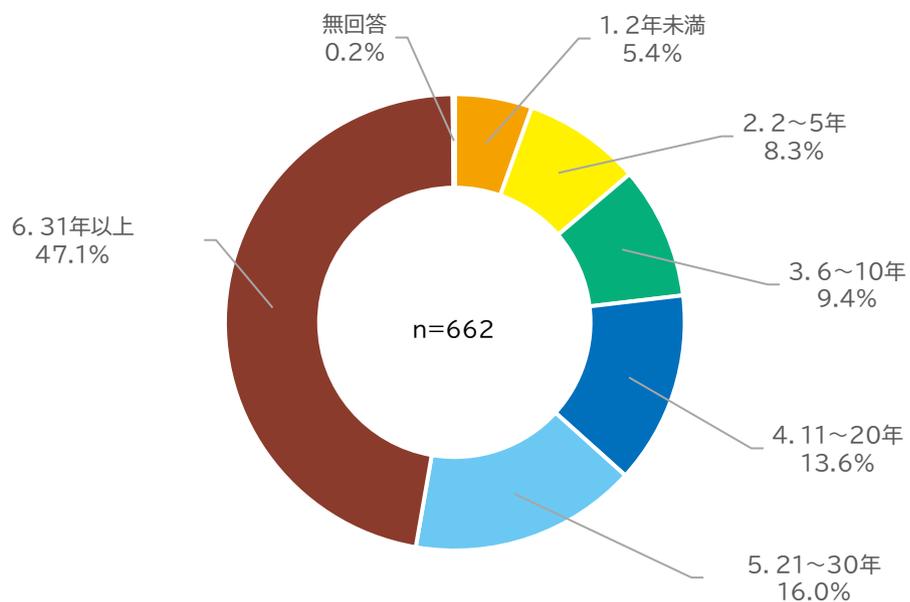
選択項目	回答数	比率
1. 18~29歳	67	10.1%
2. 30代	80	12.1%
3. 40代	111	16.8%
4. 50代	126	19.0%
5. 60代	124	18.7%
6. 70代以上	149	22.5%
無回答	5	0.8%
合計	662	100.0%

**[問 1-3 単一回答]**あなたが住んでいる地域を教えてください。



選択項目	回答数	比率
1. 糸満地域	158	23.9%
2. 西崎地域	111	16.8%
3. 兼城地域	252	38.1%
4. 高嶺地域	64	9.7%
5. 三和地域	75	11.3%
無回答	2	0.3%
合計	662	100.0%

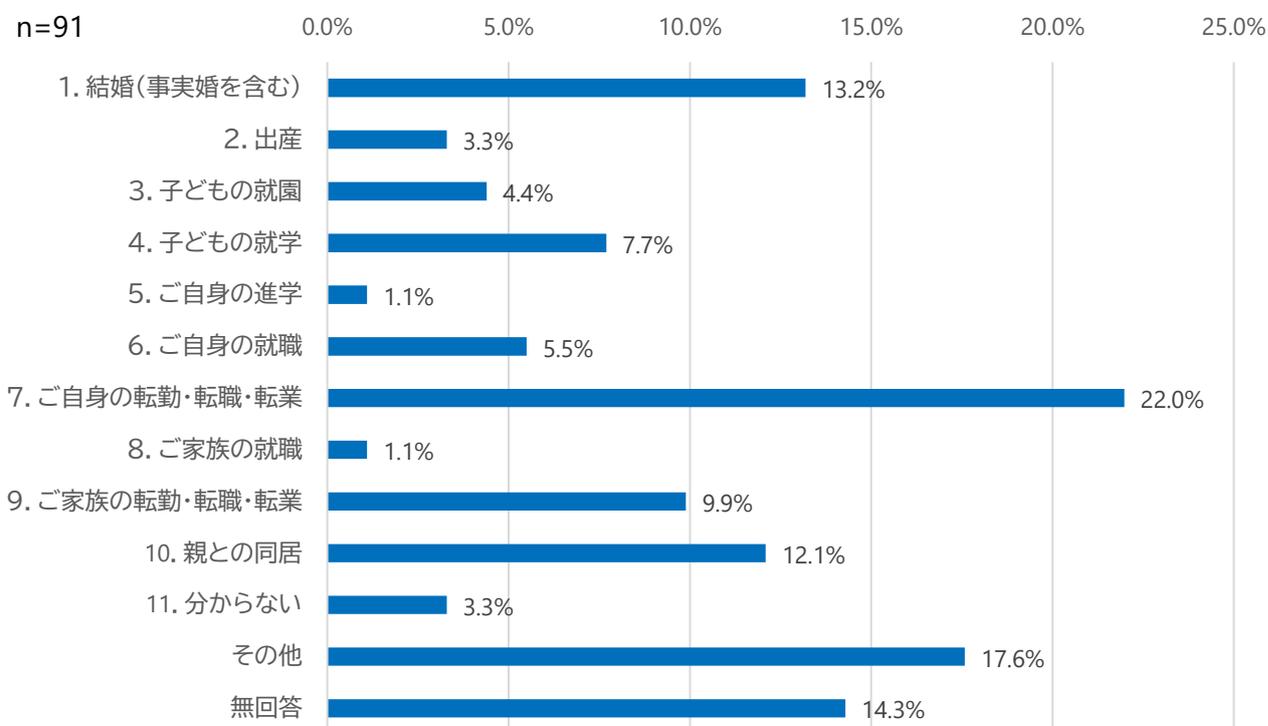
**[問 1-4 単一回答]**あなたは糸満市に何年住んでいますか。(通算)



選択項目	回答数	比率
1. 2年未満	36	5.4%
2. 2~5年	55	8.3%
3. 6~10年	62	9.4%
4. 11~20年	90	13.6%
5. 21~30年	106	16.0%
6. 31年以上	312	47.1%
無回答	1	0.2%
合計	662	99.8%

**[問 1-5 複数回答]「2年未満」、「2～5年」を選択した方※は、転入された当時、糸満市に移り住んだきっかけは何でしたか。**

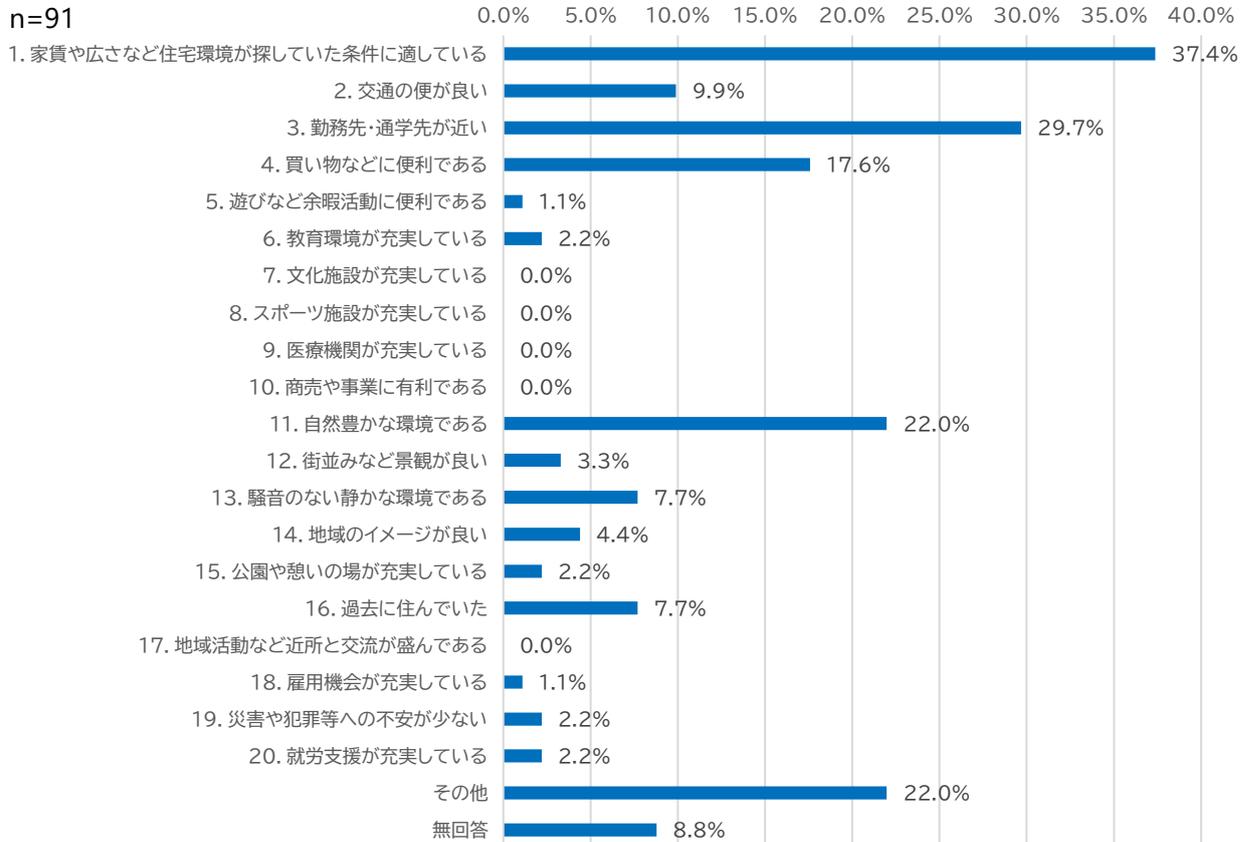
※[問 1-4 単一回答]あなたは糸満市に何年住んでいますか。(通算)



選択項目	回答数(n=91)	比率
1. 結婚(事実婚を含む)	12	13.2%
2. 出産	3	3.3%
3. 子どもの就園	4	4.4%
4. 子どもの就学	7	7.7%
5. ご自身の進学	1	1.1%
6. ご自身の就職	5	5.5%
7. ご自身の転勤・転職・転業	20	22.0%
8. ご家族の就職	1	1.1%
9. ご家族の転勤・転職・転業	9	9.9%
10. 親との同居	11	12.1%
11. 分からない	3	3.3%
その他	16	17.6%
無回答	13	14.3%

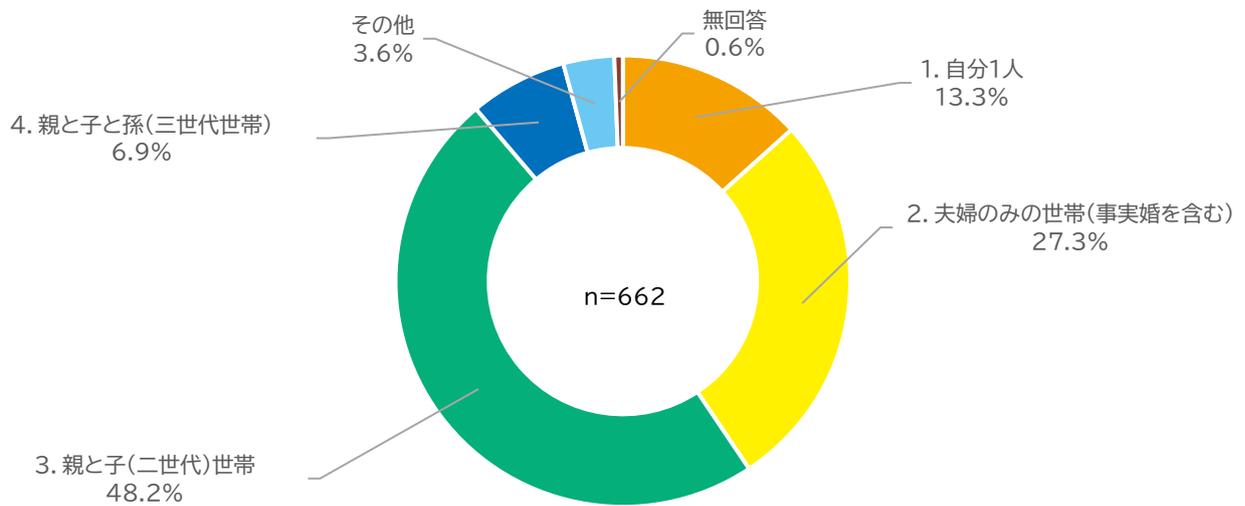
**[問 1-6 複数回答]「2年未満」、「2～5年」を選択した方※は、転入された当時、なぜ糸満市を転入先として選びましたか。(選択は三つまで)**

※[問 1-4 単一回答]あなたは糸満市に何年住んでいますか。(通算)



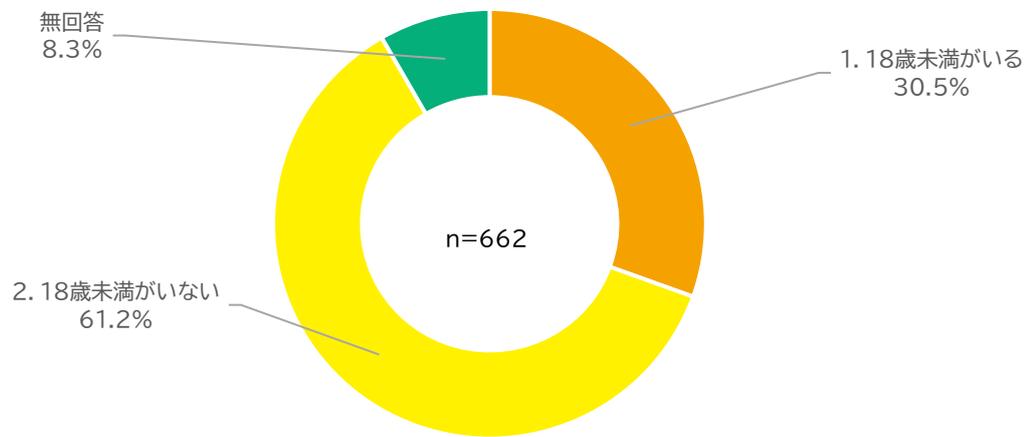
選択項目	回答数(n=91)	比率
1. 家賃や広さなど住宅環境が探していた条件に適している	34	37.4%
2. 交通の便が良い	9	9.9%
3. 勤務先・通学先が近い	27	29.7%
4. 買い物などに便利である	16	17.6%
5. 遊びなど余暇活動に便利である	1	1.1%
6. 教育環境が充実している	2	2.2%
7. 文化施設が充実している	0	0.0%
8. スポーツ施設が充実している	0	0.0%
9. 医療機関が充実している	0	0.0%
10. 商売や事業に有利である	0	0.0%
11. 自然豊かな環境である	20	22.0%
12. 街並みなど景観が良い	3	3.3%
13. 騒音のない静かな環境である	7	7.7%
14. 地域のイメージが良い	4	4.4%
15. 公園や憩いの場が充実している	2	2.2%
16. 過去に住んでいた	7	7.7%
17. 地域活動など近所と交流が盛んである	0	0.0%
18. 雇用機会が充実している	1	1.1%
19. 災害や犯罪等への不安が少ない	2	2.2%
20. 就労支援が充実している	2	2.2%
その他	20	22.0%
無回答	8	8.8%

**[問 1-7 単一回答]**あなたの家族構成を教えてください。



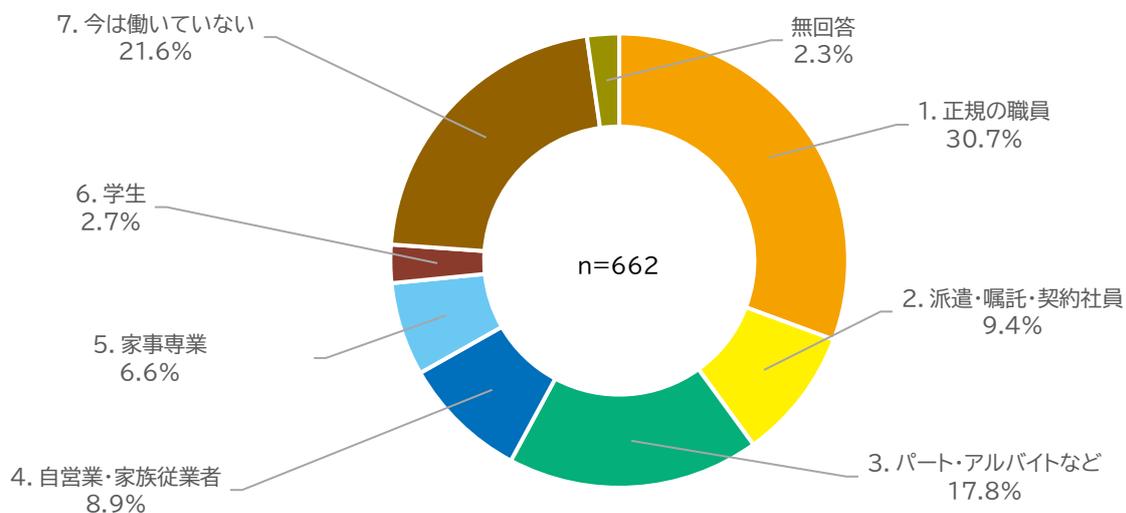
選択項目	回答数	比率
1. 自分1人	88	13.3%
2. 夫婦のみの世帯(事実婚を含む)	181	27.3%
3. 親と子(二世帯)世帯	319	48.2%
4. 親と子と孫(三世帯世帯)	46	6.9%
その他	24	3.6%
無回答	4	0.6%
合計	662	100.0%

**[問 1-8 単一回答]18 歳未満のお子さんと同居していますか。**



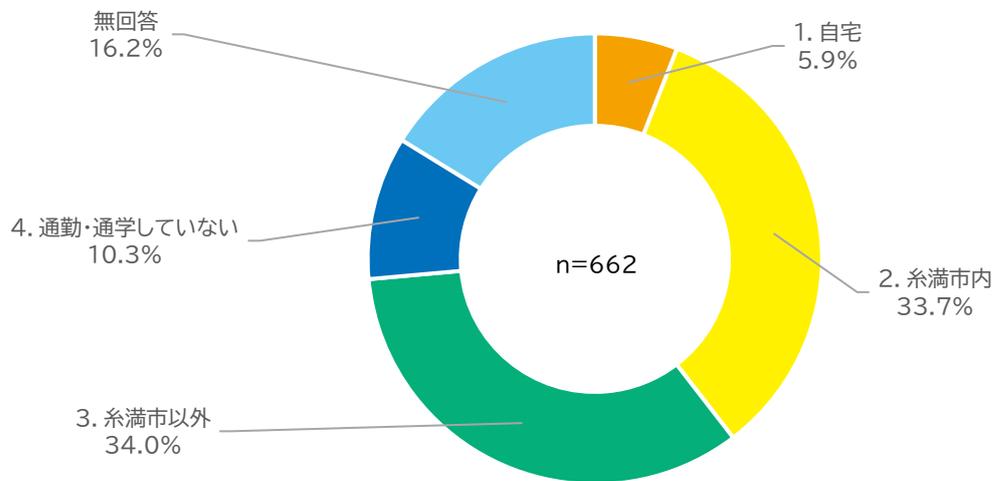
選択項目	回答数	比率
1. 18歳未満がいる	202	30.5%
2. 18歳未満がない	405	61.2%
無回答	55	8.3%
合計	662	100.0%

**[問 1-9 単一回答]**あなたの職業を教えてください。



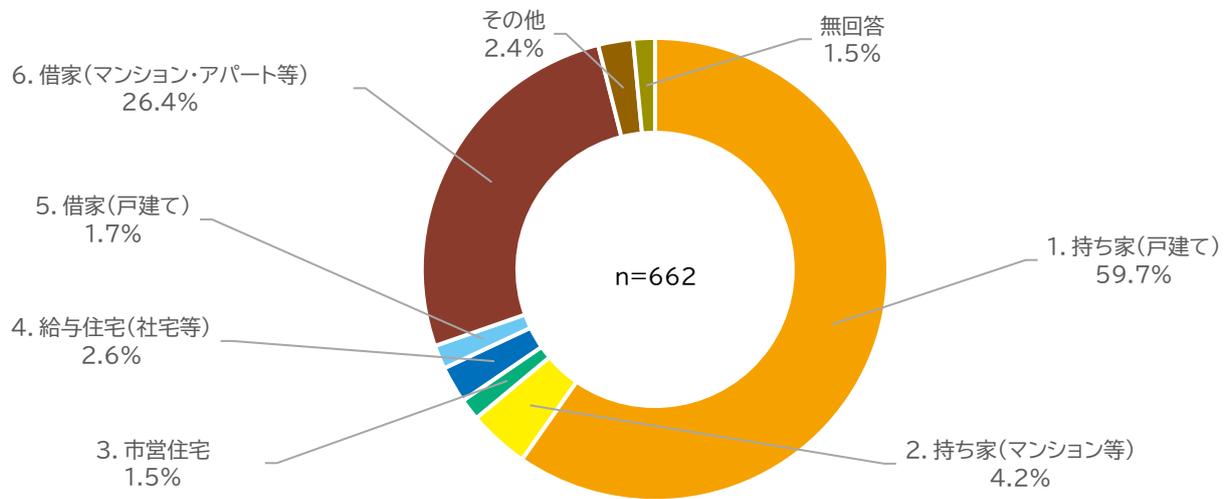
選択項目	回答数	比率
1. 正規の職員	203	30.7%
2. 派遣・嘱託・契約社員	62	9.4%
3. パート・アルバイトなど	118	17.8%
4. 自営業・家族従業者	59	8.9%
5. 家事専業	44	6.6%
6. 学生	18	2.7%
7. 今は働いていない	143	21.6%
無回答	15	2.3%
合計	662	100.0%

**[問 1-10 単一回答]**あなたの勤務先・学校の場所を教えてください。



選択項目	回答数	比率
1. 自宅	39	5.9%
2. 糸満市内	223	33.7%
3. 糸満市以外	225	34.0%
4. 通勤・通学していない	68	10.3%
無回答	107	16.2%
合計	662	100.0%

**[問 1-11 単一回答]**あなたは現在どのような家に住んでいますか。



選択項目	回答数	比率
1. 持ち家(戸建て)	395	59.7%
2. 持ち家(マンション等)	28	4.2%
3. 市営住宅	10	1.5%
4. 給与住宅(社宅等)	17	2.6%
5. 借家(戸建て)	11	1.7%
6. 借家(マンション・アパート等)	175	26.4%
その他	16	2.4%
無回答	10	1.5%
合計	662	100.0%

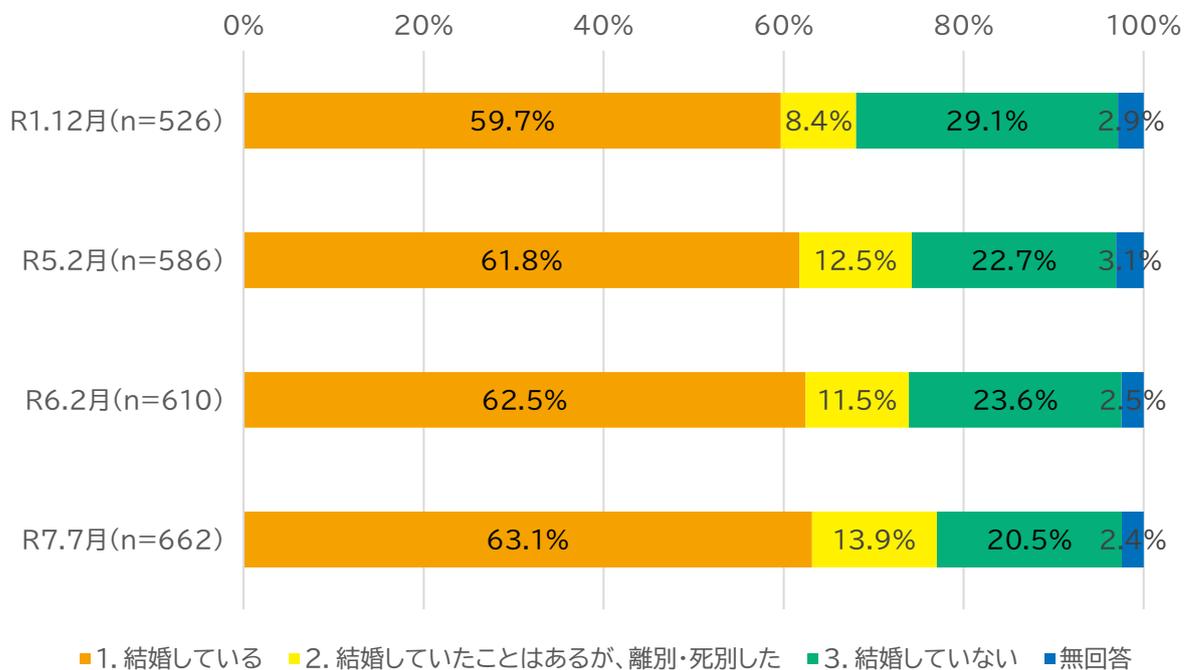
## ◆2. 結婚や子育て、仕事について

**[問 2-1 単一回答]**あなたは、結婚(事実婚を含む)していますか。

<関連する政策:第1章 政策1>

「1.結婚している」と答えた割合が63.1%と最も高く、次いで「3.結婚していない」20.5%、「2.結婚していたことはあるが、離別・死別した」13.9%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「2.結婚していたことはあるが、離別・死別した」と答えた割合が8.4%から13.9%と5.5ポイント増加している。一方、「3.結婚していない」と答えた割合は29.1%から20.5%と8.6ポイント減少している。



	R1.12月(n=526)	R5.2月(n=586)	R6.2月(n=610)	R7.7月(n=662)
1. 結婚している	59.7%	61.8%	62.5%	63.1%
2. 結婚していたことはあるが、 離別・死別した	8.4%	12.5%	11.5%	13.9%
3. 結婚していない	29.1%	22.7%	23.6%	20.5%
無回答	2.9%	3.1%	2.5%	2.4%

男女別では、「2.結婚していたことはあるが、離別・死別した」と答えた割合が男性12.2%、女性15.6%と女性が高く、逆に「3.結婚していない」と答えた割合は男性24.0%、女性17.8%と男性が高くなっている。

年代別では、「3.結婚していない」と答えた割合が、18～29才で77.6%、30代で28.8%、40代で21.6%と、年代が低いほど割合が高くなっている。

地域別では、「3.結婚していない」と答えた割合が、高嶺地域で32.8%(全体20.5%)と他の地域に比べて高くなっている。



	1. 結婚している	2. 結婚していたことはあるが、離別・死別した	3. 結婚していない	無回答
全体(n=662)	63.1%	13.9%	20.5%	2.4%
1. 男性(n=279)	62.0%	12.2%	24.0%	1.8%
2. 女性(n=366)	64.5%	15.6%	17.8%	2.2%
3. そのほか(n=7)	42.9%	0.0%	57.1%	0.0%
1. 18～29歳(n=67)	19.4%	3.0%	77.6%	0.0%
2. 30代(n=80)	60.0%	11.3%	28.8%	0.0%
3. 40代(n=111)	70.3%	8.1%	21.6%	0.0%
4. 50代(n=126)	63.5%	18.3%	17.5%	0.8%
5. 60代(n=124)	72.6%	18.5%	5.6%	3.2%
6. 70代以上(n=149)	70.5%	17.4%	5.4%	6.7%
1. 糸満地域(n=158)	64.6%	13.3%	20.9%	1.3%
2. 西崎地域(n=111)	64.0%	16.2%	18.0%	1.8%
3. 兼城地域(n=252)	65.5%	13.1%	17.9%	3.6%
4. 高嶺地域(n=64)	50.0%	17.2%	32.8%	0.0%
5. 三和地域(n=75)	62.7%	12.0%	22.7%	2.7%

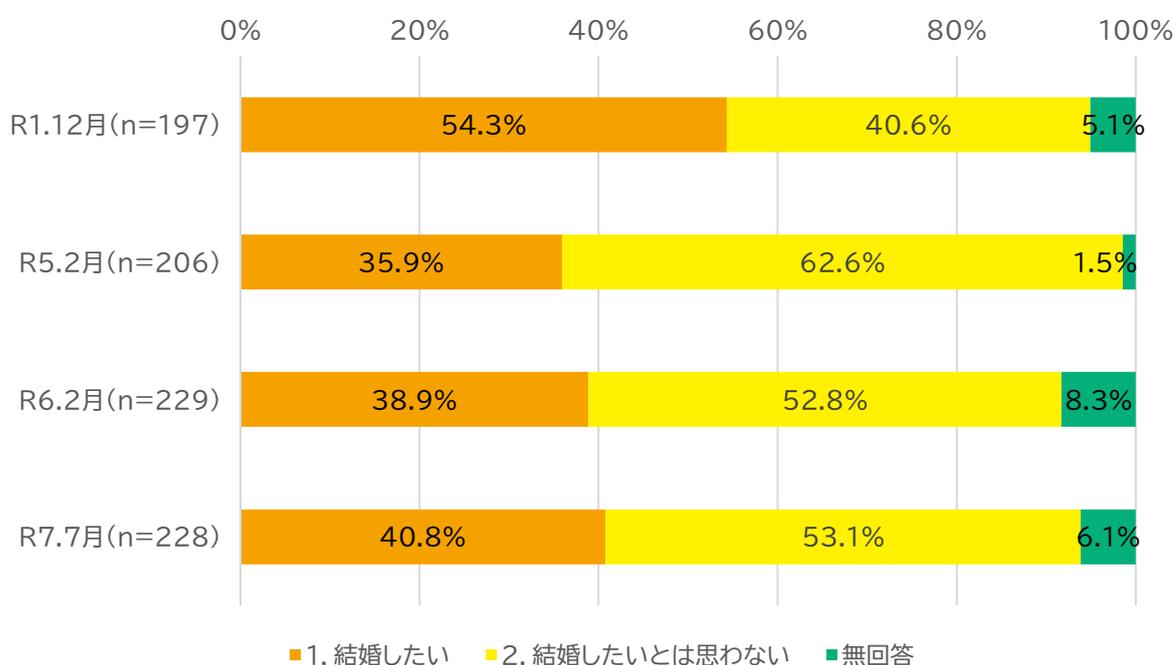
**[問 2-2 単一回答]「結婚していたことはあるが、離別・死別した」、「結婚していない」を選択した方※は、今後、結婚したいと思いますか。**

※[問 2-1 単一回答]あなたは、結婚(事実婚を含む)していますか。

<関連する政策:第1章 政策1>

「2.結婚したいとは思わない」と答えた割合が53.1%と、「1.結婚したい」と答えた割合40.8%を上回っている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「2.結婚したいとは思わない」と答えた割合が40.6%から53.1%と12.5ポイント増加している。一方、「1.結婚したい」と答えた割合は54.3%から40.8%と13.5ポイント減少している。



	R1.12月 (n=197)	R5.2月 (n=206)	R6.2月 (n=214)	R7.7月 (n=228)
1. 結婚したい	54.3%	35.9%	41.6%	40.8%
2. 結婚したいとは思わない	40.6%	62.6%	56.5%	53.1%
無回答	5.1%	1.5%	8.9%	6.1%

男女別では、「1. 結婚したい」と答えた割合が男性44.6%、女性37.7%と男性が高く、逆に「2. 結婚したいとは思わない」と答えた割合は男性49.5%、女性55.7%と女性が高くなっている。

年代別では、18～29才以外の年代のサンプル数が50未満であることに留意する必要があるが、「1. 結婚したい」と答えた割合が、18～29才で79.6%、30代で50.0%、40代で48.5%と、年代が低いほど割合が高くなっている。

地域別では、「1. 結婚したい」と答えた割合が、西崎地域で50.0%(全体40.8%)と他の地域に比べて高くなっている。



	1. 結婚したい	2. 結婚したいとは思わない	無回答
全体(n=228)	40.8%	53.1%	6.1%
1. 男性(n=101)	44.6%	49.5%	5.9%
2. 女性(n=122)	37.7%	55.7%	6.6%
3. そのほか(n=4)	50.0%	50.0%	0.0%
1. 18～29歳(n=54)	79.6%	16.7%	3.7%
2. 30代(n=32)	50.0%	50.0%	0.0%
3. 40代(n=33)	48.5%	45.5%	6.1%
4. 50代(n=45)	31.1%	53.3%	15.6%
5. 60代(n=30)	10.0%	83.3%	6.7%
6. 70代以上(n=34)	2.9%	94.1%	2.9%
1. 糸満地域(n=54)	37.0%	53.7%	9.3%
2. 西崎地域(n=38)	50.0%	44.7%	5.3%
3. 兼城地域(n=78)	35.9%	59.0%	5.1%
4. 高嶺地域(n=32)	43.8%	50.0%	6.3%
5. 三和地域(n=26)	46.2%	50.0%	3.8%

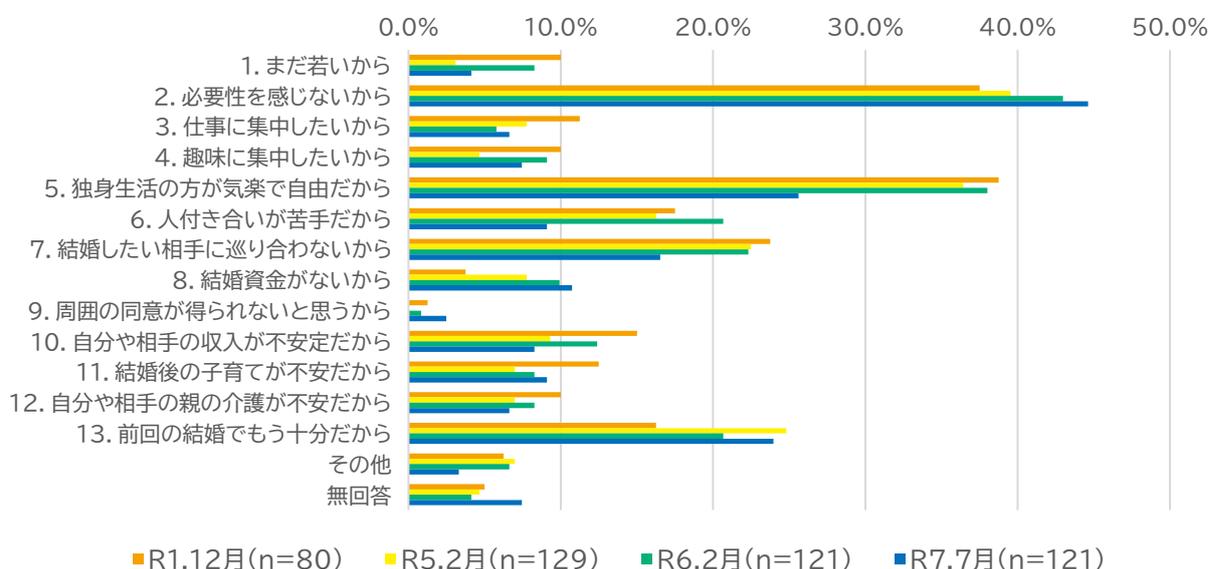
**[問 2-3 複数回答]「結婚したいとは思わない」を選択した方※は、その理由を教えてください。**

※[問 2-2 単一回答]「結婚していたことはあるが、離別・死別した」、「結婚していない」を選択した方は、今後、結婚したいと思いますか。

<関連する政策:第1章 政策1>

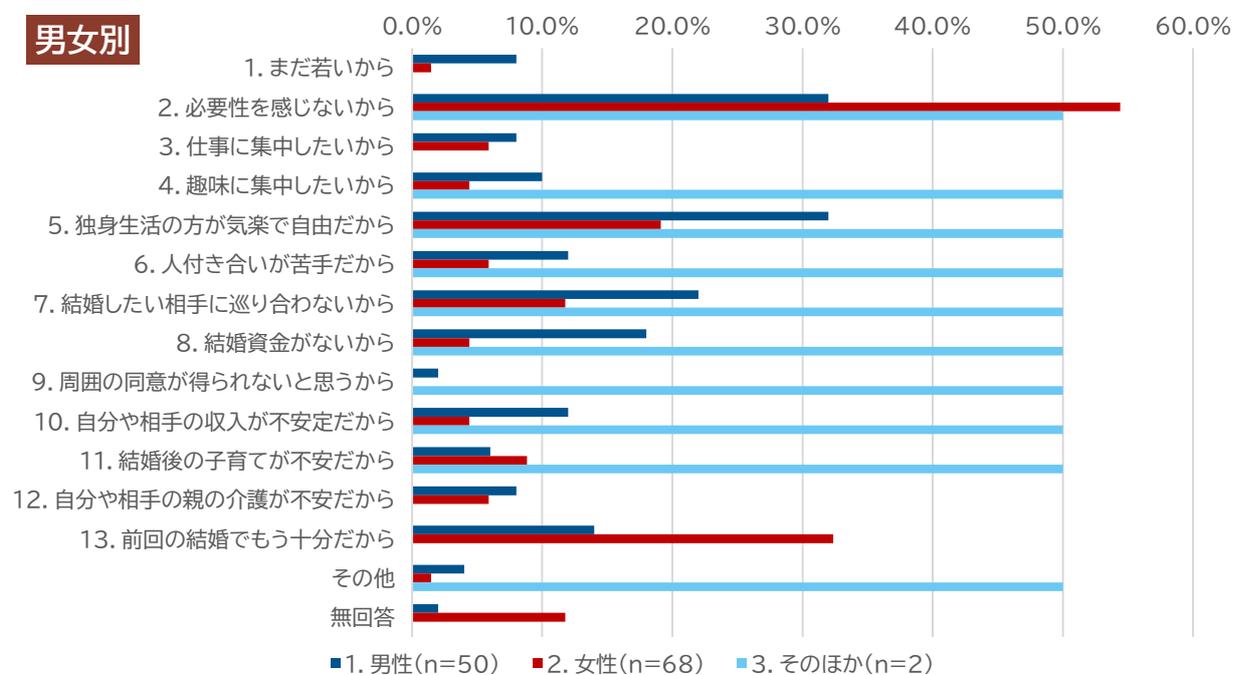
「2.必要性を感じない」と答えた割合が44.6%と最も高く、次いで「5.独身生活の方が気楽で自由だから」25.6%、「13.前回の結婚でもう十分だから」24.0%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「8.結婚資金がないから」と答えた割合が3.8%から10.7%と6.9ポイント増加している。一方、「5.独身生活の方が気楽で自由だから」と答えた割合は38.8%から25.6%と13.2ポイント減少している。



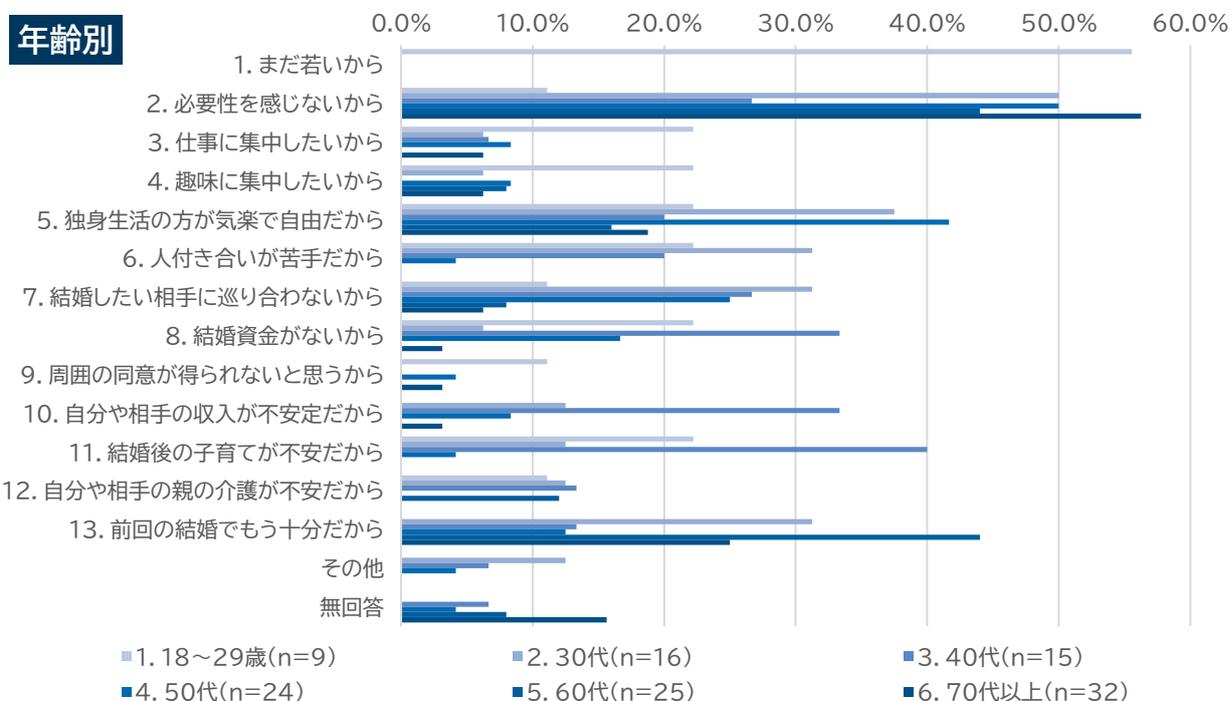
	R1.12月 (n=80)	R5.2月 (n=129)	R6.2月 (n=121)	R7.7月 (n=121)
1. まだ若いから	10.0%	3.1%	8.3%	4.1%
2. 必要性を感じないから	37.5%	39.5%	43.0%	44.6%
3. 仕事に集中したいから	11.3%	7.8%	5.8%	6.6%
4. 趣味に集中したいから	10.0%	4.7%	9.1%	7.4%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	38.8%	36.4%	38.0%	25.6%
6. 人付き合いが苦手だから	17.5%	16.3%	20.7%	9.1%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	23.8%	22.5%	22.3%	16.5%
8. 結婚資金がないから	3.8%	7.8%	9.9%	10.7%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	1.3%	0.0%	0.8%	2.5%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	15.0%	9.3%	12.4%	8.3%
11. 結婚後の子育てが不安だから	12.5%	7.0%	8.3%	9.1%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	10.0%	7.0%	8.3%	6.6%
13. 前回の結婚でもう十分だから	16.3%	24.8%	20.7%	24.0%
その他	6.3%	7.0%	6.6%	3.3%
無回答	5.0%	4.7%	4.1%	7.4%

男女別では、「2.必要性を感じないから」と答えた割合が男性 32.0%、女性54.4%と女性が高く、「13.前回の結婚でもう十分だから」と答えた割合も男性14.0%、女性32.4%と女性が高い。逆に、「5.独身生活の方が気楽で自由だから」と答えた割合は、男性32.0%、女性 19.1%と男性が高く、「8.結婚資金がないから」と答えた割合も男性 18.0%、女性 4.4%と男性が高い。



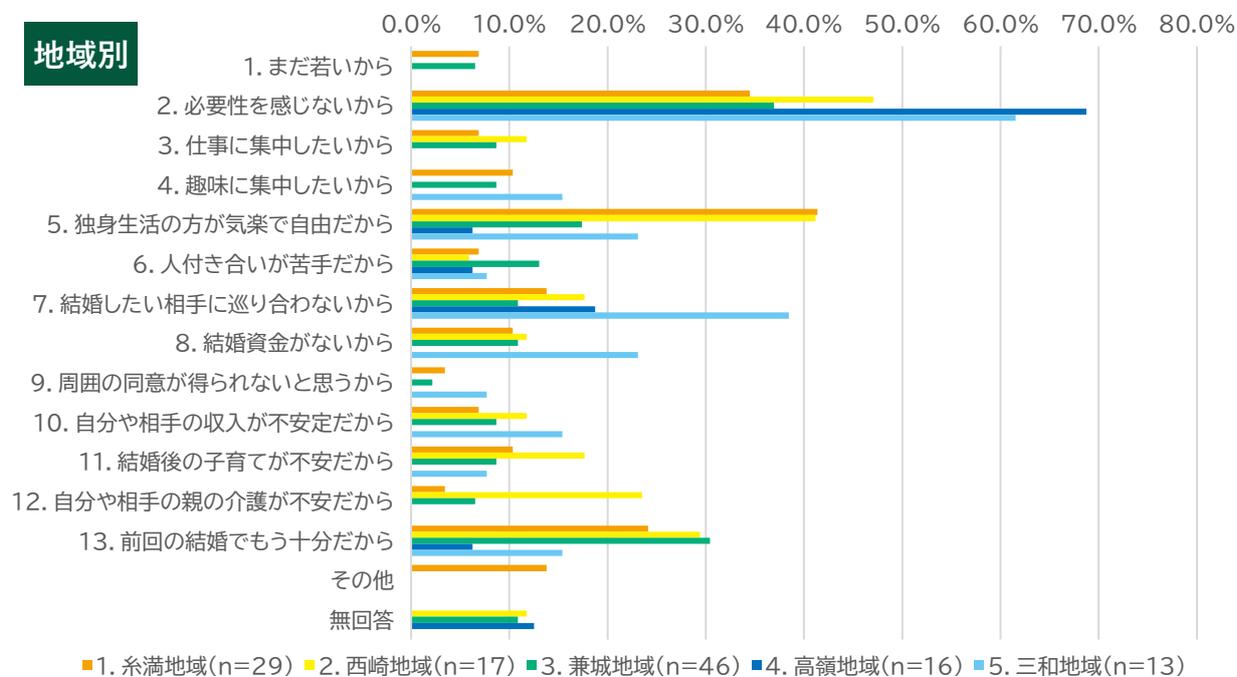
	1. 男性(n=50)	2. 女性(n=68)	3. そのほか(n=2)
1. まだ若いから	8.0%	1.5%	0.0%
2. 必要性を感じないから	32.0%	54.4%	50.0%
3. 仕事に集中したいから	8.0%	5.9%	0.0%
4. 趣味に集中したいから	10.0%	4.4%	50.0%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	32.0%	19.1%	50.0%
6. 人付き合いが苦手だから	12.0%	5.9%	50.0%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	22.0%	11.8%	50.0%
8. 結婚資金がないから	18.0%	4.4%	50.0%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	2.0%	0.0%	50.0%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	12.0%	4.4%	50.0%
11. 結婚後の子育てが不安だから	6.0%	8.8%	50.0%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	8.0%	5.9%	0.0%
13. 前回の結婚でもう十分だから	14.0%	32.4%	0.0%
その他	4.0%	1.5%	50.0%
無回答	2.0%	11.8%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数が40以下であることに留意する必要があるが、18～29才において「1.まだ若いから」55.6%、「3.仕事に集中したいから」22.2%、「4.趣味に集中したいから」22.2%が、他の年代に比べて高くなっている。また、30代においては、「6.人付き合いが苦手だから」31.3%の項目が、他の年代に比べて高くなっている。



	1. 18~29歳 (n=9)	2. 30代 (n=16)	3. 40代 (n=15)	4. 50代 (n=24)	5. 60代 (n=25)	6. 70代以上 (n=32)
1. まだ若いから	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 必要性を感じないから	11.1%	50.0%	26.7%	50.0%	44.0%	56.3%
3. 仕事に集中したいから	22.2%	6.3%	6.7%	8.3%	0.0%	6.3%
4. 趣味に集中したいから	22.2%	6.3%	0.0%	8.3%	8.0%	6.3%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	22.2%	37.5%	20.0%	41.7%	16.0%	18.8%
6. 人付き合いが苦手だから	22.2%	31.3%	20.0%	4.2%	0.0%	0.0%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	11.1%	31.3%	26.7%	25.0%	8.0%	6.3%
8. 結婚資金がないから	22.2%	6.3%	33.3%	16.7%	0.0%	3.1%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	11.1%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	3.1%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	0.0%	12.5%	33.3%	8.3%	0.0%	3.1%
11. 結婚後の子育てが不安だから	22.2%	12.5%	40.0%	4.2%	0.0%	0.0%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	11.1%	12.5%	13.3%	0.0%	12.0%	0.0%
13. 前回の結婚でもう十分だから	0.0%	31.3%	13.3%	12.5%	44.0%	25.0%
その他	0.0%	12.5%	6.7%	4.2%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	6.7%	4.2%	8.0%	15.6%

地域別では、兼城地域を除く地域ではサンプル数が40以下であることに留意する必要があるが、「2. 必要性を感じないから」と答えた割合が高嶺地域で68.8%、三和地域で61.5%と他の地域に比べて高くなっている。また、「7. 結婚したい相手に巡り合わないから」と答えた割合は、三和地域で38.5%と他の地域に比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=29)	2. 西崎地域 (n=17)	3. 兼城地域 (n=46)	4. 高嶺地域 (n=16)	5. 三和地域 (n=13)
1. まだ若いから	6.9%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%
2. 必要性を感じないから	34.5%	47.1%	37.0%	68.8%	61.5%
3. 仕事に集中したいから	6.9%	11.8%	8.7%	0.0%	0.0%
4. 趣味に集中したいから	10.3%	0.0%	8.7%	0.0%	15.4%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	41.4%	41.2%	17.4%	6.3%	23.1%
6. 人付き合いが苦手だから	6.9%	5.9%	13.0%	6.3%	7.7%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	13.8%	17.6%	10.9%	18.8%	38.5%
8. 結婚資金がないから	10.3%	11.8%	10.9%	0.0%	23.1%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	3.4%	0.0%	2.2%	0.0%	7.7%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	6.9%	11.8%	8.7%	0.0%	15.4%
11. 結婚後の子育てが不安だから	10.3%	17.6%	8.7%	0.0%	7.7%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	3.4%	23.5%	6.5%	0.0%	0.0%
13. 前回の結婚でもう十分だから	24.1%	29.4%	30.4%	6.3%	15.4%
その他	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	11.8%	10.9%	12.5%	0.0%

●「その他」の回答

- ・ 将来的な展望に期待できないため。
- ・ 子供がいるため考える余裕がない
- ・ 同性同士での結婚はできないから
- ・ 年齢的に婚活は難しいから
- ・ 年齢的に
- ・ 死別
- ・ 現時点では考えていないが、今後はわからない。
- ・ 今の生活に満足
- ・ 後期高齢者になった現在、残りの人生を有意に過ごしたい

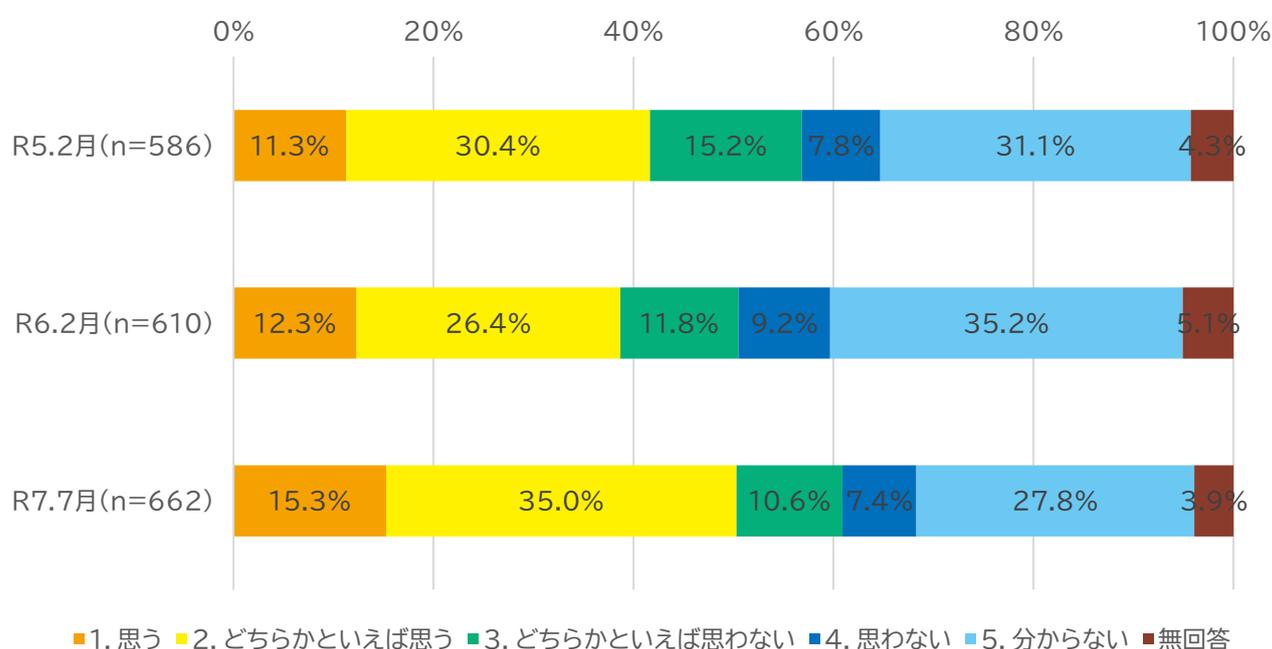
**【問 2-4 単一回答】糸満市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。**

<関連する政策:第1章 政策1~2>

「2.どちらかといえば思う」と答えた割合が35.0%と最も高く、次いで「5.分からない」27.8%となっている。

思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)は50.3%と、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)18.0%よりも高くなっている。

令和4年度(R5年2月)の調査と比較すると、「2.どちらかといえば思う」と答えた割合が30.4%から35.0%と4.6ポイント増加している。一方、「3.どちらかといえば思わない」と答えた割合は15.2%から10.6%と4.6ポイント減少している。

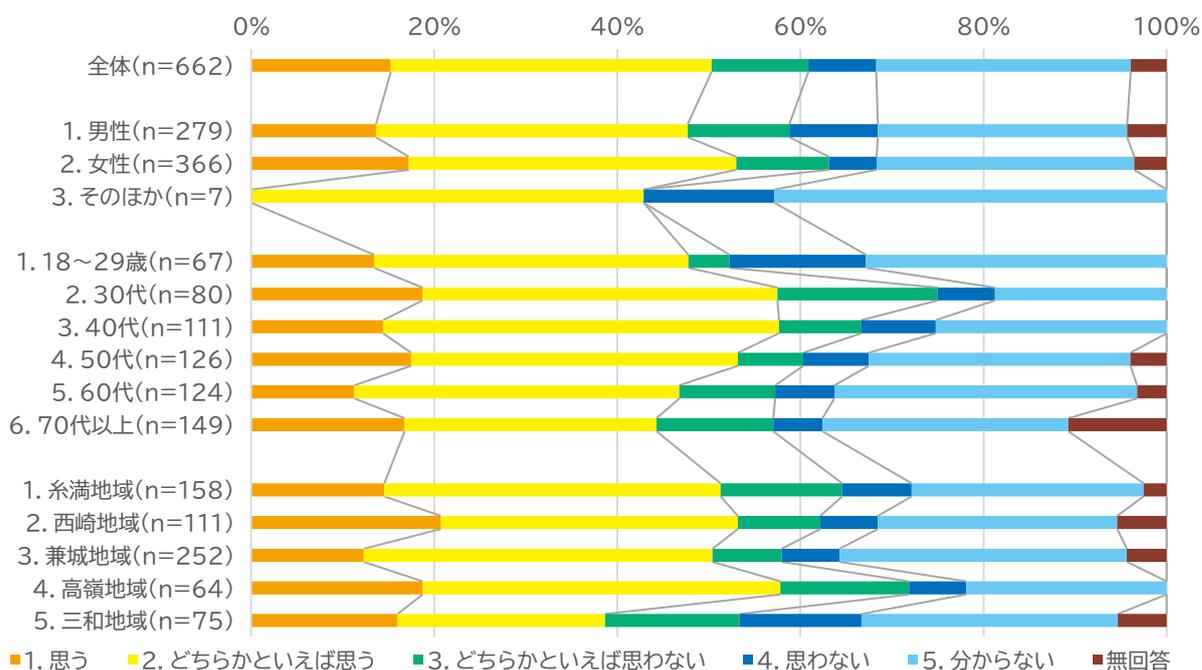


	R5.2月(n=586)	R6.2月(n=610)	R7.7月(n=662)
1. 思う	11.3%	12.3%	15.3%
2. どちらかといえば思う	30.4%	26.4%	35.0%
3. どちらかといえば思わない	15.2%	11.8%	10.6%
4. 思わない	7.8%	9.2%	7.4%
5. 分からない	31.1%	35.2%	27.8%
無回答	4.3%	5.1%	3.9%

男女別では、思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)が男性は47.7%に対し、女性は53.0%と女性が高くなっている。

年代別では、思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)が最も高かったのは57.6%と40代である。一方、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)が最も高かったのは、23.8%と30代である。

地域別では、思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)は、57.9%と高嶺地域が最も高い。一方、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)は、28.0%と三和地域が最も高い。



	1. 思う	2. どちらかとい えば思う	3. どちらかとい えば思わない	4. 思わない	5. 分からない	無回答
全体(n=662)	15.3%	35.0%	10.6%	7.4%	27.8%	3.9%
1. 男性(n=279)	13.6%	34.1%	11.1%	9.7%	27.2%	4.3%
2. 女性(n=366)	17.2%	35.8%	10.1%	5.2%	28.1%	3.6%
3. そのほか(n=7)	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%
1. 18~29歳(n=67)	13.4%	34.3%	4.5%	14.9%	32.8%	0.0%
2. 30代(n=80)	18.8%	38.8%	17.5%	6.3%	18.8%	0.0%
3. 40代(n=111)	14.4%	43.2%	9.0%	8.1%	25.2%	0.0%
4. 50代(n=126)	17.5%	35.7%	7.1%	7.1%	28.6%	4.0%
5. 60代(n=124)	11.3%	35.5%	10.5%	6.5%	33.1%	3.2%
6. 70代以上(n=149)	16.8%	27.5%	12.8%	5.4%	26.8%	10.7%
1. 糸満地域(n=158)	14.6%	36.7%	13.3%	7.6%	25.3%	2.5%
2. 西崎地域(n=111)	20.7%	32.4%	9.0%	6.3%	26.1%	5.4%
3. 兼城地域(n=252)	12.3%	38.1%	7.5%	6.3%	31.3%	4.4%
4. 高嶺地域(n=64)	18.8%	39.1%	14.1%	6.3%	21.9%	0.0%
5. 三和地域(n=75)	16.0%	22.7%	14.7%	13.3%	28.0%	5.3%

**【問 2-5 複数回答】「どちらかといえば思わない」、「思わない」を選択した方※は、その理由を教えてください。**

※[問 2-4 単一回答]糸満市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。

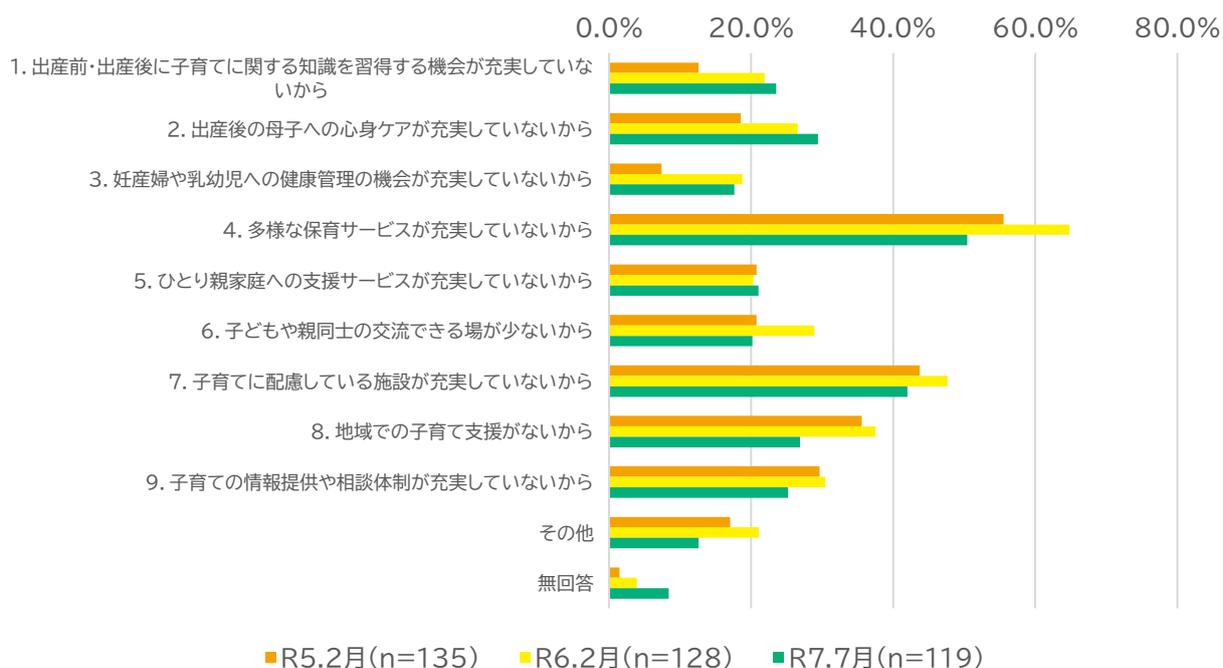
<関連する政策:第1章 政策1~2>

「4.多様な保育サービスが充実していないから」と答えた割合が50.4%と最も高く、次いで「7.子育てに配慮している施設が充実していないから」42.0%、「2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから」29.4%となっている。

3回の調査(R5.2月、R6.2月、R7.7月)を通じて、「4. 多様な保育サービスが充実していないから」と答えた割合が、いずれの時点でも最も割合が高い(R5.2月:55.6%、R6.2月:64.8%)。

また、「1. 出産前・出産後に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから」と答えた割合は、R5.2月の12.6%からR6.2月で21.9%、R7.7月では23.5%へと継続的に上昇している。

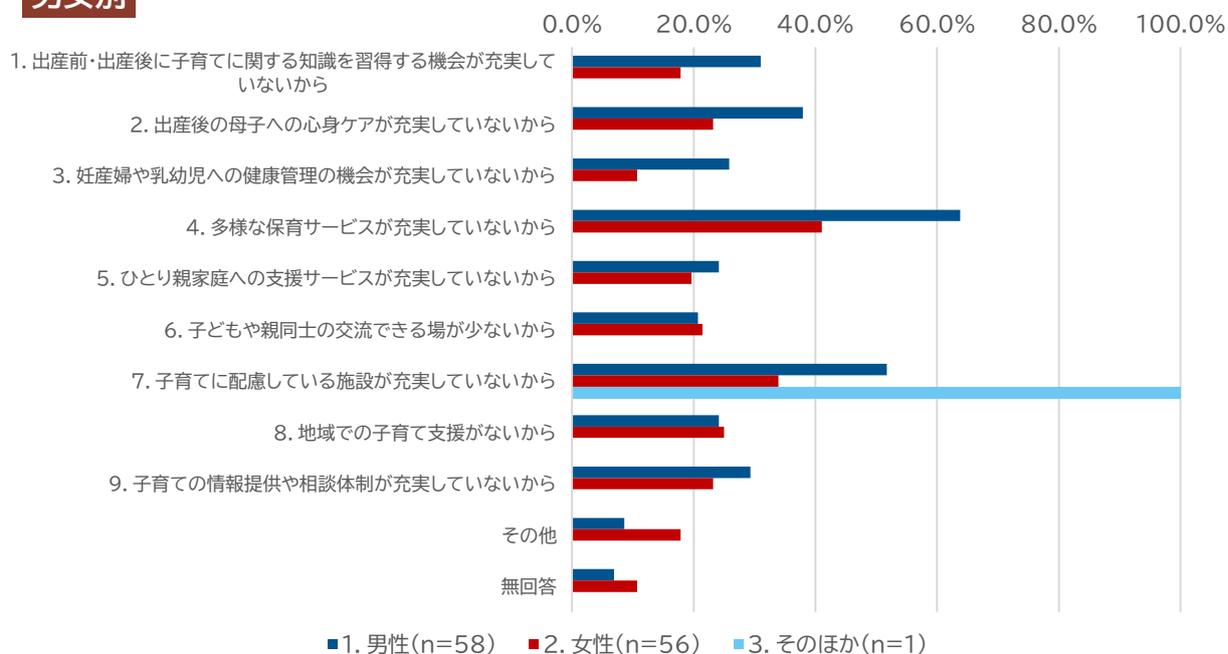
一方、「8. 地域での子育て支援がないから」と答えた割合は、R5.2月の35.6%からR7.7月には26.9%と8.7ポイント減少している。



	R5.2月 (n=135)	R6.2月 (n=128)	R7.7月 (n=119)
1. 出産前・出産後に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	12.6%	21.9%	23.5%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	18.5%	26.6%	29.4%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	7.4%	18.8%	17.6%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	55.6%	64.8%	50.4%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	20.7%	20.3%	21.0%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	20.7%	28.9%	20.2%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	43.7%	47.7%	42.0%
8. 地域での子育て支援がないから	35.6%	37.5%	26.9%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	29.6%	30.5%	25.2%
その他	17.0%	21.1%	12.6%
無回答	1.5%	3.9%	8.4%

男女別では、「4. 多様な保育サービスが充実していないから」と答えた割合が、男性63.8%、女性41.1%と男性が高くなっている。一方、「6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから」と答えた割合は、男性20.7%、女性21.4%と女性が高くなっている。

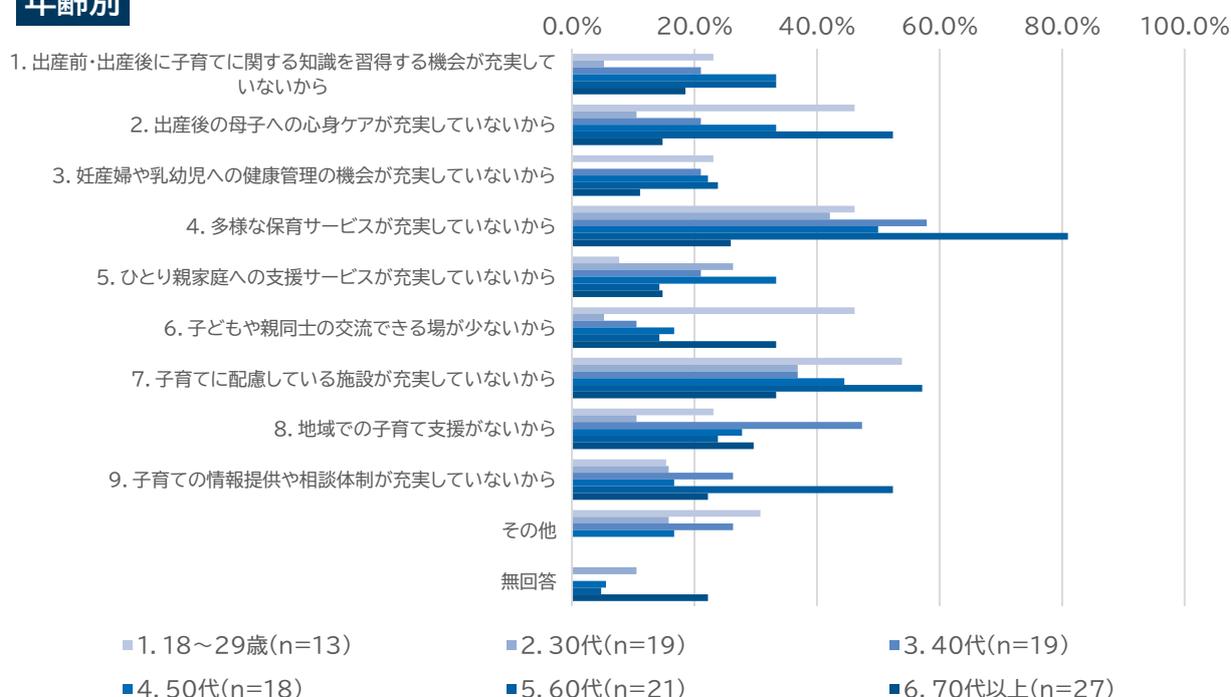
## 男女別



	1. 男性(n=58)	2. 女性(n=56)	3. そのほか(n=1)
1. 出産前・出産後に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	31.0%	17.9%	0.0%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	37.9%	23.2%	0.0%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	25.9%	10.7%	0.0%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	63.8%	41.1%	0.0%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	24.1%	19.6%	0.0%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	20.7%	21.4%	0.0%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	51.7%	33.9%	100.0%
8. 地域での子育て支援がないから	24.1%	25.0%	0.0%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	29.3%	23.2%	0.0%
その他	8.6%	17.9%	0.0%
無回答	6.9%	10.7%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数が約30以下であることに留意する必要があるが、30～60代において「4. 多様な保育サービスが充実していないから」が最も高くなっている。一方、18～29歳では「7. 子育てに配慮している施設が充実していないから」が最も高くなっている。

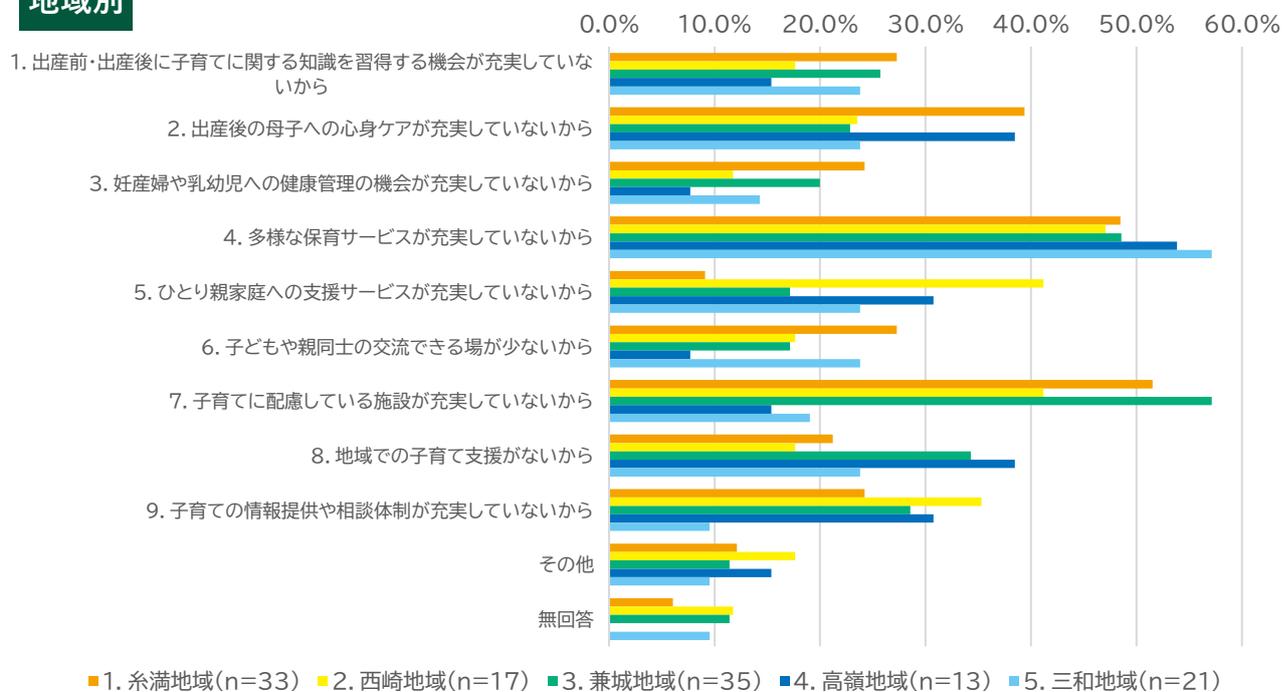
## 年齢別



	1. 18~29歳 (n=13)	2. 30代 (n=19)	3. 40代 (n=19)	4. 50代 (n=18)	5. 60代 (n=21)	6. 70代以上 (n=27)
1. 出産前・出産後に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	23.1%	5.3%	21.1%	33.3%	33.3%	18.5%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	46.2%	10.5%	21.1%	33.3%	52.4%	14.8%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	23.1%	0.0%	21.1%	22.2%	23.8%	11.1%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	46.2%	42.1%	57.9%	50.0%	81.0%	25.9%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	7.7%	26.3%	21.1%	33.3%	14.3%	14.8%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	46.2%	5.3%	10.5%	16.7%	14.3%	33.3%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	53.8%	36.8%	36.8%	44.4%	57.1%	33.3%
8. 地域での子育て支援がないから	23.1%	10.5%	47.4%	27.8%	23.8%	29.6%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	15.4%	15.8%	26.3%	16.7%	52.4%	22.2%
その他	30.8%	15.8%	26.3%	16.7%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	10.5%	0.0%	5.6%	4.8%	22.2%

地域別では、各地域のサンプル数が40以下であることに留意する必要があるが、「5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから」と答えた割合が、西崎地域で41.2%と他の地域に比べて高くなっている。

## 地域別



	1. 糸満地域 (n=33)	2. 西崎地域 (n=17)	3. 兼城地域 (n=35)	4. 高嶺地域 (n=13)	5. 三和地域 (n=21)
1. 出産前・出産後に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	27.3%	17.6%	25.7%	15.4%	23.8%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	39.4%	23.5%	22.9%	38.5%	23.8%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	24.2%	11.8%	20.0%	7.7%	14.3%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	48.5%	47.1%	48.6%	53.8%	57.1%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	9.1%	41.2%	17.1%	30.8%	23.8%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	27.3%	17.6%	17.1%	7.7%	23.8%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	51.5%	41.2%	57.1%	15.4%	19.0%
8. 地域での子育て支援がないから	21.2%	17.6%	34.3%	38.5%	23.8%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	24.2%	35.3%	28.6%	30.8%	9.5%
その他	12.1%	17.6%	11.4%	15.4%	9.5%
無回答	6.1%	11.8%	11.4%	0.0%	9.5%

●「その他」の回答

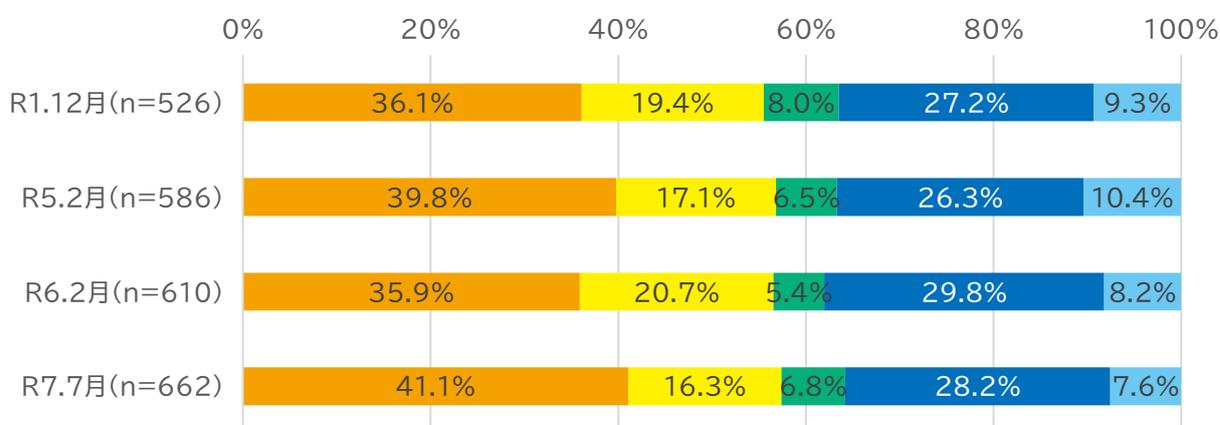
- ・ プレミアム商品券が買えない、市民税が高額。
- ・ 子供が多くても夫婦の内どちらの収入が多いと手当てが貰えない。低所得者とあまり変わらないくても手当てがないのは、大変。
- ・ 通学が心配で送迎が必要
- ・ 学校給食が貧相
- ・ 保育園や学童のシステムが悪い。保育時間など。小学校の開校時間も遅く、通勤に支障がある。
- ・ 保育園の待機児童のときが、とてもキツかった
- ・ 教育には向いていない環境
- ・ 就学援助や給食費等、体育着、その他、義務教育のはずなのにかかるお金が多すぎる。多子世帯で所得中間層だが毎年就学援助申請承認されず、ひとり親世帯ばかり支援されている。偽装離婚してる方々も周りにいっぱい居ますがその方達に税金が使われてるかと思うと腹立たしい。
- ・ 他市と比較した事がないから
- ・ 内地から来ると入りにくい
- ・ 子供たちが遊べる施設が少ないこと
- ・ 産後 3 ヶ月後には兄弟児が短時間保育になる。何度も就労証明の提出を求められる。
- ・ 病院が少ない
- ・ 自宅から学校が遠い
- ・ 小学生からが色々お金がかかる為、教育(習い事の補助金)、放課後に宿題や留守番の子が公民館等で出来るなどがあると子育てしやすいと思う。
- ・ 子どもの徘徊が多い
- ・ 保育所はなぜ土曜日に休ませる。土曜日は預けにくい。
- ・ 特に充実していることがない
- ・ 税金が他の市町村に比べて高い

**【問 2-6 単一回答】 今後、就職または転職するとした場合、どこで就業したいと思いますか。**

<関連する政策:第 5 章 政策 1~4>

「1. 糸満市内」と答えた割合が 41.1%と最も高く、次いで「4. 新たに就職・転職するつもりはない」28.2%、「2. 糸満市以外の県内」16.3%となっている。

3回の調査(R5.2月、R6.2月、R7.7月)を通じて、「糸満市内」と答えた割合が最も高く、R1.12月の36.1%からR7.7月には41.1%へと5.0ポイント増加している。一方、「糸満市以外の県内」と答えた割合はR1.12月の19.4%からR7.7月には16.3%へと減少しており、「県外・海外」と答えた割合も8.0%から6.8%へと減少している。



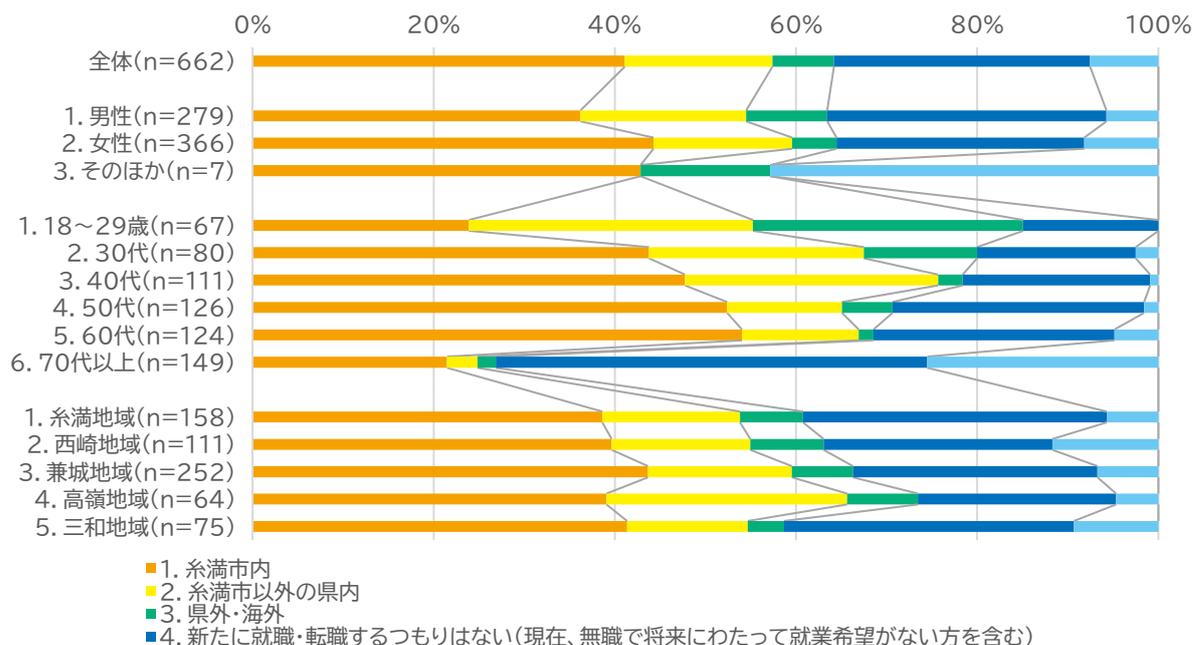
- 1. 糸満市内
- 2. 糸満市以外の県内
- 3. 県外・海外
- 4. 新たに就職・転職するつもりはない(現在、無職で将来にわたって就業希望がない方を含む)
- 無回答

	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)	R7.7月 (n=662)
1. 糸満市内	36.1%	39.8%	35.9%	41.1%
2. 糸満市以外の県内	19.4%	17.1%	20.7%	16.3%
3. 県外・海外	8.0%	6.5%	5.4%	6.8%
4. 新たに就職・転職するつもりはない(現在、無職で将来にわたって就業希望がない方を含む)	27.2%	26.3%	29.8%	28.2%
無回答	9.3%	10.4%	8.2%	7.6%

男女別では、「2. 糸満市以外の県内」と答えた割合が男性18.3%、女性15.3%と男性が高くなっている。一方、「1. 糸満市内」と答えた割合は男性36.2%、女性44.3%と女性が高くなっている。

年代別では、今後の就職・転職において糸満市以外で就業したいと思っている割合（「2. 糸満市以外の県内」と「3. 県外・海外」の合計）が、18～29才で61.2%、30代で36.3%、40代で30.6%と、年代が低いほど高くなっている。

地域別では、「2. 糸満市以外の県内」と答えた割合が、高嶺地域で26.6%（全体16.3%）と他の地域に比べて高くなっている。



	1. 糸満市内	2. 糸満市以外の県内	3. 県外・海外	4. 新たに就職・転職するつもりはない (現在、無職で将来にわたって就業希望がない方を含む)	無回答
全体(n=662)	41.1%	16.3%	6.8%	28.2%	7.6%
1. 男性(n=279)	36.2%	18.3%	9.0%	30.8%	5.7%
2. 女性(n=366)	44.3%	15.3%	4.9%	27.3%	8.2%
3. そのほか(n=7)	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%
1. 18～29歳(n=67)	23.9%	31.3%	29.9%	14.9%	0.0%
2. 30代(n=80)	43.8%	23.8%	12.5%	17.5%	2.5%
3. 40代(n=111)	47.7%	27.9%	2.7%	20.7%	0.9%
4. 50代(n=126)	52.4%	12.7%	5.6%	27.8%	1.6%
5. 60代(n=124)	54.0%	12.9%	1.6%	26.6%	4.8%
6. 70代以上(n=149)	21.5%	3.4%	2.0%	47.7%	25.5%
1. 糸満地域(n=158)	38.6%	15.2%	7.0%	33.5%	5.7%
2. 西崎地域(n=111)	39.6%	15.3%	8.1%	25.2%	11.7%
3. 兼城地域(n=252)	43.7%	15.9%	6.7%	27.0%	6.7%
4. 高嶺地域(n=64)	39.1%	26.6%	7.8%	21.9%	4.7%
5. 三和地域(n=75)	41.3%	13.3%	4.0%	32.0%	9.3%

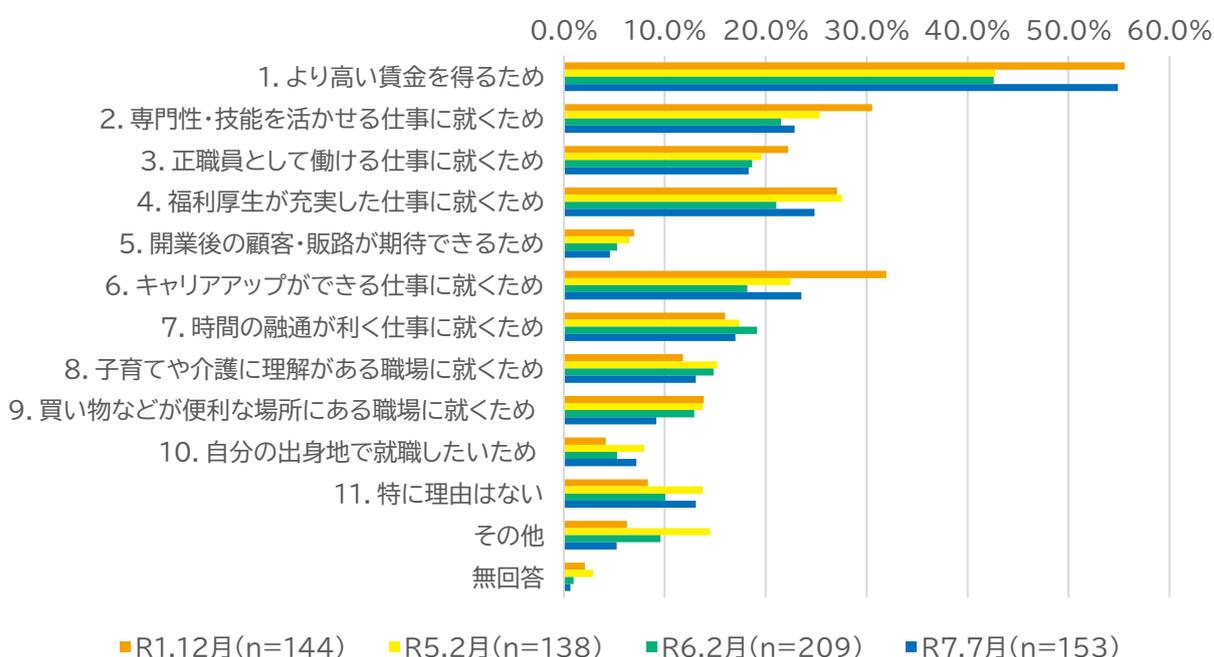
**[問 2-7 複数回答]**糸満市以外で働きたいと選択した方※は、その理由を教えてください。

※[問 2-6 単一回答] 今後、就職または転職するとした場合、どこで就業したいと思いますか。

<関連する政策:第5章 政策1~4>

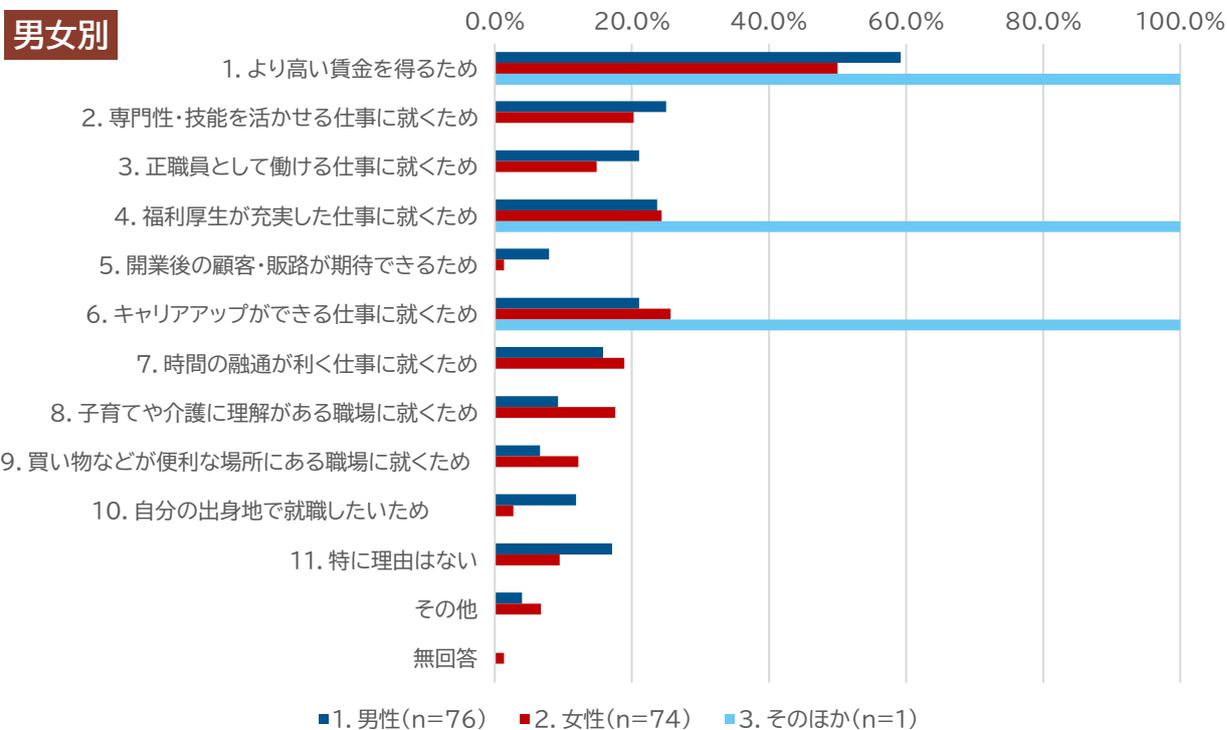
「1. より高い賃金を得るため」と答えた割合が54.9%と最も高く、次いで「4. 福利厚生が充実した仕事に就くため」24.8%、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」23.5%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「11. 特に理由はない」と答えた割合が8.3%から13.1%と4.8ポイント増加している。一方、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」と答えた割合は31.9%から23.5%と8.4ポイント減少している。



	R1.12月 (n=144)	R5.2月 (n=138)	R6.2月 (n=209)	R7.7月 (n=153)
1. より高い賃金を得るため	55.6%	42.8%	42.6%	54.9%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	30.6%	25.4%	21.5%	22.9%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	22.2%	19.6%	18.7%	18.3%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	27.1%	27.5%	21.1%	24.8%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	6.9%	6.5%	5.3%	4.6%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	31.9%	22.5%	18.2%	23.5%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	16.0%	17.4%	19.1%	17.0%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	11.8%	15.2%	14.8%	13.1%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	13.9%	13.8%	12.9%	9.2%
10. 自分の出身地で就職したいため	4.2%	8.0%	5.3%	7.2%
11. 特に理由はない	8.3%	13.8%	10.0%	13.1%
その他	6.3%	14.5%	9.6%	5.2%
無回答	2.1%	2.9%	1.0%	0.7%

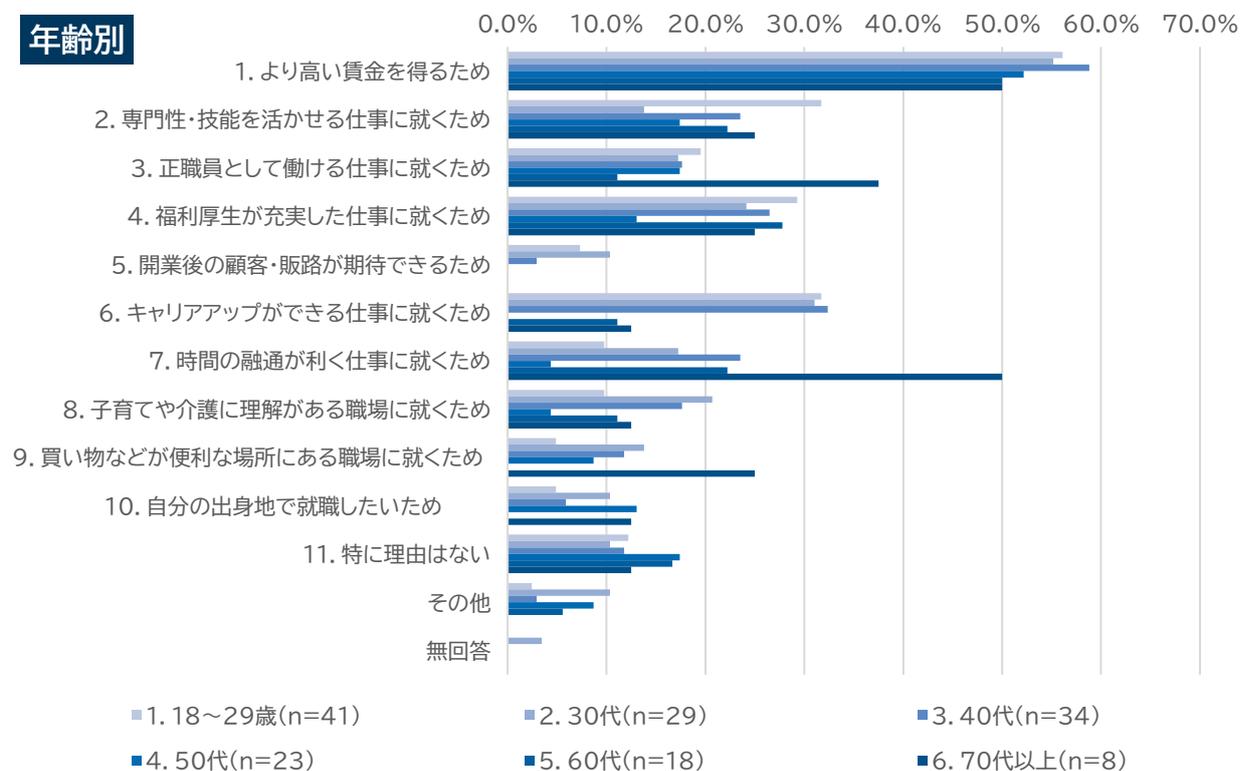
男女別では、「1. より高い賃金を得るため」と応えた割合が男性 59.2%、女性 50.0%と男性が高くなっている。一方、「8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため」と答えた割合は、男性 9.2%、女性 17.6%と女性が高くなっている。



	1. 男性 (n=76)	2. 女性 (n=74)	3. そのほか (n=1)
1. より高い賃金を得るため	59.2%	50.0%	100.0%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	25.0%	20.3%	0.0%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	21.1%	14.9%	0.0%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	23.7%	24.3%	100.0%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	7.9%	1.4%	0.0%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	21.1%	25.7%	100.0%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	15.8%	18.9%	0.0%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	9.2%	17.6%	0.0%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	6.6%	12.2%	0.0%
10. 自分の出身地で就職したいため	11.8%	2.7%	0.0%
11. 特に理由はない	17.1%	9.5%	0.0%
その他	3.9%	6.8%	0.0%
無回答	0.0%	1.4%	0.0%

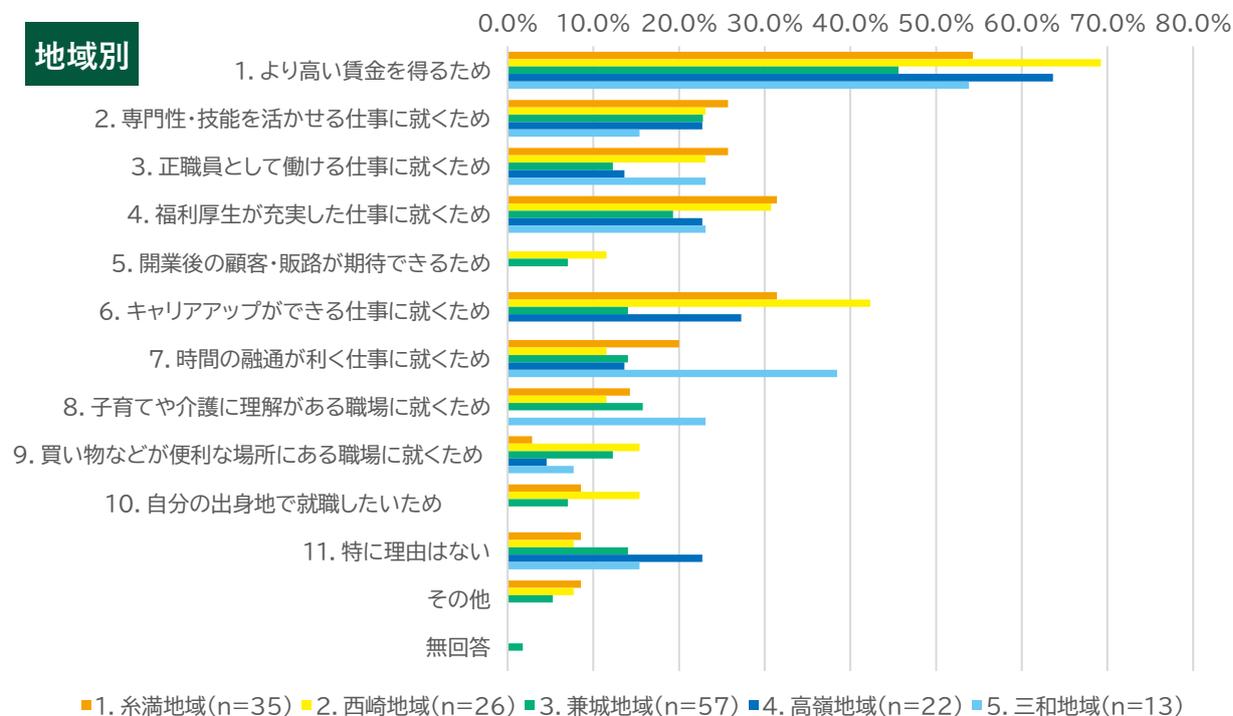
年代別では、各年代のサンプル数が約 50 未満であることに留意する必要があるが、18～29才においては「2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため」31.7%、「4. 福利厚生が充実した仕事に就くため」29.3%の項目が、他の年代と比べて高くなっている。40代においては「1. より高い賃金を得るため」58.8%、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」32.4%の項目が、他の年代と比べて高くなっている。

## 年齢別



	1. 18~29歳 (n=41)	2. 30代 (n=29)	3. 40代 (n=34)	4. 50代 (n=23)	5. 60代 (n=18)	6. 70代以上 (n=8)
1. より高い賃金を得るため	56.1%	55.2%	58.8%	52.2%	50.0%	50.0%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	31.7%	13.8%	23.5%	17.4%	22.2%	25.0%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	19.5%	17.2%	17.6%	17.4%	11.1%	37.5%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	29.3%	24.1%	26.5%	13.0%	27.8%	25.0%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	7.3%	10.3%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	31.7%	31.0%	32.4%	0.0%	11.1%	12.5%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	9.8%	17.2%	23.5%	4.3%	22.2%	50.0%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	9.8%	20.7%	17.6%	4.3%	11.1%	12.5%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	4.9%	13.8%	11.8%	8.7%	0.0%	25.0%
10. 自分の出身地で就職したいため	4.9%	10.3%	5.9%	13.0%	0.0%	12.5%
11. 特に理由はない	12.2%	10.3%	11.8%	17.4%	16.7%	12.5%
その他	2.4%	10.3%	2.9%	8.7%	5.6%	0.0%
無回答	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

地域別では、兼城地域を除く地域のサンプル数が40以下であることに留意する必要があるが、「7. 時間の融通が利く仕事に就くため」と答えた割合が、三和地域で38.5%と他の地域に比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=35)	2. 西崎地域 (n=26)	3. 兼城地域 (n=57)	4. 高嶺地域 (n=22)	5. 三和地域 (n=13)
1. より高い賃金を得るため	54.3%	69.2%	45.6%	63.6%	53.8%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	25.7%	23.1%	22.8%	22.7%	15.4%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	25.7%	23.1%	12.3%	13.6%	23.1%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	31.4%	30.8%	19.3%	22.7%	23.1%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	0.0%	11.5%	7.0%	0.0%	0.0%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	31.4%	42.3%	14.0%	27.3%	0.0%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	20.0%	11.5%	14.0%	13.6%	38.5%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	14.3%	11.5%	15.8%	0.0%	23.1%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	2.9%	15.4%	12.3%	4.5%	7.7%
10. 自分の出身地で就職したいため	8.6%	15.4%	7.0%	0.0%	0.0%
11. 特に理由はない	8.6%	7.7%	14.0%	22.7%	15.4%
その他	8.6%	7.7%	5.3%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%

●「その他」の回答

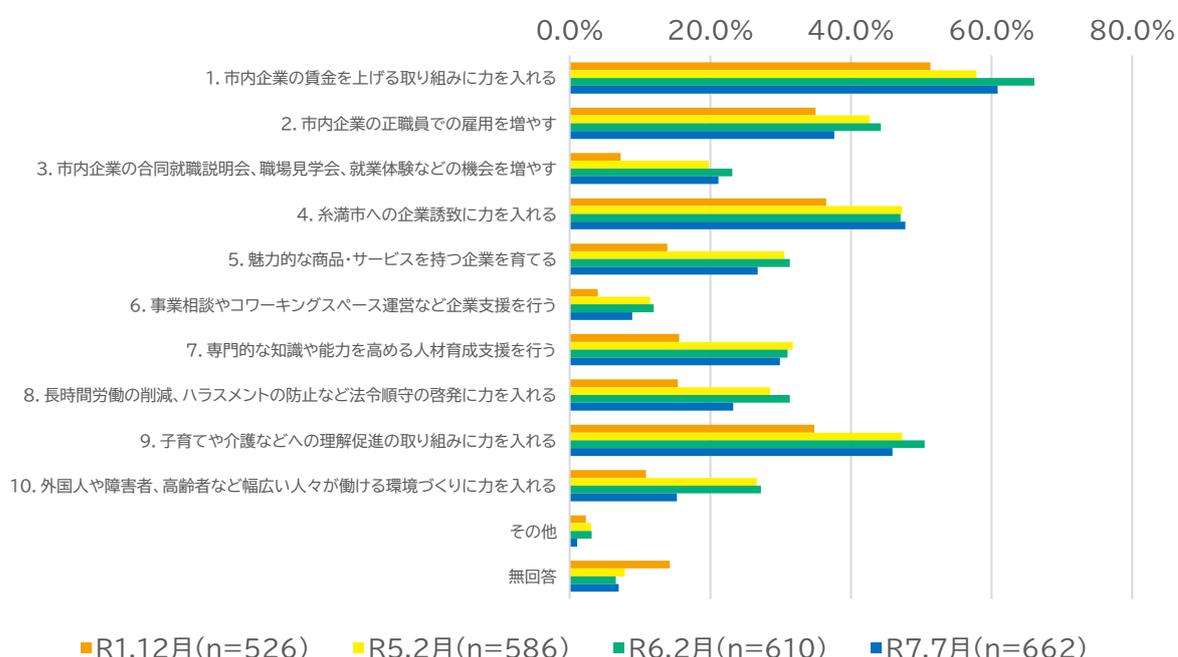
- ・ プライベートと仕事の区別をはっきりしたい
- ・ 公共交通機関が充実しているため
- ・ 地元の人と働きたくない
- ・ 糸満市内に絞ると良い働き口を見つけるのが難しい
- ・ プライベートと分けたい
- ・ 人口が多く集客が見込めるエリアへの転出
- ・ 家を建てるため
- ・ 知り合いに会いたくない

**[問 2-8 複数回答]**糸満市で働く人が増えるためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。

<関連する政策:第4章 政策4、第5章 政策1~4>

「1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる」と答えた割合が 60.9%と最も高く、次いで「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」47.7%、「9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる」45.9%となっている。

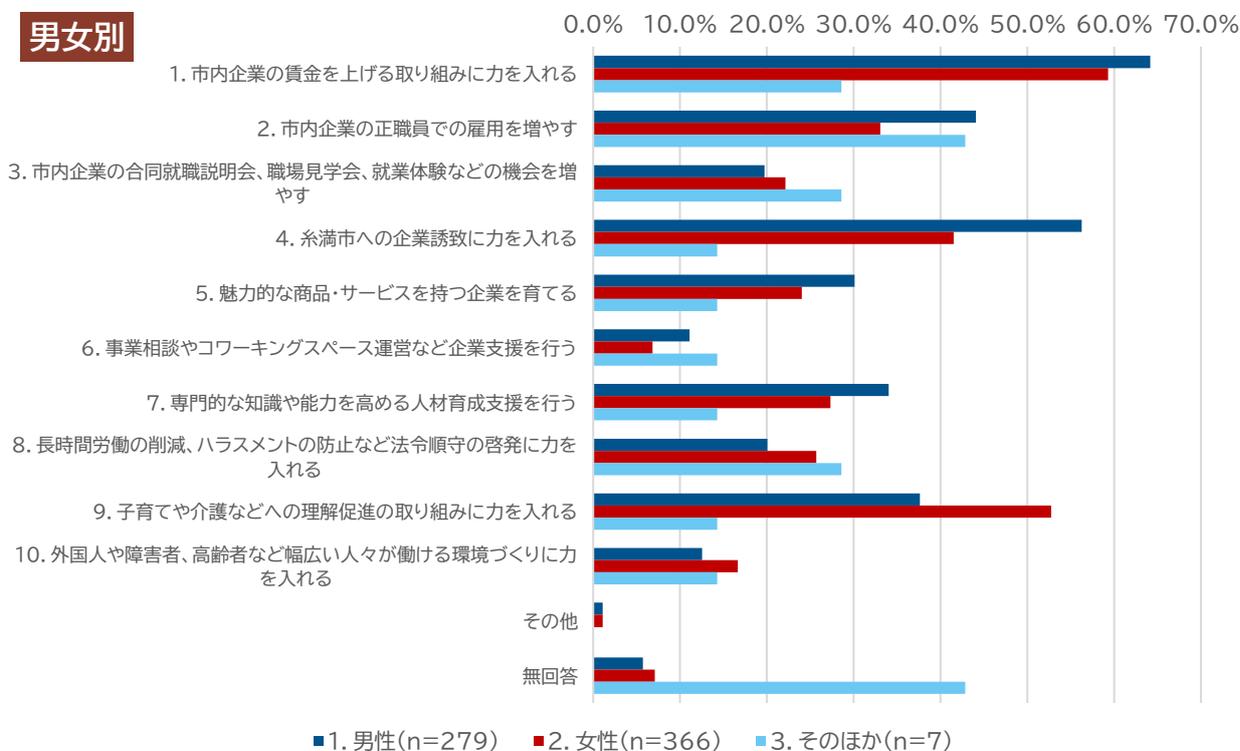
令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、全ての項目の回答(「その他」、「無回答」を除く)が増加しており、特に「7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う」と答えた割合が 15.6%から 29.9%と 14.3 ポイント増加している。また、「3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす」と答えた割合は 7.2%から 21.1%と 13.9 ポイント増加している。



	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)	R7.7月 (n=662)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	51.3%	57.8%	66.1%	60.9%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	35.0%	42.7%	44.3%	37.6%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	7.2%	19.8%	23.1%	21.1%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	36.5%	47.3%	47.0%	47.7%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	13.9%	30.5%	31.3%	26.7%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	4.0%	11.4%	12.0%	8.9%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	15.6%	31.7%	31.0%	29.9%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の啓発に力を入れる	15.4%	28.5%	31.3%	23.3%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	34.8%	47.3%	50.5%	45.9%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	10.8%	26.6%	27.2%	15.3%
その他	2.3%	3.1%	3.1%	1.1%
無回答	14.3%	7.8%	6.6%	6.9%

男女別では、「9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる」と答えた割合が男性 37.6%、女性 52.7%と女性が高くなっている。一方で、「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」と答えた割合は男性 56.3%、女性 41.5%と男性が高くなっている。

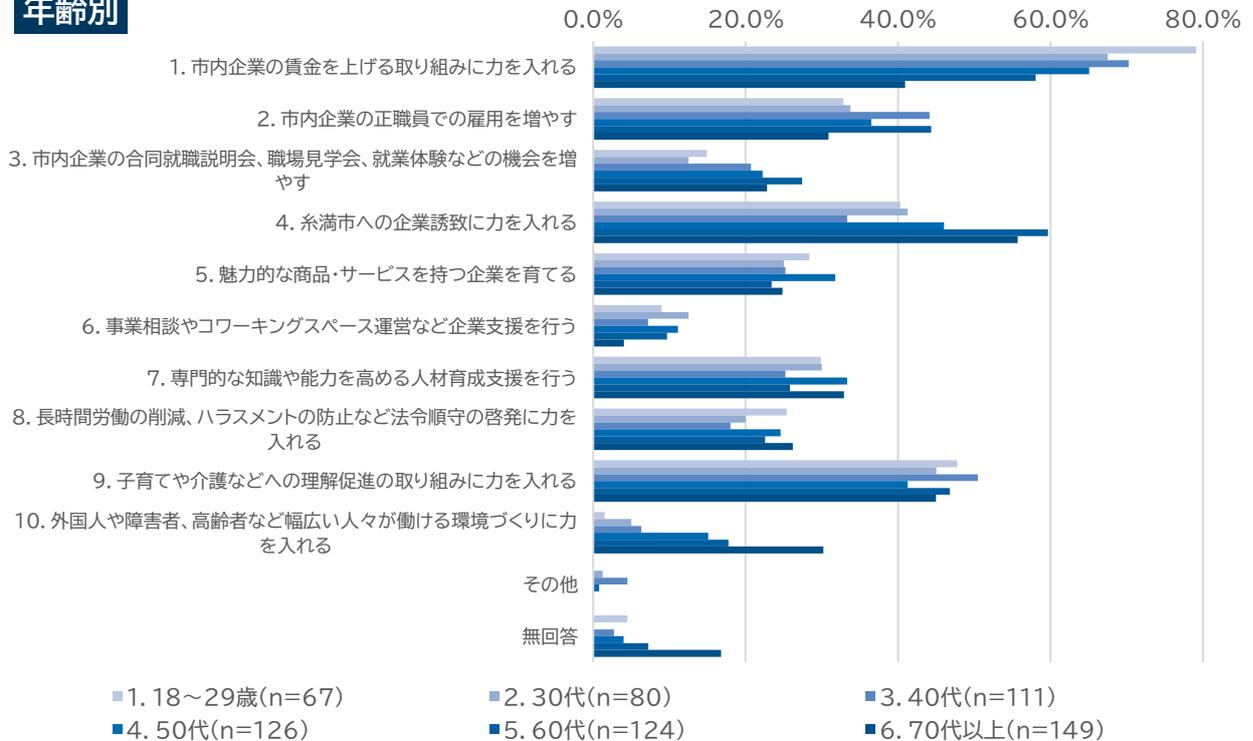
### 男女別



	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	64.2%	59.3%	28.6%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	44.1%	33.1%	42.9%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	19.7%	22.1%	28.6%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	56.3%	41.5%	14.3%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	30.1%	24.0%	14.3%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	11.1%	6.8%	14.3%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	34.1%	27.3%	14.3%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の啓発に力を入れる	20.1%	25.7%	28.6%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	37.6%	52.7%	14.3%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	12.5%	16.7%	14.3%
その他	1.1%	1.1%	0.0%
無回答	5.7%	7.1%	42.9%

年代別では、18～29歳、30代、40代、50代で「1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる」と答えた割合が、最も高くなっている。60代、70代以上では「4. 系満市への企業誘致に力を入れる」と答えた割合が、最も高くなっている。

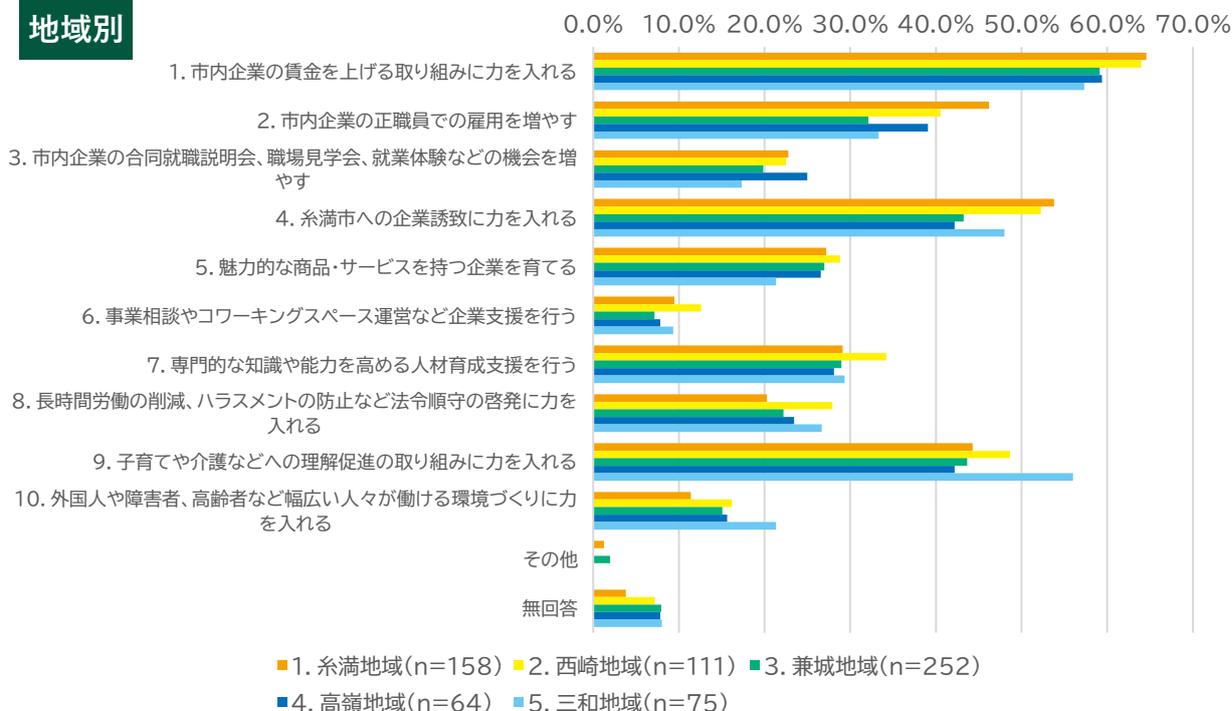
### 年齢別



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	79.1%	67.5%	70.3%	65.1%	58.1%	40.9%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	32.8%	33.8%	44.1%	36.5%	44.4%	30.9%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	14.9%	12.5%	20.7%	22.2%	27.4%	22.8%
4. 系満市への企業誘致に力を入れる	40.3%	41.3%	33.3%	46.0%	59.7%	55.7%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	28.4%	25.0%	25.2%	31.7%	23.4%	24.8%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	9.0%	12.5%	7.2%	11.1%	9.7%	4.0%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	29.9%	30.0%	25.2%	33.3%	25.8%	32.9%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の啓発に力を入れる	25.4%	20.0%	18.0%	24.6%	22.6%	26.2%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	47.8%	45.0%	50.5%	41.3%	46.8%	45.0%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	1.5%	5.0%	6.3%	15.1%	17.7%	30.2%
その他	0.0%	1.3%	4.5%	0.8%	0.0%	0.0%
無回答	4.5%	0.0%	2.7%	4.0%	7.3%	16.8%

地域別では、糸満地域において「1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる」64.6%、「2. 市内企業の正職員での雇用を増やす」46.2%、「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」53.8%の項目が、他の地域と比べて高くなっている。

## 地域別



	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	64.6%	64.0%	59.1%	59.4%	57.3%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	46.2%	40.5%	32.1%	39.1%	33.3%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	22.8%	22.5%	19.8%	25.0%	17.3%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	53.8%	52.3%	43.3%	42.2%	48.0%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	27.2%	28.8%	27.0%	26.6%	21.3%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	9.5%	12.6%	7.1%	7.8%	9.3%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	29.1%	34.2%	29.0%	28.1%	29.3%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の啓発に力を入れる	20.3%	27.9%	22.2%	23.4%	26.7%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	44.3%	48.6%	43.7%	42.2%	56.0%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	11.4%	16.2%	15.1%	15.6%	21.3%
その他	1.3%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
無回答	3.8%	7.2%	7.9%	7.8%	8.0%

●「その他」の回答

- ・ 多様な人材活用促進の意識啓発
- ・ バス通勤がしやすい様に、バスの経路を増やす
- ・ 公共交通機関のインフラ整備、高速・モノレールなど
- ・ 高齢者も障がい者(私自身は聴覚障がい者です。)も平等に、65歳過ぎても(健康であれば)良い条件で働ける企業を増やす事だと思います。短時間でもフルタイムでも関係なく、働きたい人が働ける環境づくりを。
- ・ 私見ですが、市政(議会等)も含まれるのでは？
- ・ 道路の混雑解消
- ・ 住民税が高いと思います。
- ・ 財政状況の改善による。市税減税。
- ・ 子育て、障がい者、高齢者への支援
- ・ 個人が起業する
- ・ 他にない特色のある商品を提供できる地域にしていきたい。
- ・ 公共交通機関の充実(ゆいレールを繋げる)
- ・ 昔の市場、まちぐわーがあった方が買い物しやすい。(旧暦文化)

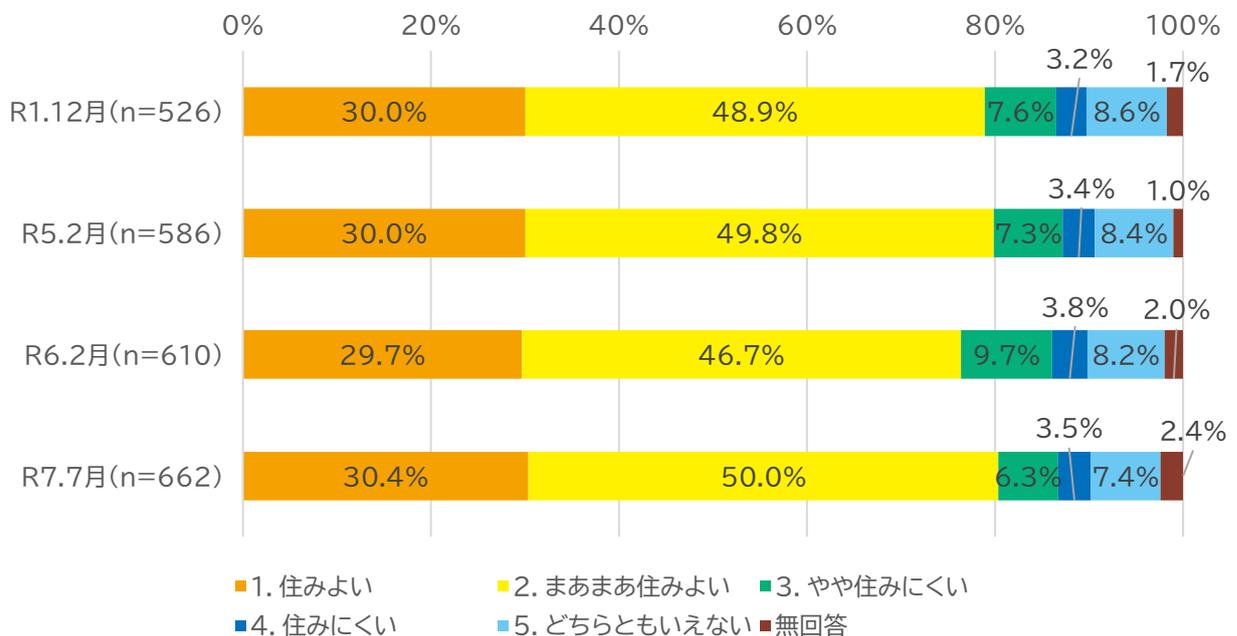
### ◆3. 住みやすさや今後も住み続けたいかについて

**[問 3-1 単一回答]**あなたにとって糸満市は住みよいですか。

<関連する政策:全て>

住みよいと答えた割合(「1. 住みよい」と「2. まあまあ住みよい」の合計)が 80.4%で、住みにくいと答えた割合(「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」の合計)9.8%を大きく上回っている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「2. まあまあ住みよい」と答えた割合が 48.9%から 50.0%と 1.1 ポイント増加している。一方、「3. やや住みにくい」と答えた割合は 7.6%から 6.3%と 1.3 ポイント減少している。

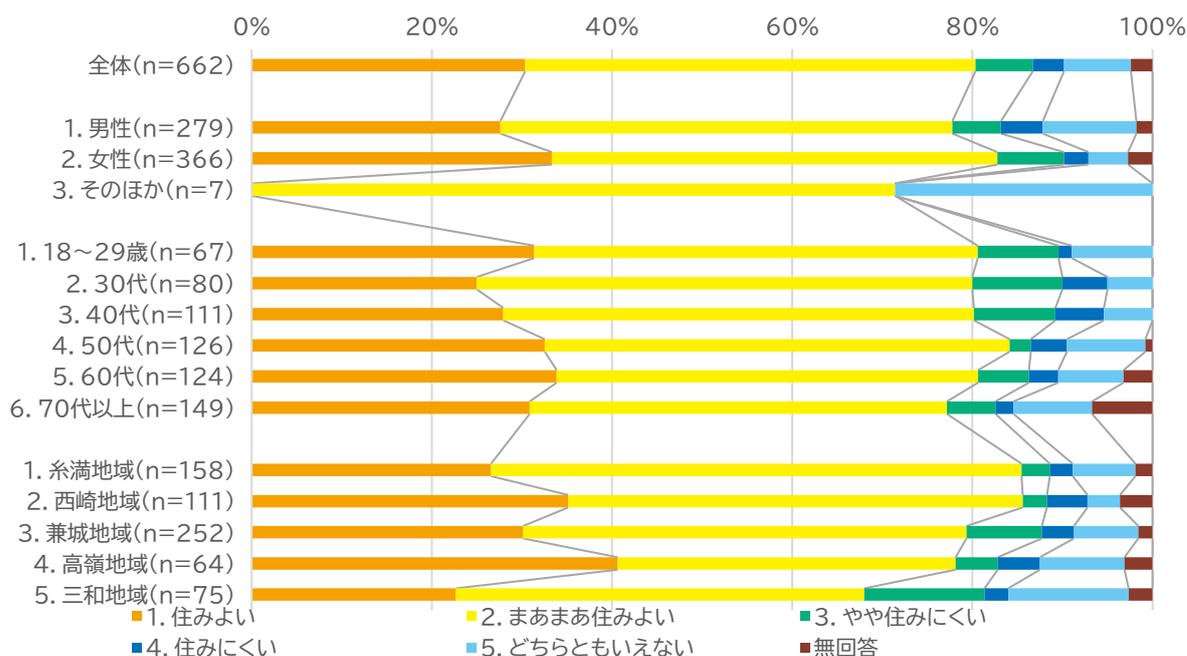


	R1.12月(n=526)	R5.2月(n=586)	R6.2月(n=610)	R7.7月(n=662)
1. 住みよい	30.0%	30.0%	29.7%	30.4%
2. まあまあ住みよい	48.9%	49.8%	46.7%	50.0%
3. やや住みにくい	7.6%	7.3%	9.7%	6.3%
4. 住みにくい	3.2%	3.4%	3.8%	3.5%
5. どちらともいえない	8.6%	8.4%	8.2%	7.4%
無回答	1.7%	1.0%	2.0%	2.4%

男女別では、「1. 住みよい」と答えた割合が男性27.6%、女性33.3%と女性の方が高くなっているが、「4. 住みにくい」と答えた割合は男性4.7%、女性2.7%と男性の方が高くなっている。

年代別では、「1. 住みよい」と「2. まあまあ住みよい」と答えた割合の合計は、「70代以上」以外の年代において、いずれも8割を超えている。一方、「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた割合の合計が最も高かったのは30代の15.0%、次いで40代の14.4%となっている。

地域別では、「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた割合の合計が最も高かったのは、16.0%と三和地域である。一方、最も低かったのは、5.7%と糸満地域である。

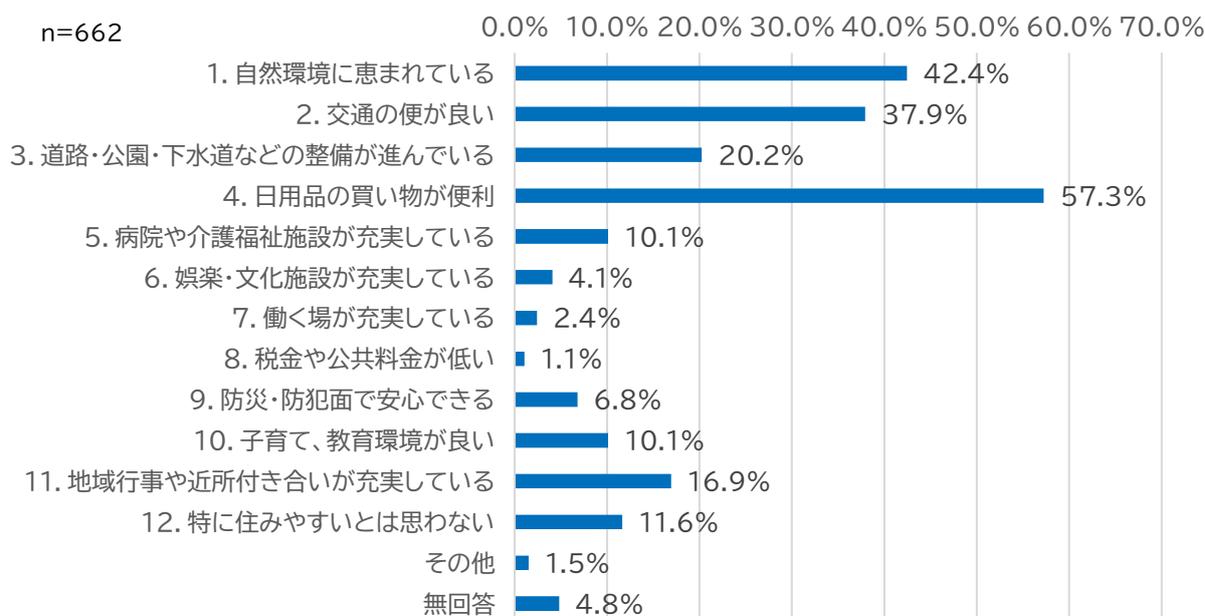


	1. 住みよい	2. まあまあ住みよい	3. やや住みにくい	4. 住みにくい	5. どちらともいえない	無回答
全体(n=662)	30.4%	50.0%	6.3%	3.5%	7.4%	2.4%
1. 男性(n=279)	27.6%	50.2%	5.4%	4.7%	10.4%	1.8%
2. 女性(n=366)	33.3%	49.5%	7.4%	2.7%	4.4%	2.7%
3. そのほか(n=7)	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%
1. 18～29歳(n=67)	31.3%	49.3%	9.0%	1.5%	9.0%	0.0%
2. 30代(n=80)	25.0%	55.0%	10.0%	5.0%	5.0%	0.0%
3. 40代(n=111)	27.9%	52.3%	9.0%	5.4%	5.4%	0.0%
4. 50代(n=126)	32.5%	51.6%	2.4%	4.0%	8.7%	0.8%
5. 60代(n=124)	33.9%	46.8%	5.6%	3.2%	7.3%	3.2%
6. 70代以上(n=149)	30.9%	46.3%	5.4%	2.0%	8.7%	6.7%
1. 糸満地域(n=158)	26.6%	58.9%	3.2%	2.5%	7.0%	1.9%
2. 西崎地域(n=111)	35.1%	50.5%	2.7%	4.5%	3.6%	3.6%
3. 兼城地域(n=252)	30.2%	49.2%	8.3%	3.6%	7.1%	1.6%
4. 高嶺地域(n=64)	40.6%	37.5%	4.7%	4.7%	9.4%	3.1%
5. 三和地域(n=75)	22.7%	45.3%	13.3%	2.7%	13.3%	2.7%

**[問 3-2 複数回答]**あなたが「糸満市の住みやすいと思うところ」があれば教えてください。

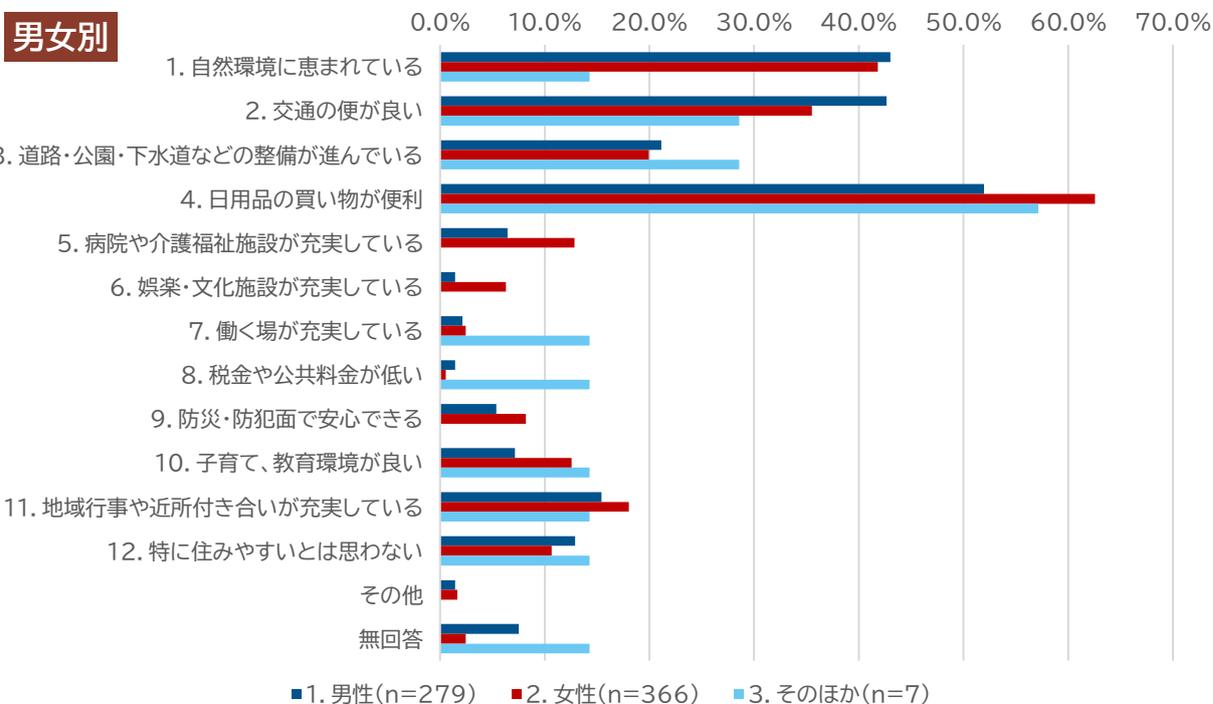
<関連する政策:全て>

「4. 日用品の買い物が便利」と答えた割合が 57.3%と最も高く、次いで「1. 自然環境に恵まれている」42.4%、「2. 交通の便が良い」37.9%となっている。



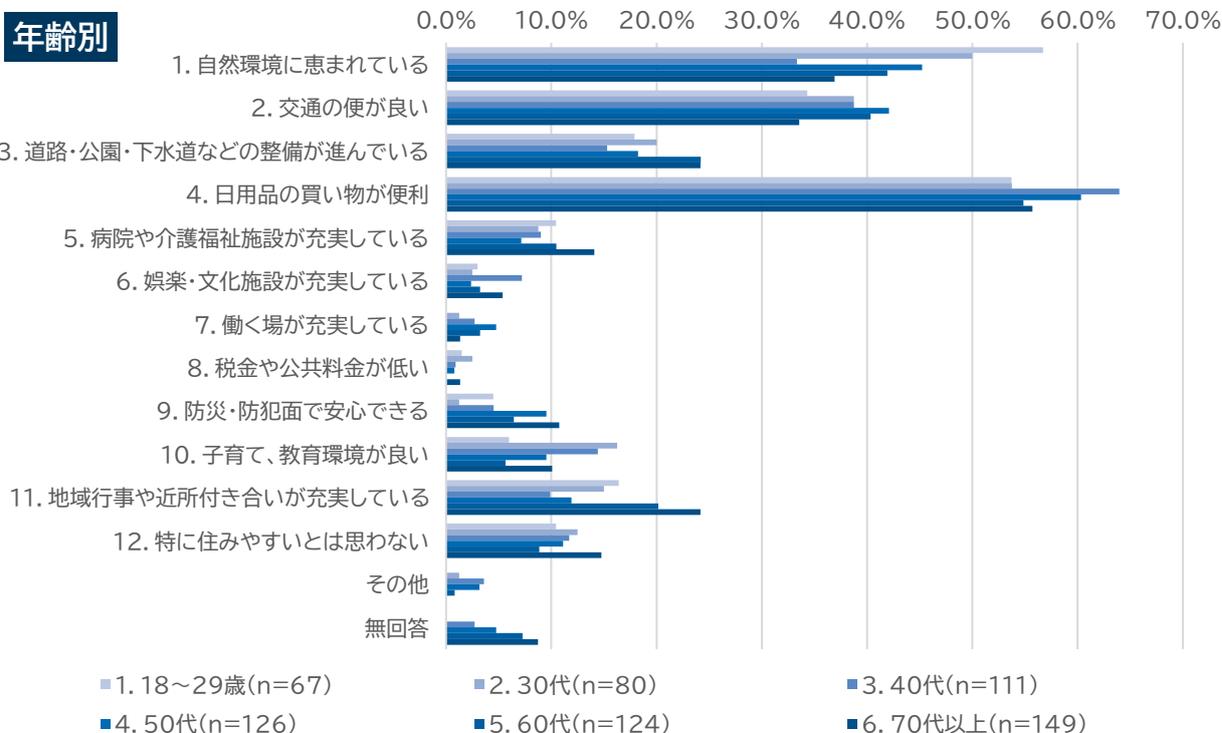
選択項目	回答数(n=662)	比率
1. 自然環境に恵まれている	281	42.4%
2. 交通の便が良い	251	37.9%
3. 道路・公園・下水道などの整備が進んでいる	134	20.2%
4. 日用品の買い物が便利	379	57.3%
5. 病院や介護福祉施設が充実している	67	10.1%
6. 娯楽・文化施設が充実している	27	4.1%
7. 働く場が充実している	16	2.4%
8. 税金や公共料金が低い	7	1.1%
9. 防災・防犯面で安心できる	45	6.8%
10. 子育て、教育環境が良い	67	10.1%
11. 地域行事や近所付き合いが充実している	112	16.9%
12. 特に住みやすいとは思わない	77	11.6%
その他	10	1.5%
無回答	32	4.8%

男女別では、「4. 日用品の買い物が便利」と答えた割合が男性 52.0%、女性 62.6%と女性が高くなっている。一方で、「2. 交通の便が良い」と答えた割合は男性 42.7%、女性 35.5%と男性が高くなっている。



	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 自然環境に恵まれている	43.0%	41.8%	14.3%
2. 交通の便が良い	42.7%	35.5%	28.6%
3. 道路・公園・下水道などの整備が進んでいる	21.1%	19.9%	28.6%
4. 日用品の買い物が便利	52.0%	62.6%	57.1%
5. 病院や介護福祉施設が充実している	6.5%	12.8%	0.0%
6. 娯楽・文化施設が充実している	1.4%	6.3%	0.0%
7. 働く場が充実している	2.2%	2.5%	14.3%
8. 税金や公共料金が低い	1.4%	0.5%	14.3%
9. 防災・防犯面で安心できる	5.4%	8.2%	0.0%
10. 子育て、教育環境が良い	7.2%	12.6%	14.3%
11. 地域行事や近所付き合いが充実している	15.4%	18.0%	14.3%
12. 特に住みやすいとは思わない	12.9%	10.7%	14.3%
その他	1.4%	1.6%	0.0%
無回答	7.5%	2.5%	14.3%

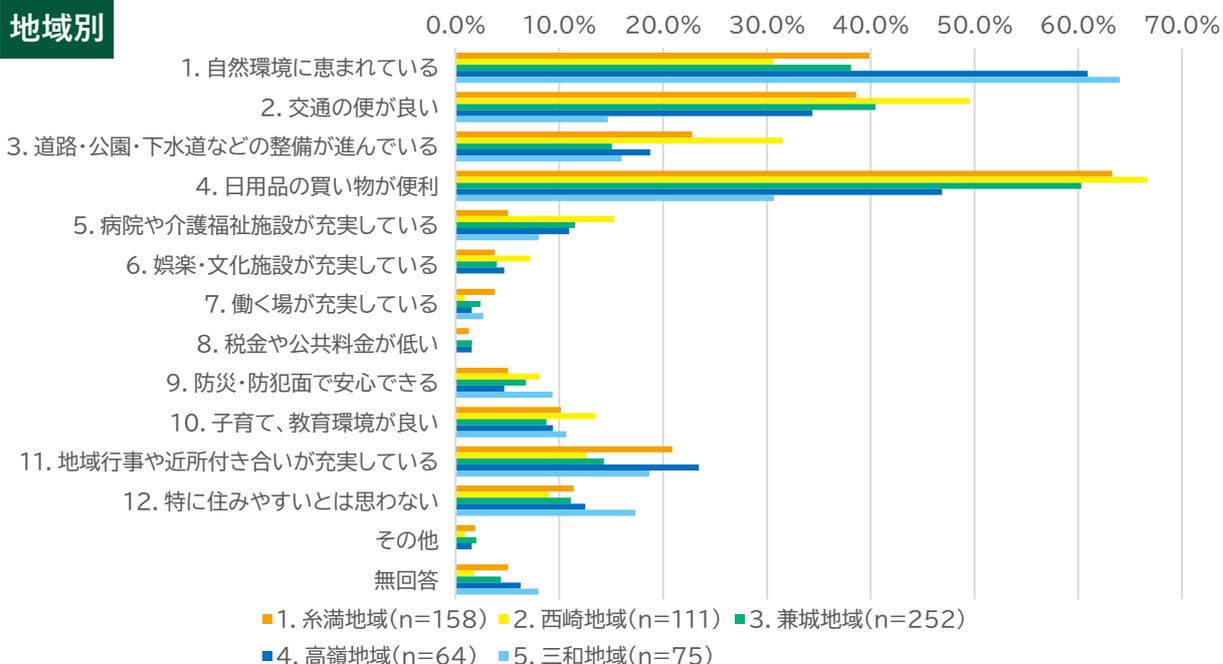
年代別では、18～29才以外の年代で「4. 日用品の買い物が便利」と答えた割合が、最も高くなっている。18～29才では、「1. 自然環境に恵まれている」と答えた割合が最も高く、次いで「4. 日用品の買い物が便利」である。



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 自然環境に恵まれている	56.7%	50.0%	33.3%	45.2%	41.9%	36.9%
2. 交通の便が良い	34.3%	38.8%	38.7%	42.1%	40.3%	33.6%
3. 道路・公園・下水道などの整備が進んでいる	17.9%	20.0%	15.3%	18.3%	24.2%	24.2%
4. 日用品の買い物が便利	53.7%	53.8%	64.0%	60.3%	54.8%	55.7%
5. 病院や介護福祉施設が充実している	10.4%	8.8%	9.0%	7.1%	10.5%	14.1%
6. 娯楽・文化施設が充実している	3.0%	2.5%	7.2%	2.4%	3.2%	5.4%
7. 働く場が充実している	0.0%	1.3%	2.7%	4.8%	3.2%	1.3%
8. 税金や公共料金が低い	1.5%	2.5%	0.9%	0.8%	0.0%	1.3%
9. 防災・防犯面で安心できる	4.5%	1.3%	4.5%	9.5%	6.5%	10.7%
10. 子育て、教育環境が良い	6.0%	16.3%	14.4%	9.5%	5.6%	10.1%
11. 地域行事や近所付き合いが充実している	16.4%	15.0%	9.9%	11.9%	20.2%	24.2%
12. 特に住みやすいとは思わない	10.4%	12.5%	11.7%	11.1%	8.9%	14.8%
その他	0.0%	1.3%	3.6%	3.2%	0.8%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	2.7%	4.8%	7.3%	8.7%

地域別では、三和地域において「1. 自然環境に恵まれている」と答えた割合が、64.0%と他の地域と比べて高くなっている。また、高嶺地域においては「11. 地域行事や近所付き合いが充実している」と答えた割合が23.4%と他の地域と比べて高くなっている。西崎地域においては、「2. 交通の便が良い」と答えた割合が49.5%と他の地域に比べて高くなっている。

### 地域別



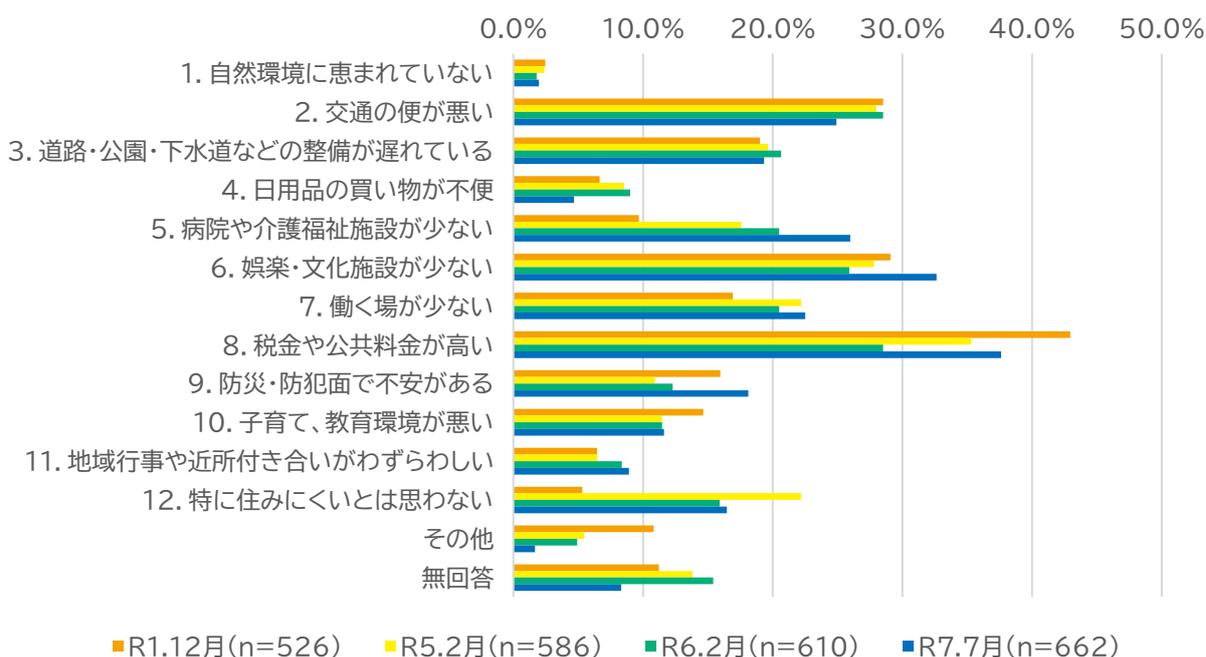
	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 自然環境に恵まれている	39.9%	30.6%	38.1%	60.9%	64.0%
2. 交通の便が良い	38.6%	49.5%	40.5%	34.4%	14.7%
3. 道路・公園・下水道などの整備が進んでいる	22.8%	31.5%	15.1%	18.8%	16.0%
4. 日用品の買い物が便利	63.3%	66.7%	60.3%	46.9%	30.7%
5. 病院や介護福祉施設が充実している	5.1%	15.3%	11.5%	10.9%	8.0%
6. 娯楽・文化施設が充実している	3.8%	7.2%	4.0%	4.7%	0.0%
7. 働く場が充実している	3.8%	0.9%	2.4%	1.6%	2.7%
8. 税金や公共料金が低い	1.3%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%
9. 防災・防犯面で安心できる	5.1%	8.1%	6.7%	4.7%	9.3%
10. 子育て、教育環境が良い	10.1%	13.5%	8.7%	9.4%	10.7%
11. 地域行事や近所付き合いが充実している	20.9%	12.6%	14.3%	23.4%	18.7%
12. 特に住みやすいとは思わない	11.4%	9.0%	11.1%	12.5%	17.3%
その他	1.9%	0.9%	2.0%	1.6%	0.0%
無回答	5.1%	1.8%	4.4%	6.3%	8.0%

**[問 3-3 複数回答]**あなたが「糸満市の住みにくい」と思うところがあれば教えてください。

＜関連する政策:全て＞

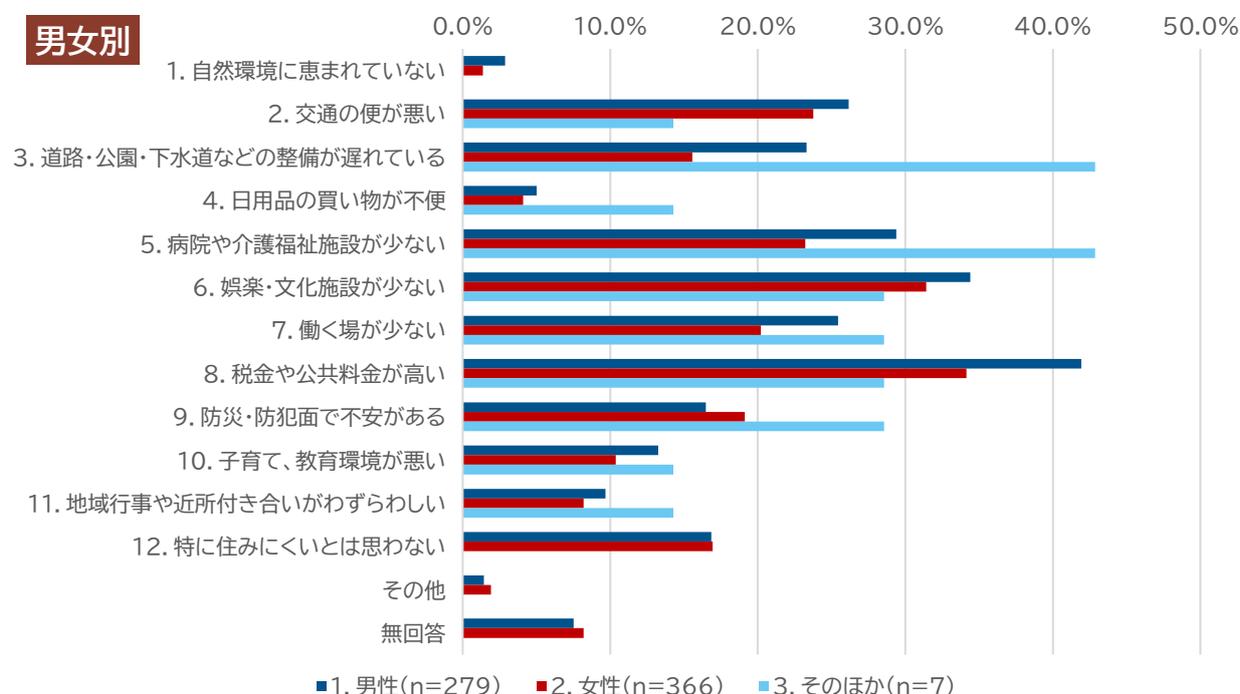
「8. 税金や公共料金が高い」と答えた割合が37.6%と最も高く、次いで「6. 娯楽・文化施設が少ない」32.6%、「5. 病院や介護福祉施設が少ない」26.0%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「5.病院や介護福祉施設が少ない」と答えた割合が9.7%から26.0%へと16.3ポイント増加している。一方、「8. 税金や公共料金が高い」と答えた割合は43.0%から37.6%へと5.4ポイント減少している。



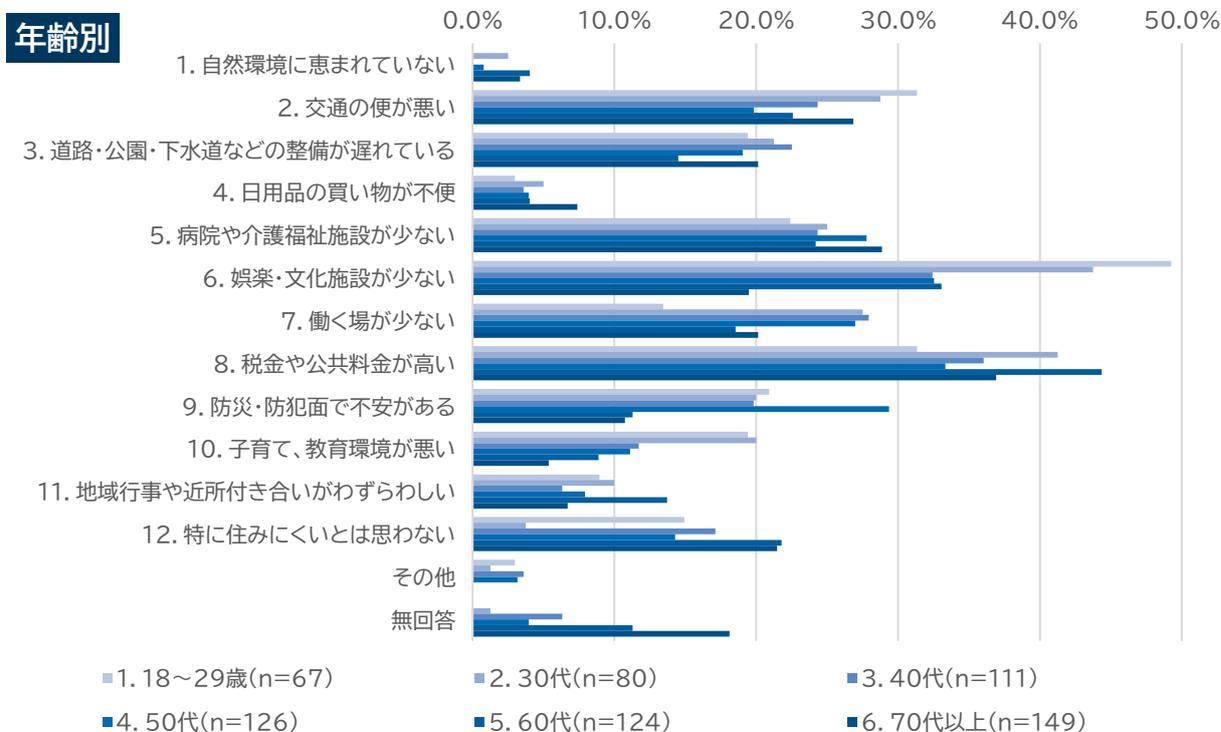
	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)	R7.7月 (n=662)
1. 自然環境に恵まれていない	2.5%	2.4%	1.8%	2.0%
2. 交通の便が悪い	28.5%	28.0%	28.5%	24.9%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	19.0%	19.6%	20.7%	19.3%
4. 日用品の買い物が不便	6.7%	8.5%	9.0%	4.7%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	9.7%	17.6%	20.5%	26.0%
6. 娯楽・文化施設が少ない	29.1%	27.8%	25.9%	32.6%
7. 働く場が少ない	16.9%	22.2%	20.5%	22.5%
8. 税金や公共料金が高い	43.0%	35.3%	28.5%	37.6%
9. 防災・防犯面で不安がある	16.0%	10.9%	12.3%	18.1%
10. 子育て、教育環境が悪い	14.6%	11.4%	11.5%	11.6%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	6.5%	6.5%	8.4%	8.9%
12. 特に住みにくいとは思わない	5.3%	22.2%	15.9%	16.5%
その他	10.8%	5.5%	4.9%	1.7%
無回答	11.2%	13.8%	15.4%	8.3%

男女別では、「8. 税金や公共料金が高い」と答えた割合が男性 41.9%、女性 34.2%と男性が高くなっている。一方、「9. 防災・防犯面で不安がある」と答えた割合は男性 16.5%、女性 19.1%と女性が高くなっている。



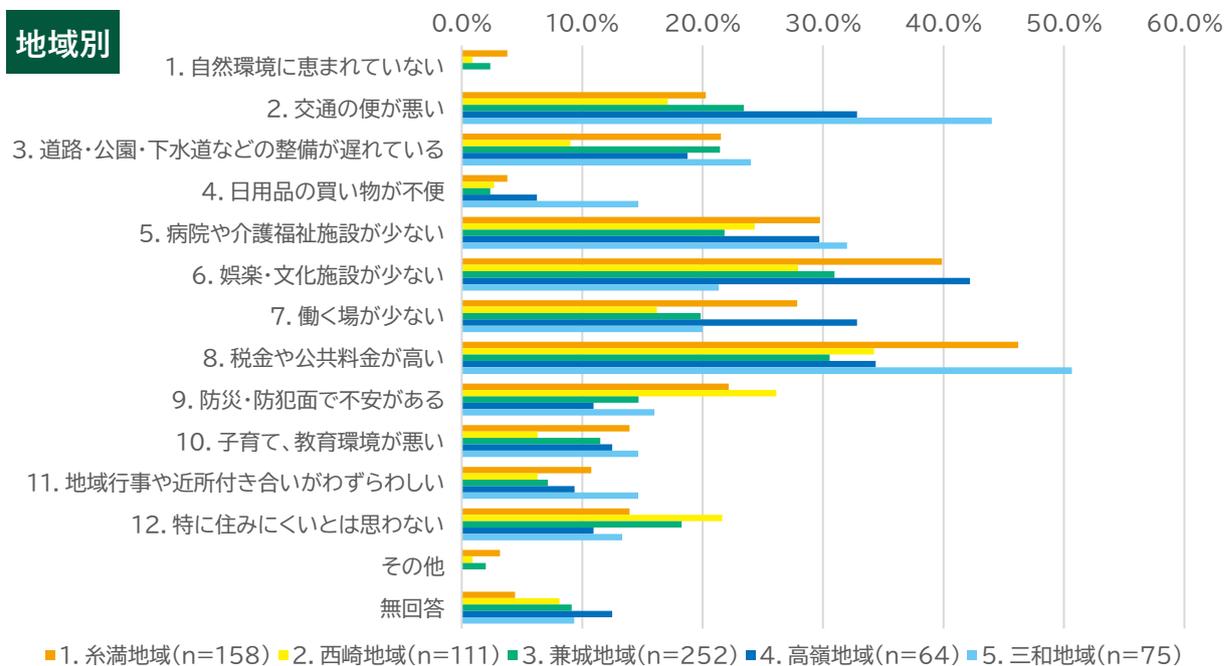
	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 自然環境に恵まれていない	2.9%	1.4%	0.0%
2. 交通の便が悪い	26.2%	23.8%	14.3%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	23.3%	15.6%	42.9%
4. 日用品の買い物が不便	5.0%	4.1%	14.3%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	29.4%	23.2%	42.9%
6. 娯楽・文化施設が少ない	34.4%	31.4%	28.6%
7. 働く場が少ない	25.4%	20.2%	28.6%
8. 税金や公共料金が高い	41.9%	34.2%	28.6%
9. 防災・防犯面で不安がある	16.5%	19.1%	28.6%
10. 子育て、教育環境が悪い	13.3%	10.4%	14.3%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	9.7%	8.2%	14.3%
12. 特に住みにくいとは思わない	16.8%	16.9%	0.0%
その他	1.4%	1.9%	0.0%
無回答	7.5%	8.2%	0.0%

年代別では、18～29才で「6. 娯楽・文化施設が少ない」と答えた割合が、49.3%、「2.交通の便が悪い」と答えた割合が31.3%と、他の年代と比べて高くなっている。30代では、「10.子育て、教育環境が悪い」と答えた割合が、20.0%と他の年代と比べて高くなっている。



	1. 18～29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 自然環境に恵まれていない	0.0%	2.5%	0.0%	0.8%	4.0%	3.4%
2. 交通の便が悪い	31.3%	28.8%	24.3%	19.8%	22.6%	26.8%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	19.4%	21.3%	22.5%	19.0%	14.5%	20.1%
4. 日用品の買い物が不便	3.0%	5.0%	3.6%	4.0%	4.0%	7.4%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	22.4%	25.0%	24.3%	27.8%	24.2%	28.9%
6. 娯楽・文化施設が少ない	49.3%	43.8%	32.4%	32.5%	33.1%	19.5%
7. 働く場が少ない	13.4%	27.5%	27.9%	27.0%	18.5%	20.1%
8. 税金や公共料金が高い	31.3%	41.3%	36.0%	33.3%	44.4%	36.9%
9. 防災・防犯面で不安がある	20.9%	20.0%	19.8%	29.4%	11.3%	10.7%
10. 子育て、教育環境が悪い	19.4%	20.0%	11.7%	11.1%	8.9%	5.4%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	9.0%	10.0%	6.3%	7.9%	13.7%	6.7%
12. 特に住みにくいとは思わない	14.9%	3.8%	17.1%	14.3%	21.8%	21.5%
その他	3.0%	1.3%	3.6%	3.2%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	1.3%	6.3%	4.0%	11.3%	18.1%

地域別では、高嶺地域において「6. 娯楽・文化施設が少ない」と答えた割合が42.2%と他の地域と比べて高くなっている。また、三和地域においては、「2. 交通の便が悪い」と答えた割合が44.0%と、他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 自然環境に恵まれていない	3.8%	0.9%	2.4%	0.0%	0.0%
2. 交通の便が悪い	20.3%	17.1%	23.4%	32.8%	44.0%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	21.5%	9.0%	21.4%	18.8%	24.0%
4. 日用品の買い物が不便	3.8%	2.7%	2.4%	6.3%	14.7%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	29.7%	24.3%	21.8%	29.7%	32.0%
6. 娯楽・文化施設が少ない	39.9%	27.9%	31.0%	42.2%	21.3%
7. 働く場が少ない	27.8%	16.2%	19.8%	32.8%	20.0%
8. 税金や公共料金が高い	46.2%	34.2%	30.6%	34.4%	50.7%
9. 防災・防犯面で不安がある	22.2%	26.1%	14.7%	10.9%	16.0%
10. 子育て、教育環境が悪い	13.9%	6.3%	11.5%	12.5%	14.7%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	10.8%	6.3%	7.1%	9.4%	14.7%
12. 特に住みにくいとは思わない	13.9%	21.6%	18.3%	10.9%	13.3%
その他	3.2%	0.9%	2.0%	0.0%	0.0%
無回答	4.4%	8.1%	9.1%	12.5%	9.3%

●「その他」の回答

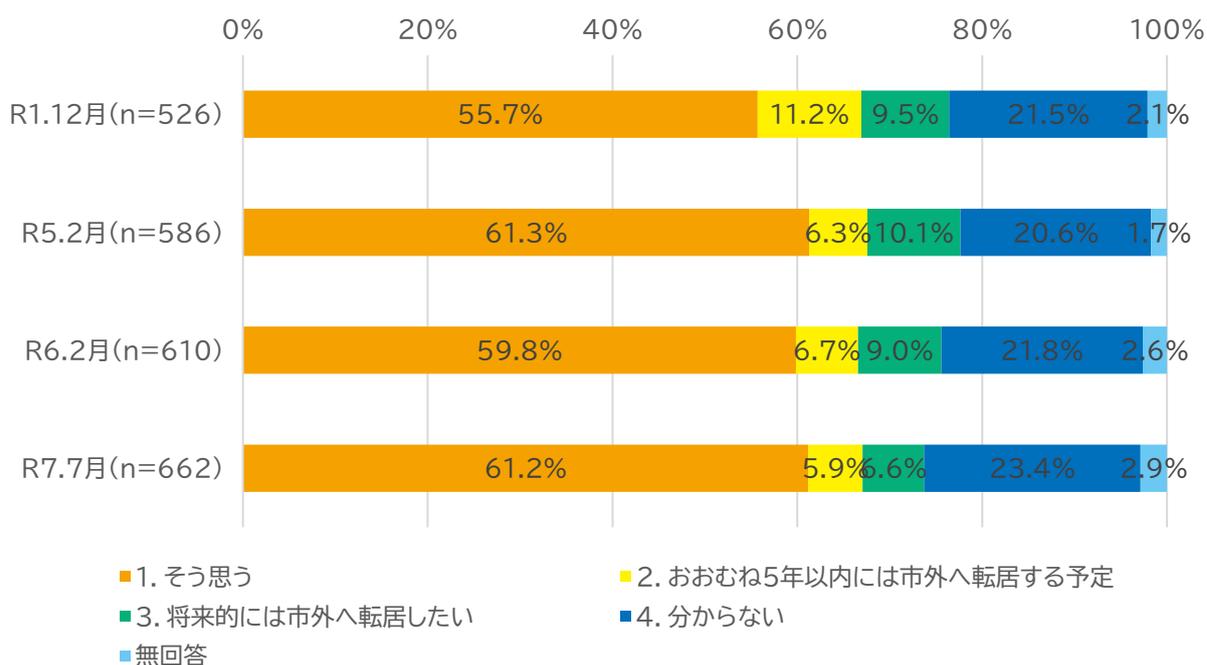
- ・ 習い事をしたくても市外に行かないと無い。(スポーツクラブ、音楽教室、語学教室などあっても数が少なく選択肢が乏しい)飲食店も少なくランチに困る。糸満市で飲食店の開業を嫌う傾向がある。そこを何とかできないものか。
- ・ ガラが悪い、朝方酔っ払いが道端で寝ている。ポイ捨てゴミが非常に多い
- ・ 6.とはちょっと違うけど、居酒屋(チェーン系も含めて)やファミレスなど、家族連れ、友達同士のコミュニケーションを図れる場が隣の豊見城市や那覇市に比べたら、まだまだ少ないと思います。糸満市にファミレスがまだまだ少ないので、友達を糸満市に誘いにくいって言う面ではちょっと残念、かなあ。とにかく、チェーン系の居酒屋も増やして欲しい。あとはガストややよい軒なども糸満市に欲しい。
- ・ Q22 は、旧摩文仁村内で思う、私見の回答です。
- ・ 小学校までが遠く送り迎えできない、最近外国人(東南アジア系)含む不良が多くて治安が心配、図書館、美術館、博物館などにアクセスしづらい、皮膚科や眼科が少ない、混んでいる、
- ・ 自転車の盗難が多、小学生ぐらいの子供の治安や道路の真ん中を走る(自転車で)
- ・ 地域の公園に遊具が少なすぎて、子ども達が楽しめない。
- ・ 外国人移住者や留学生が増え治安が悪化している為
- ・ 不良、不審者が多い
- ・ 税金が高い。市民のモラル意識が低い、付き合いづらい。地域性なのか子どもの非行傾向が他の地域より強い感じがする。この地域で育ち友達もいるため市内に住んでいるが、それ以外は特に魅力は感じない。
- ・ 停電と道路の冠水の頻度が高い。復旧が遅い。
- ・ 街灯が少ない
- ・ バスが西崎3丁目にあまりない(回数)
- ・ 近隣に家もたくさん建っているのに、なぜ、調整区域というだけで下水道を整備しないのか。それは抜きで下水道は推進されるべきでは。
- ・ 車がないとちょっと不便
- ・ バスの時間を延長して欲しい

**[問 3-4 単一回答]あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。**

<関連する政策:全て>

「1. そう思う」と答えた割合が 61.2%と最も高く、次いで「4. 分からない」23.4%、「3. 将来的には市外へ転居したい」6.6%、「2. おおむね 5 年以内には市外へ転居する予定」5.9%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「1. そう思う」と答えた割合が55.7%から 61.2%と 5.5 ポイント増加している。一方、「2. おおむね 5 年以内には市外へ転居する予定」と答えた割合は 11.2%から 5.9%と 5.3 ポイント減少している。

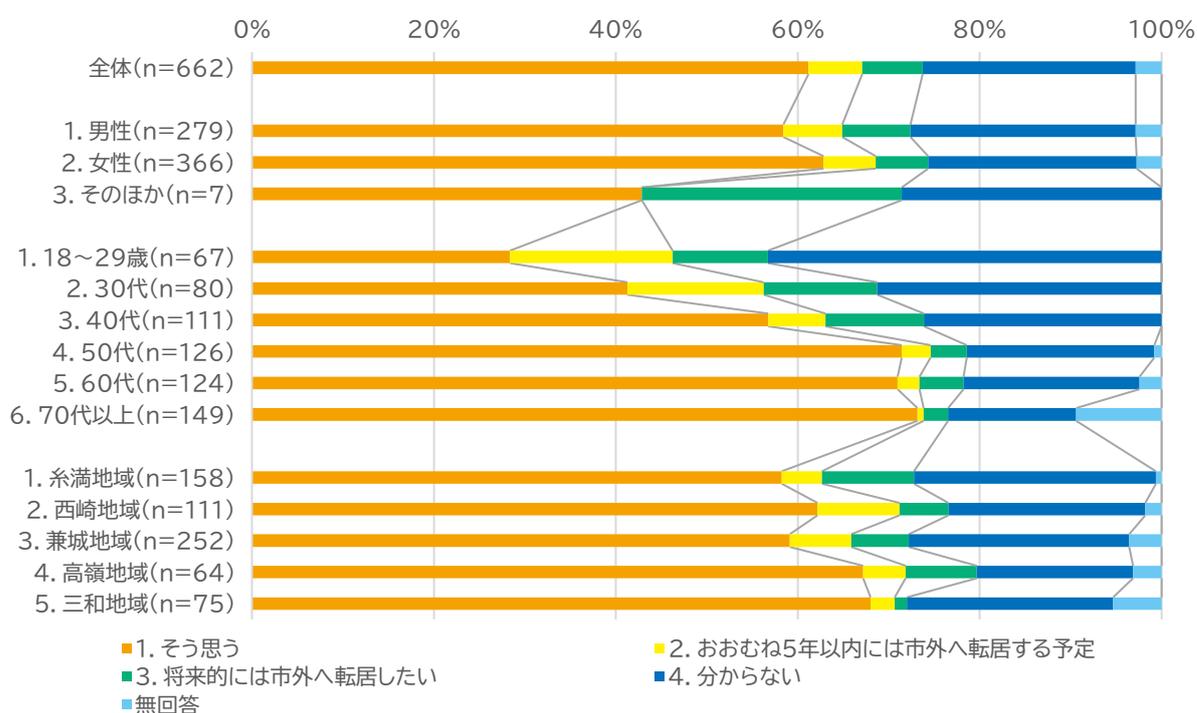


	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)	R7.7月 (n=662)
1. そう思う	55.7%	61.3%	59.8%	61.2%
2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定	11.2%	6.3%	6.7%	5.9%
3. 将来的には市外へ転居したい	9.5%	10.1%	9.0%	6.6%
4. 分からない	21.5%	20.6%	21.8%	23.4%
無回答	2.1%	1.7%	2.6%	2.9%

男女別では、「1. そう思う」と答えた割合が男性 58.4%、女性 62.8%と女性が高くなっている。一方、「3. 将来的には市外へ転居したい」と答えた割合が男性 7.5%、女性 5.7%と男性が高くなっている。

年代別では、18～29才で「1. そう思う」と答えた割合が 28.4%(全体 61.2%)と他の年代と比べて低くなっている一方、「2. おおむね 5 年以内には市外へ転居する予定」と答えた割合は 17.9%(全体 5.9%)と他の年代と比べて高くなっている。30 代においては、「3. 将来的には市外へ転居したい」と答えた割合が、12.5%(全体 6.6%)と他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、糸満地域において「3. 将来的には市外へ転居したい」と答えた割合が 10.1%(全体 6.6%)と他の地域と比べて高くなっている。



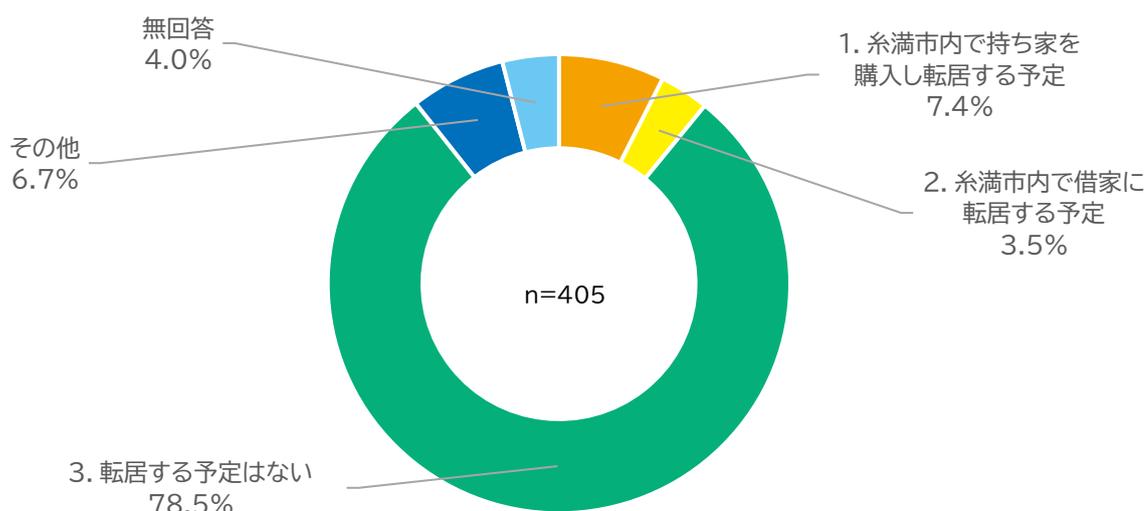
	1. そう思う	2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定	3. 将来的には市外へ転居したい	4. 分からない	無回答
全体(n=662)	61.2%	5.9%	6.6%	23.4%	2.9%
1. 男性(n=279)	58.4%	6.5%	7.5%	24.7%	2.9%
2. 女性(n=366)	62.8%	5.7%	5.7%	23.0%	2.7%
3. そのほか(n=7)	42.9%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%
1. 18～29歳(n=67)	28.4%	17.9%	10.4%	43.3%	0.0%
2. 30代(n=80)	41.3%	15.0%	12.5%	31.3%	0.0%
3. 40代(n=111)	56.8%	6.3%	10.8%	26.1%	0.0%
4. 50代(n=126)	71.4%	3.2%	4.0%	20.6%	0.8%
5. 60代(n=124)	71.0%	2.4%	4.8%	19.4%	2.4%
6. 70代以上(n=149)	73.2%	0.7%	2.7%	14.1%	9.4%
1. 糸満地域(n=158)	58.2%	4.4%	10.1%	26.6%	0.6%
2. 西崎地域(n=111)	62.2%	9.0%	5.4%	21.6%	1.8%
3. 兼城地域(n=252)	59.1%	6.7%	6.3%	24.2%	3.6%
4. 高嶺地域(n=64)	67.2%	4.7%	7.8%	17.2%	3.1%
5. 三和地域(n=75)	68.0%	2.7%	1.3%	22.7%	5.3%

**[問 3-5 単一回答]「そう思う」を選択した方※は、今後の居住予定について教えてください。**

※[問 3-4 単一回答]あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。

<関連する政策:第 4 章 政策 4>

「3. 転居する予定はない」と答えた割合が 78.5%と最も高く、次いで「1. 糸満市内で持ち家を購入し転居する予定」7.4%となっている。

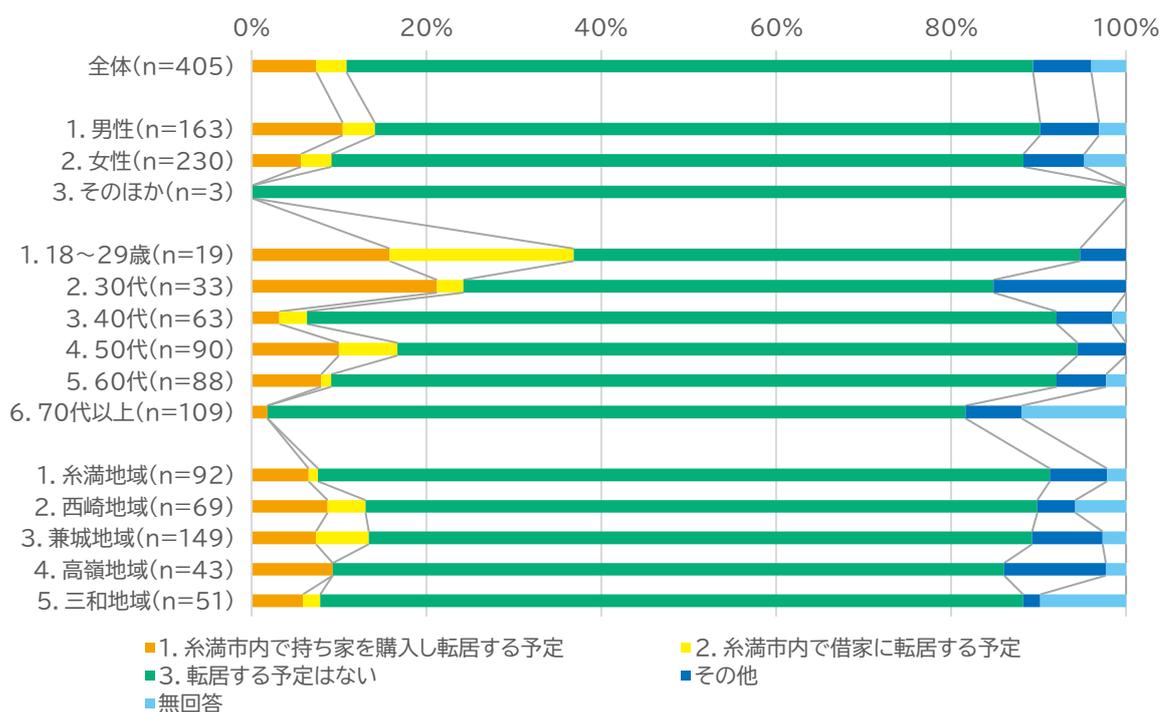


選択項目	回答数	比率
1. 糸満市内で持ち家を購入し転居する予定	30	7.4%
2. 糸満市内で借家に転居する予定	14	3.5%
3. 転居する予定はない	318	78.5%
その他	27	6.7%
無回答	16	4.0%
合計	405	100.0%

男女別では、「1. 糸満市内で持ち家を購入し転居する予定」と答えた割合が男性 10.4%、女性 5.7%と男性が高くなっている。一方、「3. 転居する予定はない」と答えた割合は男性 76.1%、女性 79.1%と女性が高くなっている。

年代別では、18～29才で「2. 糸満市内で借家に転居する予定」と答えた割合が 21.1%(全体 3.5%)と、他の年代と比べて高くなっている。30代においては、「1. 糸満市内で持ち家を購入し転居する予定」と答えた割合が、21.2%(全体 7.4%)と他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、高嶺地域において「1. 糸満市内で持ち家を購入し転居する予定」と答えた割合が、9.3%(全体 7.4%)と他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満市内で 持ち家を購入し 転居する予定	2. 糸満市内で借 家に転居する予定	3. 転居する予定 はない	その他	無回答
全体(n=405)	7.4%	3.5%	78.5%	6.7%	4.0%
1. 男性(n=163)	10.4%	3.7%	76.1%	6.7%	3.1%
2. 女性(n=230)	5.7%	3.5%	79.1%	7.0%	4.8%
3. そのほか(n=3)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
1. 18～29歳(n=19)	15.8%	21.1%	57.9%	5.3%	0.0%
2. 30代(n=33)	21.2%	3.0%	60.6%	15.2%	0.0%
3. 40代(n=63)	3.2%	3.2%	85.7%	6.3%	1.6%
4. 50代(n=90)	10.0%	6.7%	77.8%	5.6%	0.0%
5. 60代(n=88)	8.0%	1.1%	83.0%	5.7%	2.3%
6. 70代以上(n=109)	1.8%	0.0%	79.8%	6.4%	11.9%
1. 糸満地域(n=92)	6.5%	1.1%	83.7%	6.5%	2.2%
2. 西崎地域(n=69)	8.7%	4.3%	76.8%	4.3%	5.8%
3. 兼城地域(n=149)	7.4%	6.0%	75.8%	8.1%	2.7%
4. 高嶺地域(n=43)	9.3%	0.0%	76.7%	11.6%	2.3%
5. 三和地域(n=51)	5.9%	2.0%	80.4%	2.0%	9.8%

●「その他」の回答

- ・ 団地の建て替えで一時引っ越すが、また同じ団地に住みたい
- ・ 実家(持ち家)に転居予定
- ・ 実家に戻る
- ・ 借家から実家暮らしへ。
- ・ 転勤の可能性あり
- ・ 糸満と他地域を行き来する可能性もある。
- ・ 持ち家がある
- ・ 実家
- ・ 持ち家があるから
- ・ 住み慣れてる
- ・ 持ち家
- ・ 子どもが近くに住んでいる
- ・ 持ち家があるため
- ・ 持ち家ゆえ
- ・ 現状持ち家
- ・ いろんな課題があり、まだ先が読めない
- ・ 考えていない
- ・ 実家に転居の予定

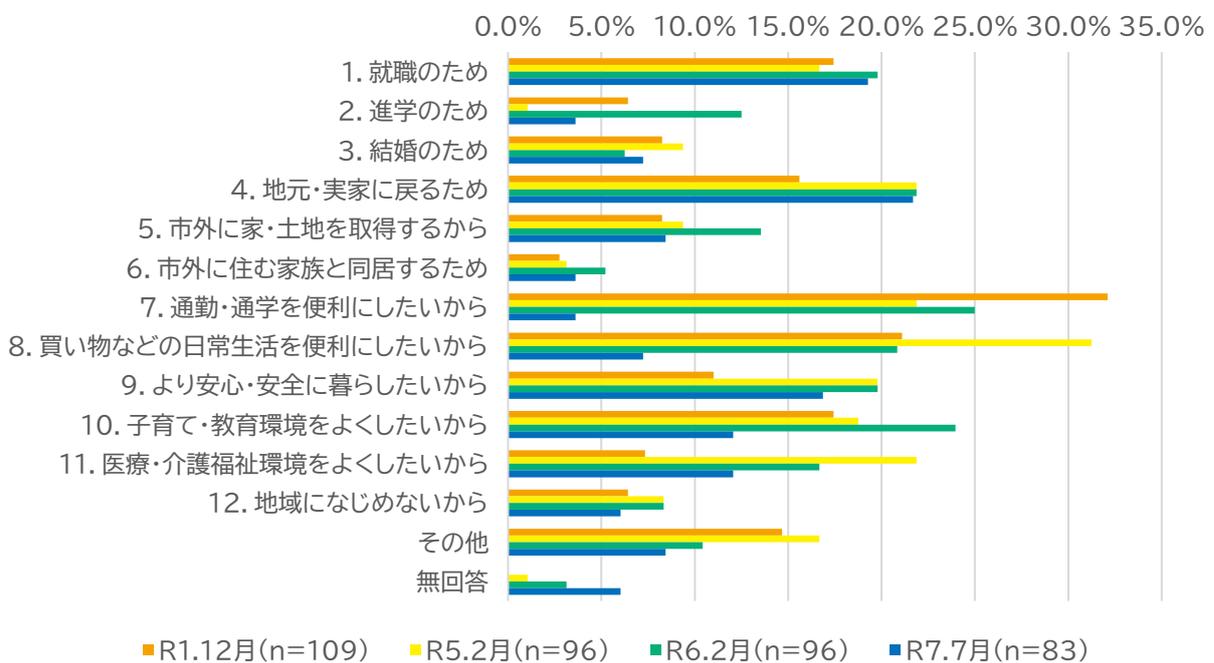
**[問 3-6 複数回答]「おおむね5年以内には市外へ転居する予定」、「将来的には市外へ転居したい」を選択した方※は、その理由を教えてください。**

※[問 3-4 単一回答]あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。

<関連する政策:全て>

「4. 地元・実家に戻るため」と答えた割合が 21.7%と最も高く、次いで「1. 就職のため」19.3%、「9. より安心・安全に暮らしたいから」16.9%となっている。

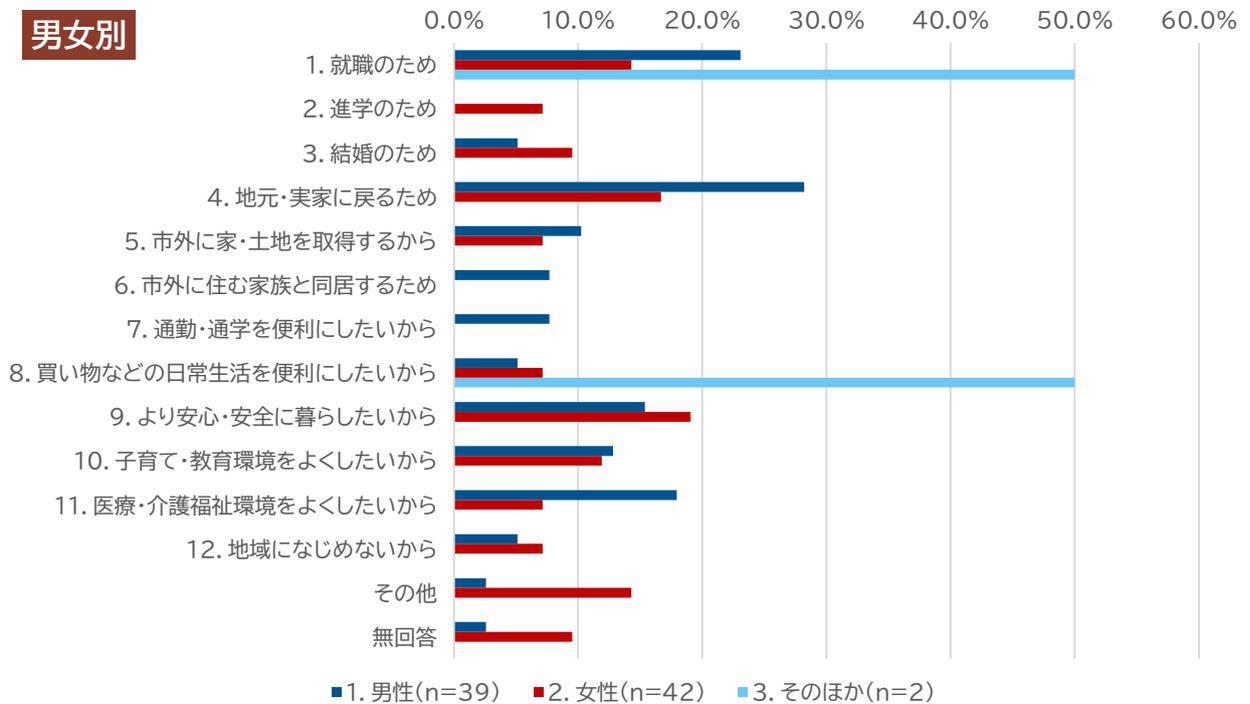
令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「9. より安心・安全に暮らしたいから」と答えた割合が 11.0%から 16.9%と 5.9 ポイント増加している。一方、「7. 通勤・通学を便利にしたいから」と答えた割合は 32.1%から 3.6%と 28.5 ポイント減少している。



	R1.12月 (n=109)	R5.2月 (n=96)	R6.2月 (n=96)	R7.7月 (n=83)
1. 就職のため	17.4%	16.7%	19.8%	19.3%
2. 進学のため	6.4%	1.0%	12.5%	3.6%
3. 結婚のため	8.3%	9.4%	6.3%	7.2%
4. 地元・実家に戻るため	15.6%	21.9%	21.9%	21.7%
5. 市外に家・土地を取得するから	8.3%	9.4%	13.5%	8.4%
6. 市外に住む家族と同居するため	2.8%	3.1%	5.2%	3.6%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	32.1%	21.9%	25.0%	3.6%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	21.1%	31.3%	20.8%	7.2%
9. より安心・安全に暮らしたいから	11.0%	19.8%	19.8%	16.9%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	17.4%	18.8%	24.0%	12.0%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	7.3%	21.9%	16.7%	12.0%
12. 地域になじめないから	6.4%	8.3%	8.3%	6.0%
その他	14.7%	16.7%	10.4%	8.4%
無回答	0.0%	1.0%	3.1%	6.0%

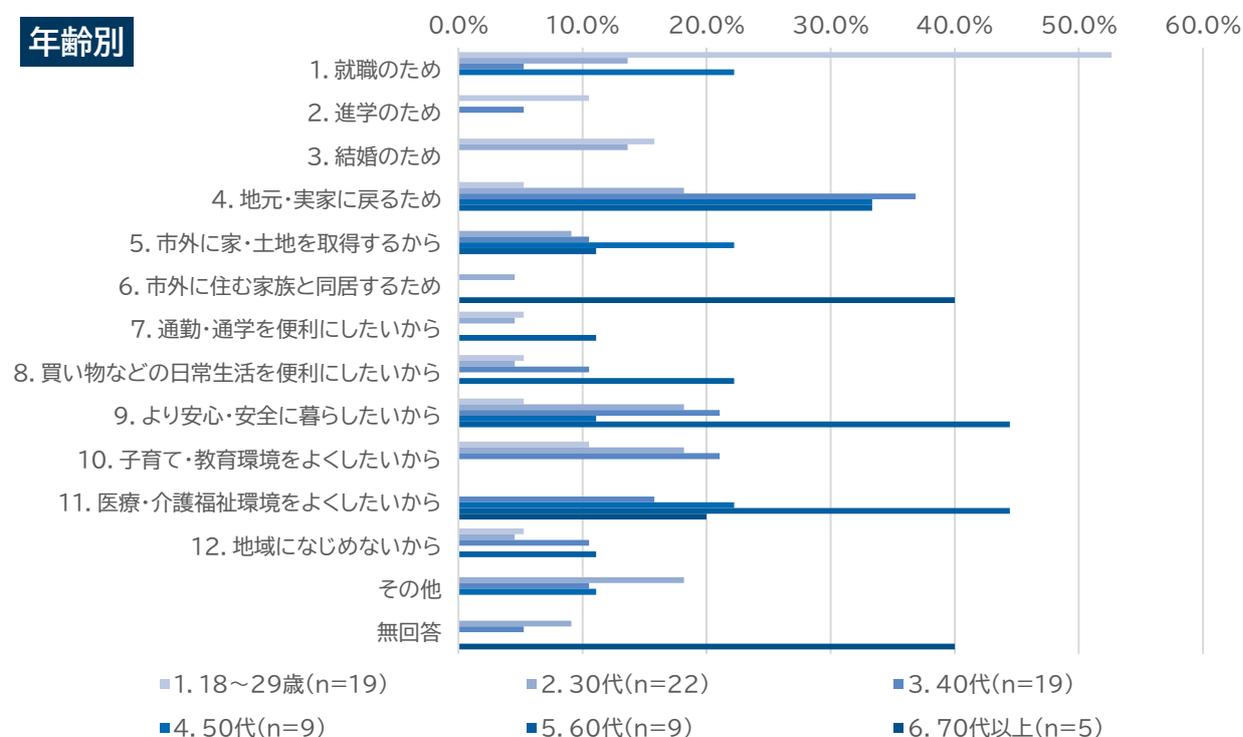
男女別では、各性別のサンプル数が50未満であることに留意する必要があるが、「4. 地元・実家に戻るため」と答えた割合が男性28.2%、女性16.7%と男性が高くなっている。一方、「9. より安心・安全に暮らしたいから」と答えた割合は男性15.4%、女性19.0%と女性が高くなっている。

### 男女別



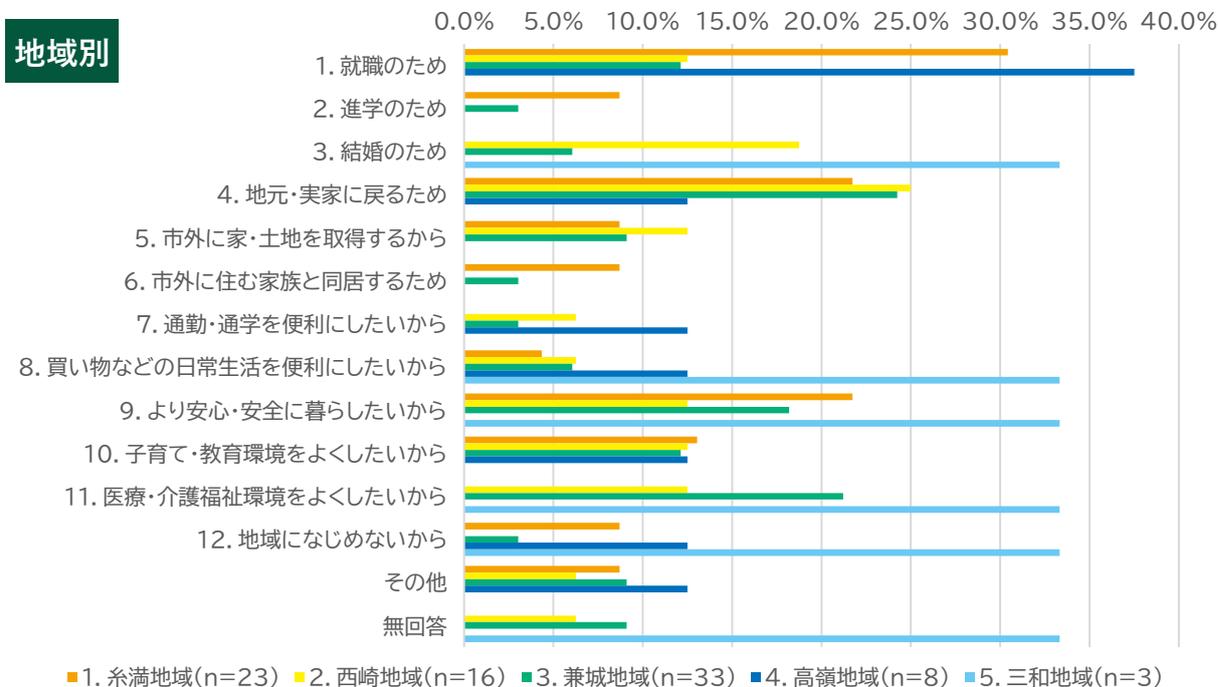
	1. 男性(n=39)	2. 女性(n=42)	3. その他(n=2)
1. 就職のため	23.1%	14.3%	50.0%
2. 進学のため	0.0%	7.1%	0.0%
3. 結婚のため	5.1%	9.5%	0.0%
4. 地元・実家に戻るため	28.2%	16.7%	0.0%
5. 市外に家・土地を取得するから	10.3%	7.1%	0.0%
6. 市外に住む家族と同居するため	7.7%	0.0%	0.0%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	7.7%	0.0%	0.0%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	5.1%	7.1%	50.0%
9. より安心・安全に暮らしたいから	15.4%	19.0%	0.0%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	12.8%	11.9%	0.0%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	17.9%	7.1%	0.0%
12. 地域になじめないから	5.1%	7.1%	0.0%
その他	2.6%	14.3%	0.0%
無回答	2.6%	9.5%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数が30以下であることに留意する必要があるが、18～29才において「1. 就職のため」52.6%、「3. 結婚のため」15.8%の項目が他の年代と比べて高くなっている。また、60代では、「11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから」と答えた割合が44.4%と、他の年代と比べて高くなっている。



	1. 18~29歳 (n=19)	2. 30代 (n=22)	3. 40代 (n=19)	4. 50代 (n=9)	5. 60代 (n=9)	6. 70代以上 (n=5)
1. 就職のため	52.6%	13.6%	5.3%	22.2%	0.0%	0.0%
2. 進学のため	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 結婚のため	15.8%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 地元・実家に戻るため	5.3%	18.2%	36.8%	33.3%	33.3%	0.0%
5. 市外に家・土地を取得するから	0.0%	9.1%	10.5%	22.2%	11.1%	0.0%
6. 市外に住む家族と同居するため	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	5.3%	4.5%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	5.3%	4.5%	10.5%	0.0%	22.2%	0.0%
9. より安心・安全に暮らしたいから	5.3%	18.2%	21.1%	11.1%	44.4%	0.0%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	10.5%	18.2%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	0.0%	0.0%	15.8%	22.2%	44.4%	20.0%
12. 地域になじめないから	5.3%	4.5%	10.5%	0.0%	11.1%	0.0%
その他	0.0%	18.2%	10.5%	11.1%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	9.1%	5.3%	0.0%	0.0%	40.0%

地域別では、各地域のサンプル数が40以下であることに留意する必要があるが、三和地域においては、「9. より安心・安全に暮らしたいから」と答えた割合が33.3%、「12. 地域になじめないから」と答えた割合が33.3%と、他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=23)	2. 西崎地域 (n=16)	3. 兼城地域 (n=33)	4. 高嶺地域 (n=8)	5. 三和地域 (n=3)
1. 就職のため	30.4%	12.5%	12.1%	37.5%	0.0%
2. 進学のため	8.7%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%
3. 結婚のため	0.0%	18.8%	6.1%	0.0%	33.3%
4. 地元・実家に戻るため	21.7%	25.0%	24.2%	12.5%	0.0%
5. 市外に家・土地を取得するから	8.7%	12.5%	9.1%	0.0%	0.0%
6. 市外に住む家族と同居するため	8.7%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	0.0%	6.3%	3.0%	12.5%	0.0%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	4.3%	6.3%	6.1%	12.5%	33.3%
9. より安心・安全に暮らしたいから	21.7%	12.5%	18.2%	0.0%	33.3%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	13.0%	12.5%	12.1%	12.5%	0.0%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	0.0%	12.5%	21.2%	0.0%	33.3%
12. 地域になじめないから	8.7%	0.0%	3.0%	12.5%	33.3%
その他	8.7%	6.3%	9.1%	12.5%	0.0%
無回答	0.0%	6.3%	9.1%	0.0%	33.3%

●「その他」の回答

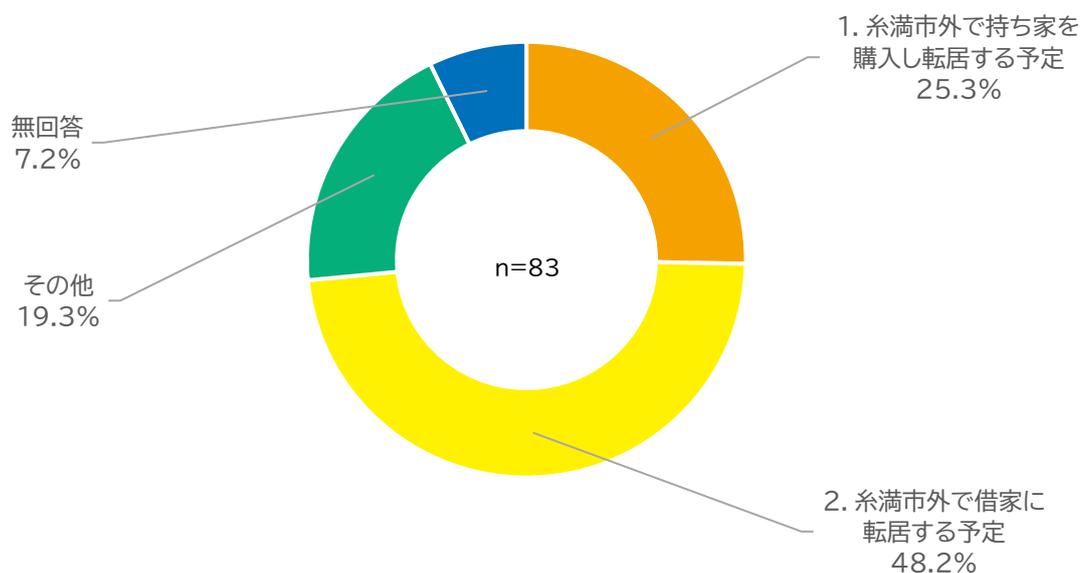
- ・ 転勤のため
- ・ 糸満市に住む恩恵を特に感じない。住民税が他と比べて高い
- ・ 配偶者の転勤がある為
- ・ 中学校の学力が低すぎる
- ・ 転勤のため
- ・ 趣味のため。サッカークラブの地域に将来移住したい。
- ・ 住民税が高い
- ・ 県外に住んでみたい。いろいろな所で住んでみたい。
- ・ 田舎で生活がしたい
- ・ 転勤のため

**[問 3-7 単一回答]**「おおむね5年以内には市外へ転居する予定」、「将来的には市外へ転居したい」を選択した方※は、今後の居住予定について教えてください。

※[問 3-4 単一回答]あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。

<関連する政策:第4章 政策4>

「2. 糸満市外で借家に転居する予定」と答えた割合が48.2%と最も高く、次いで「1. 糸満市外で持ち家を購入し転居する予定」25.3%となっている。



選択項目	回答数	比率
1. 糸満市外で持ち家を購入し転居する予定	21	25.3%
2. 糸満市外で借家に転居する予定	40	48.2%
その他	16	19.3%
無回答	6	7.2%
合計	83	100.0%

各属性のサンプル数が50未満であることに留意する必要があるが、男女別では、「1. 糸満市外で持ち家を購入し転居する予定」と答えた割合が男性35.9%、女性16.7%と男性が高くなっている。一方、「2. 糸満市外で借家に転居する予定」と答えた割合は男性38.5%、女性54.8%と女性が高くなっている。

年代別では、18～29才で「2. 糸満市外で借家に転居する予定」と答えた割合が68.4%(全体48.2%)と、他の年代と比べて高くなっている。70代以上においては、「1. 糸満市外で持ち家を購入し転居する予定」と答えた割合が、40.0%(全体25.3%)と他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、「2. 糸満市外で借家に転居する予定」と答えた割合が、高嶺地域で87.5%(全体48.2%)と、他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満市外で持ち家を購入し転居する予定	2. 糸満市外で借家に転居する予定	その他	無回答
全体(n=92)	25.3%	48.2%	19.3%	7.2%
1. 男性(n=42)	35.9%	38.5%	20.5%	5.1%
2. 女性(n=48)	16.7%	54.8%	19.0%	9.5%
3. そのほか(n=2)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
1. 18～29歳(n=19)	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%
2. 30代(n=23)	31.8%	45.5%	13.6%	9.1%
3. 40代(n=22)	26.3%	52.6%	15.8%	5.3%
4. 50代(n=10)	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%
5. 60代(n=9)	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%
6. 70代以上(n=9)	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%
1. 糸満地域(n=23)	21.7%	56.5%	13.0%	8.7%
2. 西崎地域(n=18)	37.5%	37.5%	18.8%	6.3%
3. 兼城地域(n=38)	27.3%	39.4%	27.3%	6.1%
4. 高嶺地域(n=10)	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%
5. 三和地域(n=3)	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%

●「その他」の回答

- ・ 相手の持ち家
- ・ 実家
- ・ 県外へ
- ・ 県外に家族と持ち家がある
- ・ 県外
- ・ 実家に戻る
- ・ 未定
- ・ 県外に自宅を保有しているが、転勤のため
- ・ 主人の転勤で今回沖縄に来ているが、鹿児島に持ち家があるため3年後ぐらいにはまた鹿児島は帰る予定。
- ・ 実家に戻るため
- ・ わからない(今のところ)
- ・ 県外です

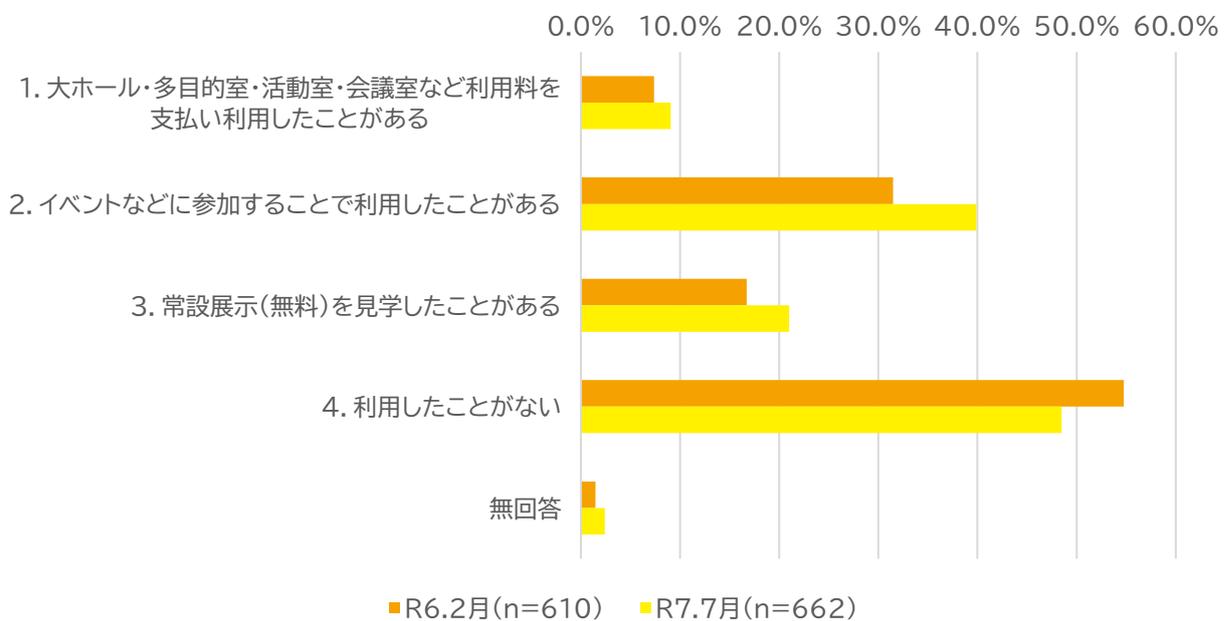
## ◆4. 日頃の暮らし(文化、公園、男女共同参画、自治会)について

**[問 4-1 複数回答]**観光客の誘客や地域文化の発展を目的として、「シャボン玉石けん くくる糸満」が 2022 年4月にオープンしました。くくる糸満を利用したことがありますか。

<関連する政策:第1章 政策4>

「4.利用したことがない」と答えた割合が 48.5%と最も高く、次いで「2. イベントなどに参加することで利用したことがある」39.9%、「3. 常設展示(無料)を見学したことがある」21.0%となっている。

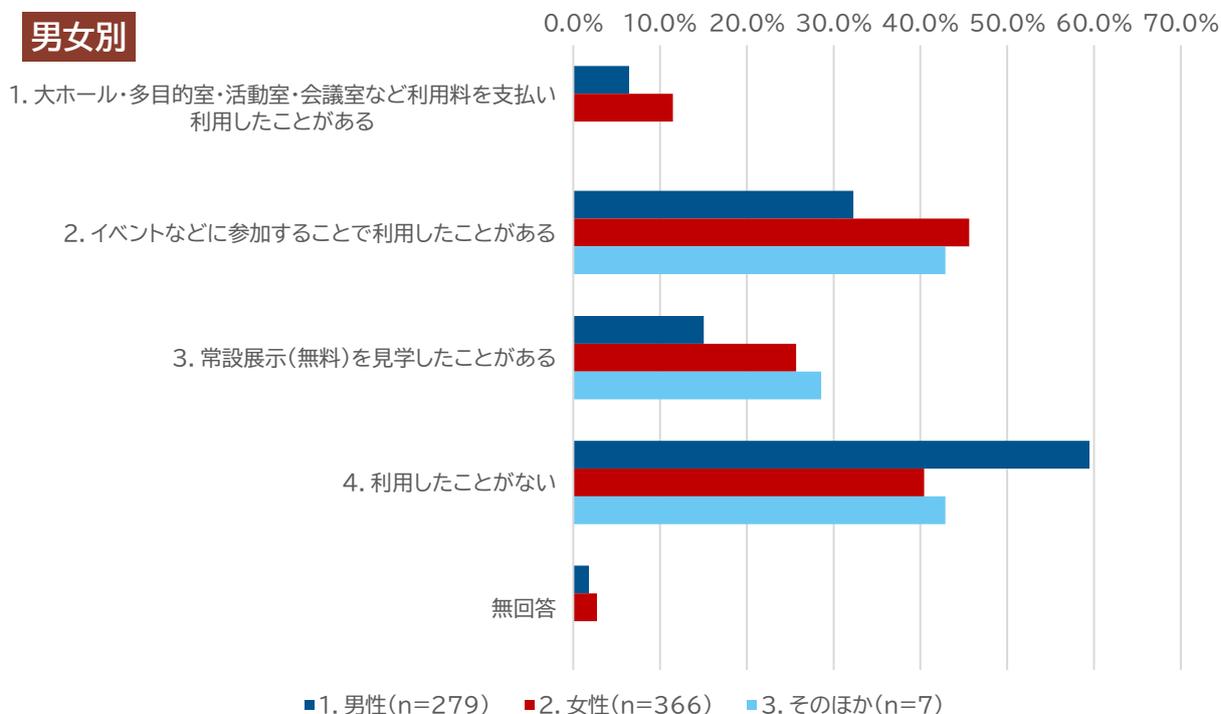
令和5年度(R6年2月)の調査と比較すると、「2. イベントなどに参加することで利用したことがある」と答えた割合が 31.5%から 39.9%と 8.4ポイント増加している。一方、「4. 利用したことがない」と答えた割合は 54.8%から 48.5%と 6.3ポイント減少している。



	R6.2月(n=610)	R7.7月(n=662)
1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある	7.4%	9.1%
2. イベントなどに参加することで利用したことがある	31.5%	39.9%
3. 常設展示(無料)を見学したことがある	16.7%	21.0%
4. 利用したことがない	54.8%	48.5%
無回答	1.5%	2.4%

男女別では、「4. 利用したことがない」と答えた割合が男性 59.5%、女性 40.4%と男性が高くなっている。一方、「4. 利用したことがない」以外の項目（「1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある」「2. イベントなどに参加することで利用したことがある」「3. 常設展示(無料)を見学したことがある」)においては、女性が高くなっている。

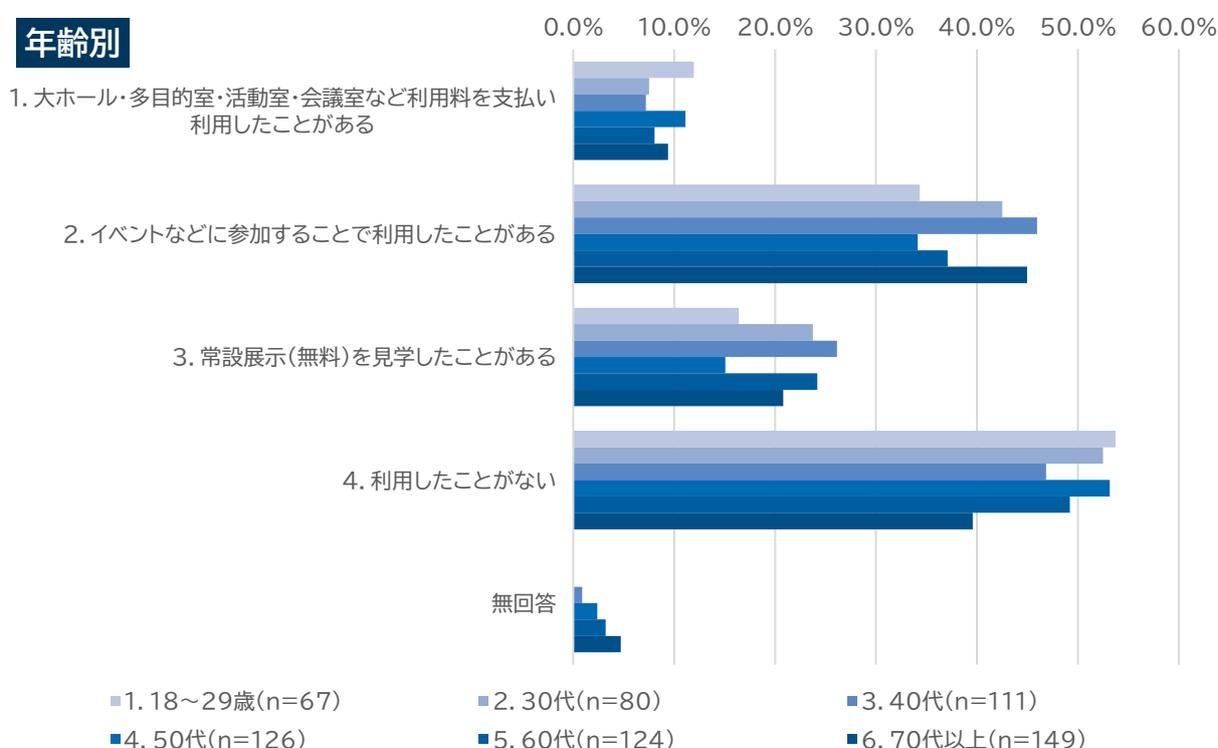
### 男女別



	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある	6.5%	11.5%	0.0%
2. イベントなどに参加することで利用したことがある	32.3%	45.6%	42.9%
3. 常設展示(無料)を見学したことがある	15.1%	25.7%	28.6%
4. 利用したことがない	59.5%	40.4%	42.9%
無回答	1.8%	2.7%	0.0%

年代別では、18～29才で「1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある」11.9%、「4. 利用したことがない」53.7%の項目が、他の年代と比べて高くなっている。また、40代で「2. イベントなどに参加することで利用したことがある」45.9%、「3. 常設展示(無料)を見学したことがある」26.1%の項目が他の年代と比べて高くなっている。

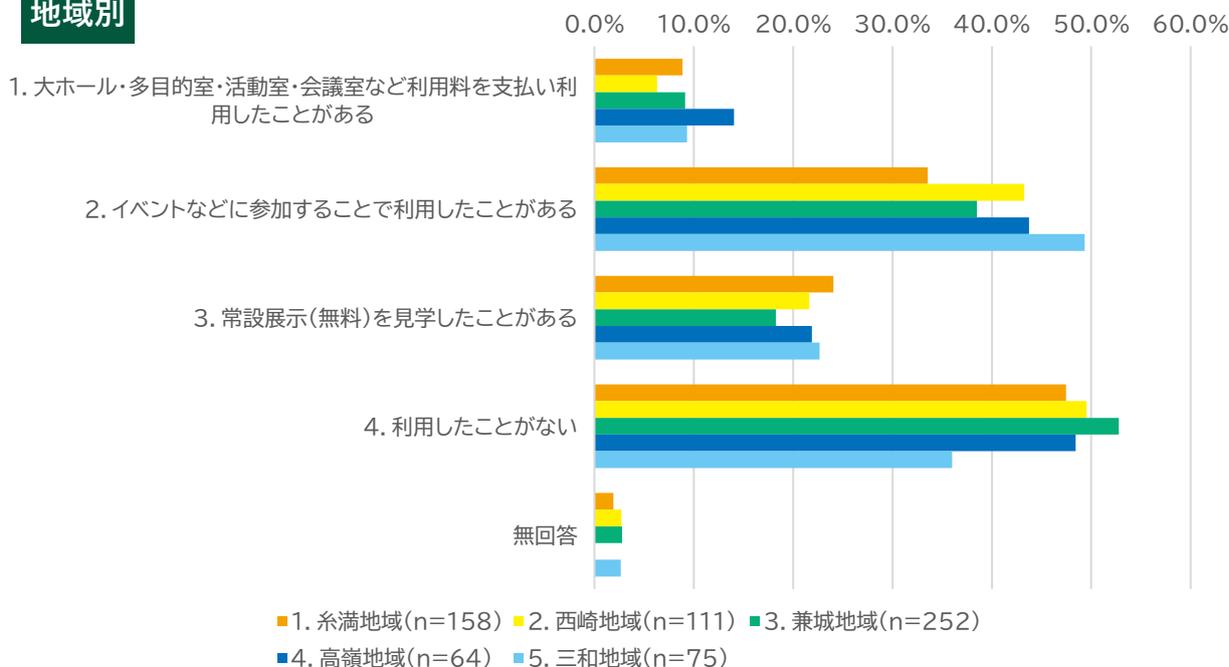
### 年齢別



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある	11.9%	7.5%	7.2%	11.1%	8.1%	9.4%
2. イベントなどに参加することで利用したことがある	34.3%	42.5%	45.9%	34.1%	37.1%	45.0%
3. 常設展示(無料)を見学したことがある	16.4%	23.8%	26.1%	15.1%	24.2%	20.8%
4. 利用したことがない	53.7%	52.5%	46.8%	53.2%	49.2%	39.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.9%	2.4%	3.2%	4.7%

地域別では、三和地域において「2. イベントなどに参加することで利用したことがある」と答えた割合が49.3%と、他の地域と比べて高くなっている。また、兼城地域においては「4. 利用したことがない」と答えた割合が52.8%と、他の地域と比べて高くなっている。

## 地域別



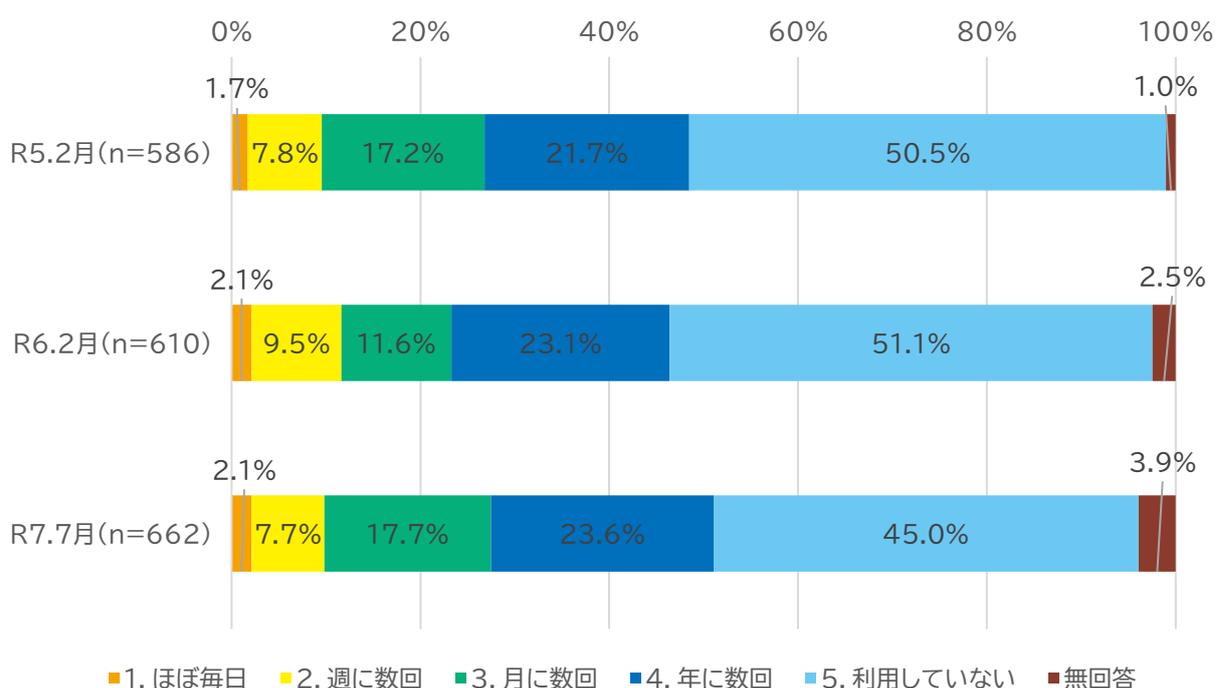
	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある	8.9%	6.3%	9.1%	14.1%	9.3%
2. イベントなどに参加することで利用したことがある	33.5%	43.2%	38.5%	43.8%	49.3%
3. 常設展示(無料)を見学したことがある	24.1%	21.6%	18.3%	21.9%	22.7%
4. 利用したことがない	47.5%	49.5%	52.8%	48.4%	36.0%
無回答	1.9%	2.7%	2.8%	0.0%	2.7%

**[問 4-2 単一回答]あなたは、市内の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。**

＜関連する政策:第4章 政策4＞

「5. 利用していない」と答えた割合が 45.0%と最も高く、次いで「4. 年に数回」23.6%、「3. 月に数回」17.7%となっている。

令和4年度(R5年2月)の調査と比較すると、「4. 年に数回」と答えた割合が 21.7%から 23.6%と 1.9ポイント増加している。一方、「5. 利用していない」と答えた割合は 50.5%から 45.0%と 5.5ポイント減少している。

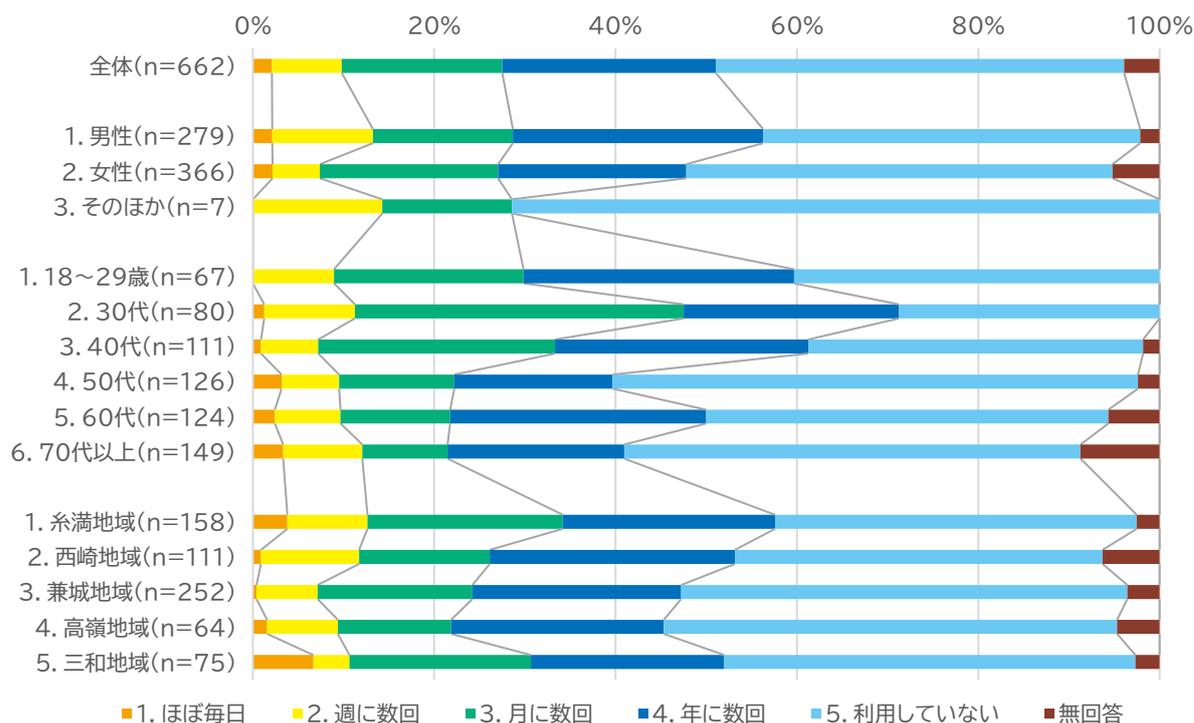


	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)	R7.7月 (n=662)
1. ほぼ毎日	1.7%	2.1%	2.1%
2. 週に数回	7.8%	9.5%	7.7%
3. 月に数回	17.2%	11.6%	17.7%
4. 年に数回	21.7%	23.1%	23.6%
5. 利用していない	50.5%	51.1%	45.0%
無回答	1.0%	2.5%	3.9%

男女別では、「5. 利用していない」と答えた割合が男性 41.6%、女性 47.0%と女性が高くなっている。一方で、「2. 週に数回」と答えた割合は男性 11.1%、女性 5.2%と男性が高くなっている。

年代別では、30代で「2. 週に数回」と答えた割合が 10.0%(全体 7.7%)、「3.月に数回」36.3%(全体 17.7%)と、他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、糸満地域において「3. 月に数回」と答えた割合が、21.5%(全体 17.7%)と他の地域と比べて高くなっている。また、高嶺地域においては「5. 利用していない」と答えた割合が 50.0%(全体 45.0%)と、他の地域と比べて高くなっている。



	1. ほぼ毎日	2. 週に数回	3. 月に数回	4. 年に数回	5. 利用していない	無回答
全体(n=662)	2.1%	7.7%	17.7%	23.6%	45.0%	3.9%
1. 男性(n=279)	2.2%	11.1%	15.4%	27.6%	41.6%	2.2%
2. 女性(n=366)	2.2%	5.2%	19.7%	20.8%	47.0%	5.2%
3. そのほか(n=7)	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	71.4%	0.0%
1. 18～29歳(n=67)	0.0%	9.0%	20.9%	29.9%	40.3%	0.0%
2. 30代(n=80)	1.3%	10.0%	36.3%	23.8%	28.8%	0.0%
3. 40代(n=111)	0.9%	6.3%	26.1%	27.9%	36.9%	1.8%
4. 50代(n=126)	3.2%	6.3%	12.7%	17.5%	57.9%	2.4%
5. 60代(n=124)	2.4%	7.3%	12.1%	28.2%	44.4%	5.6%
6. 70代以上(n=149)	3.4%	8.7%	9.4%	19.5%	50.3%	8.7%
1. 糸満地域(n=158)	3.8%	8.9%	21.5%	23.4%	39.9%	2.5%
2. 西崎地域(n=111)	0.9%	10.8%	14.4%	27.0%	40.5%	6.3%
3. 兼城地域(n=252)	0.4%	6.7%	17.1%	23.0%	49.2%	3.6%
4. 高嶺地域(n=64)	1.6%	7.8%	12.5%	23.4%	50.0%	4.7%
5. 三和地域(n=75)	6.7%	4.0%	20.0%	21.3%	45.3%	2.7%

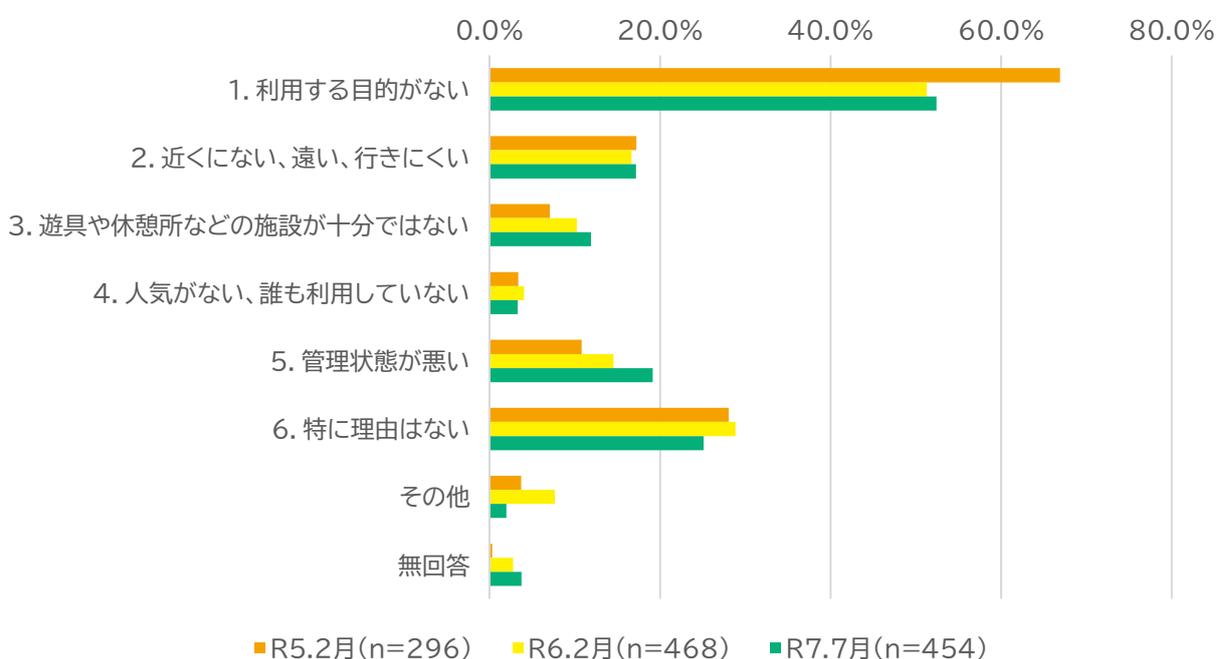
**[問 4-3 複数回答] 「年に数回」、「利用していない」を選択した※理由を教えてください。**

※[問 4-2 単一回答]あなたは、市内の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。

＜関連する政策:第4章 政策4＞

「1. 利用する目的がない」と答えた割合が52.4%と最も高く、次いで「6. 特に理由はない」25.1%、「5. 管理状態が悪い」19.2%となっている。

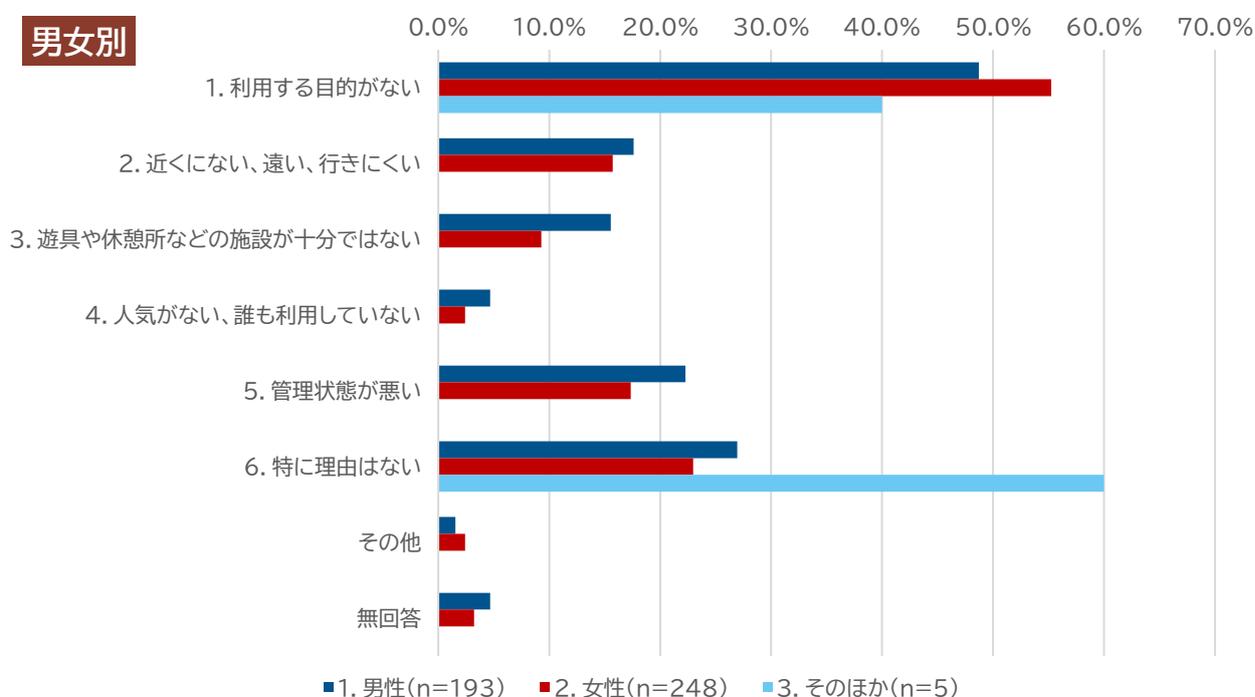
令和4年度(R5年2月)の調査と比較すると、「5. 管理状態が悪い」と答えた割合が10.8%から19.2%と8.4ポイント増加している。一方、「1. 利用する目的がない」と答えた割合は66.9%から52.4%と14.5ポイント減少している。



	R5.2月(n=296)	R6.2月(n=468)	R7.7月(n=454)
1. 利用する目的がない	66.9%	51.3%	52.4%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	17.2%	16.7%	17.2%
3. 遊具や休憩所などの施設が十分ではない	7.1%	10.3%	11.9%
4. 人気がない、誰も利用していない	3.4%	4.1%	3.3%
5. 管理状態が悪い	10.8%	14.5%	19.2%
6. 特に理由はない	28.0%	28.8%	25.1%
その他	3.7%	7.7%	2.0%
無回答	0.3%	2.8%	3.7%

男女別では、「1. 利用する目的がない」と答えた割合が男性 48.7%、女性 55.2%と女性が高くなっている。一方、「1. 利用する目的がない」以外の項目（「2. 近くにない、遠い、行きにくい」「3. 遊具や休憩所などの施設が十分ではない」「4. 人気がない、誰も利用していない」「5. 管理状態が悪い」「6. 特に理由はない」）においては、男性が高くなっている。

### 男女別

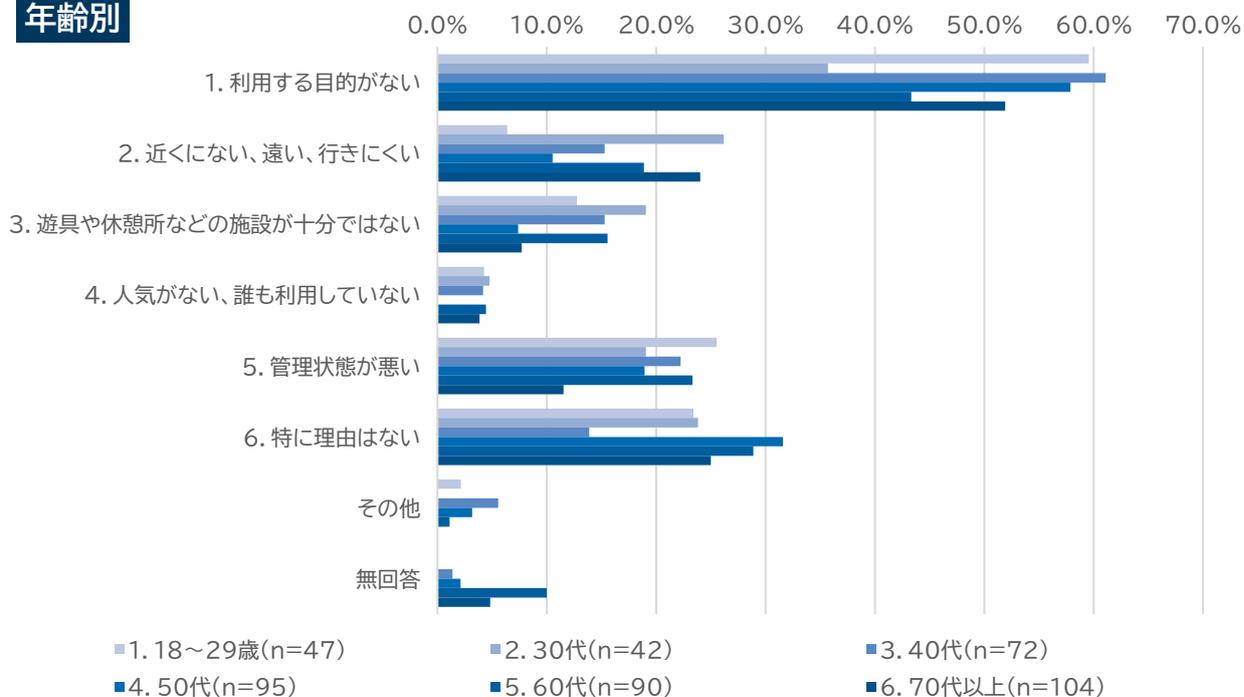


	1. 男性(n=193)	2. 女性(n=248)	3. そのほか(n=5)
1. 利用する目的がない	48.7%	55.2%	40.0%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	17.6%	15.7%	0.0%
3. 遊具や休憩所などの施設が十分ではない	15.5%	9.3%	0.0%
4. 人気がない、誰も利用していない	4.7%	2.4%	0.0%
5. 管理状態が悪い	22.3%	17.3%	0.0%
6. 特に理由はない	26.9%	23.0%	60.0%
その他	1.6%	2.4%	0.0%
無回答	4.7%	3.2%	0.0%

年代別では、18～29才で「5. 管理状態が悪い」と答えた割合が25.5%と、他の年代と比べて高くなっている。また、30代では「2. 近くにない、遠い、行きにくい」26.2%、「3. 遊具や休憩所などの施設が十分ではない」19.0%の項目が、他の年代と比べて高くなっている。

40代では「1. 利用する目的がない」と答えた割合が、61.1%と他の年代と比べて高くなっている。

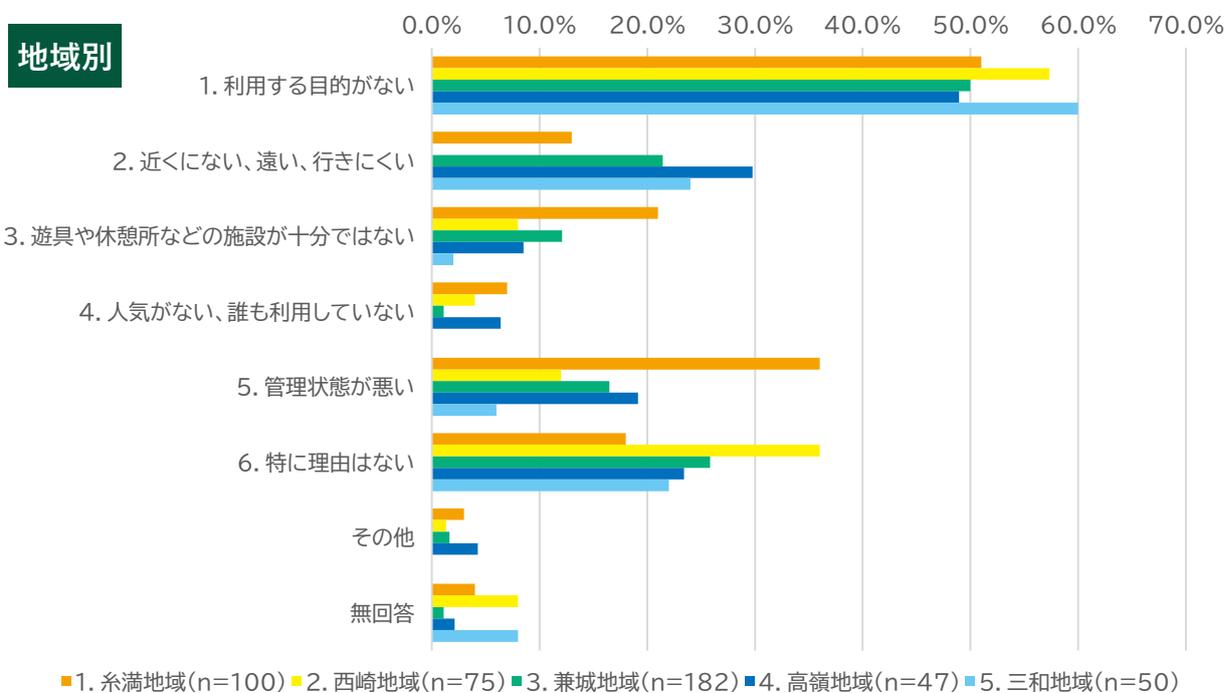
## 年齢別



	1. 18~29歳 (n=47)	2. 30代 (n=42)	3. 40代 (n=72)	4. 50代 (n=95)	5. 60代 (n=90)	6. 70代以上 (n=104)
1. 利用する目的がない	59.6%	35.7%	61.1%	57.9%	43.3%	51.9%
2. 近くにない、遠い、 行きにくい	6.4%	26.2%	15.3%	10.5%	18.9%	24.0%
3. 遊具や休憩所などの 施設が十分ではない	12.8%	19.0%	15.3%	7.4%	15.6%	7.7%
4. 人気がない、誰も 利用していない	4.3%	4.8%	4.2%	0.0%	4.4%	3.8%
5. 管理状態が悪い	25.5%	19.0%	22.2%	18.9%	23.3%	11.5%
6. 特に理由はない	23.4%	23.8%	13.9%	31.6%	28.9%	25.0%
その他	2.1%	0.0%	5.6%	3.2%	1.1%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	1.4%	2.1%	10.0%	4.8%

地域別では、「2. 近くにない、遠い、行きにくい」と答えた割合が、高嶺地域で29.8%と他の地域と比べて高くなっている。

また、糸満地域において「3. 遊具や休憩所などの施設が十分ではない」21.0%、「5. 管理状態が悪い」36.0%の項目が、他の地域と比べて高くなっている。



	1.糸満地域 (n=100)	2.西崎地域 (n=75)	3.兼城地域 (n=182)	4.高嶺地域 (n=47)	5.三和地域 (n=50)
1. 利用する目的がない	51.0%	57.3%	50.0%	48.9%	60.0%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	13.0%	0.0%	21.4%	29.8%	24.0%
3. 遊具や休憩所などの施設が十分ではない	21.0%	8.0%	12.1%	8.5%	2.0%
4. 人気がない、誰も利用していない	7.0%	4.0%	1.1%	6.4%	0.0%
5. 管理状態が悪い	36.0%	12.0%	16.5%	19.1%	6.0%
6. 特に理由はない	18.0%	36.0%	25.8%	23.4%	22.0%
その他	3.0%	1.3%	1.6%	4.3%	0.0%
無回答	4.0%	8.0%	1.1%	2.1%	8.0%

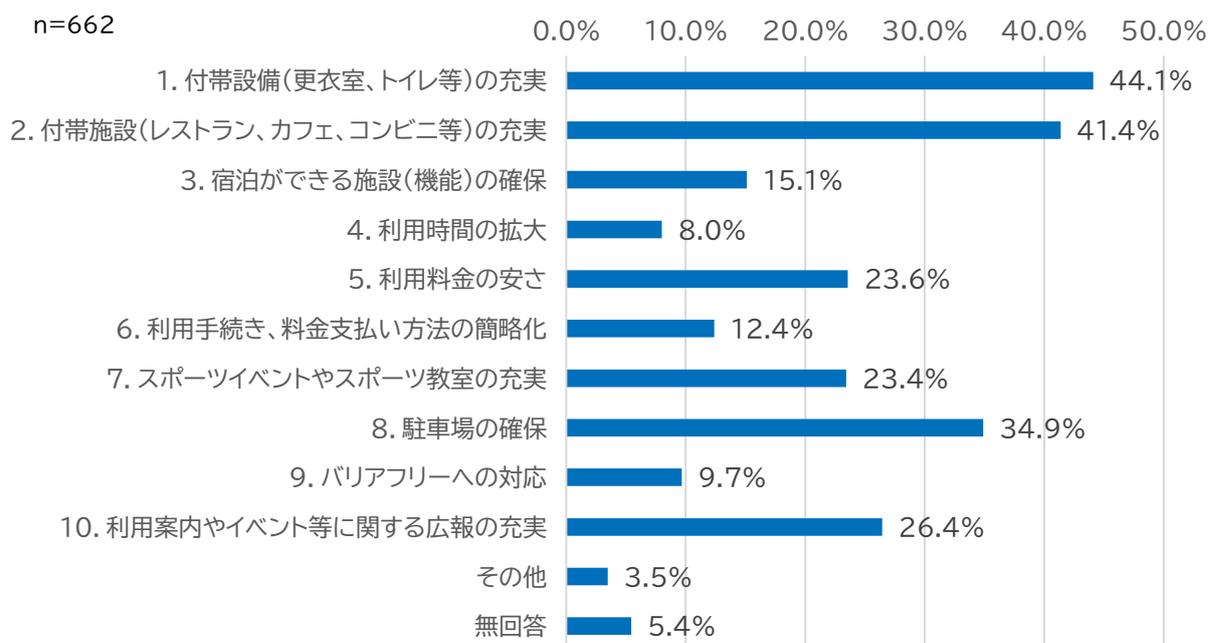
●「その他」の回答

- ・ 子どもがまだ小さく、利用機会がない
- ・ 遊具を使う年齢の子供をもっていないので。かと言ってウォーキングなどに使うには状態が悪い。
- ・ 子供達がみんな成人してから公園は行ってません孫ができたらずび行きたいです
- ・ そもそも、公園に行って何をやる…って理由がない。公園内にスタバがあれば立ち寄れる理由は出来るかなとは思いますが。那覇市の漫湖公園にスタバが出来たと聞いて羨ましく思いました。たとえばですが、ホテルスポーツロッジ糸満の建物が老朽化が進行してるためにずっと使われてない、と聞いています。その建物を壊して、そこに老若男女問わず立ち寄れる施設を作ってはいかがかな、と思います。そうすれば、西崎運動公園に足を運ぶ方々も自然と増えるのではないのでしょうか。幸い、331道路に面してるので、レンタカーに乗ってる観光客の目にも留まる場所だと思うので、それを生かして集客を図って欲しいです。糸満市民として応援しています。
- ・ 個人的な、参考意見ですが⇒ある公園は、利用者が居ないのに【無断駐車？】と思われる車が多々あり、車を止め難い状況も見られますが？【※常態化に関しては不明】
- ・ 人が多すぎる
- ・ 駐車場が近くにない
- ・ 利用者がいないのに、駐車場には車が停まられ、近所の方が、無賃で停めている現状がある。その管理がなされていない。ゴミも多い。少年少女達のたまり場になっており治安が悪い。草も生え放題。公園を作る際はそういったことも念頭に置いて作って欲しい。
- ・ 治安が悪く 中学生が 夜遅くまで溜まってタバコを吸ったり酒を飲んだりして暴れてるため
- ・ 以前は多く利用していたが、加齢とともに利用回数が少なくなった
- ・ 後期高齢者
- ・ 休むベンチ(日陰)があまりなく、車も止められない。違法駐車が多い。
- ・ 西崎方面にある公園には、ストレッチ施設が全然ない。
- ・ 草がぼうぼうでハブが怖い
- ・ ごみのポイ捨て、虫が多い
- ・ 利用する時間がなかなか取れない
- ・ 孫と一緒に行くだけ
- ・ 高齢で足が不自由

**[問 4-4 複数回答]現在、西崎運動公園等の在り方について検討しています。今後の管理・運営に当たり、重要だと思うことを教えてください。(選択は三つまで)**

<関連する政策:第1章 政策5、第4章 政策4>

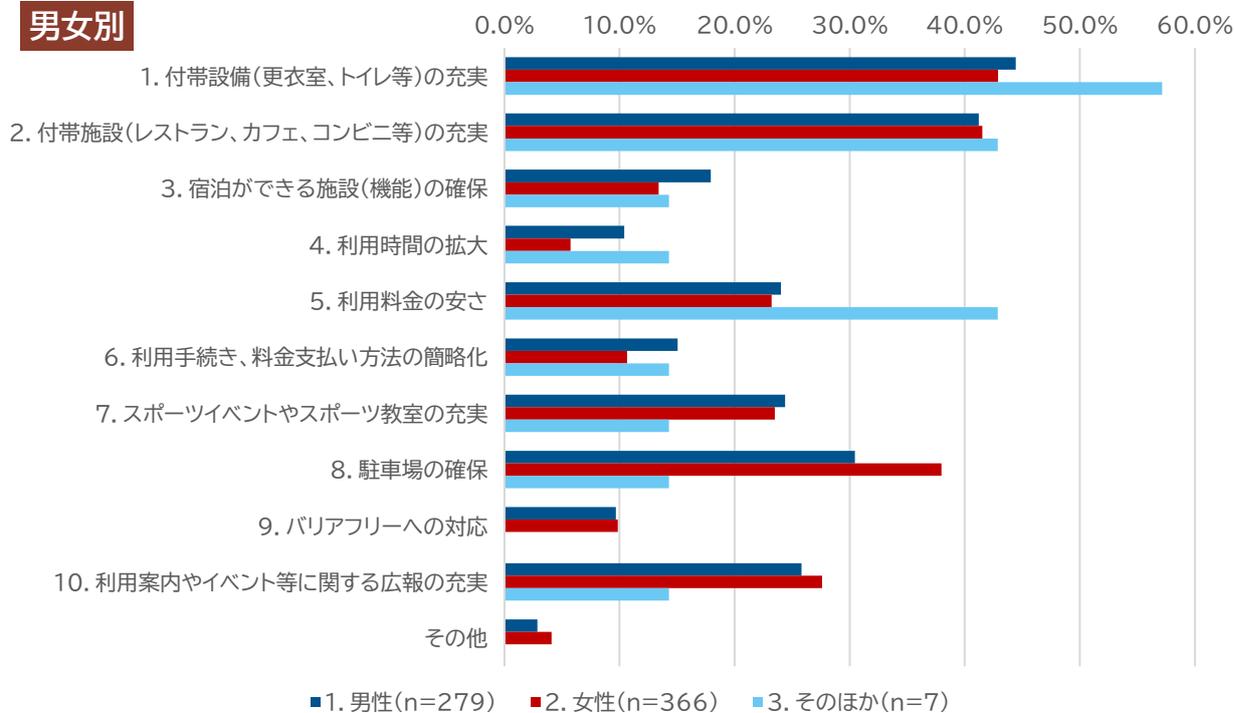
「1. 付帯設備(更衣室、トイレ等)の充実」と答えた割合が44.1%と最も高く、次いで「2. 付帯施設(レストラン、カフェ、コンビニ等)の充実」41.4%、「8. 駐車場の確保」34.9%となっている。



選択項目	回答数(n=662)	比率
1. 付帯設備(更衣室、トイレ等)の充実	292	44.1%
2. 付帯施設(レストラン、カフェ、コンビニ等)の充実	274	41.4%
3. 宿泊ができる施設(機能)の確保	100	15.1%
4. 利用時間の拡大	53	8.0%
5. 利用料金の安さ	156	23.6%
6. 利用手続き、料金支払い方法の簡略化	82	12.4%
7. スポーツイベントやスポーツ教室の充実	155	23.4%
8. 駐車場の確保	231	34.9%
9. バリアフリーへの対応	64	9.7%
10. 利用案内やイベント等に関する広報の充実	175	26.4%
その他	23	3.5%
無回答	36	5.4%

男女別では、「3. 宿泊ができる施設(機能)の確保」と答えた割合が、男性 17.9%、女性 13.4%と男性が高くなっている。一方、「8. 駐車場の確保」と答えた割合は、男性 30.5%、女性 38.0%と女性が高くなっている。

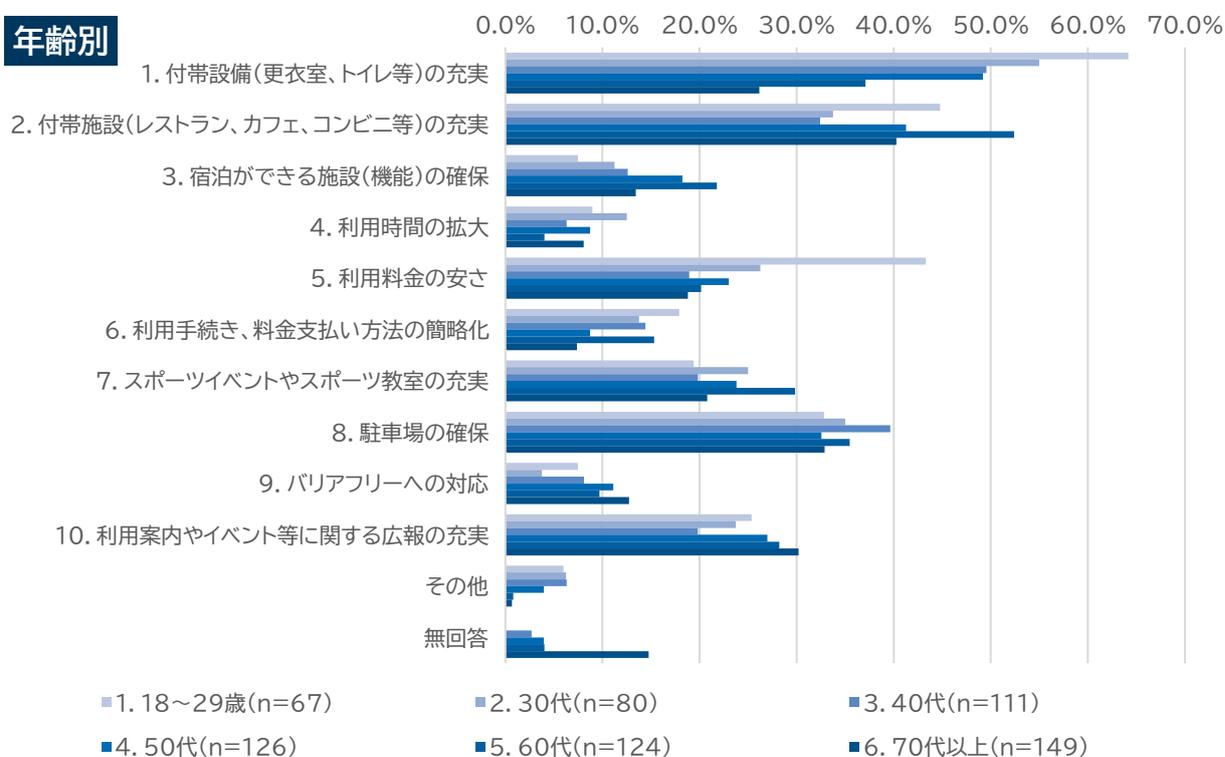
### 男女別



	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 付帯設備(更衣室、トイレ等)の充実	44.4%	42.9%	57.1%
2. 付帯施設(レストラン、カフェ、コンビニ等)の充実	41.2%	41.5%	42.9%
3. 宿泊ができる施設(機能)の確保	17.9%	13.4%	14.3%
4. 利用時間の拡大	10.4%	5.7%	14.3%
5. 利用料金の安さ	24.0%	23.2%	42.9%
6. 利用手続き、料金支払い方法の簡略化	15.1%	10.7%	14.3%
7. スポーツイベントやスポーツ教室の充実	24.4%	23.5%	14.3%
8. 駐車場の確保	30.5%	38.0%	14.3%
9. バリアフリーへの対応	9.7%	9.8%	0.0%
10. 利用案内やイベント等に関する広報の充実	25.8%	27.6%	14.3%
その他	2.9%	4.1%	0.0%
無回答	5.7%	4.4%	28.6%

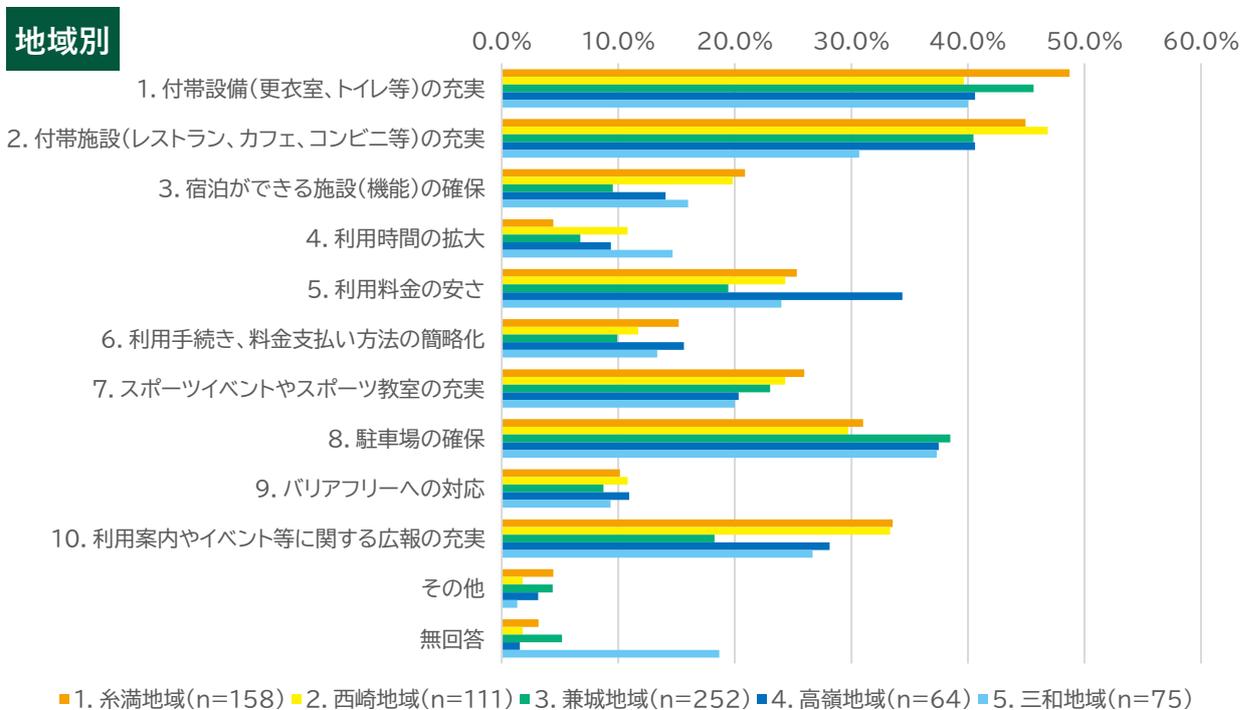
年代別では、18～29才で「1. 付帯設備(更衣室、トイレ等)の充実」と答えた割合が64.2%、「5. 利用料金の安さ」と答えた割合が43.3%と他の年代と比べて高くなっている。また、60代では「2. 付帯施設(レストラン、カフェ、コンビニ等)の充実」と答えた割合が52.4%、「7. スポーツイベントやスポーツ教室の充実」と答えた割合が29.8%と他の年代と比べて高くなっている。

### 年齢別



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 付帯設備(更衣室、トイレ等)の充実	64.2%	55.0%	49.5%	49.2%	37.1%	26.2%
2. 付帯施設(レストラン、カフェ、コンビニ等)の充実	44.8%	33.8%	32.4%	41.3%	52.4%	40.3%
3. 宿泊ができる施設(機能)の確保	7.5%	11.3%	12.6%	18.3%	21.8%	13.4%
4. 利用時間の拡大	9.0%	12.5%	6.3%	8.7%	4.0%	8.1%
5. 利用料金の安さ	43.3%	26.3%	18.9%	23.0%	20.2%	18.8%
6. 利用手続き、料金支払い方法の簡略化	17.9%	13.8%	14.4%	8.7%	15.3%	7.4%
7. スポーツイベントやスポーツ教室の充実	19.4%	25.0%	19.8%	23.8%	29.8%	20.8%
8. 駐車場の確保	32.8%	35.0%	39.6%	32.5%	35.5%	32.9%
9. バリアフリーへの対応	7.5%	3.8%	8.1%	11.1%	9.7%	12.8%
10. 利用案内やイベント等に関する広報の充実	25.4%	23.8%	19.8%	27.0%	28.2%	30.2%
その他	6.0%	6.3%	6.3%	4.0%	0.8%	0.7%
無回答	0.0%	0.0%	2.7%	4.0%	4.0%	14.8%

地域別では、糸満地域で「1. 付帯設備(更衣室、トイレ等)の充実」と答えた割合が、48.7%と他の地域と比べて高くなっている。また、西崎地域では「2. 付帯施設(レストラン、カフェ、コンビニ等)の充実」と答えた割合が46.8%と、他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 付帯設備(更衣室、トイレ等)の充実	48.7%	39.6%	45.6%	40.6%	40.0%
2. 付帯施設(レストラン、カフェ、コンビニ等)の充実	44.9%	46.8%	40.5%	40.6%	30.7%
3. 宿泊ができる施設(機能)の確保	20.9%	19.8%	9.5%	14.1%	16.0%
4. 利用時間の拡大	4.4%	10.8%	6.7%	9.4%	14.7%
5. 利用料金の安さ	25.3%	24.3%	19.4%	34.4%	24.0%
6. 利用手続き、料金支払い方法の簡略化	15.2%	11.7%	9.9%	15.6%	13.3%
7. スポーツイベントやスポーツ教室の充実	25.9%	24.3%	23.0%	20.3%	20.0%
8. 駐車場の確保	31.0%	29.7%	38.5%	37.5%	37.3%
9. バリアフリーへの対応	10.1%	10.8%	8.7%	10.9%	9.3%
10. 利用案内やイベント等に関する広報の充実	33.5%	33.3%	18.3%	28.1%	26.7%
その他	4.4%	1.8%	4.4%	3.1%	1.3%
無回答	3.2%	1.8%	5.2%	1.6%	18.7%

●「その他」の回答

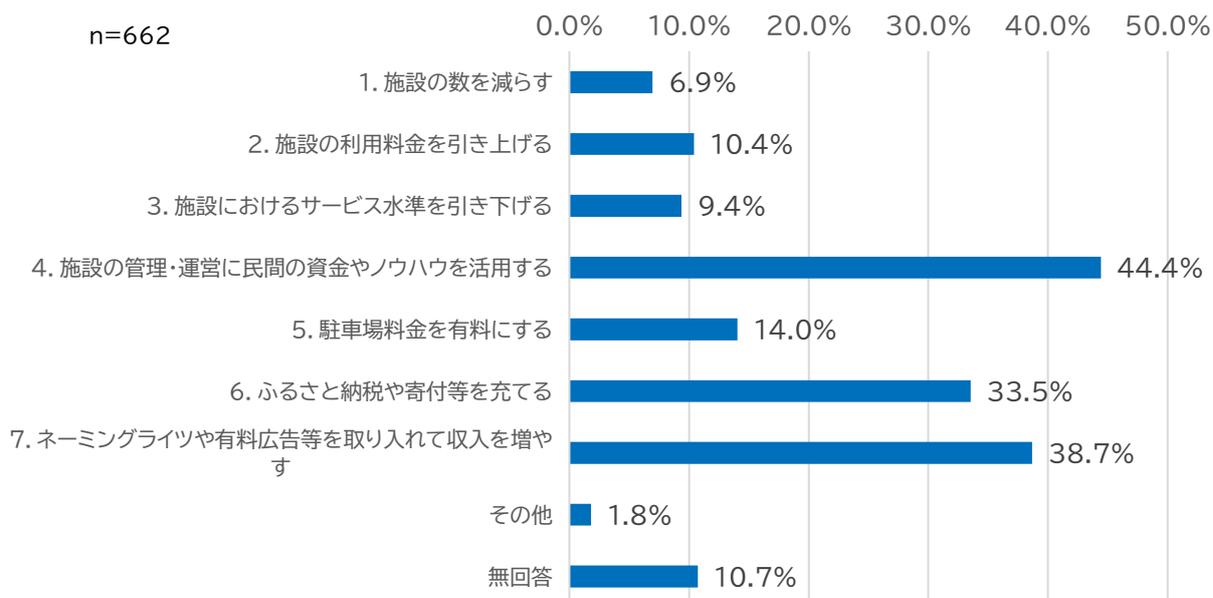
- ・ 子供達が小さい時にしか利用してないので 今の状況が全く分からないので。
- ・ 分からない
- ・ 施設の修理、清掃が行き届いてない。新しい施設を作る事も大切ですが壊れたものを放置したままはどうかと思う。県外では一月フリーパスでプール 3000 円とかあるのもっと通いやすい金額
- ・ ランニングコースの塗装めくれをなおしてほしい。転んでけが人が出ます。
- ・ 放置車両が無いような仕組みにしてほしいある程度は駐車料金を取って草刈りなどもしてほしい
- ・ 国際公認室内温水水泳場(50m)の建設をお願いします
- ・ 公的？なので、重要視される不明ですが？個人的には重要なのは、「費用対効果及び周辺への相乗効果等」では？
- ・ 他の市町村にはない市営のプール(ジェットスライダー)などは残して欲しい。
- ・ 糸満市は全体的に道路、公園の整備が不十分である。草刈りはもっと頑張りたい。マラソンする人は糸満では走りたくないと言っている。北谷に通っている。同じ沖縄、同じ海、なのに気持ち良く過ごせないなんてとても残念です。
- ・ バレーや野球やテニスの練習ができる壁があるといいな。
- ・ あまり利用した事がない、遊具や公園全体的に死角が多く遊ばせにくいと感じた
- ・ こども用遊具
- ・ 公園に日陰が少ない、遊具が古くて不安
- ・ 利用した事がないのでわからない
- ・ 市民プールでは市外の方は高く料金設定していると思うが、その確認をしていないと思う。市外の方も市内だと言って安い料金でしている。どうにかならないか。
- ・ 離島に住んでる方の代わりにテニスコートの予約をとりに行ったことがあります。電話で現地に来てもらわないといけなと言われてたそうです。糸満市民だけでなく、離島から来る方のためにも予約方法は改善して欲しいです。
- ・ 駐車場に公園利用者以外の車がたくさん停めてあるのに管理されてなく、利用者が止められない
- ・ 施設のコンテンツの充実。例えば、遊具にしても魅力的なものを導入する。
- ・ 体育館の予約がネットから出来るようにしてほしい
- ・ トレーニング施設の充実
- ・ 冷房があると利用しやすくなると思います。
- ・ 利用した事がないのでわかりません。
- ・ 草木などの整備、治安(浮浪者)などが改善して欲しい。
- ・ 公共交通機関の行きやすさ
- ・ 以前あったスポーツロッジのような宿泊・温泉施設があったらよい。
- ・ 利用したことがないのでわかりません。
- ・ 西崎総合体育館の雨漏り、サブコートが汚い。窓も壊れている。モップ、貸出道具も古い。

- ・ 個人、少人数でトレーニング(壁当て、ゴールネット、バスケットリング)できる場所がほしい。
- ・ 西崎地区だけでなく、糸満市内の道路整備に力を入れてもらったり、家が建てられないスージーワ道路が多すぎる。
- ・ プールを利用するとき、駐車場がなく戻ったことがある

**[問 4-5 複数回答]**西崎運動公園の施設の維持管理を続けていくために、どのような取り組みが効果的だと思いますか。考えが近いものを教えてください。(選択は三つまで)

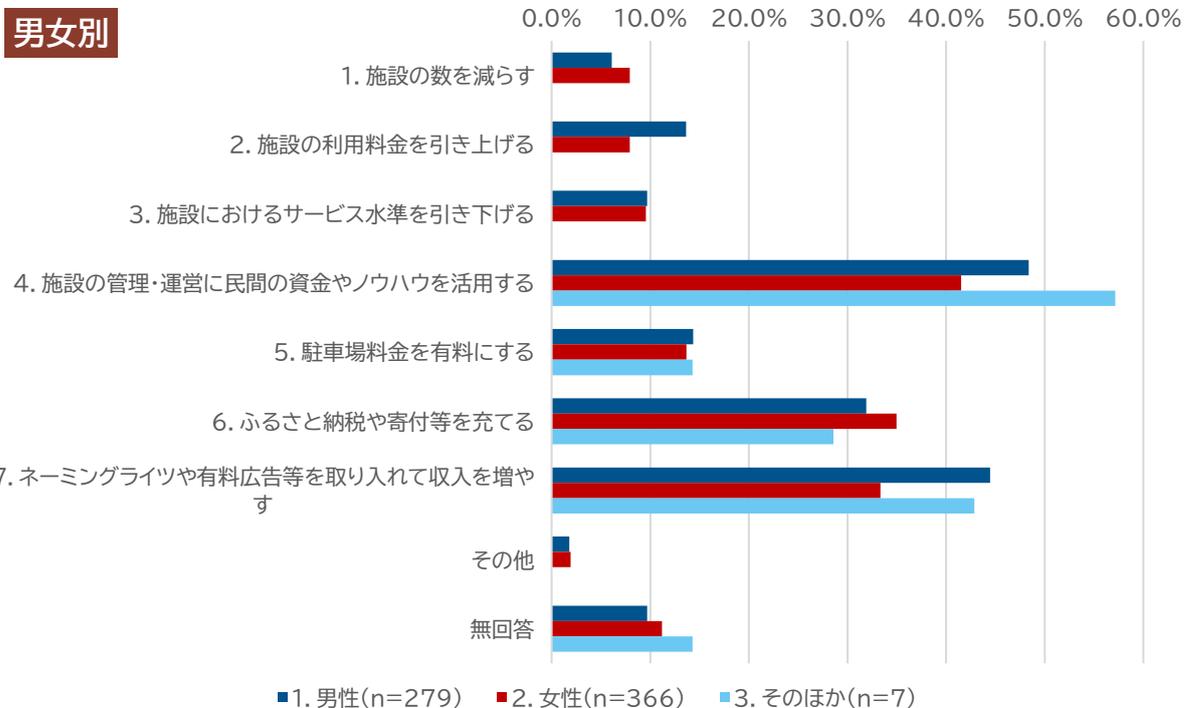
<関連する政策:第4章 政策4>

「4. 施設の管理・運営に民間の資金やノウハウを活用する」と答えた割合が 44.4%と最も高く、次いで「7. ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」38.7%、「6. ふるさと納税や寄付等を充てる」33.5%となっている。



選択項目	回答数(n=662)	比率
1. 施設の数を減らす	46	6.9%
2. 施設の利用料金を引き上げる	69	10.4%
3. 施設におけるサービス水準を引き下げる	62	9.4%
4. 施設の管理・運営に民間の資金やノウハウを活用する	294	44.4%
5. 駐車場料金を有料にする	93	14.0%
6. ふるさと納税や寄付等を充てる	222	33.5%
7. ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	256	38.7%
その他	12	1.8%
無回答	71	10.7%

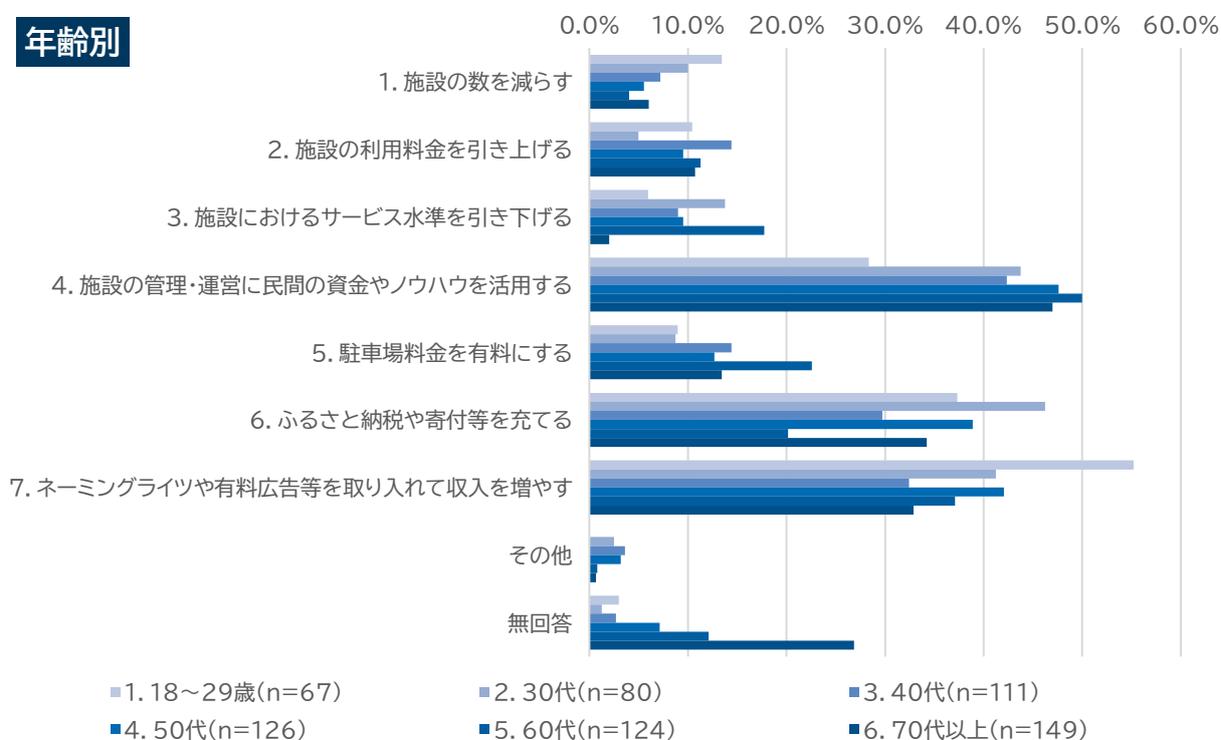
男女別では、「7. ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」と答えた割合が男性44.4%、女性33.3%と男性が高くなっている。一方、「6. ふるさと納税や寄付等を充てる」と答えた割合は男性31.9%、女性35.0%と女性が高くなっている。



	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 施設の数減らす	6.1%	7.9%	0.0%
2. 施設の利用料金を引き上げる	13.6%	7.9%	0.0%
3. 施設におけるサービス水準を引き下げる	9.7%	9.6%	0.0%
4. 施設の管理・運営に民間の資金やノウハウを活用する	48.4%	41.5%	57.1%
5. 駐車場料金を有料にする	14.3%	13.7%	14.3%
6. ふるさと納税や寄付等を充てる	31.9%	35.0%	28.6%
7. ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	44.4%	33.3%	42.9%
その他	1.8%	1.9%	0.0%
無回答	9.7%	11.2%	14.3%

年代別では、18～29才で「7. ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」と答えた割合が、55.2%と他の年代と比べて高くなっている。また、30代では「6. ふるさと納税や寄付等を充てる」と答えた割合が、46.3%と他の年代と比べて高くなっている。

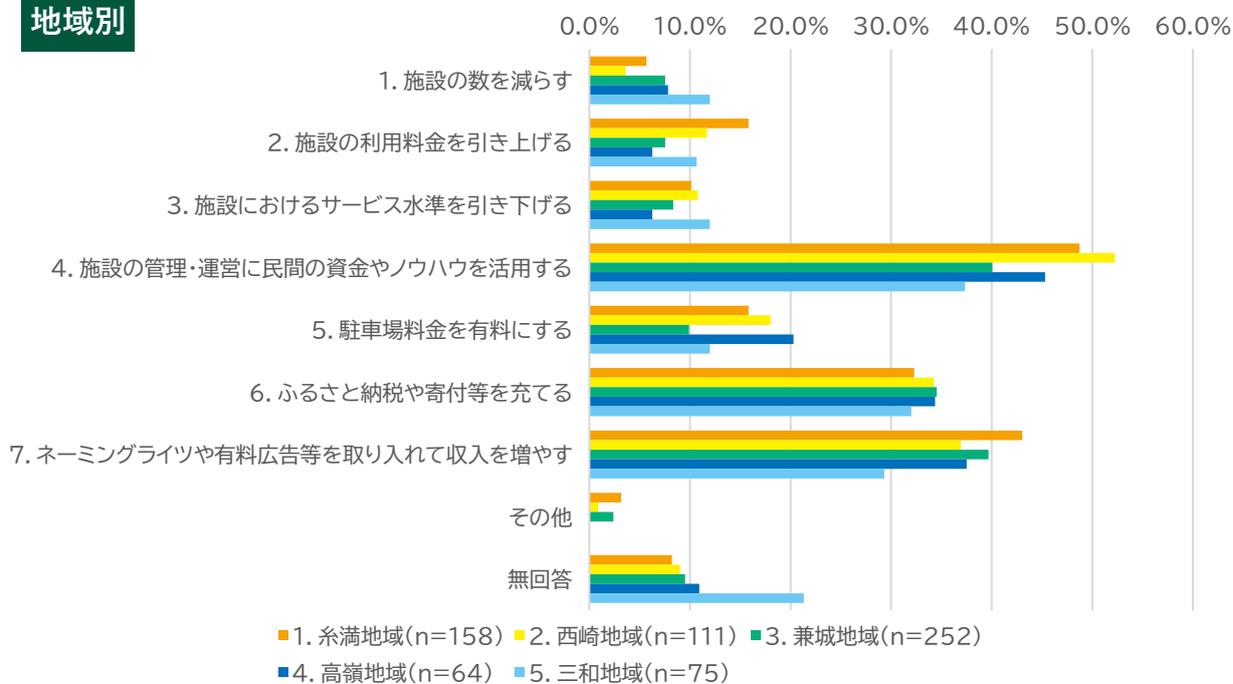
### 年齢別



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 施設の数減らす	13.4%	10.0%	7.2%	5.6%	4.0%	6.0%
2. 施設の利用料金を引き上げる	10.4%	5.0%	14.4%	9.5%	11.3%	10.7%
3. 施設におけるサービス水準を引き下げる	6.0%	13.8%	9.0%	9.5%	17.7%	2.0%
4. 施設の管理・運営に民間の資金やノウハウを活用する	28.4%	43.8%	42.3%	47.6%	50.0%	47.0%
5. 駐車場料金を有料にする	9.0%	8.8%	14.4%	12.7%	22.6%	13.4%
6. ふるさと納税や寄付等を充てる	37.3%	46.3%	29.7%	38.9%	20.2%	34.2%
7. ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	55.2%	41.3%	32.4%	42.1%	37.1%	32.9%
その他	0.0%	2.5%	3.6%	3.2%	0.8%	0.7%
無回答	3.0%	1.3%	2.7%	7.1%	12.1%	26.8%

地域別では、「4. 施設の管理・運営に民間の資金やノウハウを活用する」と答えた割合が、西崎地域で52.3%と他の地域と比べて高くなっている。また、「7. ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」と答えた割合が、糸満地域で43.0%と他の地域と比べて高くなっている。

## 地域別



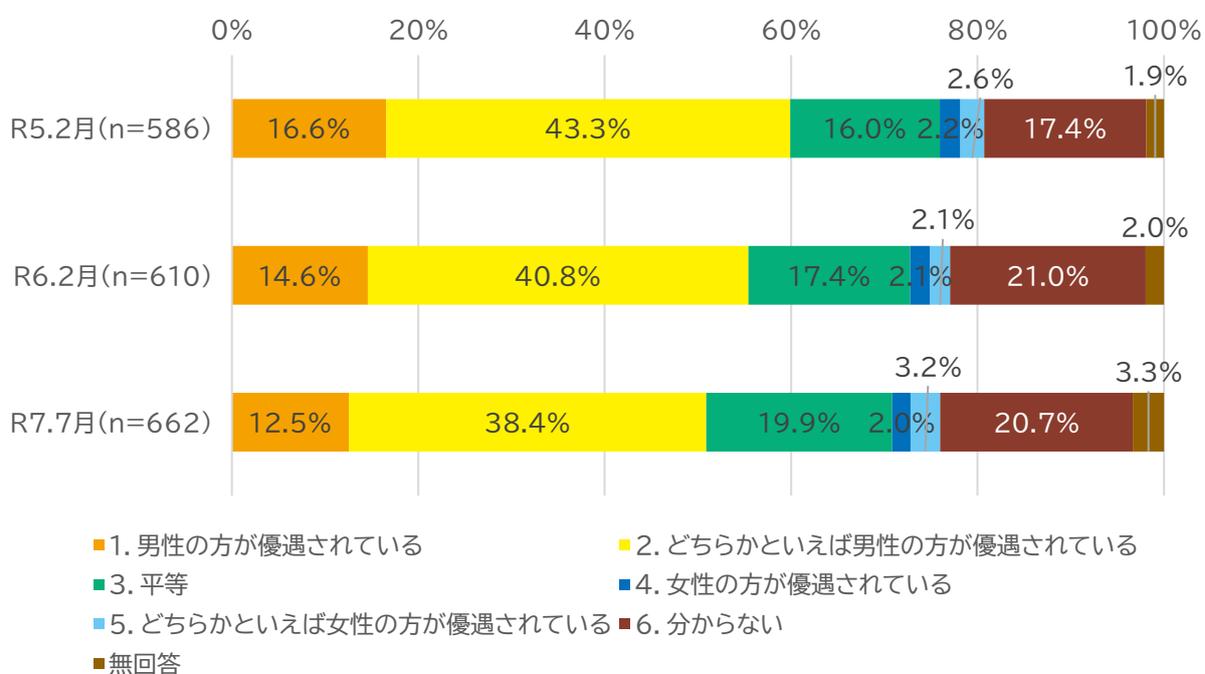
	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 施設の数減らす	5.7%	3.6%	7.5%	7.8%	12.0%
2. 施設の利用料金を引き上げる	15.8%	11.7%	7.5%	6.3%	10.7%
3. 施設におけるサービス水準を引き下げる	10.1%	10.8%	8.3%	6.3%	12.0%
4. 施設の管理・運営に民間の資金やノウハウを活用する	48.7%	52.3%	40.1%	45.3%	37.3%
5. 駐車場料金を有料にする	15.8%	18.0%	9.9%	20.3%	12.0%
6. ふるさと納税や寄付等を充てる	32.3%	34.2%	34.5%	34.4%	32.0%
7. ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす	43.0%	36.9%	39.7%	37.5%	29.3%
その他	3.2%	0.9%	2.4%	0.0%	0.0%
無回答	8.2%	9.0%	9.5%	10.9%	21.3%

**[問 4-6 単一回答]**あなたは、家庭、職場、地域、社会通念・慣習など社会のあらゆる場面において、男女の地位は「平等」になっていると思いますか。

<関連する政策:第3章 政策5>

男性が優遇されている(「1. 男性の方が優遇されている」「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合が50.9%と半数以上となっており、女性が優遇されている(「4. 女性の方が優遇されている」「5. どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合は5.2%となっている。

令和4年度(R5年2月)の調査と比較すると、男性が優遇されている(「1. 男性の方が優遇されている」「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合が59.9%から50.9%と9.0ポイント減少している。一方、「3. 平等」と答えた割合は16.0%から19.9%と3.9ポイント増加している。

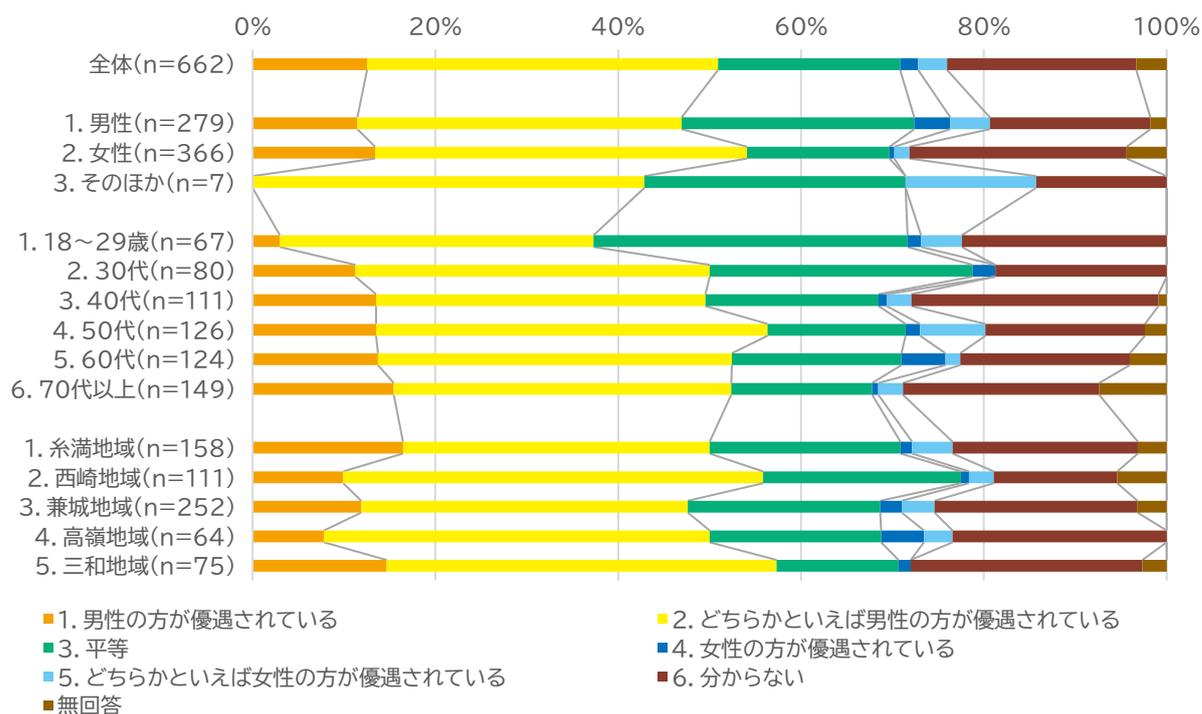


	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)	R7.7月 (n=662)
1. 男性の方が優遇されている	16.6%	14.6%	12.5%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	43.3%	40.8%	38.4%
3. 平等	16.0%	17.4%	19.9%
4. 女性の方が優遇されている	2.2%	2.1%	2.0%
5. どちらかといえば女性の方が優遇されている	2.6%	2.1%	3.2%
6. 分からない	17.4%	21.0%	20.7%
無回答	1.9%	2.0%	3.3%

男女別では、「3. 平等」と答えた割合が男性25.4%、女性15.6%と男性が高くなっている。一方で、「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた割合は男性35.5%、女性40.7%と女性が高くなっている。

年齢別では、「3. 平等」と答えた割合が、18～29歳で34.3%(全体19.9%)と他の年代と比べて高くなっている。また、「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた割合が50代で42.9%(全体38.4%)と、他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、西崎地域において「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた割合が、45.9%(全体38.4%)と他の地域と比べて高くなっている。



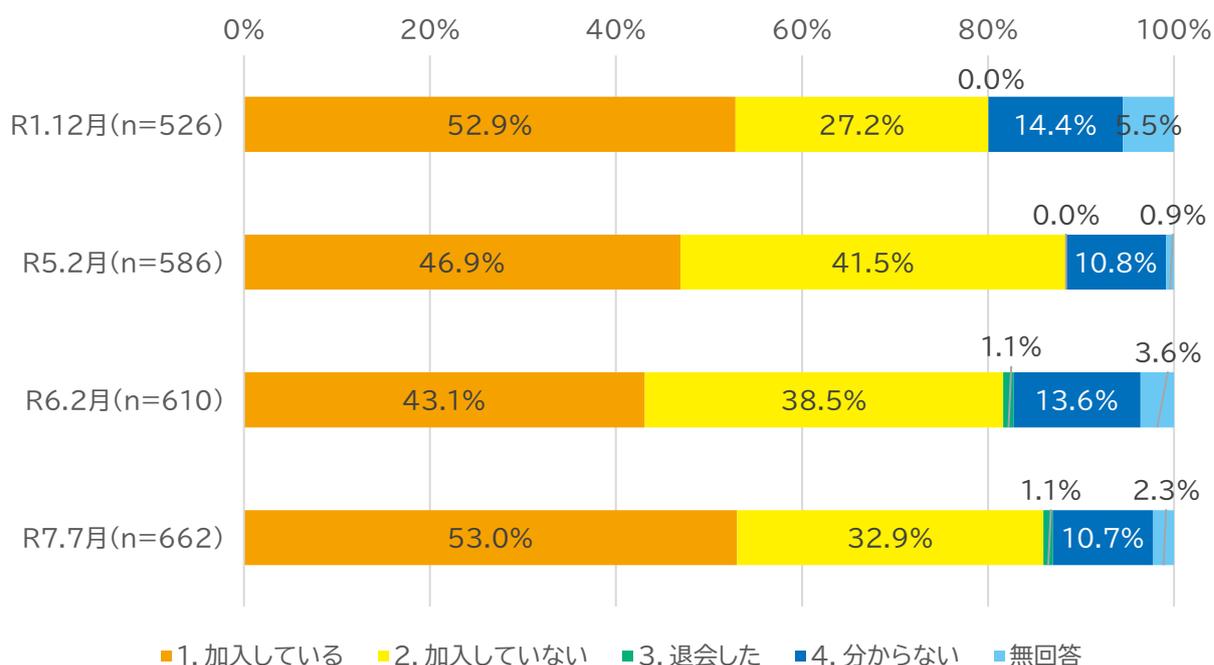
	1. 男性の方が優遇されている	2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	3. 平等	4. 女性の方が優遇されている	5. どちらかといえば女性の方が優遇されている	6. 分からない	無回答
全体(n=662)	12.5%	38.4%	19.9%	2.0%	3.2%	20.7%	3.3%
1. 男性(n=279)	11.5%	35.5%	25.4%	3.9%	4.3%	17.6%	1.8%
2. 女性(n=366)	13.4%	40.7%	15.6%	0.5%	1.6%	23.8%	4.4%
3. そのほか(n=7)	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
1. 18～29歳(n=67)	3.0%	34.3%	34.3%	1.5%	4.5%	22.4%	0.0%
2. 30代(n=80)	11.3%	38.8%	28.8%	2.5%	0.0%	18.8%	0.0%
3. 40代(n=111)	13.5%	36.0%	18.9%	0.9%	2.7%	27.0%	0.9%
4. 50代(n=126)	13.5%	42.9%	15.1%	1.6%	7.1%	17.5%	2.4%
5. 60代(n=124)	13.7%	38.7%	18.5%	4.8%	1.6%	18.5%	4.0%
6. 70代以上(n=149)	15.4%	36.9%	15.4%	0.7%	2.7%	21.5%	7.4%
1. 糸満地域(n=158)	16.5%	33.5%	20.9%	1.3%	4.4%	20.3%	3.2%
2. 西崎地域(n=111)	9.9%	45.9%	21.6%	0.9%	2.7%	13.5%	5.4%
3. 兼城地域(n=252)	11.9%	35.7%	21.0%	2.4%	3.6%	22.2%	3.2%
4. 高嶺地域(n=64)	7.8%	42.2%	18.8%	4.7%	3.1%	23.4%	0.0%
5. 三和地域(n=75)	14.7%	42.7%	13.3%	1.3%	0.0%	25.3%	2.7%

**[問 4-7 単一回答]あなたの世帯は、自治会に加入していますか。**

＜関連する政策:第6章 政策1＞

「1. 加入している」と答えた割合が 53.0%と最も高く、次いで「2. 加入していない」32.9%、「4. 分からない」10.7%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「2. 加入していない」と答えた割合が 27.2%から 32.9%と 5.7ポイント増加している。また、「3. 退会した」と答えた割合も 0.0%から 1.1%と 1.1ポイント増加している。

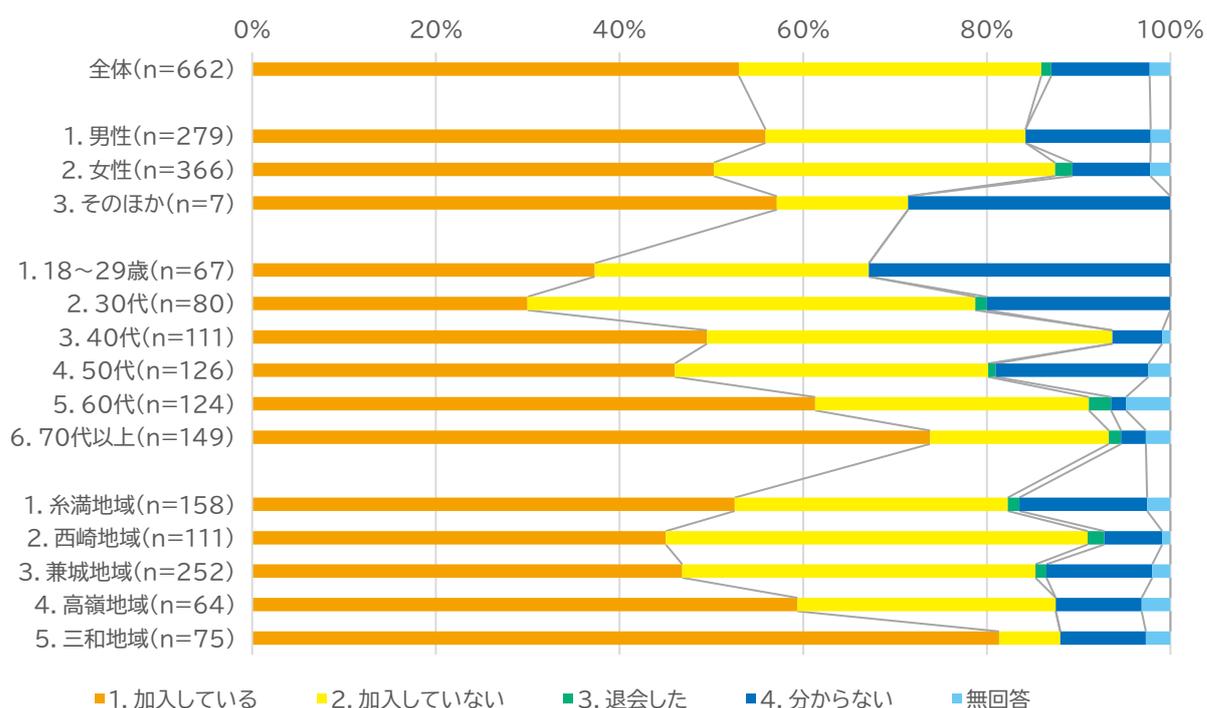


	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)	R7.7月 (n=662)
1. 加入している	52.9%	46.9%	43.1%	53.0%
2. 加入していない	27.2%	41.5%	38.5%	32.9%
3. 退会した	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%
4. 分からない	14.4%	10.8%	13.6%	10.7%
無回答	5.5%	0.9%	3.6%	2.3%

男女別では、「1. 加入している」と答えた割合が男性 55.9%、女性 50.3%と男性が高くなっている。一方、「2. 加入していない」と答えた割合は男性 28.3%、女性 37.2%と女性が高くなっている。

年代別では、「1. 加入している」と答えた割合が 30 代で30.0%と最も低く、70 代以上で 73.8%と最も高い。また、「2. 加入していない」と答えた割合(全体 32.9%)は 30 代で 48.8%、40 代で 44.1%と他の年代と比べて高くっており、70 代以上で 19.5%と他の年代と比べて低くなっている。

地域別では、「1. 加入している」と答えた割合が、三和地域で 81.3%(53.0%)全体と他の地域と比べて高くなっている。



	1. 加入している	2. 加入していない	3. 退会した	4. 分からない	無回答
全体(n=662)	53.0%	32.9%	1.1%	10.7%	2.3%
1. 男性(n=279)	55.9%	28.3%	0.0%	13.6%	2.2%
2. 女性(n=366)	50.3%	37.2%	1.9%	8.5%	2.2%
3. そのほか(n=7)	57.1%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%
1. 18~29歳(n=67)	37.3%	29.9%	0.0%	32.8%	0.0%
2. 30代(n=80)	30.0%	48.8%	1.3%	20.0%	0.0%
3. 40代(n=111)	49.5%	44.1%	0.0%	5.4%	0.9%
4. 50代(n=126)	46.0%	34.1%	0.8%	16.7%	2.4%
5. 60代(n=124)	61.3%	29.8%	2.4%	1.6%	4.8%
6. 70代以上(n=149)	73.8%	19.5%	1.3%	2.7%	2.7%
1. 糸満地域(n=158)	52.5%	29.7%	1.3%	13.9%	2.5%
2. 西崎地域(n=111)	45.0%	45.9%	1.8%	6.3%	0.9%
3. 兼城地域(n=252)	46.8%	38.5%	1.2%	11.5%	2.0%
4. 高嶺地域(n=64)	59.4%	28.1%	0.0%	9.4%	3.1%
5. 三和地域(n=75)	81.3%	6.7%	0.0%	9.3%	2.7%

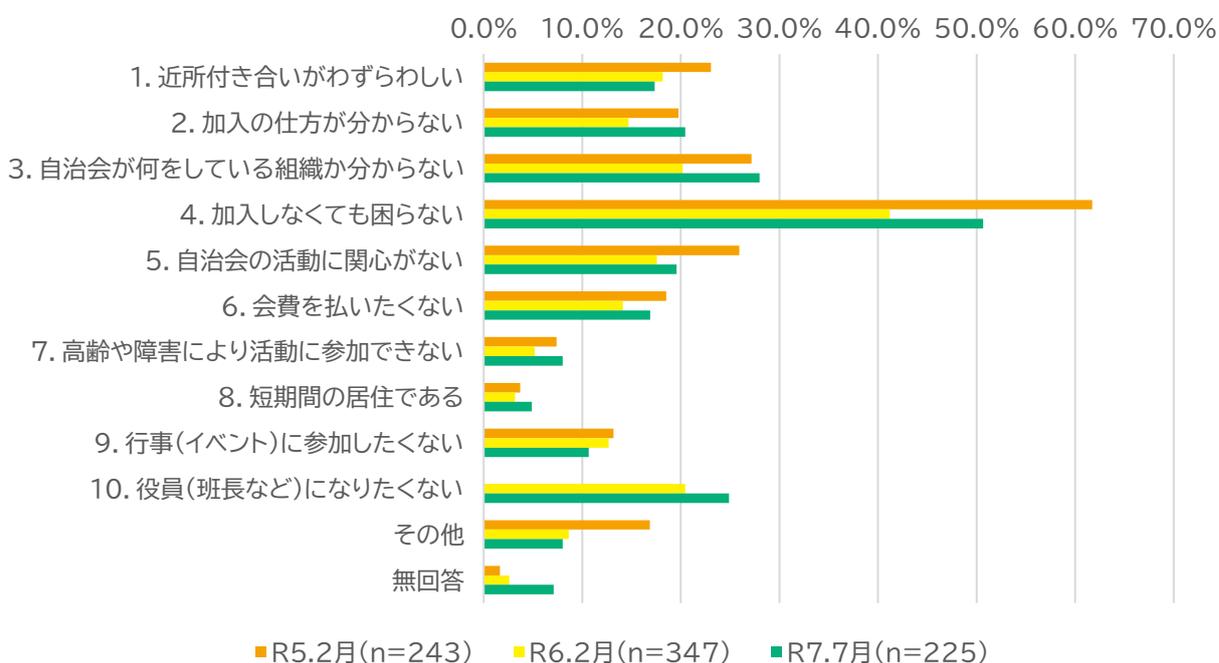
**[問 4-8 複数回答]「加入していない」、「退会した」を選択した方※は、その理由を教えてください。**

※[問 4-7 単一回答]あなたの世帯は、自治会に加入していますか。

<関連する政策:第 6 章 政策 1>

「4. 加入しなくても困らない」と答えた割合が 50.7%と最も高く、次いで「3. 自治会が何をしている組織か分からない」28.0%、「10. 役員(班長など)になりたくない」24.9%となっている。

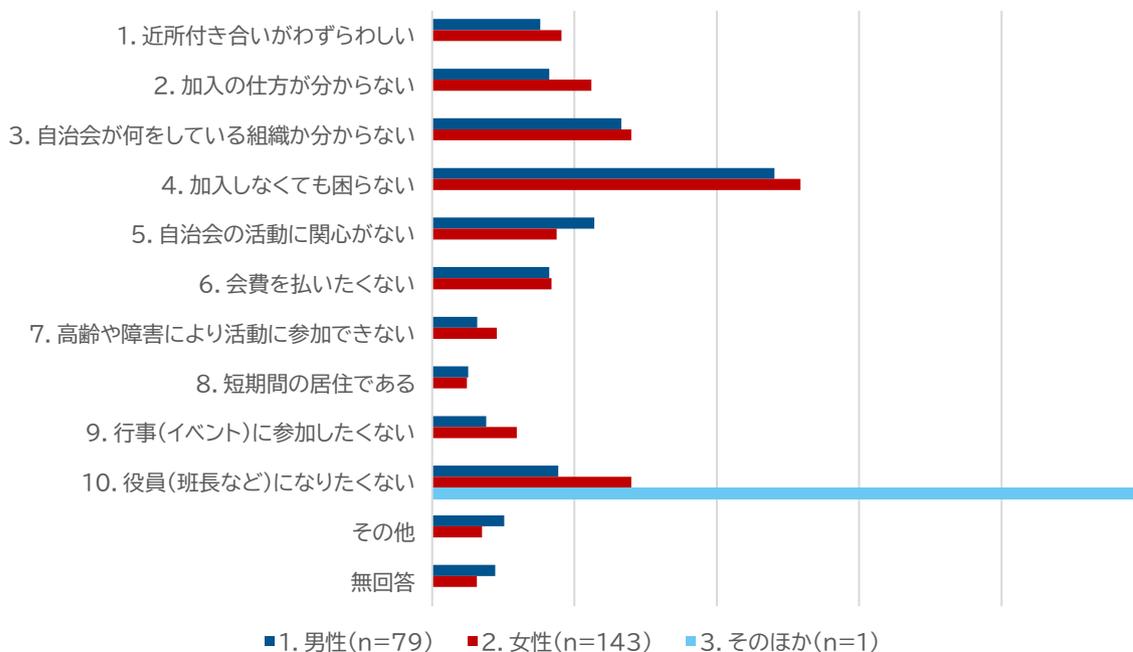
令和 4 年度(R5 年2月)の調査と比較すると、「3. 自治会が何をしている組織か分からない」と答えた割合が 27.2%から 28.0%と 0.8 ポイント増加している。一方、「4. 加入しなくても困らない」と答えた割合は 61.7%から 50.7%と 11.0 ポイント減少している。



	R5.2月(n=243)	R6.2月(n=347)	R7.7月(n=225)
1. 近所付き合いがわずらわしい	23.0%	18.2%	17.3%
2. 加入の仕方が分からない	19.8%	14.7%	20.4%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	27.2%	20.2%	28.0%
4. 加入しなくても困らない	61.7%	41.2%	50.7%
5. 自治会の活動に関心がない	25.9%	17.6%	19.6%
6. 会費を払いたくない	18.5%	14.1%	16.9%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	7.4%	5.2%	8.0%
8. 短期間の居住である	3.7%	3.2%	4.9%
9. 行事(イベント)に参加したくない	13.2%	12.7%	10.7%
10. 役員(班長など)になりたくない	—	20.5%	24.9%
その他	16.9%	8.6%	8.0%
無回答	1.6%	2.6%	7.1%

男女別では、「5. 自治会の活動に関心がない」と答えた割合が男性 22.8%、女性 17.5%と男性が高くなっている。一方、「4. 加入しなくても困らない」と答えた割合は男性 48.1%、女性 51.7%と女性が高くなっている。

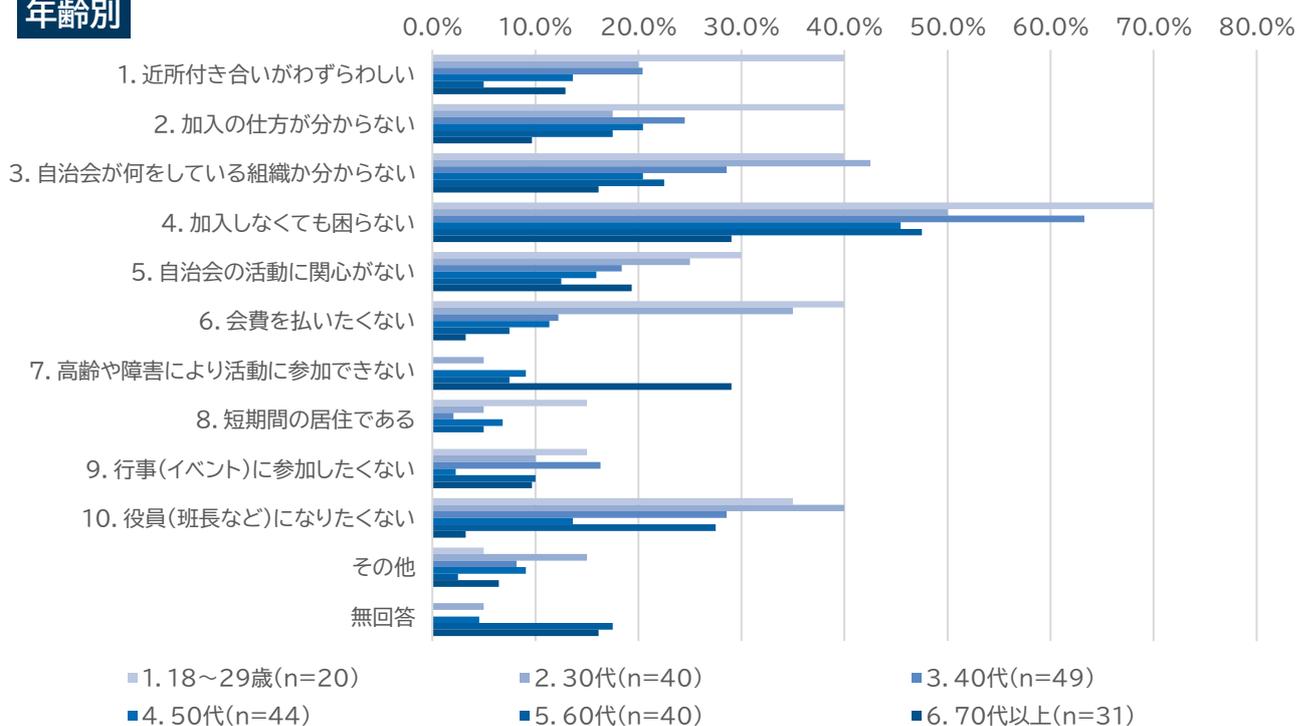
## 男女別



	1. 男性(n=79)	2. 女性(n=143)	3. そのほか(n=1)
1. 近所付き合いがわずらわしい	15.2%	18.2%	0.0%
2. 加入の仕方が分からない	16.5%	22.4%	0.0%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	26.6%	28.0%	0.0%
4. 加入しなくても困らない	48.1%	51.7%	0.0%
5. 自治会の活動に関心がない	22.8%	17.5%	0.0%
6. 会費を払いたくない	16.5%	16.8%	0.0%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	6.3%	9.1%	0.0%
8. 短期間の居住である	5.1%	4.9%	0.0%
9. 行事(イベント)に参加したくない	7.6%	11.9%	0.0%
10. 役員(班長など)になりたくない	17.7%	28.0%	100.0%
その他	10.1%	7.0%	0.0%
無回答	8.9%	6.3%	0.0%

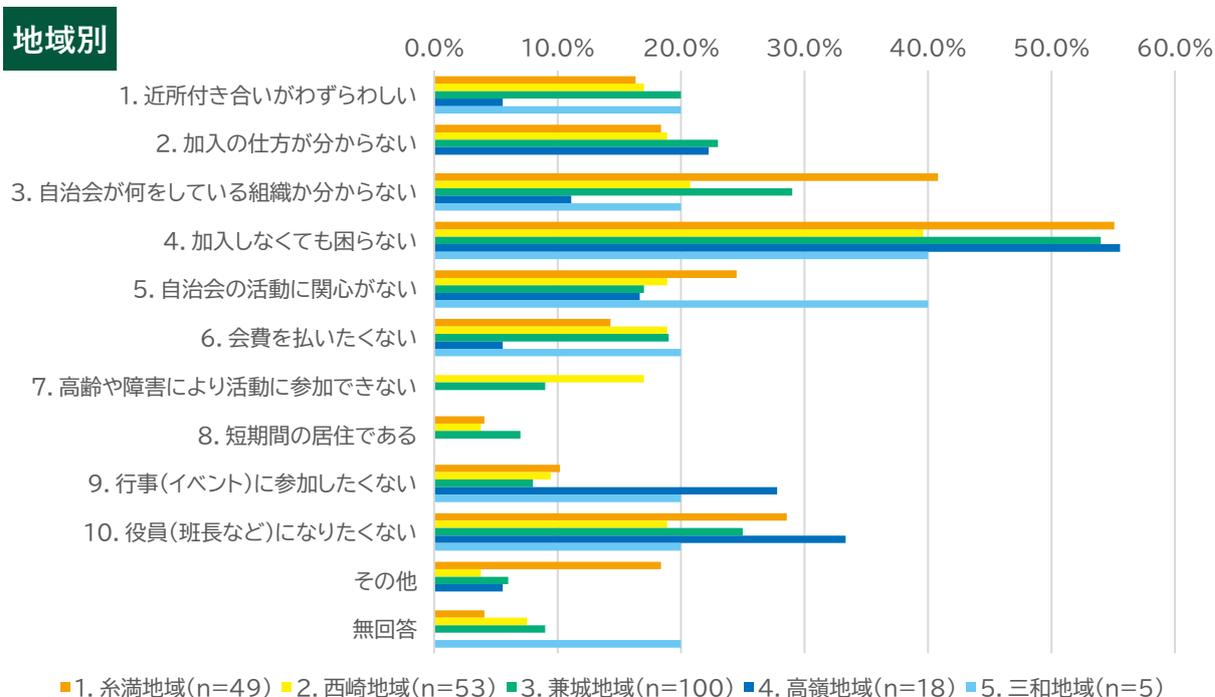
年代別では、各年代のサンプル数が50未満であることに留意する必要があるが、18～29歳においては「1. 近所付き合いがわずらわしい」40.0%、「2. 加入の仕方が分からない」40.0%、「4. 加入しなくても困らない」70.0%、「6. 会費を払いたくない」40.0%の項目等が、他の年代と比べて高くなっている。30代では「10. 役員(班長など)になりたくない」と答えた割合が、40.0%と他の年代と比べて高くなっている。

### 年齢別



	1. 18~29歳 (n=20)	2. 30代 (n=40)	3. 40代 (n=49)	4. 50代 (n=44)	5. 60代 (n=40)	6. 70代以上 (n=31)
1. 近所付き合いがわずらわしい	40.0%	20.0%	20.4%	13.6%	5.0%	12.9%
2. 加入の仕方が分からない	40.0%	17.5%	24.5%	20.5%	17.5%	9.7%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	40.0%	42.5%	28.6%	20.5%	22.5%	16.1%
4. 加入しなくても困らない	70.0%	50.0%	63.3%	45.5%	47.5%	29.0%
5. 自治会の活動に関心がない	30.0%	25.0%	18.4%	15.9%	12.5%	19.4%
6. 会費を払いたくない	40.0%	35.0%	12.2%	11.4%	7.5%	3.2%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	0.0%	5.0%	0.0%	9.1%	7.5%	29.0%
8. 短期間の居住である	15.0%	5.0%	2.0%	6.8%	5.0%	0.0%
9. 行事(イベント)に参加したくない	15.0%	10.0%	16.3%	2.3%	10.0%	9.7%
10. 役員(班長など)になりたくない	35.0%	40.0%	28.6%	13.6%	27.5%	3.2%
その他	5.0%	15.0%	8.2%	9.1%	2.5%	6.5%
無回答	0.0%	5.0%	0.0%	4.5%	17.5%	16.1%

地域別では、三和地域のサンプル数が10以下であることに留意する必要があるが、三和地域と兼城地域において「1. 近所付き合いがわずらわしい」と答えた割合が、20.0%と他の地域と比べて高くなっている。また、糸満地域において「3. 自治会が何をしている組織か分からない」と答えた割合が、40.8%と他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=49)	2. 西崎地域 (n=53)	3. 兼城地域 (n=100)	4. 高嶺地域 (n=18)	5. 三和地域 (n=5)
1. 近所付き合いがわずらわしい	16.3%	17.0%	20.0%	5.6%	20.0%
2. 加入の仕方が分からない	18.4%	18.9%	23.0%	22.2%	0.0%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	40.8%	20.8%	29.0%	11.1%	20.0%
4. 加入しなくても困らない	55.1%	39.6%	54.0%	55.6%	40.0%
5. 自治会の活動に関心がない	24.5%	18.9%	17.0%	16.7%	40.0%
6. 会費を払いたくない	14.3%	18.9%	19.0%	5.6%	20.0%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	0.0%	17.0%	9.0%	0.0%	0.0%
8. 短期間の居住である	4.1%	3.8%	7.0%	0.0%	0.0%
9. 行事(イベント)に参加したくない	10.2%	9.4%	8.0%	27.8%	20.0%
10. 役員(班長など)になりたくない	28.6%	18.9%	25.0%	33.3%	20.0%
その他	18.4%	3.8%	6.0%	5.6%	0.0%
無回答	4.1%	7.5%	9.0%	0.0%	20.0%

●「その他」の回答

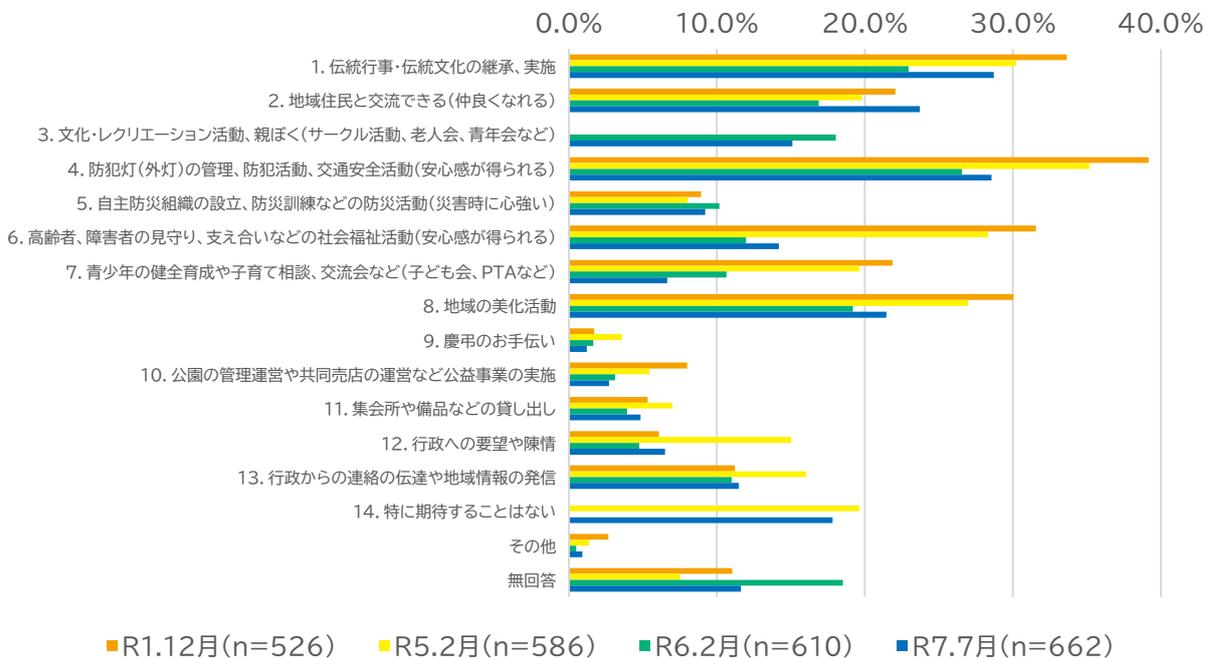
- ・ 時間の余裕がない
- ・ そもそも自治会がないです。照屋東地区
- ・ 自治会がなかった。今作ろうとされている。
- ・ 時間がない
- ・ 自治会が存在するのか不明
- ・ 自治体が無いと聞いている
- ・ 自治会事態あるのか不明
- ・ 仕事で時間がない
- ・ 自治会がない
- ・ 自治会が無い
- ・ 地域の自治会は 20 年ぐらい前までは機能していたと記憶しているが、現在は機能している様子がない
- ・ 活動報告がない 決済が不明
- ・ 自治会がない
- ・ 糸満に戻ってまだ半年程なので
- ・ 活動内容や実態が不透明で 内容が分かりにくいから
- ・ ないから
- ・ 自治会がない
- ・ 朝、夕方の放送がうるさい。生後まもない赤ちゃんが泣く事あったり、ゆっくり寝たい時など迷惑を感じる時がある
- ・ 地域の自治会は、子供達が行っている学校の子がいないので不必要かと思ひまして入っていません。
- ・ 自治会費の使用に疑問がある
- ・ 年金暮らしで厳しいです。
- ・ 自治会費が高額
- ・ 西崎に自治会があるのかわからない

**[問 4-9 複数回答]自治会活動に期待すること、加入して良かったことを教えてください。(選択は三つまで)**

＜関連する政策:第 6 章 政策 1＞

「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」と答えた割合が 28.7%と最も高く、次いで「4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)」28.5%、「2. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)」23.7%となっている。

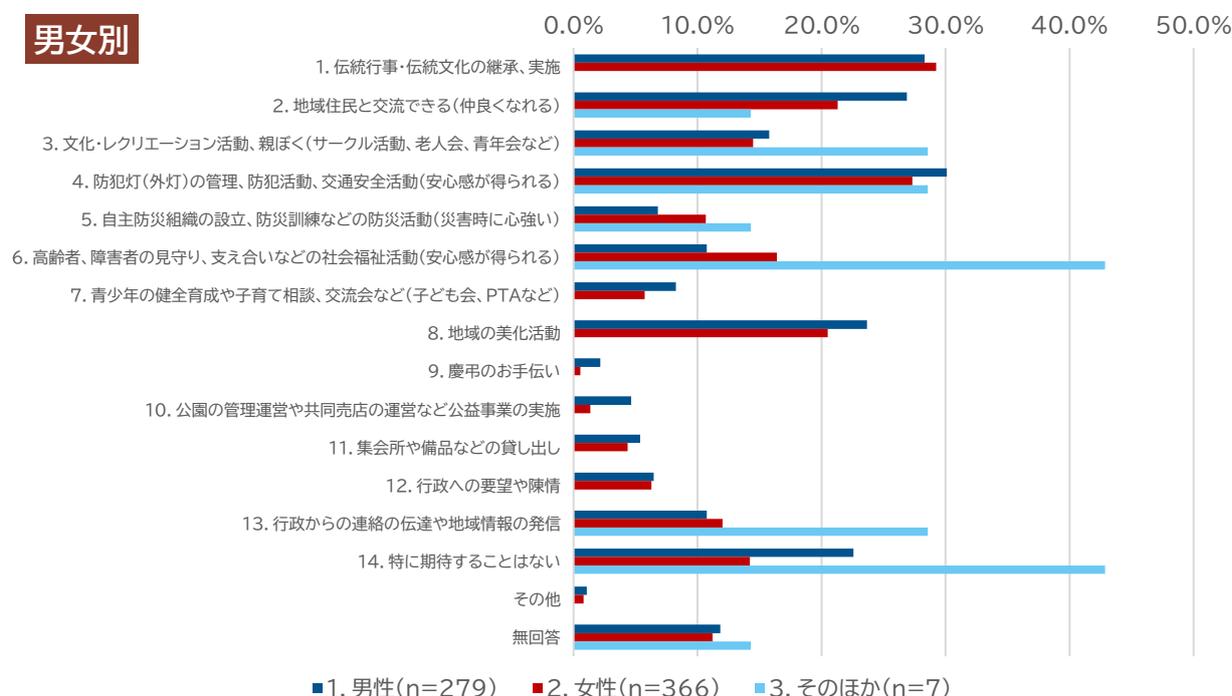
令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「2. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)」と答えた割合が 22.1%から 23.7%と 1.6 ポイント増加している。一方、「6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)」と答えた割合は 31.6%から 14.2%と 17.4 ポイント減少している。



	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)	R7.7月 (n=662)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	33.7%	30.2%	23.0%	28.7%
2. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)	22.1%	19.8%	16.9%	23.7%
3. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会など)	—	—	18.0%	15.1%
4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)	39.2%	35.2%	26.6%	28.5%
5. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)	8.9%	8.0%	10.2%	9.2%
6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)	31.6%	28.3%	12.0%	14.2%
7. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)	21.9%	19.6%	10.7%	6.6%
8. 地域の美化活動	30.0%	27.0%	19.2%	21.5%
9. 慶弔のお手伝い	1.7%	3.6%	1.6%	1.2%
10. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	8.0%	5.5%	3.1%	2.7%
11. 集会所や備品などの貸し出し	5.3%	7.0%	3.9%	4.8%
12. 行政への要望や陳情	6.1%	15.0%	4.8%	6.5%
13. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	11.2%	16.0%	11.0%	11.5%
14. 特に期待することはない	—	19.6%	0.0%	17.8%
その他	2.7%	1.4%	0.5%	0.9%
無回答	11.0%	7.5%	18.5%	11.6%

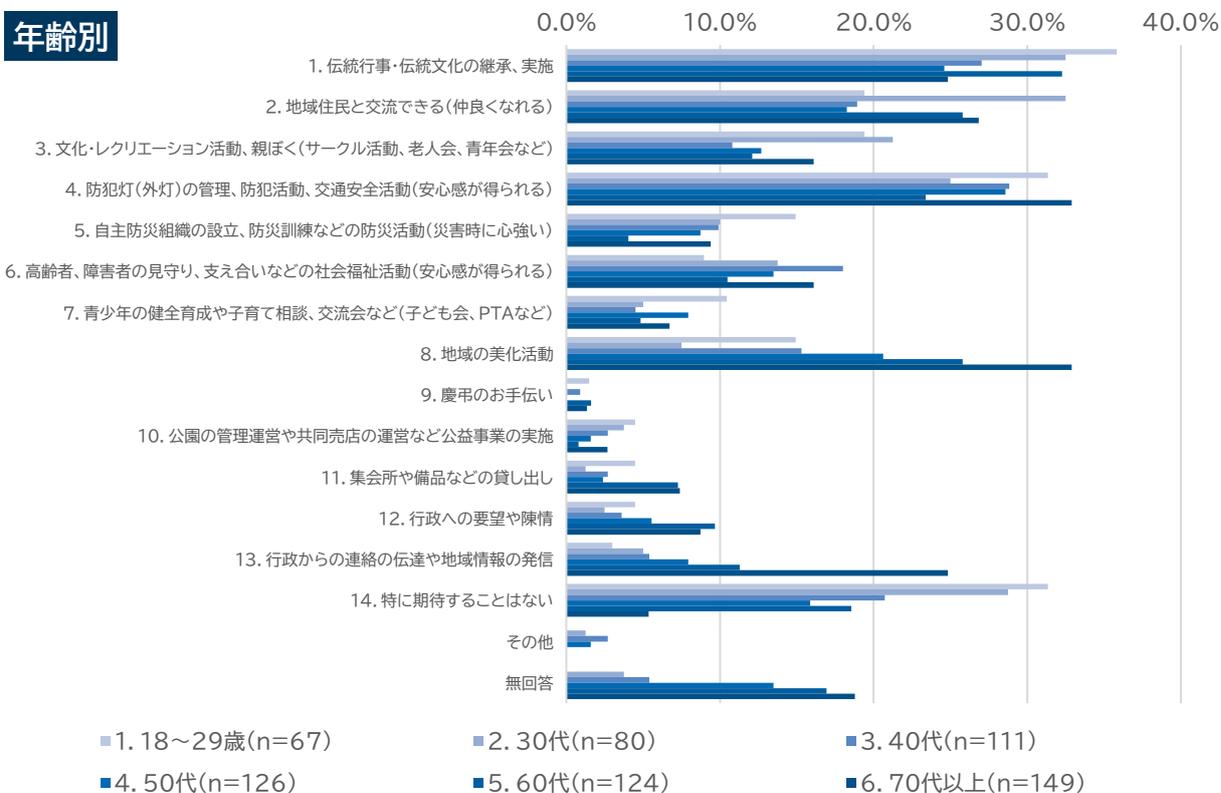
男女別では、「2. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)」が男性 26.9%、女性 21.3%と男性が高くなっている。一方、「6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)」と答えた割合は男性 10.8%、女性 16.4%と女性が高くなっている。

## 男女別



	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	28.3%	29.2%	0.0%
2. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)	26.9%	21.3%	14.3%
3. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会など)	15.8%	14.5%	28.6%
4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)	30.1%	27.3%	28.6%
5. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)	6.8%	10.7%	14.3%
6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)	10.8%	16.4%	42.9%
7. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)	8.2%	5.7%	0.0%
8. 地域の美化活動	23.7%	20.5%	0.0%
9. 慶弔のお手伝い	2.2%	0.5%	0.0%
10. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	4.7%	1.4%	0.0%
11. 集会所や備品などの貸し出し	5.4%	4.4%	0.0%
12. 行政への要望や陳情	6.5%	6.3%	0.0%
13. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	10.8%	12.0%	28.6%
14. 特に期待することはない	22.6%	14.2%	42.9%
その他	1.1%	0.8%	0.0%
無回答	11.8%	11.2%	14.3%

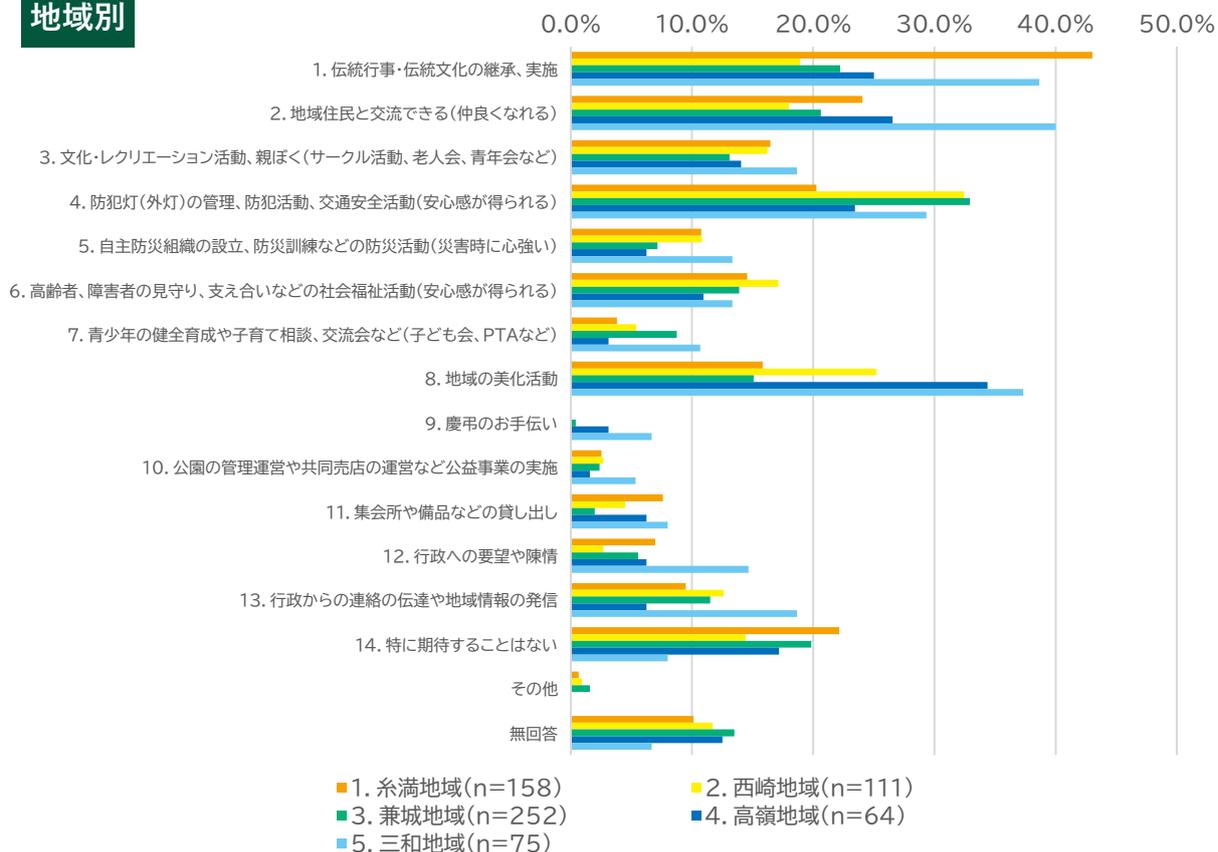
年代別では、18～29才で「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」と答えた割合が35.8%、「14. 特に期待することはない」と答えた割合が31.3%と他の年代と比べて高くなっている。また、70代以上で「8. 地域の美化活動」と答えた割合が、32.9%と他の年代と比べて高くなっている。



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	35.8%	32.5%	27.0%	24.6%	32.3%	24.8%
2. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)	19.4%	32.5%	18.9%	18.3%	25.8%	26.8%
3. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会など)	19.4%	21.3%	10.8%	12.7%	12.1%	16.1%
4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)	31.3%	25.0%	28.8%	28.6%	23.4%	32.9%
5. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)	14.9%	10.0%	9.9%	8.7%	4.0%	9.4%
6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)	9.0%	13.8%	18.0%	13.5%	10.5%	16.1%
7. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)	10.4%	5.0%	4.5%	7.9%	4.8%	6.7%
8. 地域の美化活動	14.9%	7.5%	15.3%	20.6%	25.8%	32.9%
9. 慶弔のお手伝い	1.5%	0.0%	0.9%	0.0%	1.6%	1.3%
10. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	4.5%	3.8%	2.7%	1.6%	0.8%	2.7%
11. 集会所や備品などの貸し出し	4.5%	1.3%	2.7%	2.4%	7.3%	7.4%
12. 行政への要望や陳情	4.5%	2.5%	3.6%	5.6%	9.7%	8.7%
13. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	3.0%	5.0%	5.4%	7.9%	11.3%	24.8%
14. 特に期待することはない	31.3%	28.8%	20.7%	15.9%	18.5%	5.4%
その他	0.0%	1.3%	2.7%	1.6%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	3.8%	5.4%	13.5%	16.9%	18.8%

地域別では、三和地域において「2. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)」と答えた割合が40.0%、「8. 地域の美化活動」と答えた割合が37.3%と、他の地域と比べて高くなっている。また、糸満地域においては「1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施」と答えた割合が43.0%と、他の地域と比べて高くなっている。

## 地域別



	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	43.0%	18.9%	22.2%	25.0%	38.7%
2. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)	24.1%	18.0%	20.6%	26.6%	40.0%
3. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会など)	16.5%	16.2%	13.1%	14.1%	18.7%
4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)	20.3%	32.4%	32.9%	23.4%	29.3%
5. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)	10.8%	10.8%	7.1%	6.3%	13.3%
6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)	14.6%	17.1%	13.9%	10.9%	13.3%
7. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)	3.8%	5.4%	8.7%	3.1%	10.7%
8. 地域の美化活動	15.8%	25.2%	15.1%	34.4%	37.3%
9. 慶弔のお手伝い	0.0%	0.0%	0.4%	3.1%	6.7%
10. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	2.5%	2.7%	2.4%	1.6%	5.3%
11. 集会所や備品などの貸し出し	7.6%	4.5%	2.0%	6.3%	8.0%
12. 行政への要望や陳情	7.0%	2.7%	5.6%	6.3%	14.7%
13. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	9.5%	12.6%	11.5%	6.3%	18.7%
14. 特に期待することはない	22.2%	14.4%	19.8%	17.2%	8.0%
その他	0.6%	0.9%	1.6%	0.0%	0.0%
無回答	10.1%	11.7%	13.5%	12.5%	6.7%

●「その他」の回答

- ・ 自治体に加入してないのでわからない
- ・ 生まれ育った共同体？の助け合いでしょうか？※ただし、足を引っ張る者や、色々と感情等があるのも事実ですが？
- ・ 私の住んでいる自治会の活動(美化作業)暑い中ホント感謝しています。も知っているのもそれ以上は望まない
- ・ 出来ることなら部落の古い慣わしを無くして欲しい 借りたくないのにお金を借りさせて毎年利子を払わされている
- ・ 地域の祭りや、エイサーなど年1回でもやってくれたら加入も検討したい
- ・ 建売住宅を買っている人たちにも自治会に加入して欲しい。
- ・ 良かったことはないです
- ・ 一軒家だけでなくアパートの住人からも自治会費を徴収して、予算に充てて欲しい。不公平だと思う。予算が多ければ区の活性化につながると思う。

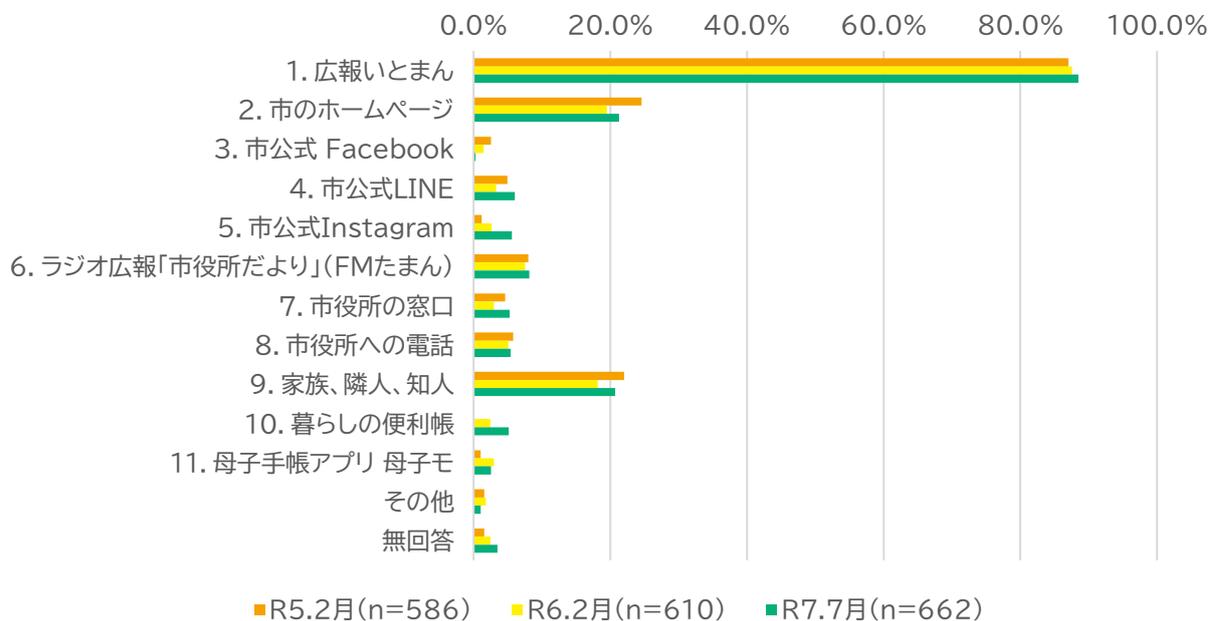
## ◆5. 市政について

**[問 5-1 複数回答]**市の情報をどのような方法で入手していますか。(選択は三つまで)

<関連する政策:第6章 政策2>

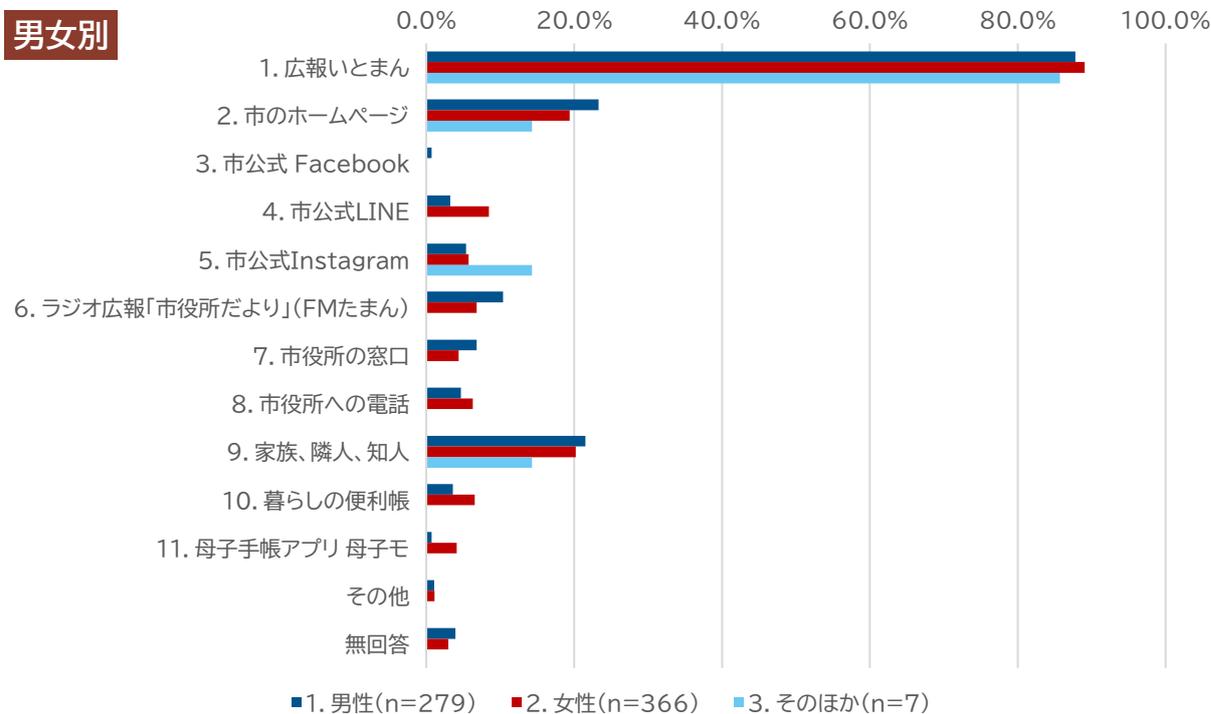
「1. 広報いとまん」と答えた割合が88.5%と最も高く、次いで「2. 市のホームページ」21.3%、「9. 家族、隣人、知人」20.7%となっている。

令和4年度(R5年2月)の調査と比較すると、「5. 市公式 Instagram」と答えた割合が1.2%から5.6%と4.4ポイント増加している。一方、「2. 市のホームページ」と答えた割合は24.6%から21.3%と3.3ポイント減少している。



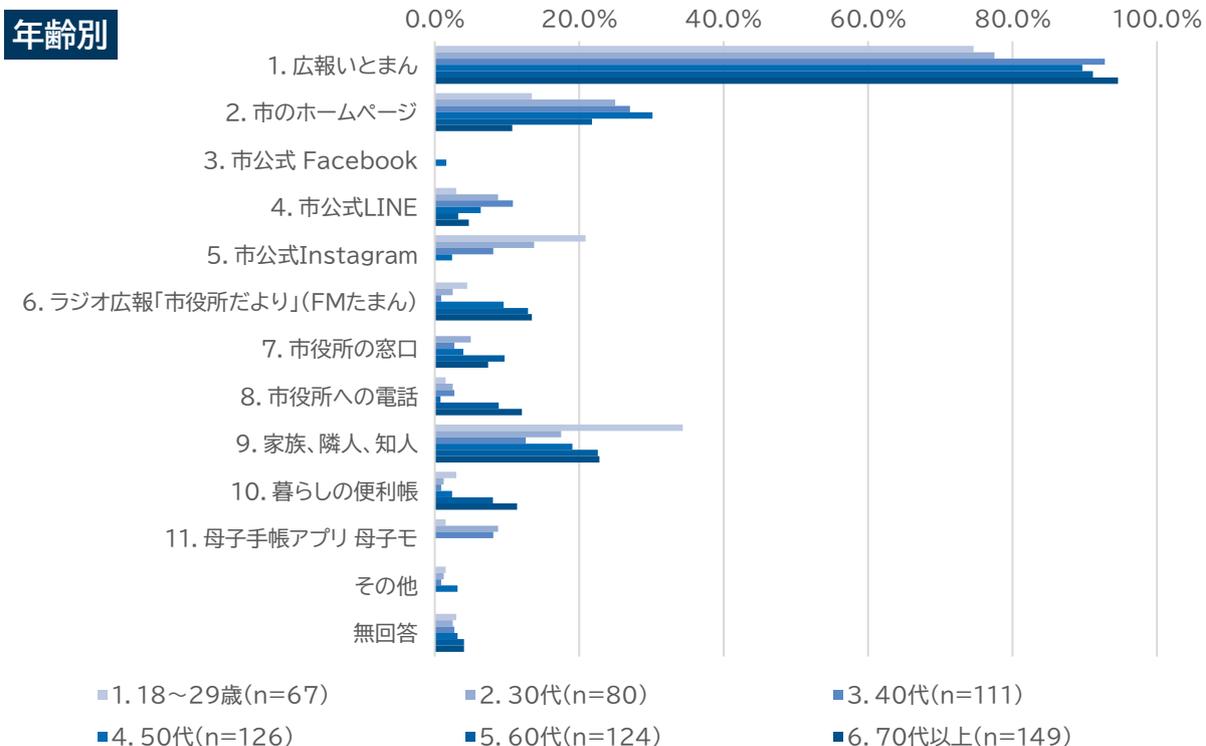
	R5.2月(n=586)	R6.2月(n=610)	R7.7月(n=662)
1. 広報いとまん	87.0%	87.5%	88.5%
2. 市のホームページ	24.6%	19.5%	21.3%
3. 市公式 Facebook	2.6%	1.5%	0.3%
4. 市公式 LINE	4.9%	3.3%	6.0%
5. 市公式 Instagram	1.2%	2.6%	5.6%
6. ラジオ広報「市役所だより」(FMたまん)	8.0%	7.5%	8.2%
7. 市役所の窓口	4.6%	3.0%	5.3%
8. 市役所への電話	5.8%	5.1%	5.4%
9. 家族、隣人、知人	22.0%	18.2%	20.7%
10. 暮らしの便利帳	—	2.5%	5.1%
11. 母子手帳アプリ 母子モ	1.0%	3.0%	2.6%
その他	1.5%	1.8%	1.1%
無回答	1.5%	2.5%	3.5%

男女別では、「2. 市のホームページ」と答えた割合が男性 23.3%、女性 19.4%と男性が高くなっている。一方、「4. 市公式 LINE」と答えた割合は男性 3.2%、女性 8.5%と女性が高くなっている。



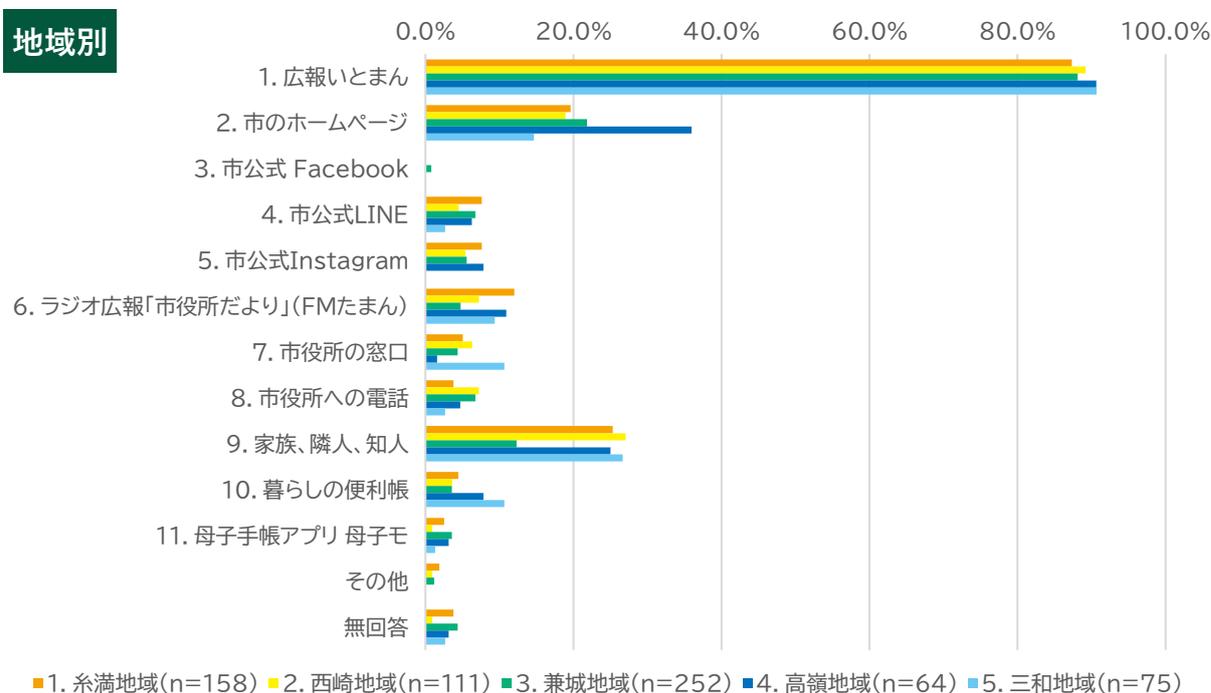
	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 広報いとまん	87.8%	89.1%	85.7%
2. 市のホームページ	23.3%	19.4%	14.3%
3. 市公式 Facebook	0.7%	0.0%	0.0%
4. 市公式 LINE	3.2%	8.5%	0.0%
5. 市公式 Instagram	5.4%	5.7%	14.3%
6. ラジオ広報「市役所だより」(FMたまん)	10.4%	6.8%	0.0%
7. 市役所の窓口	6.8%	4.4%	0.0%
8. 市役所への電話	4.7%	6.3%	0.0%
9. 家族、隣人、知人	21.5%	20.2%	14.3%
10. 暮らしの便利帳	3.6%	6.6%	0.0%
11. 母子手帳アプリ 母子モ	0.7%	4.1%	0.0%
その他	1.1%	1.1%	0.0%
無回答	3.9%	3.0%	0.0%

年代別では、18～29才において「1. 広報いとまん」と答えた割合が74.6%と他の年代と比べて低くなっている一方で、「9. 家族、隣人、知人」と答えた割合は34.3%、「5. 市公式Instagram」と答えた割合は20.9%と他の年代と比べて高くなっている。また、70代以上では「6. ラジオ広報「市役所だより」(FMたまん)」と答えた割合が13.4%、「8. 市役所への電話」と答えた割合が12.1%と、他の年代と比べて高くなっている。



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 広報いとまん	74.6%	77.5%	92.8%	89.7%	91.1%	94.6%
2. 市のホームページ	13.4%	25.0%	27.0%	30.2%	21.8%	10.7%
3. 市公式 Facebook	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%
4. 市公式 LINE	3.0%	8.8%	10.8%	6.3%	3.2%	4.7%
5. 市公式 Instagram	20.9%	13.8%	8.1%	2.4%	0.0%	0.0%
6. ラジオ広報 「市役所だより」(FMたまん)	4.5%	2.5%	0.9%	9.5%	12.9%	13.4%
7. 市役所の窓口	0.0%	5.0%	2.7%	4.0%	9.7%	7.4%
8. 市役所への電話	1.5%	2.5%	2.7%	0.8%	8.9%	12.1%
9. 家族、隣人、知人	34.3%	17.5%	12.6%	19.0%	22.6%	22.8%
10. 暮らしの便利帳	3.0%	1.3%	0.9%	2.4%	8.1%	11.4%
11. 母子手帳アプリ 母子モ	1.5%	8.8%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1.5%	1.3%	0.9%	3.2%	0.0%	0.0%
無回答	3.0%	2.5%	2.7%	3.2%	4.0%	4.0%

地域別では、高嶺地域においては「2. 市のホームページ」と答えた割合が 35.9%と、他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 広報いとまん	87.3%	89.2%	88.1%	90.6%	90.7%
2. 市のホームページ	19.6%	18.9%	21.8%	35.9%	14.7%
3. 市公式 Facebook	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
4. 市公式 LINE	7.6%	4.5%	6.7%	6.3%	2.7%
5. 市公式 Instagram	7.6%	5.4%	5.6%	7.8%	0.0%
6. ラジオ広報「市役所だより」(FMたまん)	12.0%	7.2%	4.8%	10.9%	9.3%
7. 市役所の窓口	5.1%	6.3%	4.4%	1.6%	10.7%
8. 市役所への電話	3.8%	7.2%	6.7%	4.7%	2.7%
9. 家族、隣人、知人	25.3%	27.0%	12.3%	25.0%	26.7%
10. 暮らしの便利帳	4.4%	3.6%	3.6%	7.8%	10.7%
11. 母子手帳アプリ 母子モ	2.5%	0.9%	3.6%	3.1%	1.3%
その他	1.9%	0.9%	1.2%	0.0%	0.0%
無回答	3.8%	0.9%	4.4%	3.1%	2.7%

●「その他」の回答

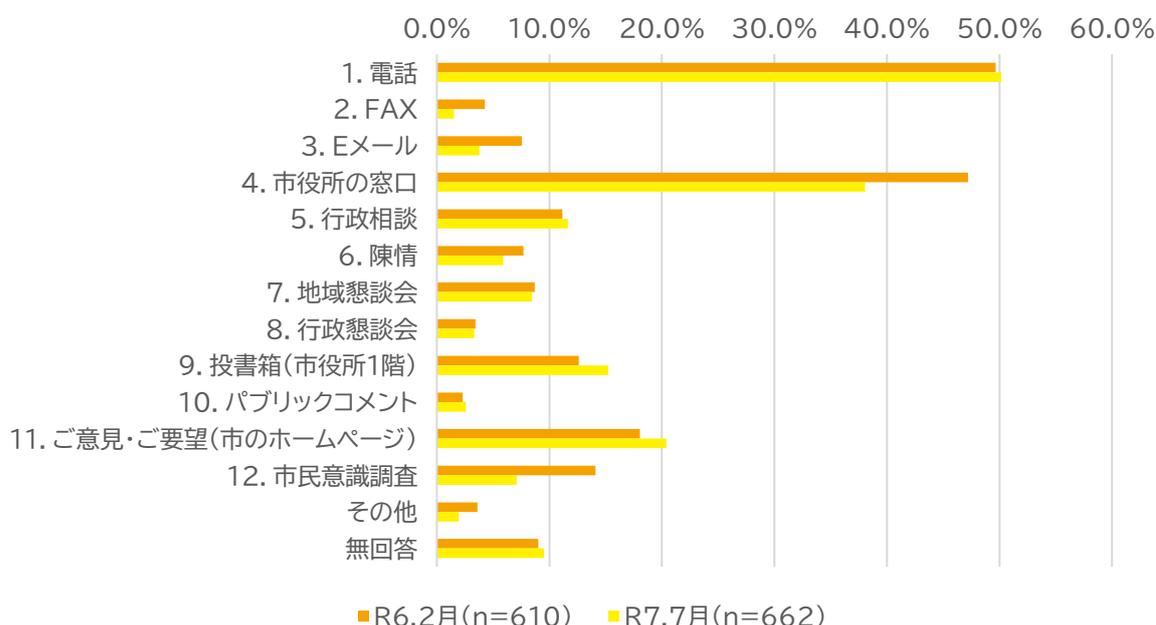
- ・ 生まれも育ちも字糸満なので、元関係者等を含め直接話を聞いたりしてます。
- ・ 特に興味が無い
- ・ 何も情報を入手してない
- ・ 何もない
- ・ 特になし
- ・ 期待してないから知らない、見ない
- ・ 入手していない
- ・ ポストに入る
- ・ 自治会広報
- ・ 支援センター

**[問 5-2 複数回答]**あなたが市政に対して、意見や要望を言える方法について、把握しているものを教えてください。

<関連する政策:第 6 章 政策 2>

「1. 電話」と答えた割合が 50.2%と最も多く、次に「4.市役所の窓口」と答えた割合が 38.1%、「11.ご意見・ご要望(市のホームページ)」と答えた割合が 20.4%となっている。

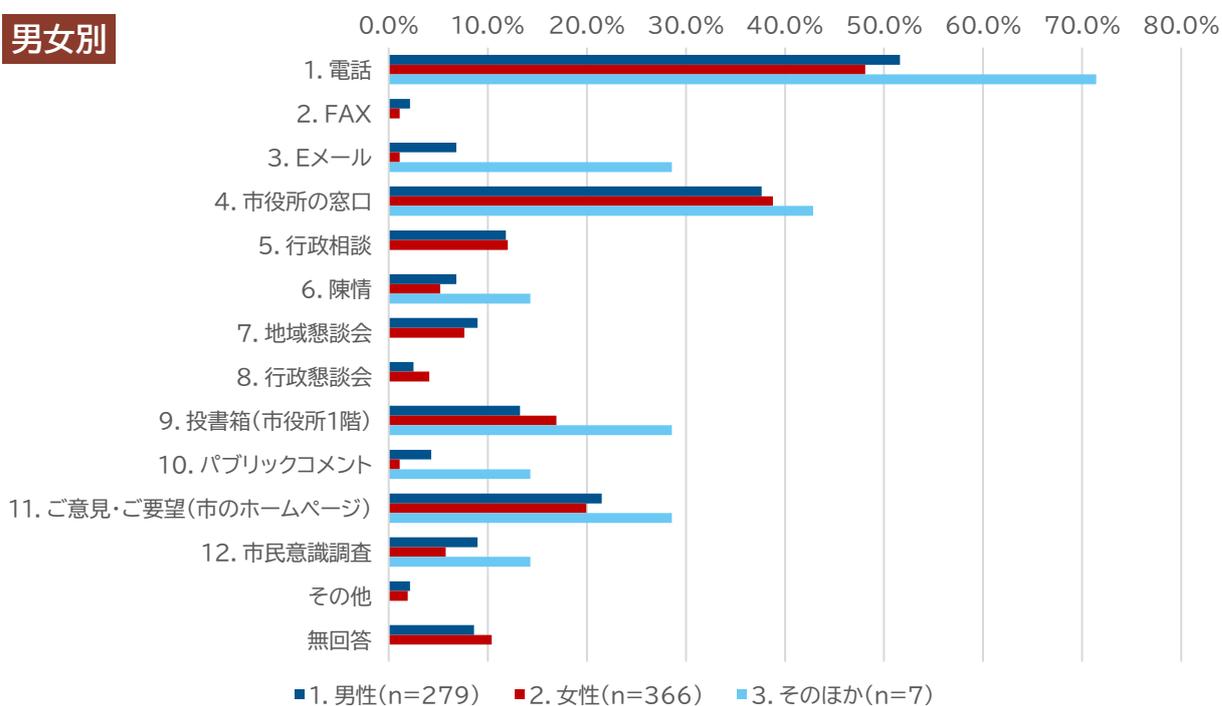
令和 5 年度(R6 年2月)の調査と比較すると、「9. 投書箱(市役所1階)」と答えた割合が 12.6%から 15.3%と 2.7 ポイント増加している。一方、「4. 市役所の窓口」と答えた割合は 47.2%から 38.1%と 9.1 ポイント減少している。



	R6.2月(n=610)	R7.7月(n=662)
1. 電話	49.7%	50.2%
2. FAX	4.3%	1.5%
3. Eメール	7.5%	3.8%
4. 市役所の窓口	47.2%	38.1%
5. 行政相談	11.1%	11.6%
6. 陳情	7.7%	5.9%
7. 地域懇談会	8.7%	8.5%
8. 行政懇談会	3.4%	3.3%
9. 投書箱(市役所1階)	12.6%	15.3%
10. パブリックコメント	2.3%	2.6%
11. ご意見・ご要望(市のホームページ)	18.0%	20.4%
12. 市民意識調査	14.1%	7.1%
その他	3.6%	2.0%
無回答	9.0%	9.5%

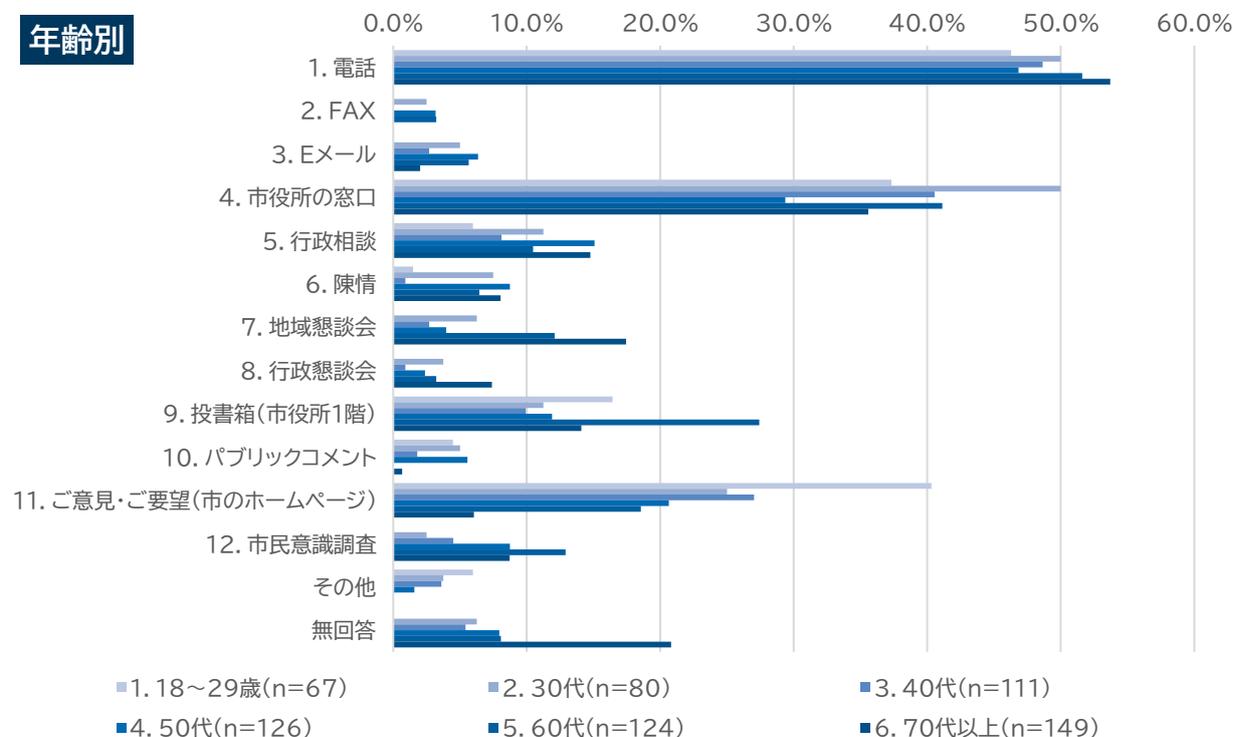
男女別では、「1. 電話」と答えた割合が男性 51.6%、女性 48.1%と男性が高くなっている。一方、「9. 投書箱(市役所1階)」と答えた割合は男性 13.3%、女性 16.9%と女性が高くなっている。

### 男女別



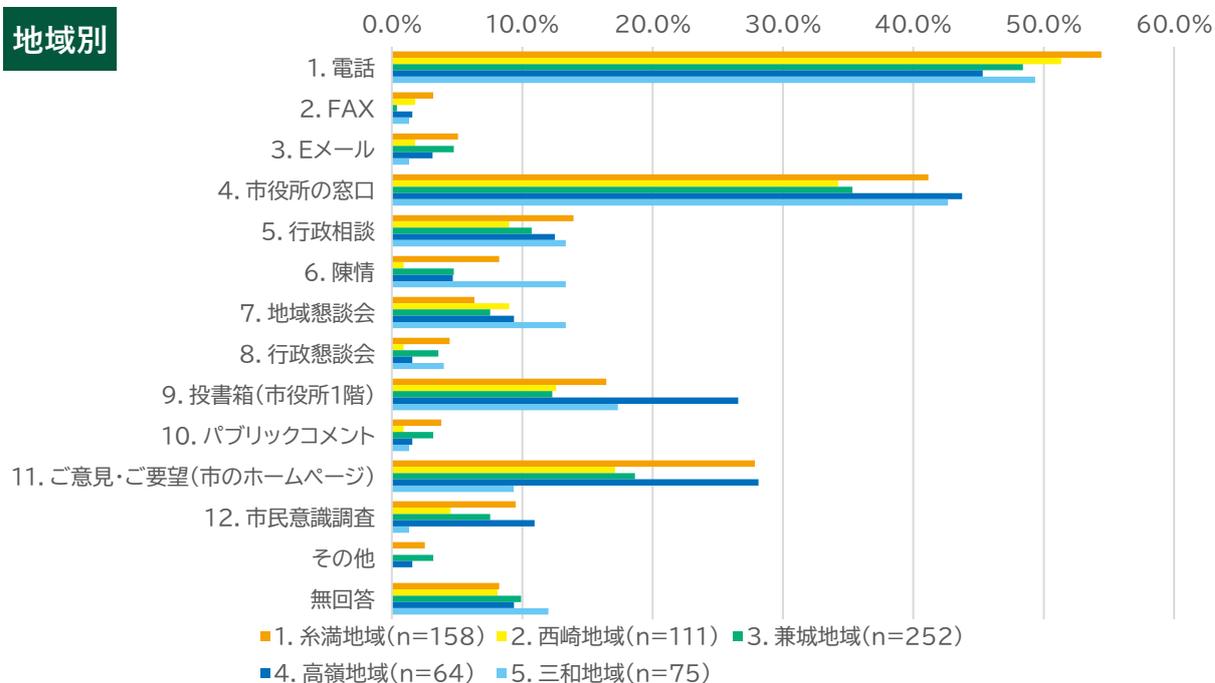
	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. 電話	51.6%	48.1%	71.4%
2. FAX	2.2%	1.1%	0.0%
3. Eメール	6.8%	1.1%	28.6%
4. 市役所の窓口	37.6%	38.8%	42.9%
5. 行政相談	11.8%	12.0%	0.0%
6. 陳情	6.8%	5.2%	14.3%
7. 地域懇談会	9.0%	7.7%	0.0%
8. 行政懇談会	2.5%	4.1%	0.0%
9. 投書箱(市役所1階)	13.3%	16.9%	28.6%
10. パブリックコメント	4.3%	1.1%	14.3%
11. ご意見・ご要望(市のホームページ)	21.5%	19.9%	28.6%
12. 市民意識調査	9.0%	5.7%	14.3%
その他	2.2%	1.9%	0.0%
無回答	8.6%	10.4%	0.0%

年代別では、18～29才で「11. ご意見・ご要望(市のホームページ)」と答えた割合が、40.3%と他の年代と比べて高くなっている。30代では、「4. 市役所の窓口」と答えた割合が50.0%と他の年代と比べて高くなっている。70代以上では、「1. 電話」53.7%、「7. 地域懇談会」17.4%、「8. 行政懇談会」7.4%の項目が、他の年代と比べて高くなっている。



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. 電話	46.3%	50.0%	48.6%	46.8%	51.6%	53.7%
2. FAX	0.0%	2.5%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%
3. Eメール	0.0%	5.0%	2.7%	6.3%	5.6%	2.0%
4. 市役所の窓口	37.3%	50.0%	40.5%	29.4%	41.1%	35.6%
5. 行政相談	6.0%	11.3%	8.1%	15.1%	10.5%	14.8%
6. 陳情	1.5%	7.5%	0.9%	8.7%	6.5%	8.1%
7. 地域懇談会	0.0%	6.3%	2.7%	4.0%	12.1%	17.4%
8. 行政懇談会	0.0%	3.8%	0.9%	2.4%	3.2%	7.4%
9. 投書箱(市役所1階)	16.4%	11.3%	9.9%	11.9%	27.4%	14.1%
10. パブリックコメント	4.5%	5.0%	1.8%	5.6%	0.0%	0.7%
11. ご意見・ご要望 (市のホームページ)	40.3%	25.0%	27.0%	20.6%	18.5%	6.0%
12. 市民意識調査	0.0%	2.5%	4.5%	8.7%	12.9%	8.7%
その他	6.0%	3.8%	3.6%	1.6%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	6.3%	5.4%	7.9%	8.1%	20.8%

地域別では、三和地域において「6. 陳情」と答えた割合が、13.3%と他の地域と比べて高くなっている。高嶺地域では、「9. 投書箱(市役所1階)」と答えた割合が26.6%と他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. 電話	54.4%	51.4%	48.4%	45.3%	49.3%
2. FAX	3.2%	1.8%	0.4%	1.6%	1.3%
3. Eメール	5.1%	1.8%	4.8%	3.1%	1.3%
4. 市役所の窓口	41.1%	34.2%	35.3%	43.8%	42.7%
5. 行政相談	13.9%	9.0%	10.7%	12.5%	13.3%
6. 陳情	8.2%	0.9%	4.8%	4.7%	13.3%
7. 地域懇談会	6.3%	9.0%	7.5%	9.4%	13.3%
8. 行政懇談会	4.4%	0.9%	3.6%	1.6%	4.0%
9. 投書箱(市役所1階)	16.5%	12.6%	12.3%	26.6%	17.3%
10. パブリックコメント	3.8%	0.9%	3.2%	1.6%	1.3%
11. ご意見・ご要望(市のホームページ)	27.8%	17.1%	18.7%	28.1%	9.3%
12. 市民意識調査	9.5%	4.5%	7.5%	10.9%	1.3%
その他	2.5%	0.0%	3.2%	1.6%	0.0%
無回答	8.2%	8.1%	9.9%	9.4%	12.0%

●「その他」の回答

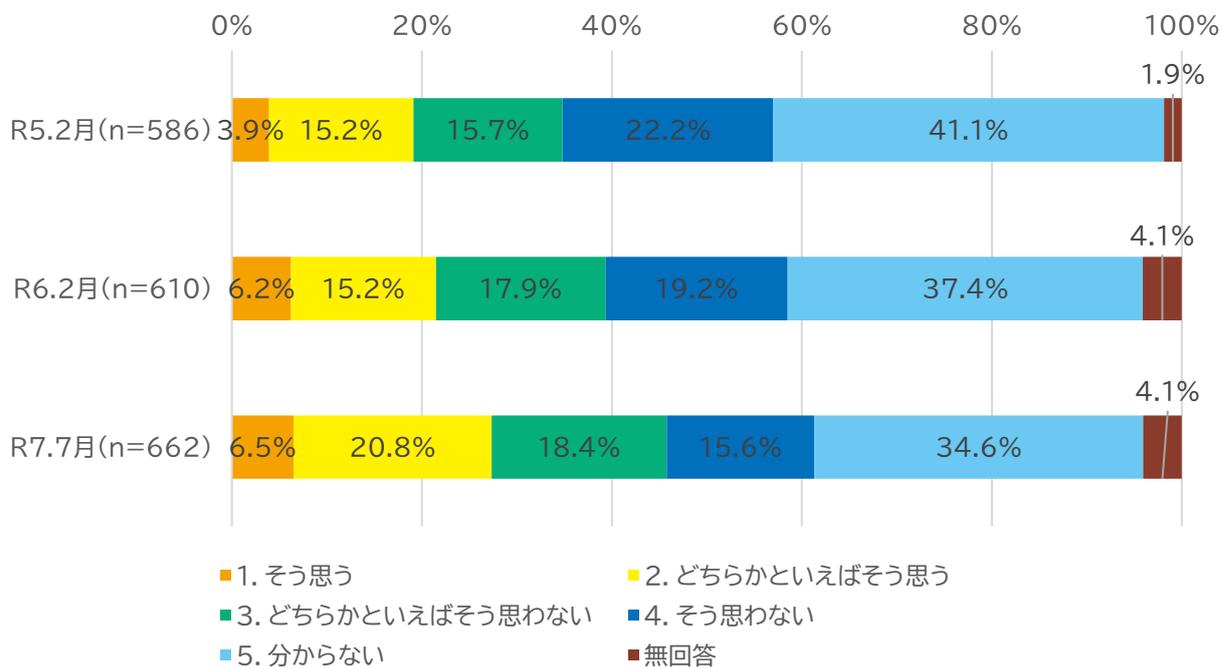
- ・ 市議の SNS に DM
- ・ 特に考えた事が無い
- ・ 1~12 まで全てが当てますが、【効果については？】です。※私見。
- ・ 言うつもりない
- ・ 知らない
- ・ 期待していないので特に伝えない
- ・ 気にしたことがなかった
- ・ 全く知らなかったのでもっと積極的にあらゆる場で 市政に意見が言える 窓口を作った方が良い
- ・ 知らんです
- ・ 議員にお願いする
- ・ 必要になったら窓口で担当部署を聞き、そこで尋ねる。
- ・ 把握していなかった。今日知りました。
- ・ いとまーる内にも意見・要望があるので、いとまーる内にも投書箱を置いてほしい。市場なのに物が無い。トイレが汚いなど。

**[問 5-3 単一回答]**あなたが市政に対して、意見や要望を言える機会や方法が十分だと思いますか。

<関連する政策:第 6 章 政策 2>

「5.分からない」と答えた割合が 34.6%と最も多く、次いで「2. どちらかといえばそう思う」20.8%、「3. どちらかといえばそう思わない」18.4%となっている。

令和 4 年度(R5 年2月)の調査と比較すると、「2. どちらかといえばそう思う」と答えた割合が 15.2%から 20.8%と 5.6 ポイント増加している。一方、「4. そう思わない」と答えた割合は 22.2%から 15.6%と 6.6 ポイント減少している。

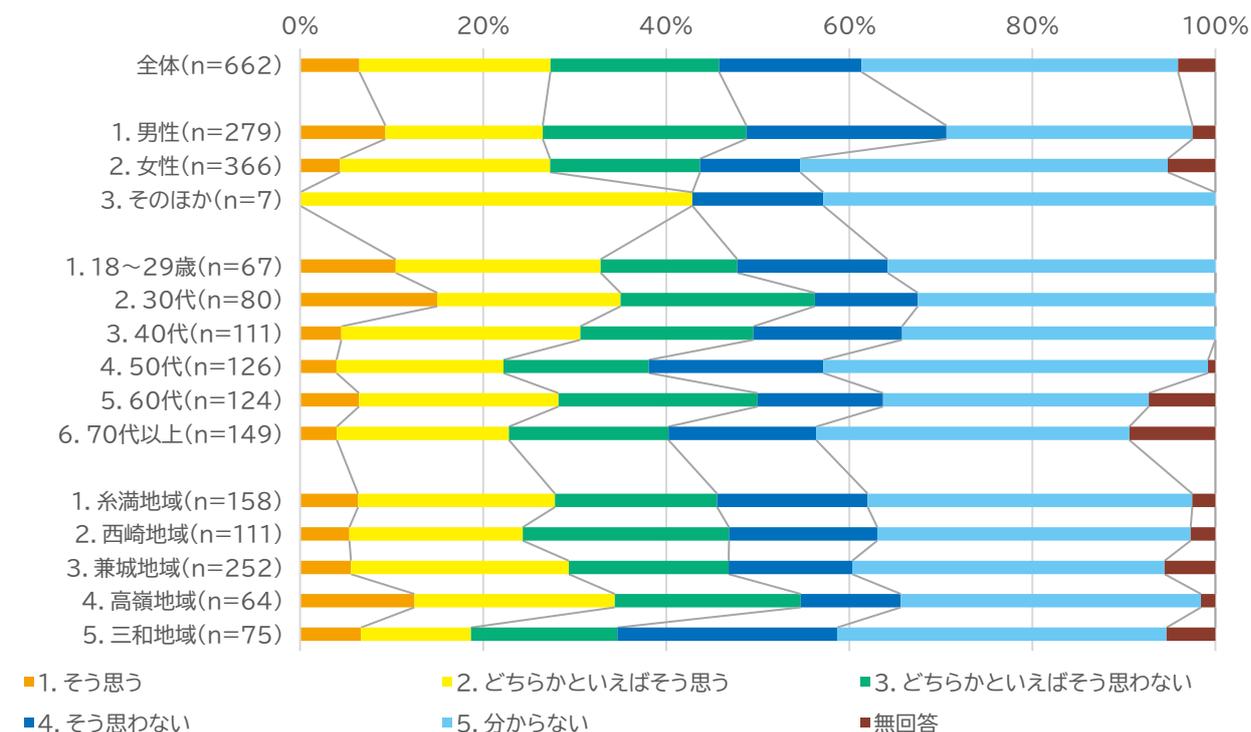


	R5.2月(n=586)	R6.2月(n=610)	R7.7月(n=662)
1. そう思う	3.9%	6.2%	6.5%
2. どちらかといえばそう思う	15.2%	15.2%	20.8%
3. どちらかといえばそう思わない	15.7%	17.9%	18.4%
4. そう思わない	22.2%	19.2%	15.6%
5. 分からない	41.1%	37.4%	34.6%
無回答	1.9%	4.1%	4.1%

男女別では、「1. そう思う」と答えた割合が男性 9.3%、女性 4.4%と男性が高くなっている。一方、「5. 分からない」と答えた割合は男性 26.9%、女性 40.2%と女性が高くなっている。

年代別では、「1. そう思う」と答えた割合が 30 代で 15.0%(全体 6.5%)と、他の年代と比べて高くなっている。また、「2. どちらかといえばそう思う」と答えた割合が、40 代で 26.1%(全体 20.8%)と、他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、高嶺地域において「1. そう思う」と答えた割合が 12.5%(全体 6.5%)と他の地域と比べて高くなっている。



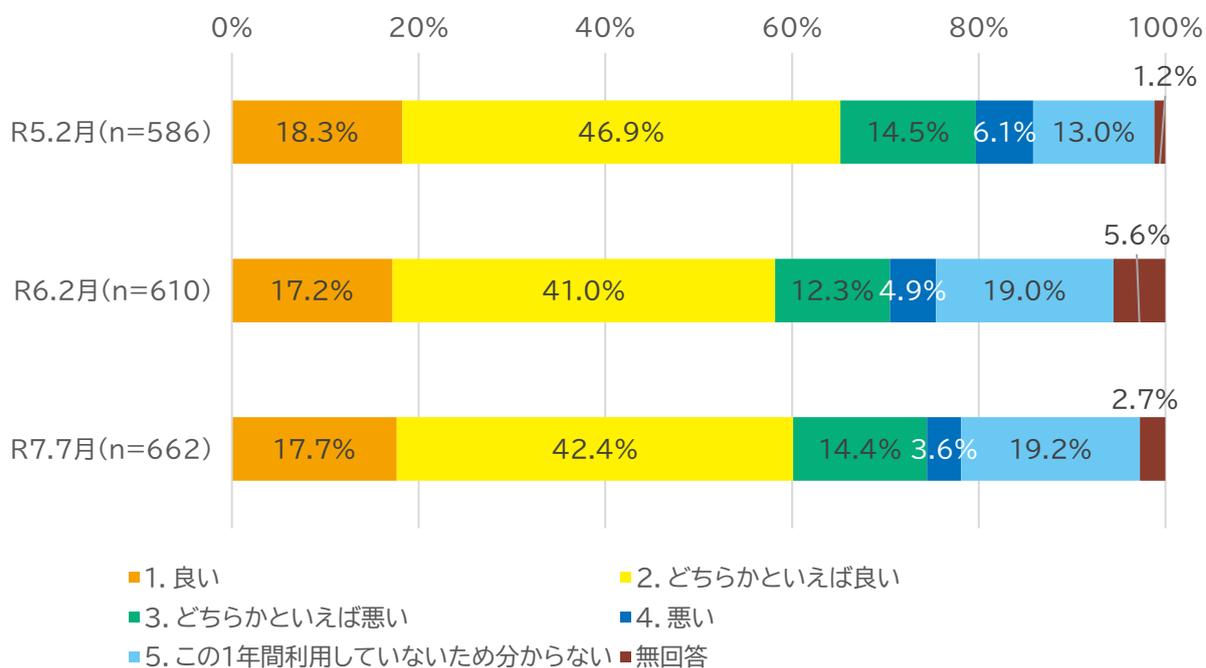
	1. そう思う	2. どちらかとい えば そう思う	3. どちらかとい えば そう思わない	4. そう 思わない	5. 分からない	無回答
全体(n=662)	6.5%	20.8%	18.4%	15.6%	34.6%	4.1%
1. 男性(n=279)	9.3%	17.2%	22.2%	21.9%	26.9%	2.5%
2. 女性(n=366)	4.4%	23.0%	16.4%	10.9%	40.2%	5.2%
3. そのほか(n=7)	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%
1. 18~29歳(n=67)	10.4%	22.4%	14.9%	16.4%	35.8%	0.0%
2. 30代(n=80)	15.0%	20.0%	21.3%	11.3%	32.5%	0.0%
3. 40代(n=111)	4.5%	26.1%	18.9%	16.2%	34.2%	0.0%
4. 50代(n=126)	4.0%	18.3%	15.9%	19.0%	42.1%	0.8%
5. 60代(n=124)	6.5%	21.8%	21.8%	13.7%	29.0%	7.3%
6. 70代以上(n=149)	4.0%	18.8%	17.4%	16.1%	34.2%	9.4%
1. 糸満地域(n=158)	6.3%	21.5%	17.7%	16.5%	35.4%	2.5%
2. 西崎地域(n=111)	5.4%	18.9%	22.5%	16.2%	34.2%	2.7%
3. 兼城地域(n=252)	5.6%	23.8%	17.5%	13.5%	34.1%	5.6%
4. 高嶺地域(n=64)	12.5%	21.9%	20.3%	10.9%	32.8%	1.6%
5. 三和地域(n=75)	6.7%	12.0%	16.0%	24.0%	36.0%	5.3%

**[問 5-4 単一回答]**この1年間で市役所職員の窓口や電話対応(服装、応対など)をどのように感じていますか。

<関連する政策:第6章 政策2>

良いと答えた割合(「1. 良い」「2. どちらかといえば良い」の合計)が 60.1%と、悪いと答えた割合(「3. どちらかといえば悪い」「4. 悪い」の合計)18.0%を上回っている。

令和4年度(R5年2月)の調査と比較すると、「5. この1年間利用していないため分からない」と答えた割合が 13.0%から 19.2%と 6.2ポイント増加している。一方、「2. どちらかといえば良い」と答えた割合は 46.9%から 42.4%と 4.5ポイント減少している。

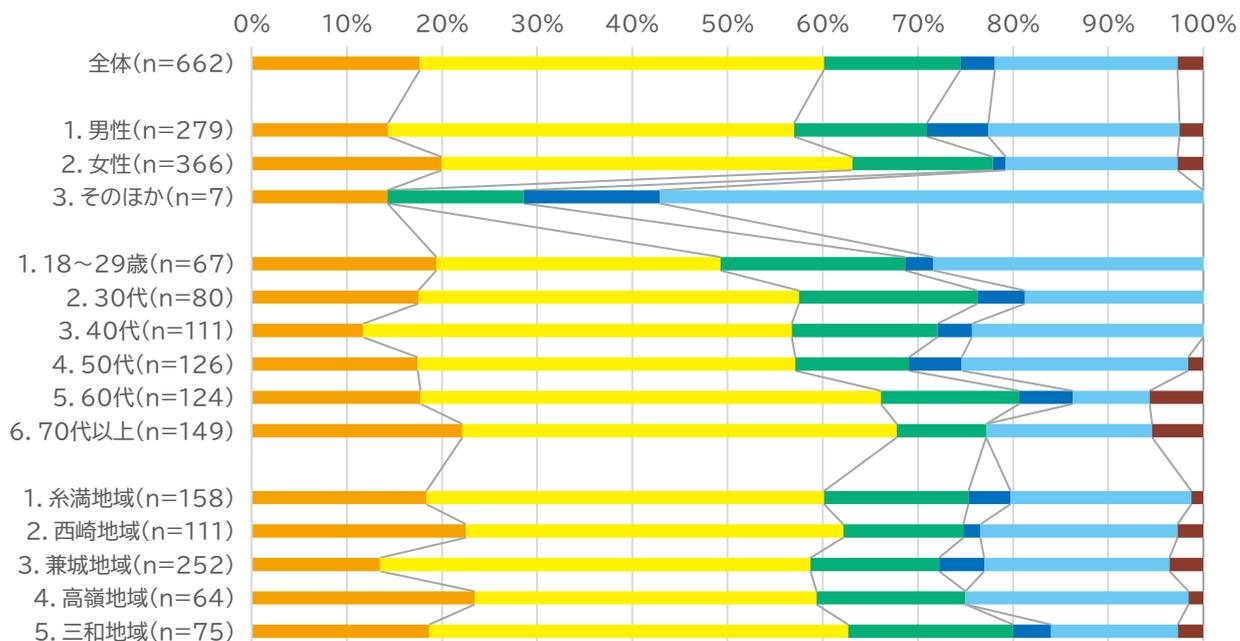


	R5.2月(n=586)	R6.2月(n=610)	R7.7月(n=662)
1. 良い	18.3%	17.2%	17.7%
2. どちらかといえば良い	46.9%	41.0%	42.4%
3. どちらかといえば悪い	14.5%	12.3%	14.4%
4. 悪い	6.1%	4.9%	3.6%
5. この1年間利用していないため分からない	13.0%	19.0%	19.2%
無回答	1.2%	5.6%	2.7%

男女別では、「4. 悪い」と答えた割合が男性 6.5%、女性 1.4%と男性が高くなっている。一方、「1. 良い」と答えた割合は男性 14.3%、女性 19.9%と女性が高くなっている。

年代別では、「1. 良い」と答えた割合が 70 代以上で 22.1%(全体 17.7%)と、他の年代と比べて高くなっている。また、「5. この1年間利用していないため分からない」と答えた割合が 18~29 歳で 28.4%(全体 19.2%)と、他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、高嶺地域において「5. この1年間利用していないため分からない」と答えた割合が 23.4%(全体 19.2%)と、他の地域と比べて高くなっている。



■ 1. 良い ■ 2. どちらかといえば良い ■ 3. どちらかといえば悪い ■ 4. 悪い ■ 5. この1年間利用していないため分からない ■ 無回答

	1. 良い	2. どちらかとい えば良い	3. どちらかとい えば悪い	4. 悪い	5. この1年間 利用していな いため分から ない	無回答
全体(n=662)	17.7%	42.4%	14.4%	3.6%	19.2%	2.7%
1. 男性(n=279)	14.3%	42.7%	14.0%	6.5%	20.1%	2.5%
2. 女性(n=366)	19.9%	43.2%	14.8%	1.4%	18.0%	2.7%
3. そのほか(n=7)	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%
1. 18~29歳(n=67)	19.4%	29.9%	19.4%	3.0%	28.4%	0.0%
2. 30代(n=80)	17.5%	40.0%	18.8%	5.0%	18.8%	0.0%
3. 40代(n=111)	11.7%	45.0%	15.3%	3.6%	24.3%	0.0%
4. 50代(n=126)	17.5%	39.7%	11.9%	5.6%	23.8%	1.6%
5. 60代(n=124)	17.7%	48.4%	14.5%	5.6%	8.1%	5.6%
6. 70代以上(n=149)	22.1%	45.6%	9.4%	0.0%	17.4%	5.4%
1. 糸満地域(n=158)	18.4%	41.8%	15.2%	4.4%	19.0%	1.3%
2. 西崎地域(n=111)	22.5%	39.6%	12.6%	1.8%	20.7%	2.7%
3. 兼城地域(n=252)	13.5%	45.2%	13.5%	4.8%	19.4%	3.6%
4. 高嶺地域(n=64)	23.4%	35.9%	15.6%	0.0%	23.4%	1.6%
5. 三和地域(n=75)	18.7%	44.0%	17.3%	4.0%	13.3%	2.7%

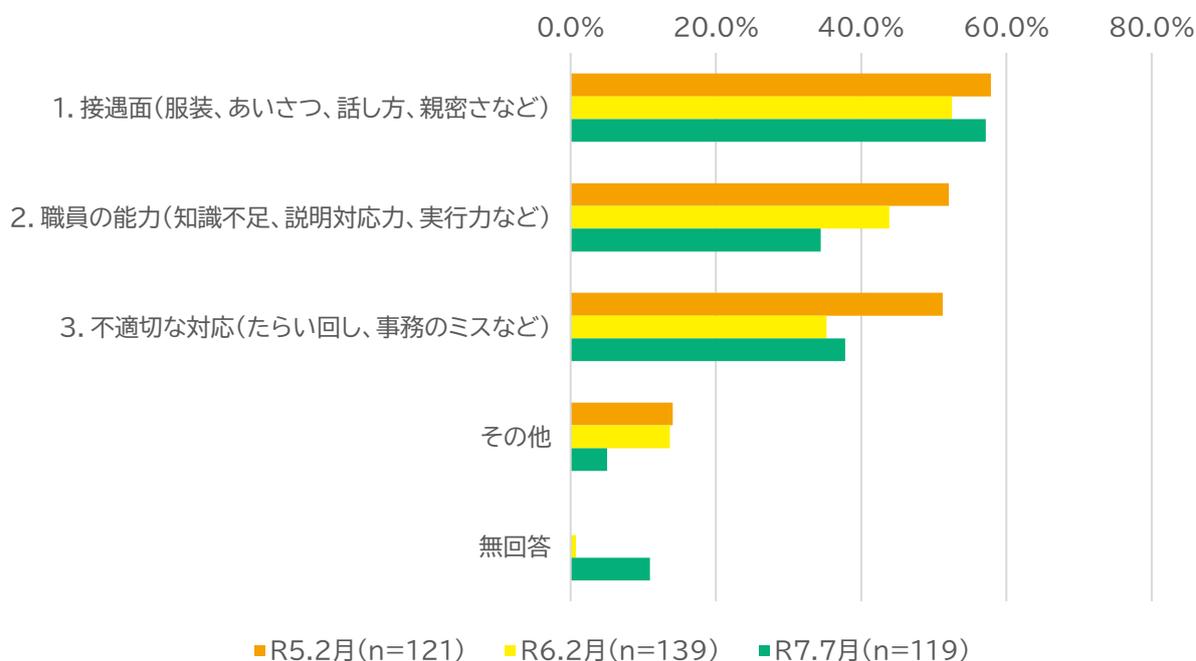
**[問 5-5 複数回答]**「どちらかと言えば悪い」、「悪い」を選択した方※は、その理由を教えてください。

※[問 5-4 単一回答]この1年間で市役所職員の窓口や電話対応(服装、対応など)をどのように感じていますか。

<関連する政策:第6章 政策2>

「1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)」と答えた割合が 57.1%と最も高く、次いで「3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)」37.8%、「2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)」34.5%となっている。

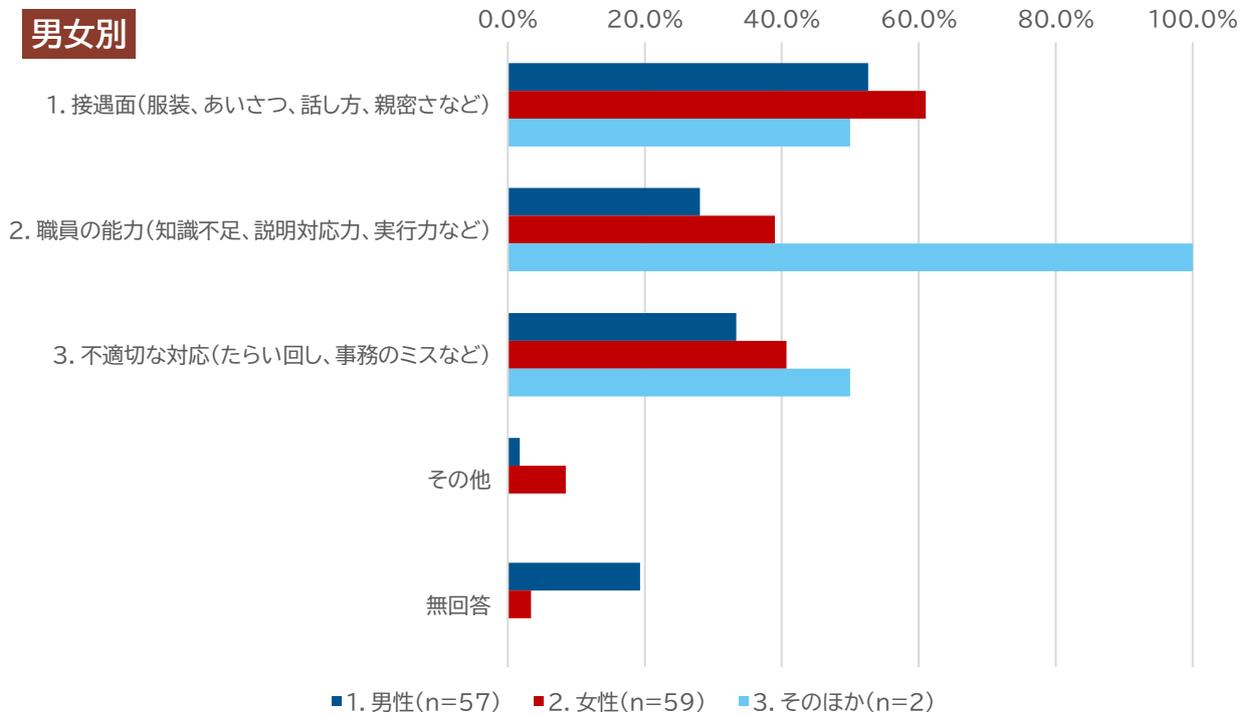
令和4年度(R5年2月)の調査と比較すると、「1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)」、「2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)」、「3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)」の全ての項目について、答えた割合が減少している。



	R5.2月(n=121)	R6.2月(n=139)	R7.7月(n=119)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	57.9%	52.5%	57.1%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	52.1%	43.9%	34.5%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	51.2%	35.3%	37.8%
その他	14.0%	13.7%	5.0%
無回答	0.0%	0.7%	10.9%

男女別では、「1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)」で男性 52.6%、女性 61.0%、「2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)」で男性 28.1%、女性 39.0%と、女性が高くなっている。

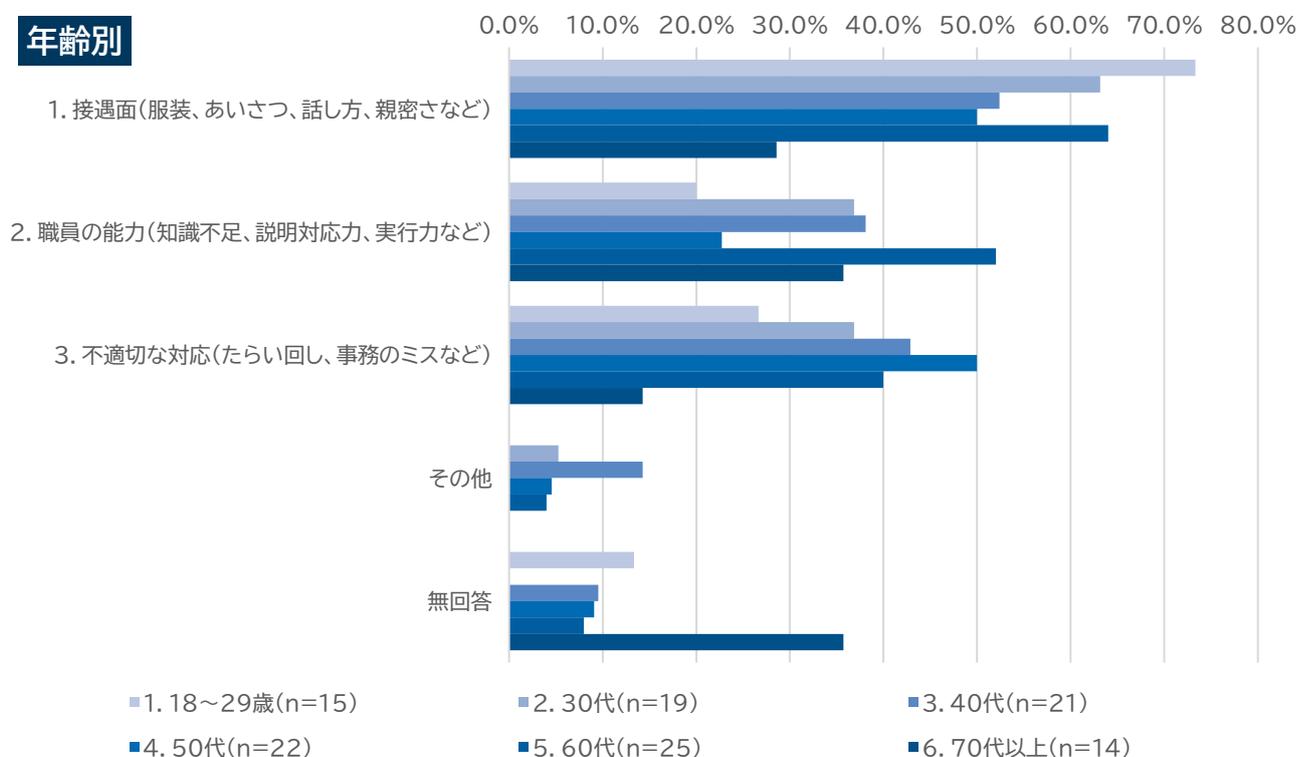
### 男女別



	1. 男性(n=57)	2. 女性(n=59)	3. そのほか(n=2)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	52.6%	61.0%	50.0%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	28.1%	39.0%	100.0%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	33.3%	40.7%	50.0%
その他	1.8%	8.5%	0.0%
無回答	19.3%	3.4%	0.0%

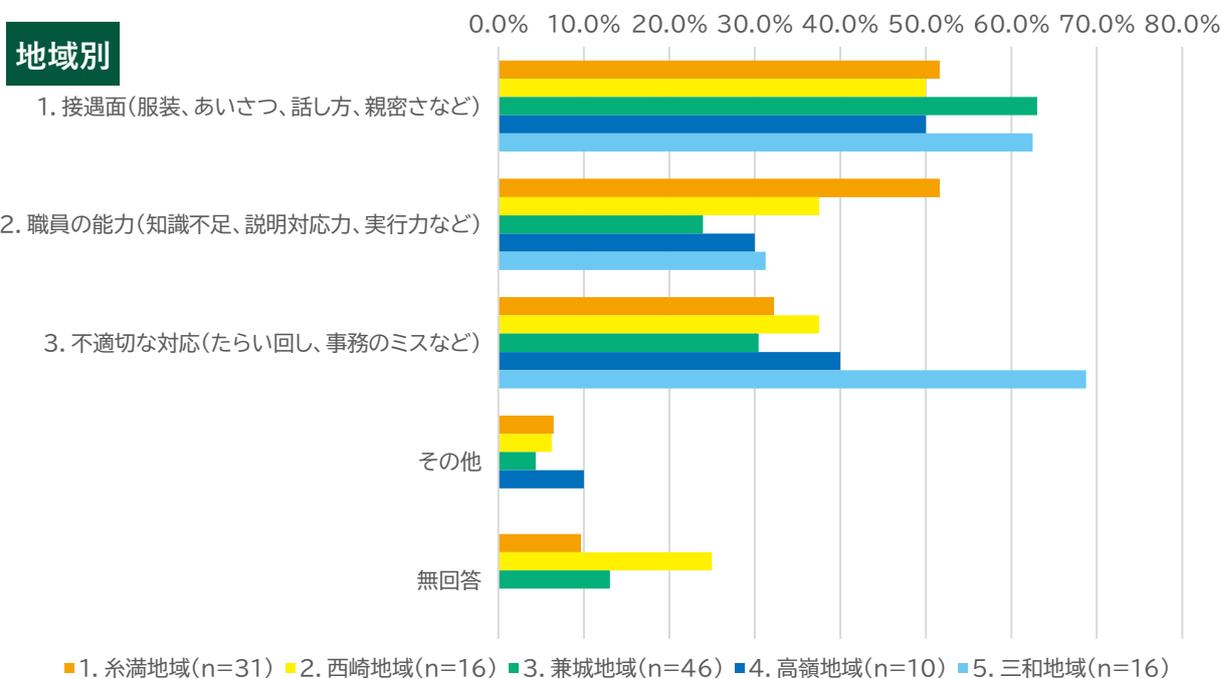
年代別では、各年代のサンプル数が30以下であることに留意する必要があるが、「1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)」と答えた割合が18~29才で73.3%と、他の年代と比べて高くなっている。また、「2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)」と答えた割合が60代で52.0%と、他の年代と比べて高くなっている。

## 年齢別



	1. 18~29歳 (n=15)	2. 30代 (n=19)	3. 40代 (n=21)	4. 50代 (n=22)	5. 60代 (n=25)	6. 70代以上 (n=14)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	73.3%	63.2%	52.4%	50.0%	64.0%	28.6%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	20.0%	36.8%	38.1%	22.7%	52.0%	35.7%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	26.7%	36.8%	42.9%	50.0%	40.0%	14.3%
その他	0.0%	5.3%	14.3%	4.5%	4.0%	0.0%
無回答	13.3%	0.0%	9.5%	9.1%	8.0%	35.7%

地域別では、各地域のサンプル数が50未満であることに留意する必要があるが、「3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)」と答えた割合が、三和地域で68.8%と他の地域と比べて高くなっている。また、「2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)」と答えた割合が、糸満地域で51.6%と他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=31)	2. 西崎地域 (n=16)	3. 兼城地域 (n=46)	4. 高嶺地域 (n=10)	5. 三和地域 (n=16)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	51.6%	50.0%	63.0%	50.0%	62.5%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	51.6%	37.5%	23.9%	30.0%	31.3%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	32.3%	37.5%	30.4%	40.0%	68.8%
その他	6.5%	6.3%	4.3%	10.0%	0.0%
無回答	9.7%	25.0%	13.0%	0.0%	0.0%

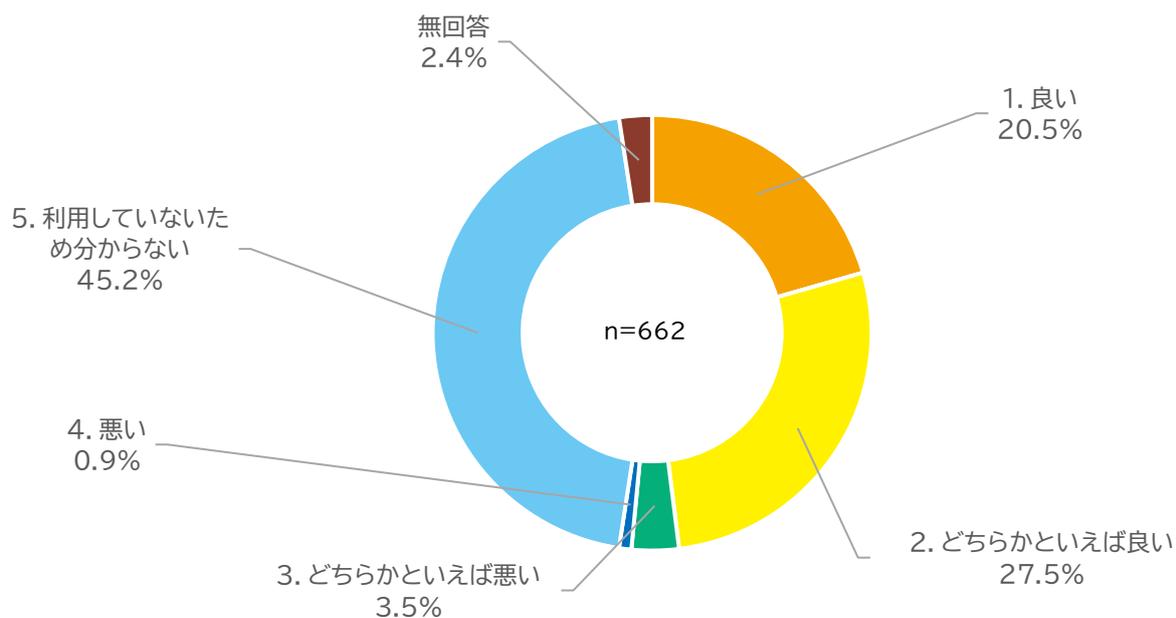
●「その他」の回答

- ・ マスク着用している事やプライベートなことでも大きな声で話せないこともあります。説明が聞き取りにくいことが多々あります
- ・ 部署毎に外線を設けているのは良いが、祭日に電話した時には留守電のアナウンスを入れて欲しい。慰霊の日に電話すると音声ガイダンスのあとにオンコールであった為。これだと分からずにかけたら、料金がかかってしまう。
- ・ いやそうに接客をしている。来てすまないという気持ちにさせられる。担当者がいないと待たされる。
- ・ 説明等が業務的で親切ではない。
- ・ 対応した人によって当たりハズレがある
- ・ 窓口の対応は、一部の人のせいで悪い印象になる
- ・ 対応者により能力に大きな差を感じる。特に窓口。
- ・ 出勤時間が遅い。8時30分から出勤している。
- ・ スピードが遅い(各種手続き)
- ・ 対応までに時間がかかる
- ・ 元気がない、覇気がない対応を感じる。(全体的に。)対応は良く、仕事はきちんとしてくれるけど、みんな疲れているのでは。
- ・ 職員は後ろ、臨時は前で対応
- ・ 事務職らしい服装に努めて欲しい。特に女子職員の服装。

**[問 5-6 単一回答]**糸満市における行政手続きのオンライン化(電子申請等)、情報発信のデジタル化(市公式 LINE アカウント等)の取り組みをどのように感じていますか。

<関連する政策:第 6 章 政策 2>

「5. 利用していないため分からない」と答えた割合が 45.2%と最も多く、次いで「2. どちらかといえば良い」27.5%、「1. 良い」20.5%となっている。

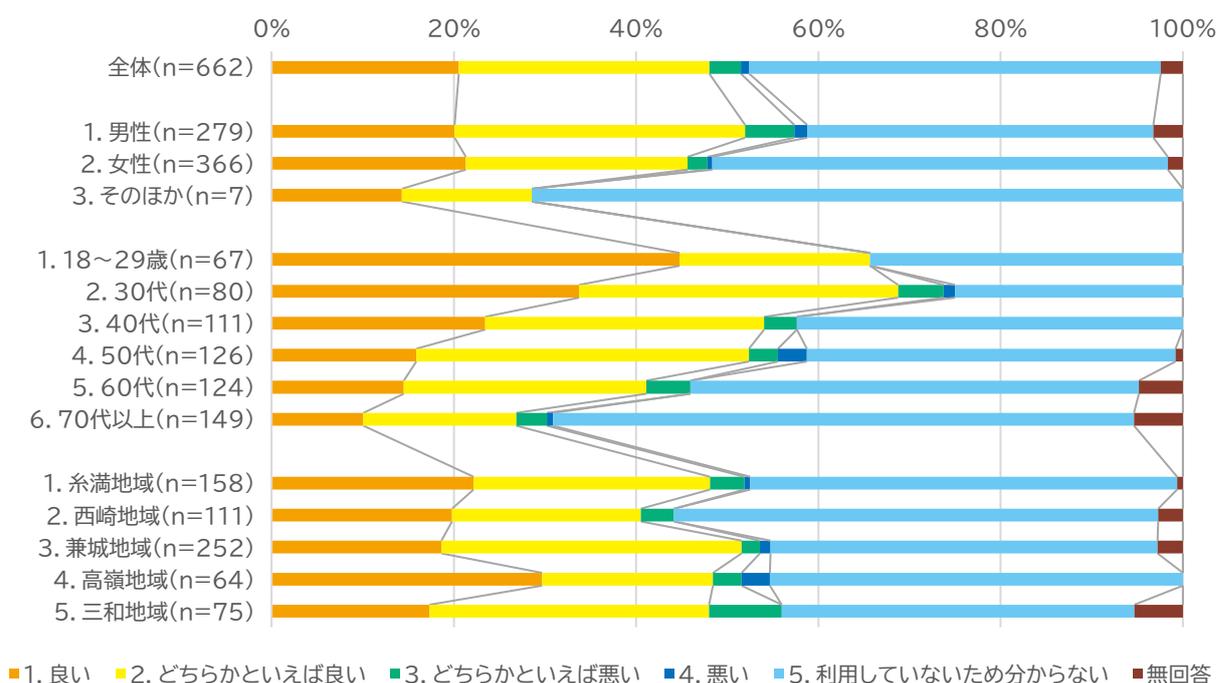


選択項目	回答数	比率
1. 良い	136	20.5%
2. どちらかといえば良い	182	27.5%
3. どちらかといえば悪い	23	3.5%
4. 悪い	6	0.9%
5. 利用していないため分からない	299	45.2%
無回答	16	2.4%
合計	662	100.0%

男女別では、「2. どちらかといえば良い」と答えた割合が男性 31.9%、女性 24.3%と男性が高くなっている。一方、「5. 利用していないため分からない」と答えた割合は男性 38.0%、女性 50.0%と女性が高くなっている。

年代別では、「1. 良い」と答えた割合が 18～29 歳で 44.8%と最も高く、70 代以上で 10.1%と最も低く、年代が上がるにつれて低くなっている。また、「5. 利用していないため分からない」と答えた割合が 70 代以上で 63.8%(全体 45.2%)と、他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、高嶺地域において「1. 良い」と答えた割合が、29.7%(全体 20.5%)と他の地域と比べて高くなっている。

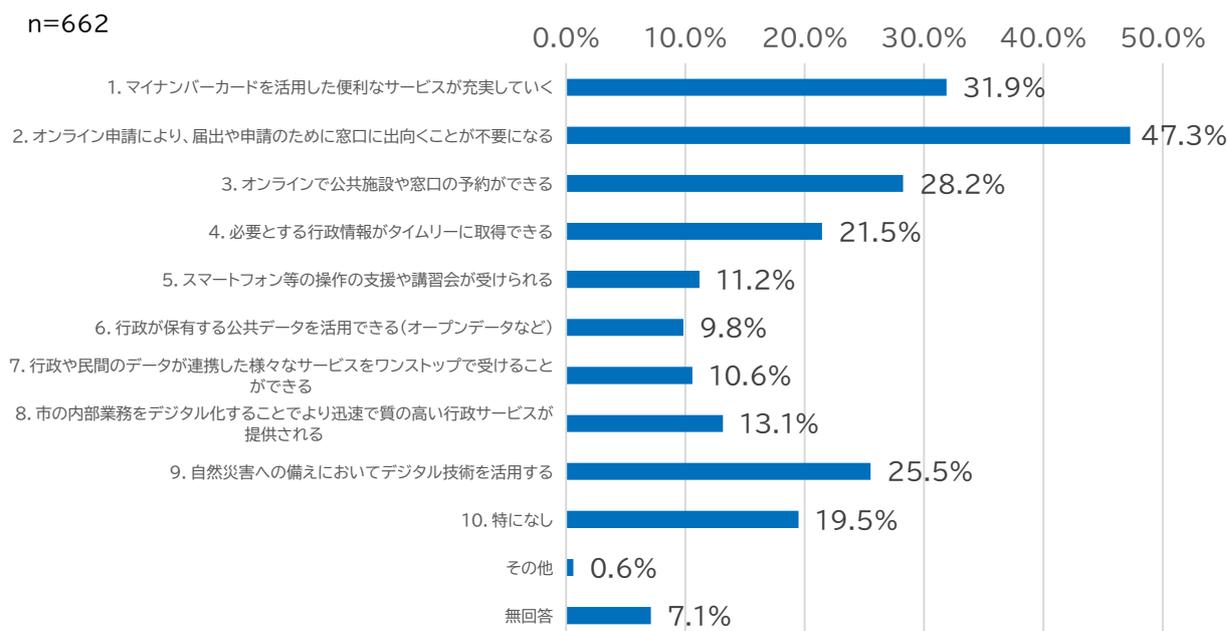


	1. 良い	2. どちらか といえば良い	3. どちらか といえば悪い	4. 悪い	5. 利用してい ないため 分からない	無回答
全体(n=662)	20.5%	27.5%	3.5%	0.9%	45.2%	2.4%
1. 男性(n=279)	20.1%	31.9%	5.4%	1.4%	38.0%	3.2%
2. 女性(n=366)	21.3%	24.3%	2.2%	0.5%	50.0%	1.6%
3. そのほか(n=7)	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%
1. 18～29歳(n=67)	44.8%	20.9%	0.0%	0.0%	34.3%	0.0%
2. 30代(n=80)	33.8%	35.0%	5.0%	1.3%	25.0%	0.0%
3. 40代(n=111)	23.4%	30.6%	3.6%	0.0%	42.3%	0.0%
4. 50代(n=126)	15.9%	36.5%	3.2%	3.2%	40.5%	0.8%
5. 60代(n=124)	14.5%	26.6%	4.8%	0.0%	49.2%	4.8%
6. 70代以上(n=149)	10.1%	16.8%	3.4%	0.7%	63.8%	5.4%
1. 糸満地域(n=158)	22.2%	25.9%	3.8%	0.6%	46.8%	0.6%
2. 西崎地域(n=111)	19.8%	20.7%	3.6%	0.0%	53.2%	2.7%
3. 兼城地域(n=252)	18.7%	32.9%	2.0%	1.2%	42.5%	2.8%
4. 高嶺地域(n=64)	29.7%	18.8%	3.1%	3.1%	45.3%	0.0%
5. 三和地域(n=75)	17.3%	30.7%	8.0%	0.0%	38.7%	5.3%

**[問 5-7 複数回答]** デジタル化の取り組みについて、今後特に力を入れてほしいと思う取り組みは何ですか。

<関連する政策:第 6 章 政策 2>

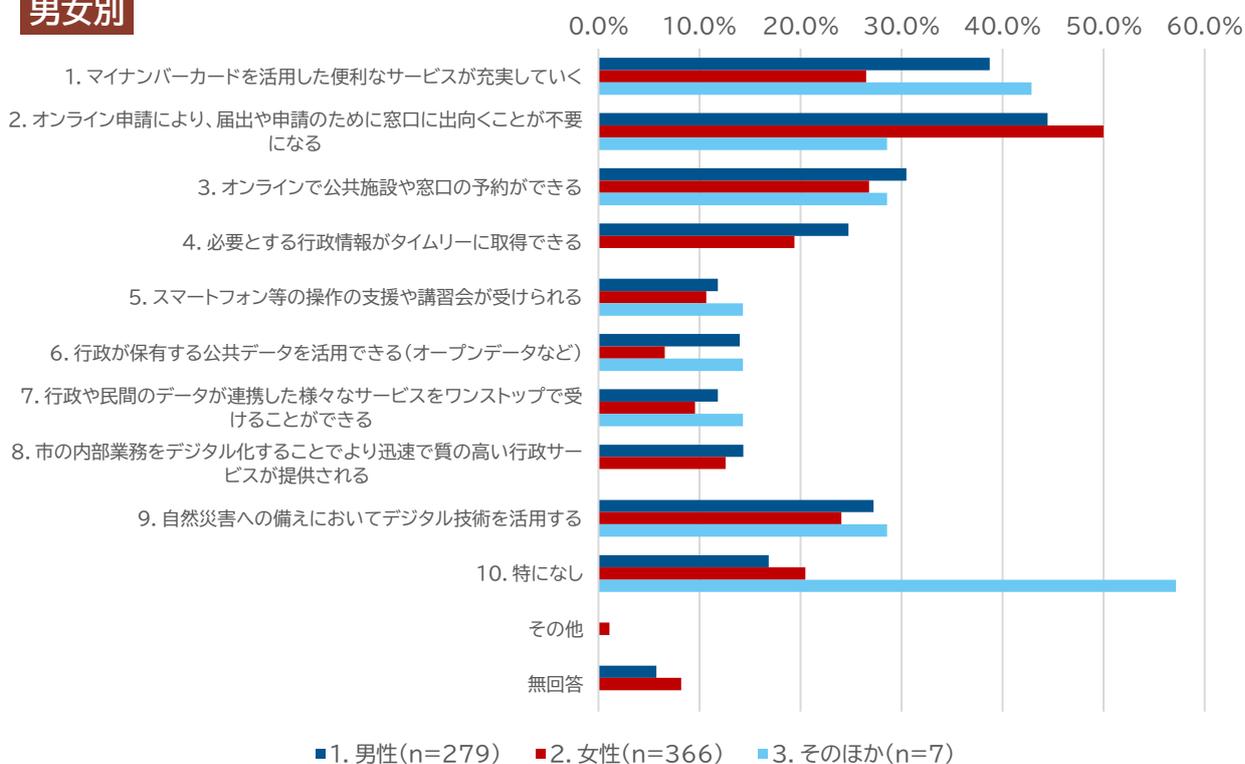
「2. オンライン申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」と答えた割合が47.3%と最も多く、次いで「1. マイナンバーカードを活用した便利なサービスが充実していく」31.9%、「3. オンラインで公共施設や窓口の予約ができる」28.2%となっている。



選択項目	回答数(n=662)	比率
1. マイナンバーカードを活用した便利なサービスが充実していく	211	31.9%
2. オンライン申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる	313	47.3%
3. オンラインで公共施設や窓口の予約ができる	187	28.2%
4. 必要とする行政情報がタイムリーに取得できる	142	21.5%
5. スマートフォン等の操作の支援や講習会が受けられる	74	11.2%
6. 行政が保有する公共データを活用できる(オープンデータなど)	65	9.8%
7. 行政や民間のデータが連携した様々なサービスをワンストップで受け取ることができる	70	10.6%
8. 市の内部業務をデジタル化することでより迅速で質の高い行政サービスが提供される	87	13.1%
9. 自然災害への備えにおいてデジタル技術を活用する	169	25.5%
10. 特になし	129	19.5%
その他	4	0.6%
無回答	47	7.1%

男女別では、「1. マイナンバーカードを活用した便利なサービスが充実していく」と答えた割合が、男性 38.7%、女性 26.5%と男性が高くなっている。一方、「2. オンライン申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」と答えた割合は、男性 44.4%、女性 50.0%と女性が高くなっている。

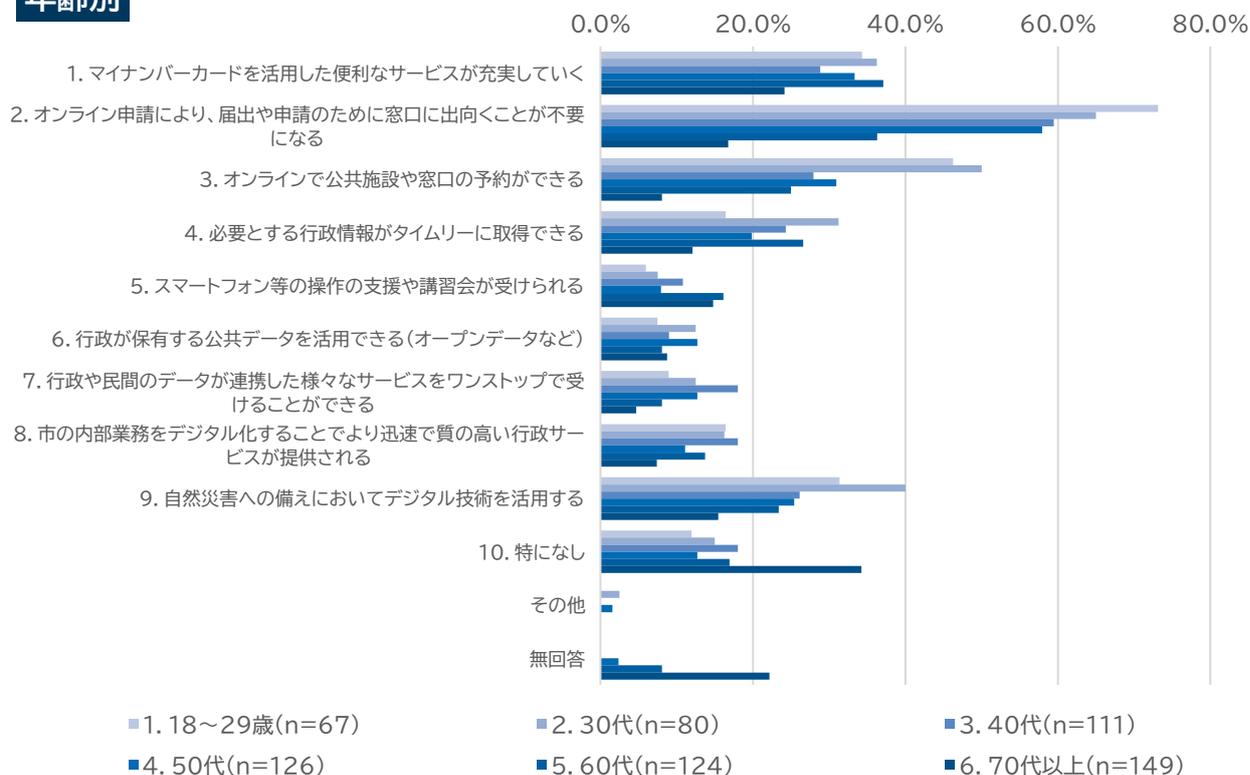
## 男女別



	1. 男性(n=279)	2. 女性(n=366)	3. そのほか(n=7)
1. マイナンバーカードを活用した便利なサービスが充実していく	38.7%	26.5%	42.9%
2. オンライン申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる	44.4%	50.0%	28.6%
3. オンラインで公共施設や窓口の予約ができる	30.5%	26.8%	28.6%
4. 必要とする行政情報がタイムリーに取得できる	24.7%	19.4%	0.0%
5. スマートフォン等の操作の支援や講習会が受けられる	11.8%	10.7%	14.3%
6. 行政が保有する公共データを活用できる(オープンデータなど)	14.0%	6.6%	14.3%
7. 行政や民間のデータが連携した様々なサービスをワンストップで受け取ることができる	11.8%	9.6%	14.3%
8. 市の内部業務をデジタル化することでより迅速で質の高い行政サービスが提供される	14.3%	12.6%	0.0%
9. 自然災害への備えにおいてデジタル技術を活用する	27.2%	24.0%	28.6%
10. 特になし	16.8%	20.5%	57.1%
その他	0.0%	1.1%	0.0%
無回答	5.7%	8.2%	0.0%

年代別では、18～29才で「2. オンライン申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」と答えた割合が73.1%と、他の年代と比べて高くなっている。30代では、「9. 自然災害への備えにおいてデジタル技術を活用する」と答えた割合が40.0%と、他の年代と比べて高くなっている。70代以上では、「10. 特になし」と答えた割合が34.2%と他の年代と比べて高くなっている。

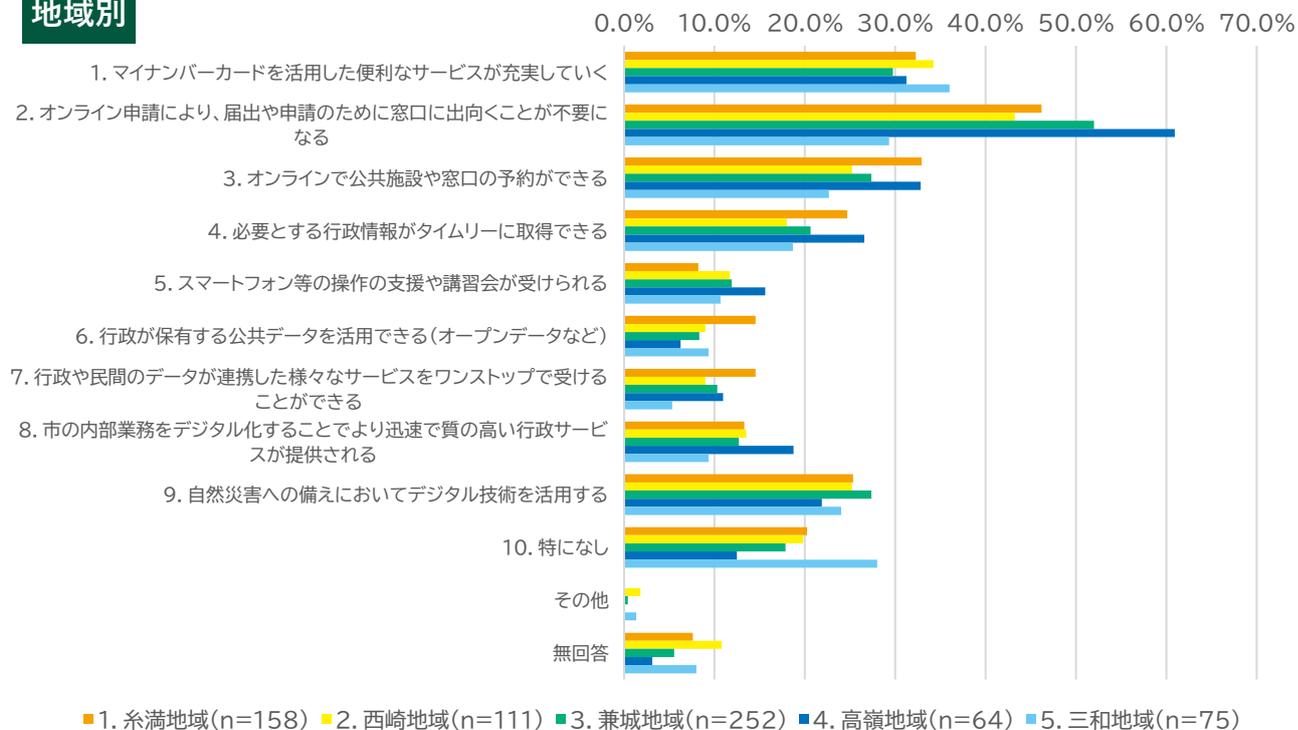
## 年齢別



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=80)	3. 40代 (n=111)	4. 50代 (n=126)	5. 60代 (n=124)	6. 70代以上 (n=149)
1. マイナンバーカードを活用した便利なサービスが充実していく	34.3%	36.3%	28.8%	33.3%	37.1%	24.2%
2. オンライン申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる	73.1%	65.0%	59.5%	57.9%	36.3%	16.8%
3. オンラインで公共施設や窓口の予約ができる	46.3%	50.0%	27.9%	31.0%	25.0%	8.1%
4. 必要とする行政情報がタイムリーに取得できる	16.4%	31.3%	24.3%	19.8%	26.6%	12.1%
5. スマートフォン等の操作の支援や講習会が受けられる	6.0%	7.5%	10.8%	7.9%	16.1%	14.8%
6. 行政が保有する公共データを活用できる(オープンデータなど)	7.5%	12.5%	9.0%	12.7%	8.1%	8.7%
7. 行政や民間のデータが連携した様々なサービスをワンストップで受け取ることができる	9.0%	12.5%	18.0%	12.7%	8.1%	4.7%
8. 市の内部業務をデジタル化することでより迅速で質の高い行政サービスが提供される	16.4%	16.3%	18.0%	11.1%	13.7%	7.4%
9. 自然災害への備えにおいてデジタル技術を活用する	31.3%	40.0%	26.1%	25.4%	23.4%	15.4%
10. 特になし	11.9%	15.0%	18.0%	12.7%	16.9%	34.2%
その他	0.0%	2.5%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	8.1%	22.1%

地域別では、高嶺地域において「2. オンライン申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」と答えた割合が60.9%と、他の地域と比べて高くなっている。三和地域では、「10. 特になし」と答えた割合が28.0%と他の地域と比べて高くなっている。

## 地域別



	1. 糸満地域 (n=158)	2. 西崎地域 (n=111)	3. 兼城地域 (n=252)	4. 高嶺地域 (n=64)	5. 三和地域 (n=75)
1. マイナンバーカードを活用した便利なサービスが充実していく	32.3%	34.2%	29.8%	31.3%	36.0%
2. オンライン申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる	46.2%	43.2%	52.0%	60.9%	29.3%
3. オンラインで公共施設や窓口の予約ができる	32.9%	25.2%	27.4%	32.8%	22.7%
4. 必要とする行政情報がタイムリーに取得できる	24.7%	18.0%	20.6%	26.6%	18.7%
5. スマートフォン等の操作の支援や講習会が受けられる	8.2%	11.7%	11.9%	15.6%	10.7%
6. 行政が保有する公共データを活用できる(オープンデータなど)	14.6%	9.0%	8.3%	6.3%	9.3%
7. 行政や民間のデータが連携した様々なサービスをワンストップで受けることができる	14.6%	9.0%	10.3%	10.9%	5.3%
8. 市の内部業務をデジタル化することでより迅速で質の高い行政サービスが提供される	13.3%	13.5%	12.7%	18.8%	9.3%
9. 自然災害への備えにおいてデジタル技術を活用する	25.3%	25.2%	27.4%	21.9%	24.0%
10. 特になし	20.3%	19.8%	17.9%	12.5%	28.0%
その他	0.0%	1.8%	0.4%	0.0%	1.3%
無回答	7.6%	10.8%	5.6%	3.1%	8.0%

●「その他」の回答

- ・ 高齢者でもデジタル化に対応できる様に工夫して欲しい
- ・ 以前石垣市に住んでいました。石垣市の公式ラインは石垣市民ほとんど登録してるほど中身が充実しています。参考にしてみてください。
- ・ デジタル化に伴うセキュリティ対策の強化
- ・ そんなことより、県内一遅れてるパスポート窓口開設から迅速に進めるべき
- ・ 後期高齢者のためデジタル化はよくわかりません
- ・ 70代の私にはデジタル化より紙が実感大である。
- ・ 時代的な対応であることも理解できますけど、年齢的なものもあって、直接行って話を聞いた方が理解しやすいので、必ずしもデジタル化のみの対応には少し不安があります。特にその場で質問したいことが出てきたときに対応してもらえるので安心して聞けますので。入口の方で書き方等を教えてくれる人がいるのはとても安心感があって、今後もずっと無くさないようにお願いします。銀行の専属のロビーウーマンのように。
- ・ 高齢者向けデジタル講座等、デジタルに弱い人向けの講座

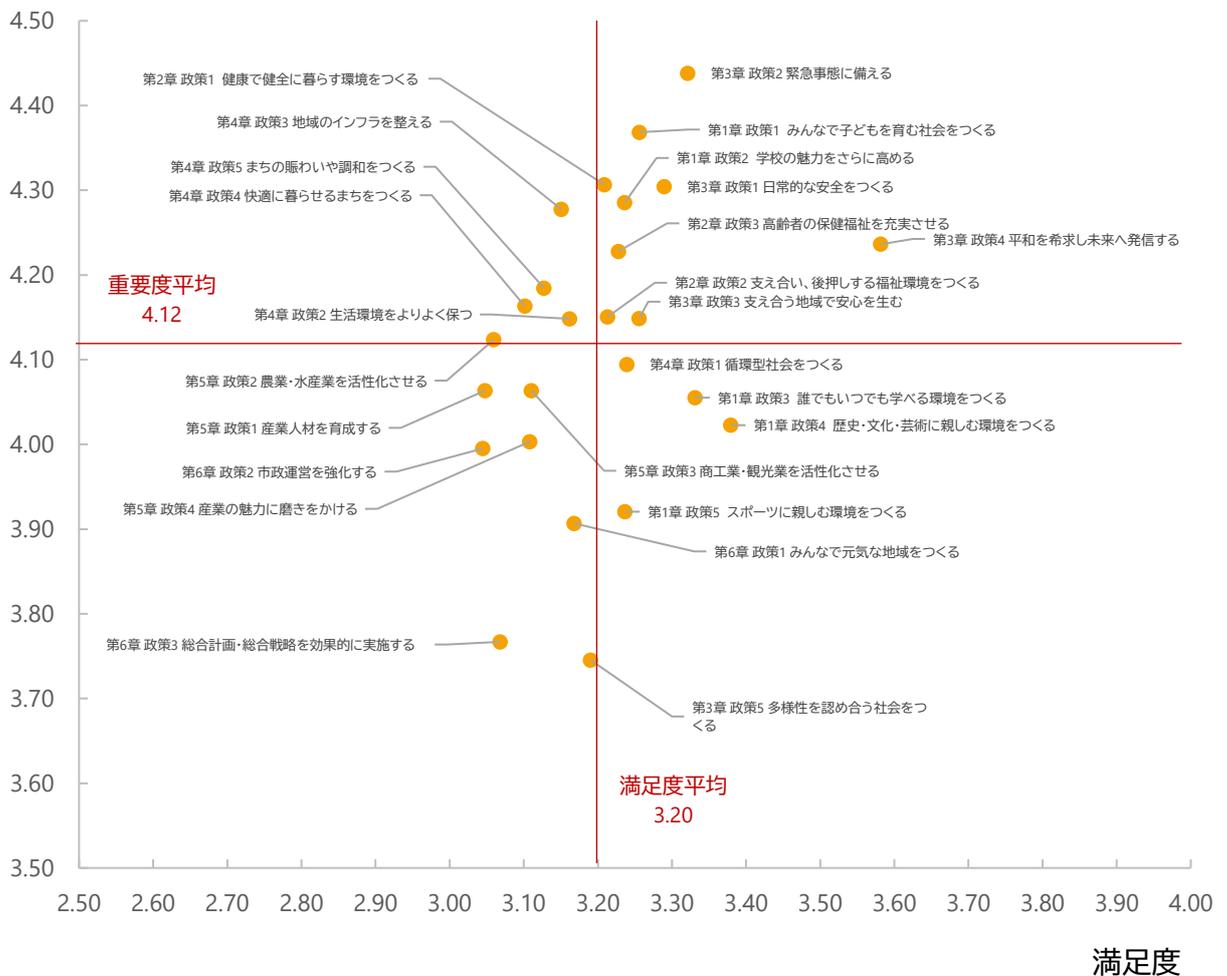
## ◆6. 政策ごとの満足度、優先度

### 【問 6-1-1～6-6-3 単一回答】政策ごとの満足度、重要度

満足度・重要度の両方が高い項目(満足度:平均以上、重要度:平均以上)は、平和や安全に関するもの(「第3章 政策2 緊急事態に備える」、「第3章 政策4 平和を希求し未来へ発信する」等)、健康・福祉に関するもの(「第2章 政策2 支え合い、後押しする福祉環境をつくる」等)、子育てに関するもの(「第1章 政策1 みんなで子どもを育む社会をつくる」、「第1章 政策2 学校の魅力をさらに高める」)であった。

一方、重要度は高いが満足度が低い項目(満足度:平均以下、重要度:平均以上)は、環境・まちの基盤に関するもの(「第4章 政策3 地域のインフラを整える」、「第4章 政策4 快適に暮らせるまちをつくる」、「第4章 政策5 まちの賑わいや調和をつくる」等)であった。

#### 重要度



## ◆7. 市への意見等について

[問 7 自由記述] これまでの設問にかかわらず、ご意見などがありましたらご記入ください。

### 1. 頻出単語

#	単語名	登場回数
1	子ども	33
2	対応	22
3	利用	19
4	公園	16
5	学校	15
6	施設	15
7	市民	14
8	整備	14
9	市内	13
10	教師	13
11	理解	13
12	環境	13
13	職員	13
14	地域	12
15	子育て	12
16	道路	12
17	アンケート	11
18	市役所	11
19	必要	11
20	支援	11



図 7-1 ワードクラウド(頻出単語を図示したもの)

## 2. 分析結果

- ・ 「子ども」という単語は 33 回登場する最頻出単語である。「教師」という単語とつながりが強く、「教師」という単語は「学校」や「対応」といった単語とのつながりが強くなっていった。子どもや学校教育に関する施策への関心が高いことが分かる。子育て支援の拡充や教育環境の整備に関する要望が見られた。
- ・ 「利用」、「職員」、「市役所」、「窓口」という単語が頻出しており、それぞれの単語間の結びつきが強い。市役所や公共施設に関する要望が見られた。
- ・ 「公園」という単語は 16 回登場する頻出単語である。「整備」、「高齢者」という単語とつながりが強くなっていった。既存の公園の設備の追加・修繕や、高齢者が健康になれる遊具の整備などに関する要望が見られた。
- ・ 「整備」という単語は 14 回登場する頻出単語であり、「施設」、「歩道」、「道路」などの単語と結びつきが強くなっており、歩道や道路の修繕や商業施設の誘致などに関する要望が見られた。

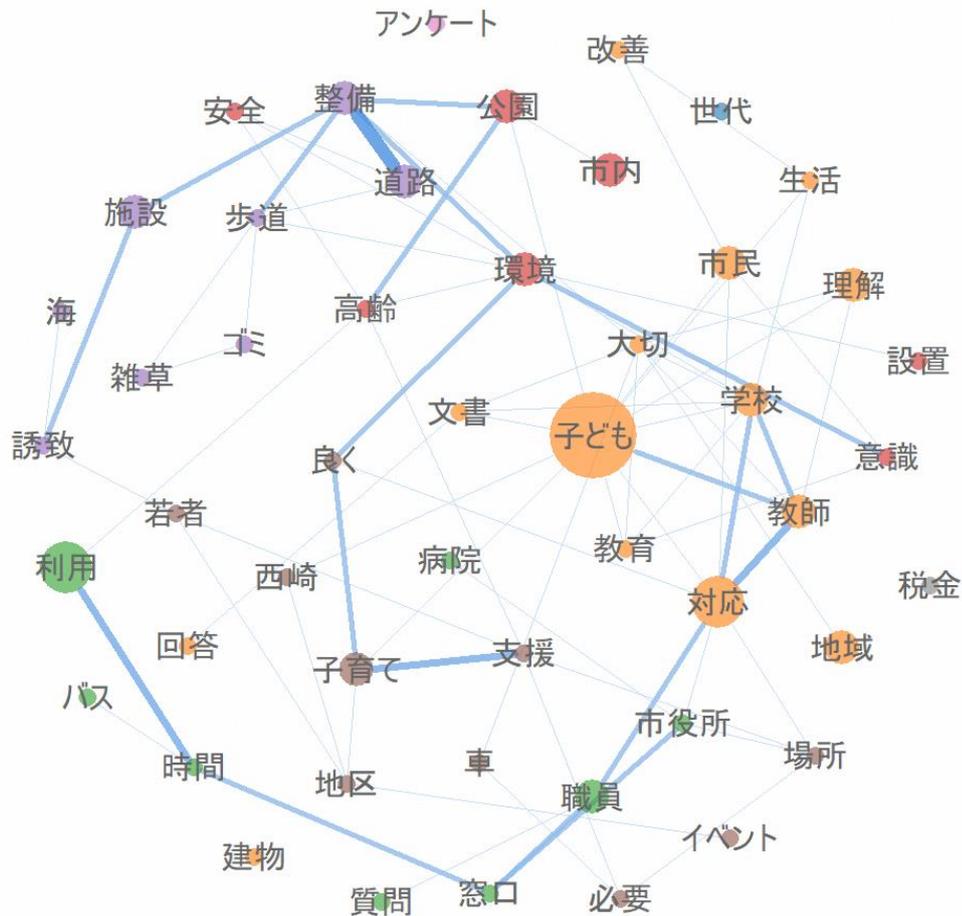


図 7-2 共起ネットワーク(単語間のつながりを可視化したもの)

※線が太いほどつながりが強い(同じ意見の中で使われる頻度が高い)

### 3. 回答内容

具体的な回答内容は、以下の通りである。

あわせて、回答内容と関連する単語を「関連単語」列に記しており、「関連単語」列を図 7-2 の共起ネットワーク上の色分け(回答内容の分類結果)と、一致させる形で色付けをしている。

#	回答内容	関連単語
1	調査項目が多すぎる 短時間で回答が出来る程度で 複数回行う方が良くかと。	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
2	いつもありがとうございます。 これからも、糸満市でより良い生活ができれば幸いです。	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
3	県道なのか市道なのかわかりませんが、信号がなく横断歩道が消えかかっていて子供達が 危ない箇所があります。その問い合わせなどどこにしたらいいかわからないので困って おりました。 ご指導よろしくをお願いします。	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
4	糸満小の防災訓練と参観日一緒にやったことなどいい取り組みと思った。地域行事への参 加意識に高さは糸満市の強みかと思うのでそれを生かした住民サービスや意識啓発するこ とで参加ハードルが下がると思う。まだ地域ごとの格差がまだあると感じるので地域を重 点的に居場所支援や就労支援を強化して全体的底上げを図って欲しい。	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
5	いつも同じ水害場所での対応が無さすぎる 南山病院前の道路なんとかして	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
6	糸満市の予算は、何十年も、厳しいと、よく聞きます。しかし、いっこうに改善されないの は、何故でしょうか？ 市長や議員が変わっても、変わらない理由は、なんなのでしょう？ それぞれが自身の政策を実現するために、後回しにするのでしょうか？その負債は、子 孫世代が負うこととなります。見たくないものに、蓋をしていると感じます。安芸高田市の 前市長の用に、ご自身の言葉で、説明できますか？分析できてますか？ また、建物の建設が、後を絶たない用と感じます。一部、国県の補助金や借金で作っている ことは分かりますが、維持費のコストが計算されてないと思います。人から聞いた話です が、糸満漁協さんの事務所建設に補助金を出したと聞きました。何故、市の税金が、金融業 もやっている漁協さんの建物代に投入されるのでしょうか？高嶺小学校の建築も、当日に 建設すべきだったと思います。  最後に、より良い市にするために、覚悟を持って市政運営似取り組んでください。一部の有 権者や議員(公明党)の言いならぬいてください。 応援しています。	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
7	生まれも育ちも糸満の糸満市民として、糸満市の発展を期待しております。	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
8	政策の内容もよく理解していない人に、いきなりこれだけの設問に答えろというのは、だ いぶ乱暴な手法だと思います。 これで評価にはならないのでは？	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
9	電線の地中化を進めて欲しい。	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善
10	子育てがしやすい糸満市であってほしいと強く思います。 公園などの公共施設も多いが、遊具が壊れて使えなかったり雑草が茂って安全に遊べな かったりすることが非常に勿体無いと感じる。無闇に施設を増やすよりも現在ある施設の整 備も大切にしたい。 また、学校の環境整備も予算の関係があると思うが、学校設備が古かったり壊れていて そのままであったりするのが気になる。これからの糸満市を担う子どもたちが安心・安全に 意欲的に学ぶことができたい。 また、子育て世帯へのさまざまな負担軽減があると良い。給付や免除も母子家庭などや非 課税世帯ばかりが優遇されているように感じる。きちんと税金を納めて子どもを必死に育 てているが、収入が非課税世帯と大差がない家庭もある。そのような世帯の子どもたちが 教育や生育環境の格差が生まれないようにしてほしい。	子ども 対応 学校  市民 理解 教師 地 域 回答 生活 教育  大切 文書 改善

11	教育や人材育成が大事だと思います。そのためにも市の収入を増やすための値上げはやむを得ないと思います。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
12	学校教育に関してですが、人間性の成熟に今後、取り組んだ方がAIの時代を乗り切れるのではないかと思うのです。それは、道徳、倫理、心理学、脳科学、哲学と言った順に、大学までの科目の授業に取り入れることが望ましいと思います。そうすることで、応用のきく柔軟性も身についてくると思います。老人の病気の予防にも偏った考え方ではなく、毎日のルーティンは左脳、日頃の節約アイデアは右脳といった具合に使い分けていることを意識することも大事だと思います。それと、本土の方も大分増えて来たように思えるので、沖縄の人の力を、本土の方の良い考えに使い、直ぐに結果を求めるのではなく、長生きと子供達の為と思い、軌道は常に修正していくべきだと思ったりします。私は、考える事も好きなので、本を読んでいる時に、せっかく思いついたのだから、ここへ記してみました。最近、物騒なニュースも時たま耳にするので、最低でも、子供達の栄養管理と道徳は必須ではないでしょうか。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
13	行政に携わる皆様、いつもありがとうございます。市長が変わってから物事がオープンになったり、糸満市が前向きに動き出しているように感じます。もっといい街になると信じています。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
14	糸満のために頑張ってくれてありがとうございます！より良い糸満を目指してこれからも頑張ってください！よろしく願います！	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
15	外国人の就労者がたくさんいてみなさん良い人だとは思いますが、国が違えばわからないことも多いので、見守りやパトロールを強化して欲しいです。お互いにとって住みやすい街になれば良いですよ	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
16	糸満中学校の生徒が、放課後学校の外で大きい声で立ち話をしたり、叫び声を発したりしていて、迷惑です。クラクションを鳴らされている姿をよく目にするので、改善してほしいです。 生活保護を受けている人が、毎日外食をしたり、週末はゲームセンターに行ってお金を浪費しているところが、おかしいと思います。 がんばっている人が、損をしています	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
17	糸満市役所の皆さん、お仕事頑張っていますね。いつも市民のために働いてくれてありがとうございます。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
18	日々子供に対しての不審者情報が多すぎなので、安心できない。不審者を減らせるように防犯抑止にもっと力を入れてほしい。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
19	暮らし良い糸満市を切望します	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
20	他の市に比べて政策を実現するのが遅い	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
21	質問項目が多すぎるので、読むのも選ぶのも大変です。特に問6は糸満市総合計画なんて誰もじっくり読まないと思います。2,000人の中選ばれても適当に答える方やめんどくさくて答えない方も多いと思います。本当の意味で糸満市民の意識調査になってますか？アンケートの方法を変えた方がいいと思います。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
22	くくる糸満をもっと有効活用してほしい。市民が喜ぶようなイベントをもっと開催してほしい。いとま～るももっと活気が出るように施設の無駄にならない運営をしてほしい。市内の空き家なども商業場として再活用できるような案など作ってほしい。外から人が入ってくるような魅力的な商業の街にしたい。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
23	糸満市は他の市に比べていろいろと管理が劣っていると思う。市民のため、子供たちのためにもっと視点を充てるべき。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
24	糸満市独自の歴史や文化、などをもっと押し出す事をして欲しい。くくる糸満もあるのに、糸満市は受け身の姿勢だと感じています。民間が主催していることがほとんどなので、行政がもっと主導で糸満市を誇れる街にできるようにして欲しいです。その中で、僕も力になれることは全力で貢献しようと思います。 これからも糸満市の発展を願ってますし、誇りです！！	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善

25	街灯を増やして欲しい。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
26	デジタル化を進めて、市職員の負担を減らしてほしい。職員さんの働く環境が良くなれば、余裕が生まれ、市民への対応に還元されると考えます。平等ではなく、公平なサービスが受けられるようになってほしいです。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
27	転入時、市役所に転入届け、マイナンバーの手続き、戸籍の変更など行いましたが、職員の対応は良くない。どうしていいかわからない事だらけ 私は、北海道と東京で同様の手続きしたが、最低の対応だったと思う。 まず、声かけて案内して安心させてほしい。半日かかりした。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
28	もっと子どもの事を1番に考えた取り組みをしてほしいです。0～2歳児も保育料無料、おむつ、ミルク定期配布、等。物価高騰が続く中、子どもにかかるお金も厳しいです。本当にお願いします。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
29	誰もいない空き家、樹木がうっそうと伸びて大変迷惑している。個人の住居だといって屋敷に入ることができないと言うが、市は家主を探すことは出来ると思う。市としてそのままにしないで、何とかして欲しい。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
30	糸満市に関わらず、世界のみんながで平和で安心して暮らしていけるようにしてほしいです。よろしくをお願いします。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
31	いつも市民のためにありがとうございます。高校生まで医療費無償化が実現するのいいなと思います。市道の草が伸びて、運転時、道が見えにくいところがある。どこへ連絡したらいいのかわかるのか。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
32	本島最南端である本市の水道路の確保を強く要望する。現在の新築物件の建物の構造的不備により、水タンクを保有する住宅が少なくなり、夏場の渇水時の断水対策等、有事の際の対応ができなくなる可能性もあり、本島南部地区の糸島市が非常時に水道機能の維持が喫緊の課題と思われる。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
33	役所の人が不愛想だと思えます。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
34	空き家対策、隣近所が迷惑しています。へび、落ち葉等困っています。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
35	糸満市には転居して4年ほどですが、これからも住み続けたいと思っています。日々の生活で忙しく、街の良さが自分の中でわからず、小さい時から街の良さや歴史についてもっと学んでおけば良かったなと思います。今の時代はデジタル社会で、望めばいくらでも情報は得られると思いますが、必ずしもそれが正しい情報ではないとも思っています。せっかくこの街で学んで、成長している若い世代に、糸満市の歴史や現状などふれる機会があってもいいかなと思っています。子どもは現在、イトマンマンが大好きです。堅苦しくなく興味が湧いてくるような学びの機会があれば、親としても子どもたちの背中を押すお手伝いをしたいと思えます。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
36	私たちの世代、主に10代～30代の世代は、多様性の理解を深めていますが、40代～80代の方たちの理解は深められていないままです。もちろんやってきた教育の違いがあるのですが、今の世の中は、その理解を小学生～中学生に焦点を当てて、「ん～なんかなあ～」と思っています。今の世代の多様性の理解は出来ていると思います。ですが、今一度、大人たちの理解を深めるための講座、プログラム、イベント等を開催したらいいんじゃないかと思いました。糸満市の政治の行い方、市民に寄り添えていて安心できます。これから糸満市をもっと住みやすい地域にみんなですていしましょう。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
37	糸満中学校(母校)の状況を改善してください。荒れていると聞きました。夜に外をうろついている青年、少年、学生たちに対応してください。(家庭環境、学業、友人関係などさまざまな要因がありそうです。)道の草刈り、清掃活動をしてください。映画館を新設してください。(既存の施設を使用して、ミニシアターでいいので。)もう少し住民が交流できるイベントが欲しい。女性議員を増やして欲しい。(管理職等。)技能実習生を雇っている企業が市にはありますが、ちゃんとした待遇なのか調べて欲しいです。(以前、最低賃金以下の所がありました。)糸満南小学校は、地震や津波の時に本当に山に逃げられますか。確実に安全な対策を取ってほしいです。家族が通学しているので心配です。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
38	糸満市に限らずですが、日本人が住みづらい環境になってきていると感じる。国政も、本当の日本人がしているのかなと思わずにはいられない。帰化人ばかりなのでしょう…。この30年でおかしな方向に進んでいると感じる。私たち日本人が安心安全な環境に住み、豊かに生きていけるように、意識改革をして下さい。外国人優遇、移民推進なんて、この小さな島国では対応に限界があります。沿岸部、水源、どんどん外資にやられてますよ。ある日突然「今日から、この水源を利用する時は有料にします。お金を払って下さい。」なんて言わ	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善

	<p>れたら、行政として、どう対処しますか？日本に住んでいながら、日本人が中国人などの人達にお金を払って生活する未来を想像してみてください。貧しいから、田畑や水田を手放し、移民を入れたい放題、規制する法律もない。ただ指をくわえて、被害者になり下がるのだけは避けたいところです。もっと視野を広げて未来思考で、私達の国が幸せで安心安全に暮らせるような方向に舵を切ってください。第1次産業を守ってあげてください。インフラを外資にとられない様にして下さい。子ども達の自己肯定感 UP を、アイデンティティを育ててあげてください。被害者意識からは何も生まれません。自分達で守っていこう！変えていこう！という大人の本気を子どもたちにみせていきたいです。地感の連携も大切とは思いますが、まずは家族のあり方かなと思います。戸籍の廃止や夫婦別性の話題をみましたがデメリットしかない気がしています。私も、なりすましにあったことがあります。とても恐かったです。全然違う外国人が、私の名前を使っていたので通報しました。SNS を使う若い世代の人の方がよっぽど危機管理していると思います。戸籍は絶対に残していくべきだと思います。市町村単位でも国レベルでもです。実際に、なりすましや乗っ取りにあった人は、この大切さを身をもって感じていると思われます。</p> <p>糸満市のいいところ。旧歴で行事をやり抜くところ。カッコいいです。自分達は自分達の文化や伝承を守ってほしいというプライドを感じます。周りからなんと言われようと、どう思われようと貫いてほしいなあと思います！！</p>	
39	糸満市に映画館を作してほしいです。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
40	政策の項目については、生活の中であまり考えることがなく、決まったことに従っているだけの生活。私たちひとりひとりの考えが反映されるとは到底思えないので諦めだったりです。勉強不足です。もっと関心を深めないと思います。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
41	糸満市の良いところを全国的に発信・アピールして欲しい。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
42	玄関は家の顔と言われます。役所の玄関ロビーに入るとき、ガラスの汚れがいつも目につきます。プランター等も見られず淋しく感じます。市民を歓迎していますのメッセージも伝わらない。花がもっとあると明るくなると思います。手入れする方がいないのかな。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
43	スポーツロジの今後は気になります。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
44	糸満市にも大きな病院(救急外来対応)を作してほしい。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
45	これからも糸満市に住み続けたいと思います。子どもたちが就職して県外にいますが、給料のことや職種などで糸満市に戻ってこれません。(子どもの友人も。)高学歴の人が、糸満市もしくは県内で喜んで働けるようになってほしいと思います。義父が消防の救急車を何度か利用しました。感謝しています。介護サービスを利用させていただきました。ありがとうございました。退職をし、義父の介護をしました。主人が会社員なので収入がありましたが、私自身は心身ともに疲れる中、介護を頑張りました。介護をする人へも目を向けたサービスってないものではないでしょうか。(義父は他界しました。)	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
46	自治会会員の加入促進の協力について。各自治会は会員の少なさに悩んでいるものと思います。市区長メンバーと定期的に役所のメンバーが会議を開催していると聞いています。(そのために各自治会は会費を納めています。)どのような会議を開催しているのかまったく把握していません。連絡がないんです。単なる親睦に終わっているとの情報もあります。どうか有益な情報、特に会員加入促進につながる情報が知りたいです。	子ども 対応 学校 市民 理解 教師 地域 回答 生活 教育 大切 文書 改善
47	質問が多すぎる	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
48	質問の数が多過ぎ。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
49	市役所の対応 タライ廻しや 窓口に立つ人だけが忙しそうなのに 後ろの職員がおしゃべり そんなに暇なら 速やかに業務をして頂きたい 待ち時間長すぎ 近隣の南城市や南風原の役所を見習って欲しいです。m( )m	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
50	空港への直通的な路線バスの数が少ない。いとちゃんバスを利用して数を増やしたら？	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
51	市政に関わっている方々、これからも頑張って下さい。 次の市役所の場所は市の中心へ！	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス

52	西崎運動公園の、トレーニングルームの利用時間が短い。浦添市、宜野湾市は 2 時間利用可、豊見城市は追加料金で何時間でも利用可。糸満市は 1 時間のみ。窓口で延長したくても、断られた。もう、利用するのを辞めた。利用者を増やしたいなら、利用者の気持ちに寄り添ってほしい。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
53	もっと糸満市がどう発展していくのか、考えた行政を求めます。議会の質問内容をもて、内容が乏しいように感じ、議会のための質問のように感じます。 糸満市出身であることを誇りに思っていますが、保守的過ぎるところや、必ず議会がもめるとか、ナンセンスなことが多いと感じます。お互いの足の引っ張り合いが目立つ気がします。ナンセンスです。というか残念です。市内での財政が確保できないのであれば、ふるさと納税などをもっと充実するべきだと思います。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
54	車の運転で朝夕の時間帯で右折が中々出来にくい交差点があるんですが右折矢印を設置していただけたら有り難いです	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
55	下水道処理等の強化、託児所の増加 高齢の方に配慮する街を作って頂けると幸いです。 ホームページの窓口の時間が、来所した際と異なっていたため、随時更新頂けると幸いです。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
56	職員の皆さまご苦労様です。 これからもいろいろあると思いますが こころ折れずに頑張ってください。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
57	税金を安くすること、上下水道管の維持と更新をしっかりとすること、総合病院をつくることを要望する。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
58	保育園に兄弟児で入れず、職場から遠くなるため市外の認可外保育所を利用しています。兄弟児がスムーズに入れるようにしてほしい。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
59	引っ越してきて、市役所で手続きすることが多かった時期のことです。(4.5月ごろ)その際に、窓口の職員の声が聞こえづらかったり、質問をすると「は？」と聞き返されたりしました。表情が怖い職員もいます。また、水道部に入るとだれにも挨拶された覚えはありません。私がわからなくて、キョロキョロしていても、だれも窓口近づいてもくれませんでした。私は、間違ったところに入ってしまったと勘違いして、一度出て確認をしました。など、市役所に行くことに足が重くなります。 その一部の職員以外は、対応には満足しています。 お忙しいところだと思いますが、もう一度、市民のために改善をお願いしたいです。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
60	西崎体育館をよく利用しますが、トイレが古く暗く保安上も気になる。体育館、床やカーテンの開閉などが老朽化して危険。体育館のとなりにある今は close している宿泊施設、サウナ等を大きくして使えるようにしてほしい。レストランもとてもよかったのに close していて残念。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
61	デジタル化だけではなく、職員と会話しながら手続する仕組みも強化して欲しい。老人なので。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
62	市の職員の方にはいつ窓口に行っても、とても誠実な対応をしてもらっています。ありがとうございます。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
63	①公的避難施設(シェルターを含む。)の設置について、従来より要望しているが、国・県のみならず市としてもまったく無関心なのか取組が見えない。(与那国では少しずつ取組が見える。)平和を唱えるだけではなく、有事に対する備えも重要と思われる。②東京バスの名城ビーチ路線を「喜屋武」まで延長するよう働きかけて欲しい。(市役所へ行くのに不便になるため。またイースや空港に行くのも不便。)	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
64	・どんなことであれば、市役所の窓口に行かずみコンビニでできて、どんなことであれば市役所の窓口では難しいのか等を知りたい。市役所の手続きのために有休をとって行くことがわずらわしいため。・「三味線教室」や「英会話教室」「韓国語教室」等の生涯学習の場を設ける or 現在ある場合には積極的に周知して欲しい。・愛犬家が集えるドッグラン広場を作ったり、愛犬関連や動物愛護関連のイベントをやってほしい。・フリーマーケットを増やして欲しい。・かりゆし 58 を呼んで糸満市内でライブイベントをやってほしい。・婚活イベントもあれば面白そう。・市民課がいつも忙しそうなので、人員を増やした方が良くと思う。他の自治体よりも忙しそう。ピーク時の食堂よりも忙しくて職員さんたちも大変そう。奥にいる職員も手伝った方が良い。(税金で働いているのであればなおさら。)	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
65	糸満市は住みやすい市だと思います。ごみ処理等、施設等も良いと思います。・プールを利用します。ありがとうございます。私も、皆様(利用者)も健康維持のため利用しています。でも高齢者の人が減少傾向を感じております。(免許返納のため。)お願いがあります。バスの運行が出来たら皆利用可能かな。年金生活が多いので安く。(いとちゃんバスは高いと聞いています。)お年寄り足腰が弱く(ヤグマヤになったなら)病気になって、病院に行く回数の方が多くなるので。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
66	免許返納後、いとちゃんバス運行で買い物、病院、市役所への外出もできています。返納前の思いは、子ども、孫たちをお願いと思っていましたが、いとちゃんバスのおかげで自立出	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス

	来ました。アンケートのおかげで毎日の日々の生活、あり方も変化出来ました。感謝しています。ありがとうございました。	
67	公園がたくさんあるのはうれしいが、日中は太陽ジリジリ。。やけどの心配もあるし、結局利用できないので、遊具の上に屋根があればよいと思う。ゆいレールを繋げて！バスの時間を延長して欲しい。町中にごみが多すぎる。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
68	質問事項が多すぎて頭と目が疲れました。糸満市が暮らしやすい街になりますように。市の職員、議員の方々頑張ってくださいね。皆さんご苦労様です。いつもありがとうございます。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
69	窓口業務でのこと。提出書類申請を行った際に、1枚の書類申請に、担当者が変わるごとにやり直し。3日間担当者が違う。詳しい担当者に代わる配慮に期待。	利用 職員 市役所 病院 窓口 質問 時間 バス
70	兼城町の塩尻公園の公衆トイレの撤去願ひ。 タクシードライバーの休憩、高校生のタバコのポイ方等散見されます。 また、匂い、ハエ等の虫が多く発生しており、衛生面でも懸念しています。 この公園で子供を遊ばせる事は無論、大人であっても立ち寄りません。 このアンケートが活かされるアンケートの実施となる事を願ひます。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
71	西崎運動公園、親水公園の整備、防犯にも少し力を入れて欲しい。特にトイレや自動販売機が破壊されていてとても残念に思う。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
72	糸満市に住んで10年になります。とても環境が良く立地も最適なんです。1つ残念なのが公園の整備です。孫が来ても公園で遊べない状態です。今後の糸満市に期待したいです。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
73	市内、県内の市民のために、多くのスポーツ競技、オリンピック選手・その他世界大会へ出場する選手や指導者を誘致できる施設の整備の検討をお願いします。沖縄県は室内温水国際公認プール(50m)が存在しません。九州各県でも大分と沖縄県のみ設置がまだの状態です。糸満市が積極的に設置検討をお願い致します。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
74	・市内公園設備を充実して欲しい(トイレ、水道、草刈) ・大相撲巡業を誘致して欲しい。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
75	公園がたくさんあるのは良い点だと思いますが、老朽化した遊具が使えなくなっているのがよく見られます。強い日差しや塩害などの影響で仕方ないかもしれませんが、せっかく設置しているのであればそのような環境に強い材質、素材を使用した遊具を検討していただきたいです。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
76	移住者にもいろいろな人がいます。 歴史や文化は地域にとって大切なものですが、移住者への説明、配慮が感じられません。 加え、移住者から見ると、地元の方々の環境への意識の低さが目につきます。 美しい海や自然は、移住者にとってはかけがえのないものですが、地元の方々にとってあたりまえのもので、ゴミを捨ててもすぐに雑草に覆われ見えなくなってしまう。これをヨシとしていませんか？ 行事で行う「草刈り」は「掃除」ではありません。 環境への意識を高める仕組みが必要と感じています。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
77	ロンドン森公園及び展望台綺麗にして下さい。特に展望台は糸満市が一望でき綺麗な海が見える最高の場所でした。今は最悪です。 寂しいです。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
78	1.高齢者の健康増進のため、西崎運動公園や各公園に、高齢者向けの運動器具を取り付けてほしいです。2.中国の朝の公園では、高齢者の方たちが太極拳やその他の運動をしながら元気に動いているのを見ると、糸満市でもぜひ取り入れて欲しいです。3.1歳未満の子供達が乗るブランコが少ない。また、人気があるようで、長らく待ち続ける子供達が多い。せめて、あと一台増やして欲しいです。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
79	糸満市内にはもっと力をいれてもらいたい。市内には建築法上、家が建てられない道路が多すぎる。特に高台地区に空き地や空き家が多い。最近、地震による津波の被害が問題になっているが、それらのことを考えても、西崎のような平地ではなく、高台にある道路を整備して、空き地や空き家をなくしてもらいたい。もっと糸満市内に目を向けてもらいたい。	公園 環境 市内 意識 高齢 設置 安全
80	いつも歩道の草刈りや、凹んだ道路の整備を行なっていただきありがとうございます。 糸満市の道路は歩きやすく、車を運転しやすい。とても素晴らしいと思います。 これからもよろしくお願いします。	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
81	市役所前の道路、松の木通りなど草木の伐採、道路の整備をお願いします。潮崎の東屋が立ち入り禁止になっているのを治して欲しい。潮崎ビーチ周辺の街灯が消えている所はつけて欲しい。	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
82	まず、糸満市は地域活性化に関しては、まだまだ途上段階だと思います。魅力的な糸満市づくりに励んで欲しいと思います。また、糸満市に自然に足を運んでもらいやすい複合施設が他の市に比べるとまだまだ乏しい感否めません。隣の南城市ではコストコが出来たことで、コストコが開業した去年の夏以前に比べると南城市内は人々で潤っていると思います。コストコに隣接する糸満市にも、コストコでの買い物帰りについて、と車を走らせて立ち寄ってもらえそうな、なにかしらの複合施設が欲しいなと思います。中城村にあるライカムイオンモールのような、大きなショッピングモールを糸満市のたとえば喜屋武地区とか東里地区などのように、向こうに青い海を眺められる広いデッキのついたイオンモール。パルクシティみたいに海側に面した大きなガラス窓のついたフードコート。夢があっていいじゃないですか。そういった施設を糸満市にもぜひ1つは作って、これまで以上にもっともっと元気に潤う街づくりをして欲しいと切に願っています。	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草

83	道路や歩道などが補正が必要な箇所が何箇所もある。散歩や運動の時に滑ったり足を挫く事もある。林道の遊歩道も雑草手入れ周期が遅すぎると感じる。税金の使い道が不明瞭なものも不信感につながります。	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
84	ごみ収集いつもきれいにさせていただいてありがたいです?? 町がきれいだと思安も良くなると思うので、小さなところから住みやすい町になってほしいなどと思います☆	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
85	企業の誘致に力を入れてほしい。工場群の誘致だけでなく、海に面した地域の良さを活かして、半導体、デジタル企業の誘致など10年後を見据えて積極的に動いてほしい	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
86	糸満市は他市に比べて娯楽施設が乏しいため、魅力が少ないように感じる。他市に負けない糸満市の魅力を感じるようになれば今後、発展していけるのではないのでしょうか。	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
87	文化、文明にとらわれず、街の発展が遅れ気味な気がするが、最近、新しい建物もでき、やっと糸満市が発展の道を歩いていくような気がする。将来は、高齢者などが安全に住み、道路整備、歩道整備して安心して街に出かけられる地域にしていってほしい。	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
88	・道路の整備、陥没箇所、雑草の除去が適切にされていない。畑に隣接する県道、市道の清掃をしてほしい。畑の持ち主にゴミを放置しない教育をするべき。あまりにも放置されすぎ。・住宅地までニオイの届く野焼きを完全に禁止し、注意ではなく罰するべき。部屋にニオイが入り、のどの痛みを感じる。洗濯物にニオイが移るのも不快。個人のごみの焼却で周囲に迷惑がかかるのはおかしい。・豊見城中央病院、友愛病院、他の市町村に頼らず、糸満市に総合病院が欲しい。遠くて不便。	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
89	糸満市に望むこと。①公共交通の充実。(モノレール、電車を平和公園～空港に通してほしい。) ②美化環境 ?歩道及び公園等におけるゴミ(ペットボトル、飲食後のゴミ)、歩道の雑草がジャングルのようにになっている。とにかくゴミの散乱が目につきます。美化への意識教育が大切である。?車の不法駐車。歩行者への安全義務教育も必要である。③平和教育について。平和を語り継ぐことは必要であるが、それには正しい歴史を発信することである。特に子どもたちには都合の良いことではなく、正しい歴史を正確に伝えるべきである。	施設 整備 道路 ゴミ 誘致 歩道 海 雑草
90	フリースクールを作りたいです。糸満市にもまだまだ自然がたくさんある場所もあるし、少し足を伸ばせば必ず海に着きます。西崎にもありますが、少し都会から離れた場所にも作って欲しいです。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良< 若者
91	西崎のプールが年々汚くなっている。水中も汚いのでどうにかしてほしい。あれは酷すぎる。人が来るからと言って怠慢になっている気がする。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良< 若者
92	子育て支援に力をそそいでほしい!産後ケアの充実、保育園の待機児童減らしてほしい、学校給食費や出費など。家計は苦しいのに預けられなかったり休めなかったりで、しんどい時期ありました!	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良< 若者
93	子育て支援、障がい児支援が他市より悪くもっと見習って欲しい	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良< 若者
94	公園や街並みなどで荒廃しているように見える箇所が散見されます。地域活性化や防犯、子育て支援等の観点から是非早急に改善してほしいと思います。また、広報にて市議会の動きや政策などに注目しているのですが、地域振興策の広がりが市内南部にばかり伸びていっているのが気になります。もっと西崎地区や阿波根地区等、若者の居住地や往来が多い地区にもイベント企画や商業施設の誘致等、振興の手を伸ばしてほしいと思います。そうすることでより賑わいを得たり、若年層の移住・定住にも繋がるのではないのでしょうか? 私自身幼少の頃より長く住んでいる地域なので郷土愛も一入ですし、我が子の成長もこのまま糸満市で見守りたいと思っているので、不見識な意見ではありますがご一考いただければ幸いです。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良< 若者
95	生きている人間のために、税金は使ってください。子供、大人関係なく、支援が必要な方はまだまだ沢山いると思うので。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良< 若者
96	高齢者も増え続ける糸満市でも子育てしやすい子供のため(補助金や給付金やニュース等で子育て移住者の多い県外の市町村を参考にしたい)と思える対策があれば子供も増え、街も活気に溢れて景気も良くなると思う。景気が良くなれば子育て世帯、高齢者、環境、農業、地域内経済を回していけたら良くなると思っています。子育て世帯が年収300万前後だと赤字で習い事もさせてあげられずスポーツ、学業など差がありすぎてしまう。子育て世帯の景気が悪いと高齢者の支援にも行き届かないと思う。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良< 若者
97	三和地区在住です。人口のせいもあると思うが、バスの本数が少ない。いとちゃんの予約がとれない。空港まで行きづらいなど交通機関が充実すると良いなと思います。1人親で、西崎などで子供向けのイベントがあっても送迎できず参加させられないことが多々ある。南部(糸満市の外れ)でも参加しやすい工夫などあるとうれしいです。買い物は車がないと行けないので、免許返納後が不安です。(いとちゃんは電話するたびに予約がいっぱい。)近くのお店や配達車などが来てくれるとありがたい。(月に数回とか)。バスは本数が少なかったり、乗り換えがあったりと使い勝手が悪いように感じる。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良< 若者

98	自転車に乗って道路を危険運転(2台並んで走行、交差点をぐるぐると走行)している10代の男の子たちを頻繁に見かけます。車から注意を受けても、次の日には同じことをしています。危ないので学校で注意するなり対策してください。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良く 若者
99	国吉区に住んでいて、ウォーキングをしますが、残念なことに、歩道が草木で利用できません。車道を歩いているので、ときどき車が来るのに気づかずハッとすることがあります。学生も車道を歩いて通学しているので気になっています。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良く 若者
100	①漁業も農業もまず水の確保(海水を真水にする設備を交付金で作る)泊港からの移設新市場を基に若い人が多く働けるようにする。水産加工工場を誘致する。(なるべく大手企業) ※糸満とらなあ(ツナ缶)やばくだんかまぼこ(冷凍で日持ちする工夫)、水産高校を中心に研究してください。※糸満市は水道料金を補助する。②さとうきびも糸満の風景に合うが、国の補助金から脱却できる農家は付加価値の高い作物(マンゴ、キウイ、アボガド、花)等に変える。※耕作放棄地の整理。※糸満市は不発弾処理を補助する。③(人工芝は時代遅れ)→(自然芝は選手の体に負担が少ない)若い人のスポーツについて(有料グラウンドは人工芝は植えない)大度浜辺りでサーフィンをやっている人たちは車の中で着替えをしたり、コソコソ遊んでいるようだ。平和の森公園も隣接しているし、設備を整えて有料のキャンプ場で(県と連携)遊べるようにして(駐車場、シャワー、トイレ、日帰り客も有料)④南部病院跡地に私立大学を誘致して若者を糸満市に増やす。(文化活動も生まれる)→県に提案して。⑤船ドックの技術も人材育成して産業がなくならないように。⑥市の樹といえど「がじゅまる」はうんざり。ハワイのようにヤシの木を、中心に花。リゾートは違う「癒しの糸満市」に。プロにデザインしてもらって。環境整備(草刈り等)は予算をもっとつけてください。県外客とドライブしても恥ずかしい。観光立県とは言えない。⑦くくる糸満と観光は結びつかない。無理があると思うから。⑧戦争遺跡は残す。(ガイドの養成必要)。⑨全墓に税金をかける。市営墓地を作り、低所得者を優先。3年以上申告なき墓は市営に移す。税率は個人墓は高く、合同墓地は安く(条例)。私は老人ですが、稼げる糸満市にすれば、老人福祉、障がい者福祉、子育ての問題なんくるないさ。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良く 若者
101	西崎にあるスポーツロジは今後どうなるか知るよしもないが、どうなりますか。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良く 若者
102	潮平地区は子育て世帯が多いが、車一台の家庭も多い。そんな中、近場(徒歩)で行ける公園、広場がない。急な坂道を下って西崎方面まで行かないと遊べる場所がない。(支援センターも。)いとちゃん号の駐車場は、こういう坂の上の住宅地に設けていただきたい。もしくは、住居(アパート)を増設するくらいなら、遊具がなくても整備された芝や屋根付きベンチの設置をしてほしい。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良く 若者
103	単刀直入に、10代20代の若者の支援金を作ってほしい。私は社会人として働किながら、夜は大学に通っている者です。私の家庭は昔から貧乏で、高校卒業してから進学したかったのですが、家の事情で働かざるを得ない状態でした。私は、学びたい気持ちがあるが、お金の理由で進学を断念している若者を救ってあげて欲しいのが望みです。未来を担う若者の将来を、政治家はもっと重視すべきだと考えています。まずは糸満市から動いていこう。まとめ、大学、専門学校にお金の理由で行けなかった若者に再び学びの機会を与える支援金を作ってほしい。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良く 若者
104	・公園の駐車場が自家用車の車庫となっている。また、放置車が多く、必要なときに駐車できない。・市道の雑草が伸び放題でウォーキングできない。・市内のコンビニにAEDを設置して欲しい。・市長又は市の幹部は、年に1回自治会館、公民館で市民との懇談会を開催して欲しい。・市道の白線をきれいに整備して欲しい。・議員はもっと市民のために汗を流せ。	子育て 車 支援 必要 地区 西崎 イベント 場所 良く 若者
105	このアンケートを送り付けた担当者に疑問が残る。この内容は現在進行形の人たちにふさわしいアンケートになる。人生の終活が始まっている人たちには?十年前の行政と現在では大きな違い(進歩しているであろう)があるはず。したがって、外出しない人にアンケートを問うても検討がつきません。	アンケート
106	このアンケートについて、よく意味が分からないのが多かった。年代別のアンケートでわかりやすいのにして欲しかった。(年代を聞いて)アンケートを年代別にやった方がいい。このアンケートが参考になったか疑問です。	アンケート
107	税金が高い。介護保険料が高い。	税金
108	旧市街地の活性化を図ってほしい。「いとまーる」のように古い建物を壊して、個性のないものを作るより、旧市街地の空き店舗を改修なりして、若い人に起業する機会を与えるようにしてほしい。施設の改修にあたって、市の税金を使うのではなく、起業する人が個人で改修しやすいシステムを作ることが重要。糸満の旧市街地の家屋のオーナーは、他の市町村からの若者等には家を貸したと聞きます。もっと他者を受け入れる雰囲気づくりが重要。家屋のオーナーはだいぶ年配者なので閉鎖的になるのも仕方がない。市の税金を使わず、かつ個人で改修しやすい方法として、古い空き店舗を改修して新しく事業を始める場合には、固定資産税を減免する措置を取ってはどうかと思う。土地家屋のオーナーの貸し渋りも、これによりなくなって、旧市街地が活性化し、意欲のある若い人もチャンスを得ることとなる。古い建物を壊して新しいものを作るより、古いものを利用して新しい価値観を生み出す行政をお願いしたい。	税金

### III. 【参考】過年度調査の設問

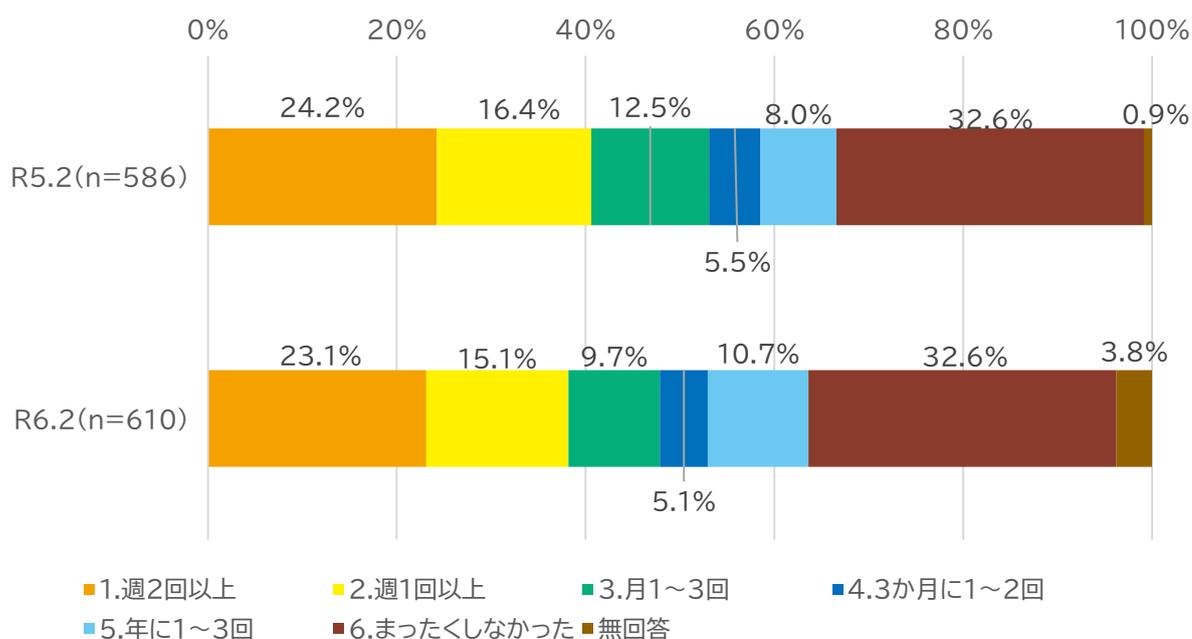
本章では、過年度調査の設問のうち、設問数の都合から令和7年度調査からは除いた設問の、分析結果を、参考情報として掲載しております。(令和5年度市民意識調査報告書より引用)

#### ◆4. 日頃の暮らし(文化・スポーツ・健康、災害への備え、男女共同参

#### 画、性の多様性、生活交通、公園、自治会)について

[令和5年度調査 問22 単一回答]あなたは、過去1年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

「6.まったくしなかった」と答えた割合が32.6%と最も高く、次いで「1.週2回以上」23.1%、「2.週1回以上」15.1%となっている。R5年度と比べて割合に大きな変化はない。

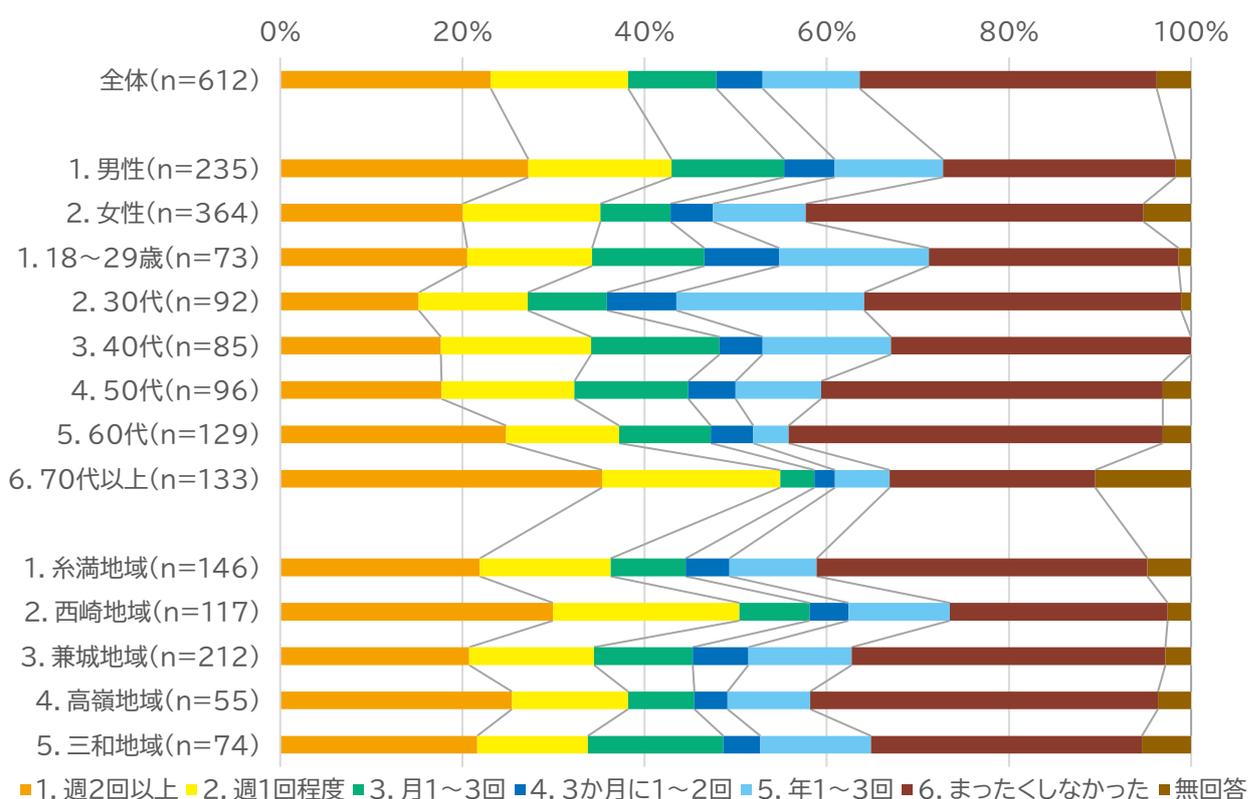


選択項目	R5.2(n=586)	R6.2(n=610)
1.週2回以上	24.2%	23.1%
2.週1回以上	16.4%	15.1%
3.月1~3回	12.5%	9.7%
4.3か月に1~2回	5.5%	5.1%
5.年に1~3回	8.0%	10.7%
6.まったくしなかった	32.6%	32.6%
無回答	0.9%	3.8%

男女別では、「6. まったくしなかった」と答えた割合が男性25.5%、女性37.1%と女性の方が高くなっている。そのほかの項目では、女性より男性の方が高くなっている。

年代別では、60代では「6. まったくしなかった」と答えた割合が41.1%(全体32.5%)と他の年代よりも高くなっている。70代では「1. 週2回以上」と答えた割合は35.3%(全体23.0%)、「2. 週1回以上」と答えた割合は19.5%(全体15.0%)と他の年代より高くなっている。30代から50代では、「1. 週2回以上」と答えた割合が低くなっている。

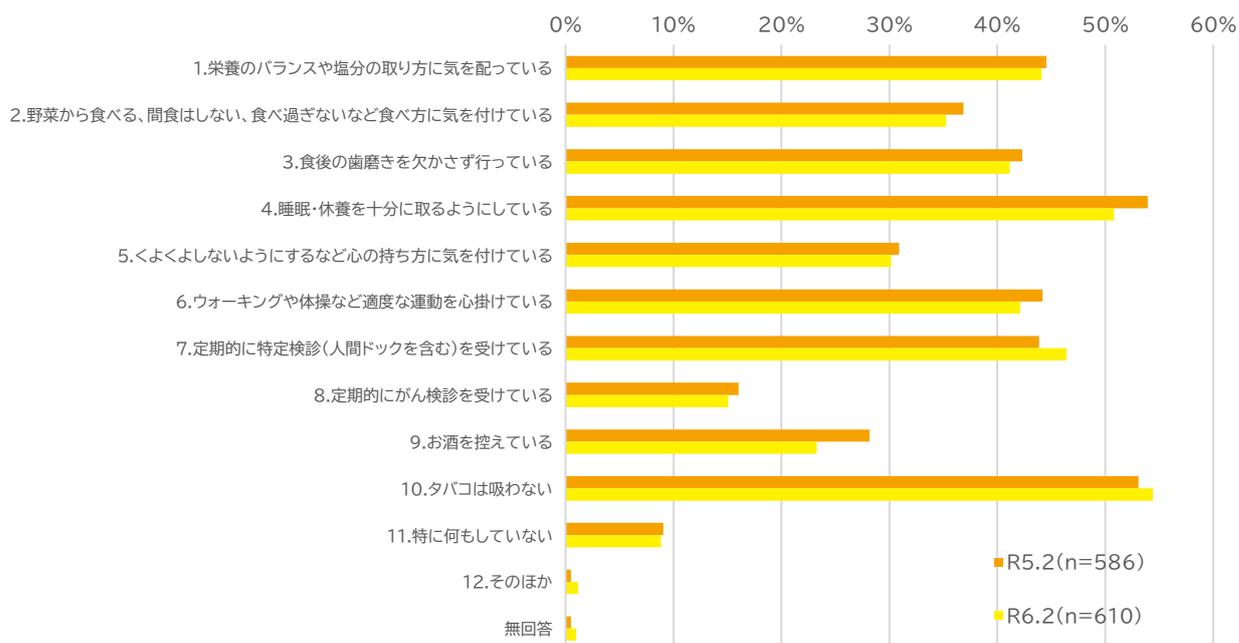
地域別では、「1. 週2回以上」と答えた割合が西崎地域で29.9%(全体23.0%)、「2. 週1回以上」と答えた割合が西崎地域で20.5%(全体15.0%)と他の地域よりも高くなっている。



	1. 週2回以上	2. 週1回程度	3. 月1~3回	4. 3か月に1~2回	5. 年1~3回	6. まったくしなかった	無回答
全体(n=612)	23.0%	15.0%	9.6%	5.1%	10.6%	32.5%	3.8%
1. 男性(n=235)	27.2%	15.7%	12.3%	5.5%	11.9%	25.5%	1.7%
2. 女性(n=364)	20.1%	15.1%	7.7%	4.7%	10.2%	37.1%	5.2%
1. 18~29歳(n=73)	20.5%	13.7%	12.3%	8.2%	16.4%	27.4%	1.4%
2. 30代(n=92)	15.2%	12.0%	8.7%	7.6%	20.7%	34.8%	1.1%
3. 40代(n=85)	17.6%	16.5%	14.1%	4.7%	14.1%	32.9%	0.0%
4. 50代(n=96)	17.7%	14.6%	12.5%	5.2%	9.4%	37.5%	3.1%
5. 60代(n=129)	24.8%	12.4%	10.1%	4.7%	3.9%	41.1%	3.1%
6. 70代以上(n=133)	35.3%	19.5%	3.8%	2.3%	6.0%	22.6%	10.5%
1. 糸満地域(n=146)	21.9%	14.4%	8.2%	4.8%	9.6%	36.3%	4.8%
2. 西崎地域(n=117)	29.9%	20.5%	7.7%	4.3%	11.1%	23.9%	2.6%
3. 兼城地域(n=212)	20.8%	13.7%	10.8%	6.1%	11.3%	34.4%	2.8%
4. 高嶺地域(n=55)	25.5%	12.7%	7.3%	3.6%	9.1%	38.2%	3.6%
5. 三和地域(n=74)	21.6%	12.2%	14.9%	4.1%	12.2%	29.7%	5.4%

**[令和5年度調査 問23 複数回答]**あなたは、健康のために何か心掛けていることはありますか。

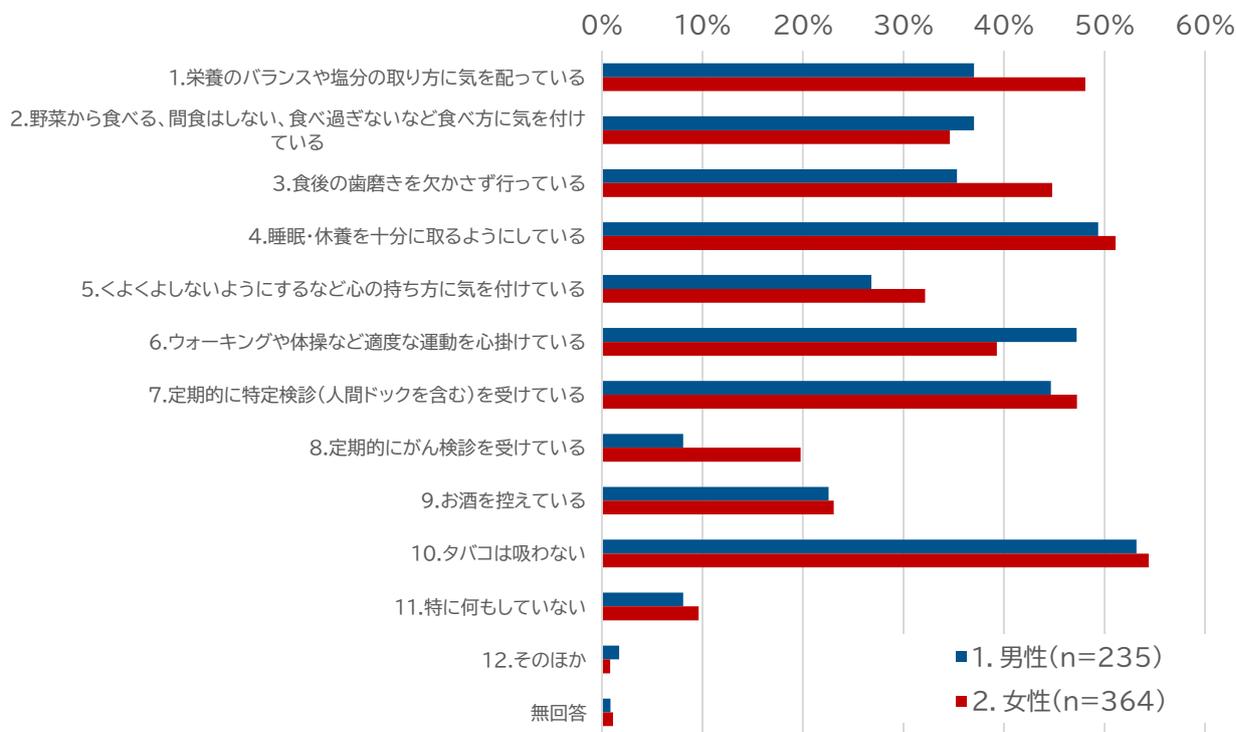
「10. タバコは吸わない」と答えた割合が54.4%と最も高く、次いで「4. 睡眠・休養を十分取るようにしている」50.8%、「7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている」46.4%、「1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」44.1%、「6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」42.1%となっている。



選択項目	R5.2(n=586)	R6.2(n=610)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	44.5%	44.1%
2. 野菜から食べる、間食はしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	36.9%	35.2%
3. 食後の歯磨きを欠かさず行っている	42.3%	41.1%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	53.9%	50.8%
5. ぐよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	30.9%	30.2%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	44.2%	42.1%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	43.9%	46.4%
8. 定期的にかん検診を受けている	16.0%	15.1%
9. お酒を控えている	28.2%	23.3%
10. タバコは吸わない	53.1%	54.4%
11. 特に何もしていない	9.0%	8.9%
12. そのほか	0.5%	1.1%
無回答	0.5%	1.0%

男女別では、「2.野菜から食べる、間食はしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている」、「6.ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」と答えた割合が男性の方が高くなっている。それ以外の項目では、女性の方が高くなっている。

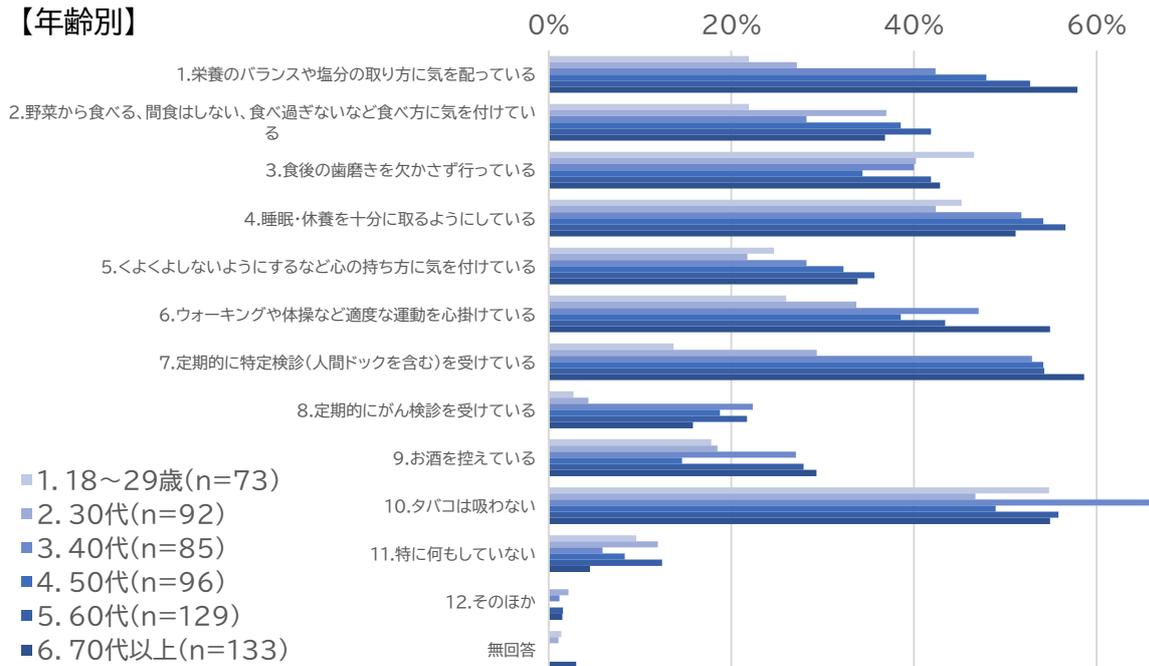
### 【男女別】



	1. 男性(n=235)	2. 女性(n=364)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	37.0%	48.1%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	37.0%	34.6%
3. 食後の歯磨きを励行している	35.3%	44.8%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	49.4%	51.1%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	26.8%	32.1%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	47.2%	39.3%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	44.7%	47.3%
8. 定期的ながん検診を受けている	8.1%	19.8%
9. お酒を控えている	22.6%	23.1%
10. タバコは吸わない	53.2%	54.4%
11. 特に何もしていない	8.1%	9.6%
12. そのほか	1.7%	0.8%
無回答	0.9%	1.1%

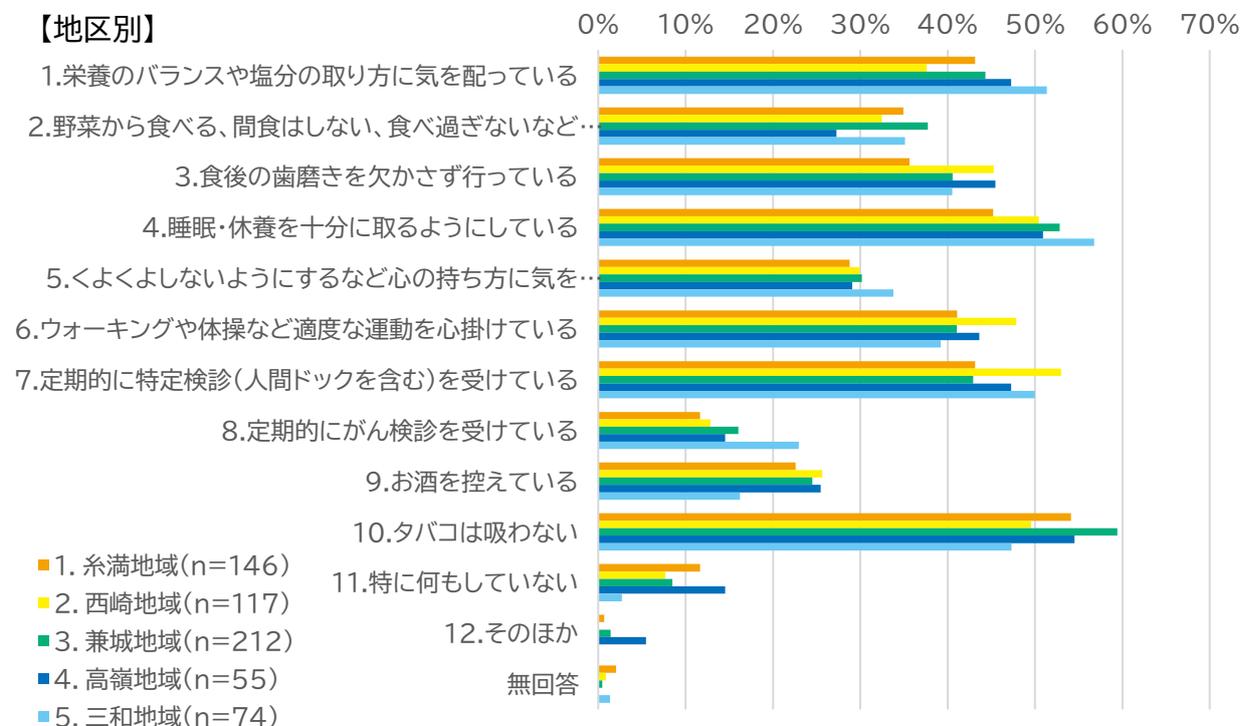
年代別では、「7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている」と答えた割合が18～29才では13.7%、30代でも29.3%(全体46.4%)と、他の年代に比べて低くなっている。また、18～29才では「1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」と答えた割合が21.9%(全体44.1%)、「2. 2.野菜から食べる、間食はしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている」21.9%(全体35.2%)、「8. 定期的にがん検診を受けている」2.7%(全体15.1%)と他の年代に比べて低くなっている。

【年齢別】



	1. 18~29歳 (n=73)	2. 30代 (n=92)	3. 40代 (n=85)	4. 50代 (n=96)	5. 60代 (n=129)	6. 70代以上 (n=133)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	21.9%	27.2%	42.4%	47.9%	52.7%	57.9%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	21.9%	37.0%	28.2%	38.5%	41.9%	36.8%
3. 食後の歯磨きを励行している	46.6%	40.2%	40.0%	34.4%	41.9%	42.9%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	45.2%	42.4%	51.8%	54.2%	56.6%	51.1%
5. ぐよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	24.7%	21.7%	28.2%	32.3%	35.7%	33.8%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	26.0%	33.7%	47.1%	38.5%	43.4%	54.9%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	13.7%	29.3%	52.9%	54.2%	54.3%	58.6%
8. 定期的にがん検診を受けている	2.7%	4.3%	22.4%	18.8%	21.7%	15.8%
9. お酒を控えている	17.8%	18.5%	27.1%	14.6%	27.9%	29.3%
10. タバコは吸わない	54.8%	46.7%	65.9%	49.0%	55.8%	54.9%
11. 特に何もしていない	9.6%	12.0%	5.9%	8.3%	12.4%	4.5%
12. そのほか	0.0%	2.2%	1.2%	0.0%	1.6%	1.5%
無回答	1.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%

地域別では、三和地域で「1.栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」と答えた割合が51.4%、兼城地域で「2.野菜から食べる、間食はしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている」が35.1%と他の地域と比べて高くなっている。



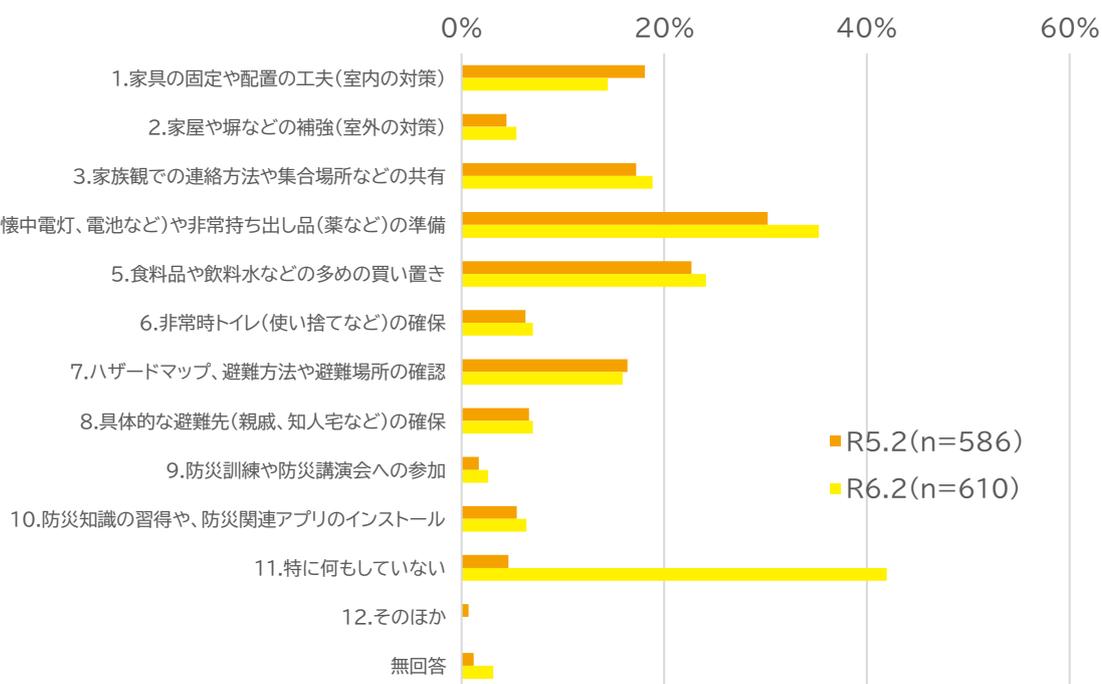
	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	43.2%	37.6%	44.3%	47.3%	51.4%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	34.9%	32.5%	37.7%	27.3%	35.1%
3. 食後の歯磨きを励行している	35.6%	45.3%	40.6%	45.5%	40.5%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	45.2%	50.4%	52.8%	50.9%	56.8%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	28.8%	29.9%	30.2%	29.1%	33.8%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	41.1%	47.9%	41.0%	43.6%	39.2%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	43.2%	53.0%	42.9%	47.3%	50.0%
8. 定期的ながん検診を受けている	11.6%	12.8%	16.0%	14.5%	23.0%
9. お酒を控えている	22.6%	25.6%	24.5%	25.5%	16.2%
10. タバコは吸わない	54.1%	49.6%	59.4%	54.5%	47.3%
11. 特に何もしていない	11.6%	7.7%	8.5%	14.5%	2.7%
12. そのほか	0.7%	0.0%	1.4%	5.5%	0.0%
無回答	2.1%	0.9%	0.5%	0.0%	1.4%

●「その他」の回答

- ・ 市の健診に
- ・ 食事作り(野菜中心)家事を全力でやる
- ・ 毎日3食 食事を取るようになっている(食費不足)
- ・ 母親の介護でストレスがたまっている。
- ・ ストレスフリーな生き方をする
- ・ お酒を全く飲まない
- ・ サプリや自炊をするようになっている

**[令和5年度調査 問24 複数回答]**あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。

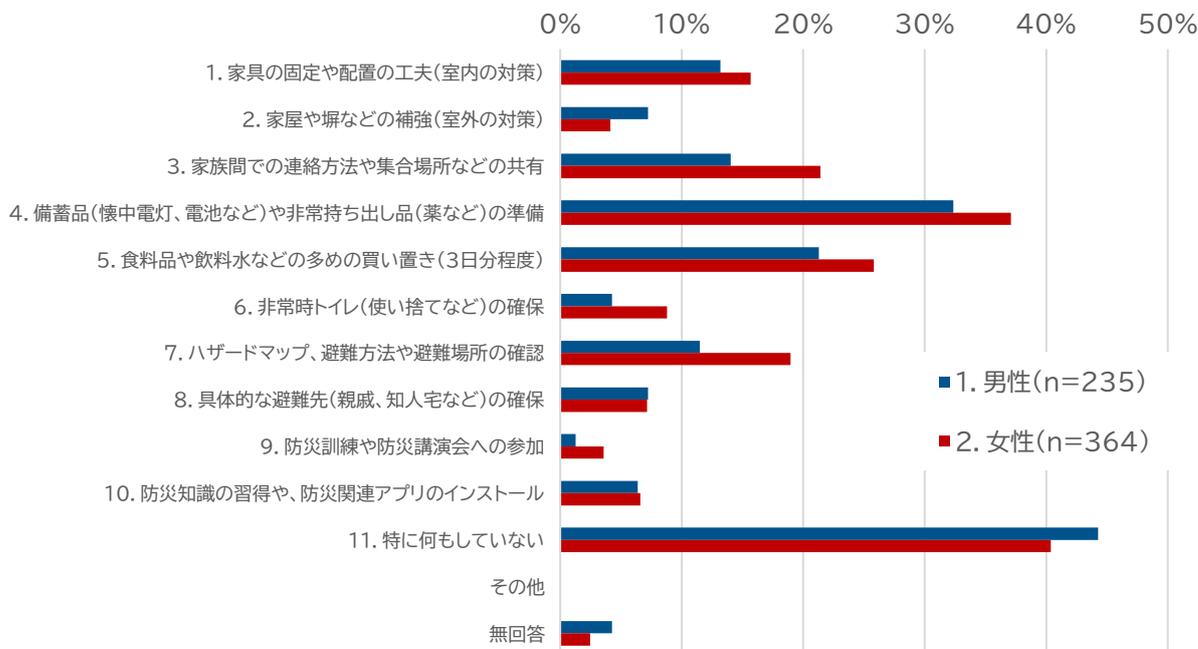
「11.特に何もしていない」と答えた割合が42.0%と最も高く、次いで「4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備」35.2%、「5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)」24.1%となっている。



	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1.家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	18.1%	14.4%
2.家屋や塀などの補強(室外の対策)	4.4%	5.4%
3.家族間での連絡方法や集合場所などの共有	17.2%	18.9%
4.備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	30.2%	35.2%
5.食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	22.7%	24.1%
6.非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	6.3%	7.0%
7.ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	16.4%	15.9%
8.具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	6.7%	7.0%
9.防災訓練や防災講演会への参加	1.7%	2.6%
10.防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	5.5%	6.4%
11.特に何もしていない	4.6%	42.0%
12.その他	0.7%	0.0%
無回答	1.2%	3.1%

男女別では、「11.特に何もしていない」と答えた割合が男性 44.3%、女性40.4%と男性が高くなっている。一方で、「5.食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)」と答えた割合は男性 21.3%、女性25.8%、「3.家族間での連絡方法や集合場所などの共有」と答えた割合は男性14.0%、女性21.4%と、女性が高くなっている。

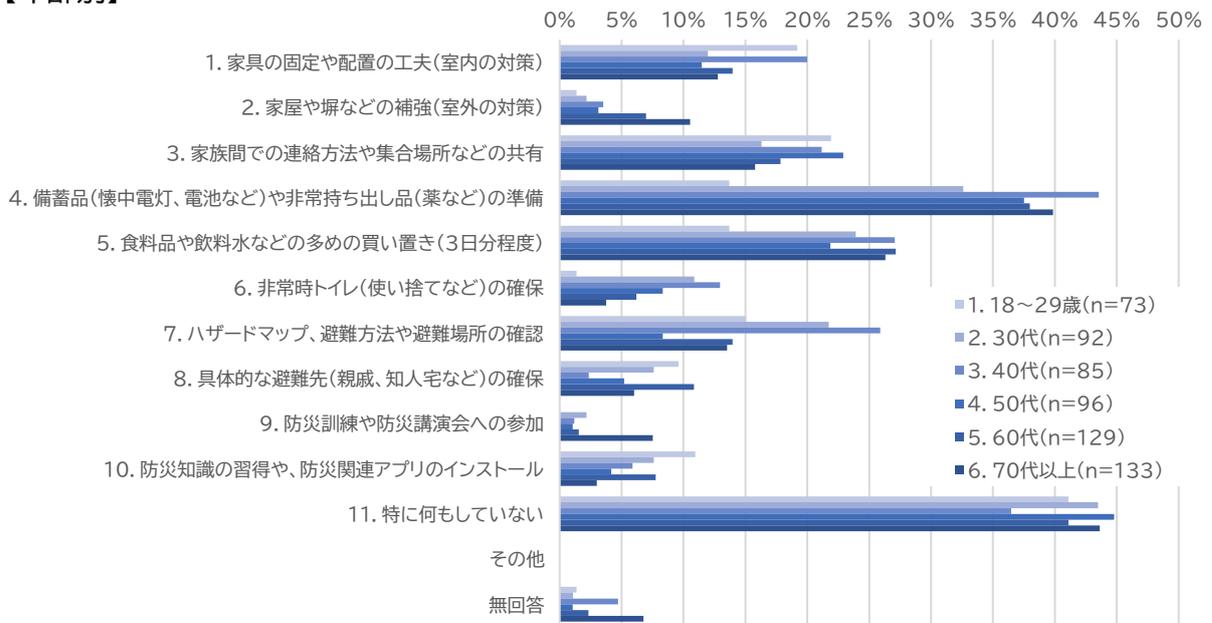
【男女別】



	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	13.2%	15.7%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	7.2%	4.1%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	14.0%	21.4%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	32.3%	37.1%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	21.3%	25.8%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	4.3%	8.8%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	11.5%	19.0%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	7.2%	7.1%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	1.3%	3.6%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	6.4%	6.6%
11. 特に何もしていない	44.3%	40.4%
12. そのほか	0.0%	0.0%
無回答	4.3%	2.5%

年代別では、40代以外の年代で「11.特に何もしていない」と答えた割合が一番高かった。70代以外の年代で「9.防災訓練や防災講演会への参加」と答えた割合が一番低かった。また、70代以上において「10.防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール」と答えた割合が3.0%(全体6.4%)と最も低かった。40代においては「4.備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備」と答えた割合が43.5%(全体35.2%)と一番高かった。

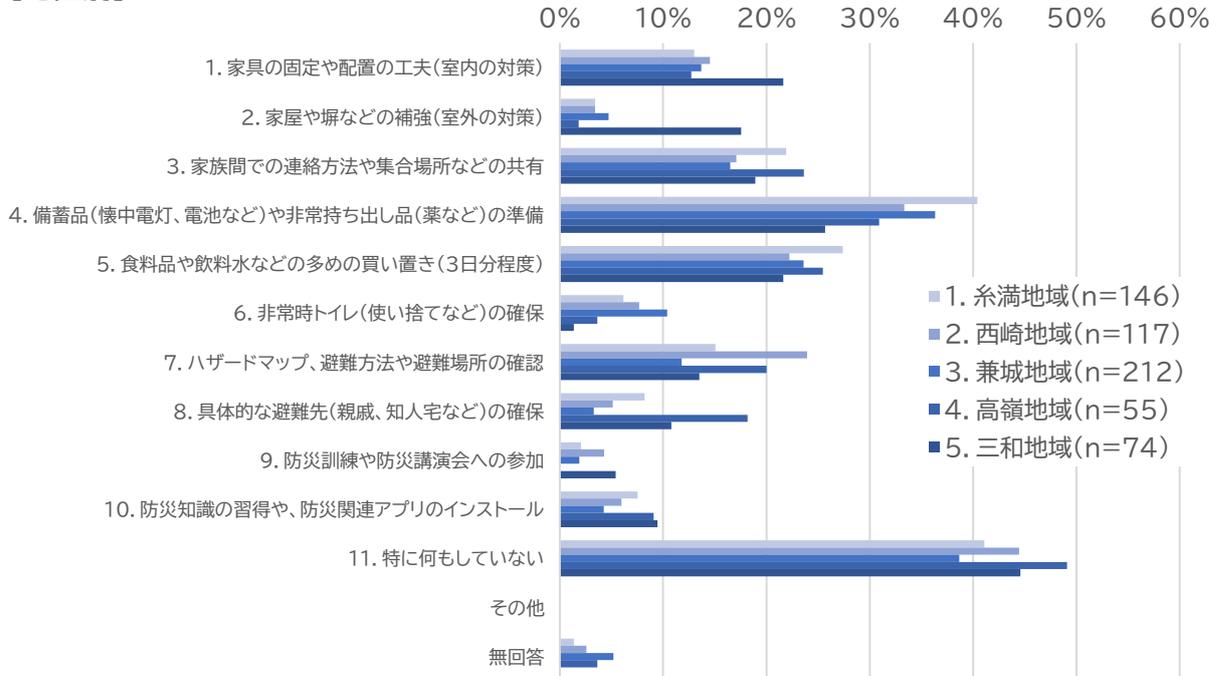
### 【年齢別】



	1. 18~29歳 (n=73)	2. 30代 (n=92)	3. 40代 (n=85)	4. 50代 (n=96)	5. 60代 (n=129)	6. 70代以上 (n=133)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	19.2%	12.0%	20.0%	11.5%	14.0%	12.8%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	1.4%	2.2%	3.5%	3.1%	7.0%	10.5%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	21.9%	16.3%	21.2%	22.9%	17.8%	15.8%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	13.7%	32.6%	43.5%	37.5%	38.0%	39.8%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	13.7%	23.9%	27.1%	21.9%	27.1%	26.3%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	1.4%	10.9%	12.9%	8.3%	6.2%	3.8%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	15.1%	21.7%	25.9%	8.3%	14.0%	13.5%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	9.6%	7.6%	2.4%	5.2%	10.9%	6.0%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	0.0%	2.2%	1.2%	1.0%	1.6%	7.5%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	11.0%	7.6%	5.9%	4.2%	7.8%	3.0%
11. 特に何もしていない	41.1%	43.5%	36.5%	44.8%	41.1%	43.6%
12. そのほか	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.4%	1.1%	4.7%	1.0%	2.3%	6.8%

地域別では、糸満地域において「4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備」と答えた割合が40.4%(全体35.2%)と他の地域より高くなっている。また、高嶺地域において「8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保」と答えた割合が18.2%(全体7.0%)と他の地域よりも高くなっている。

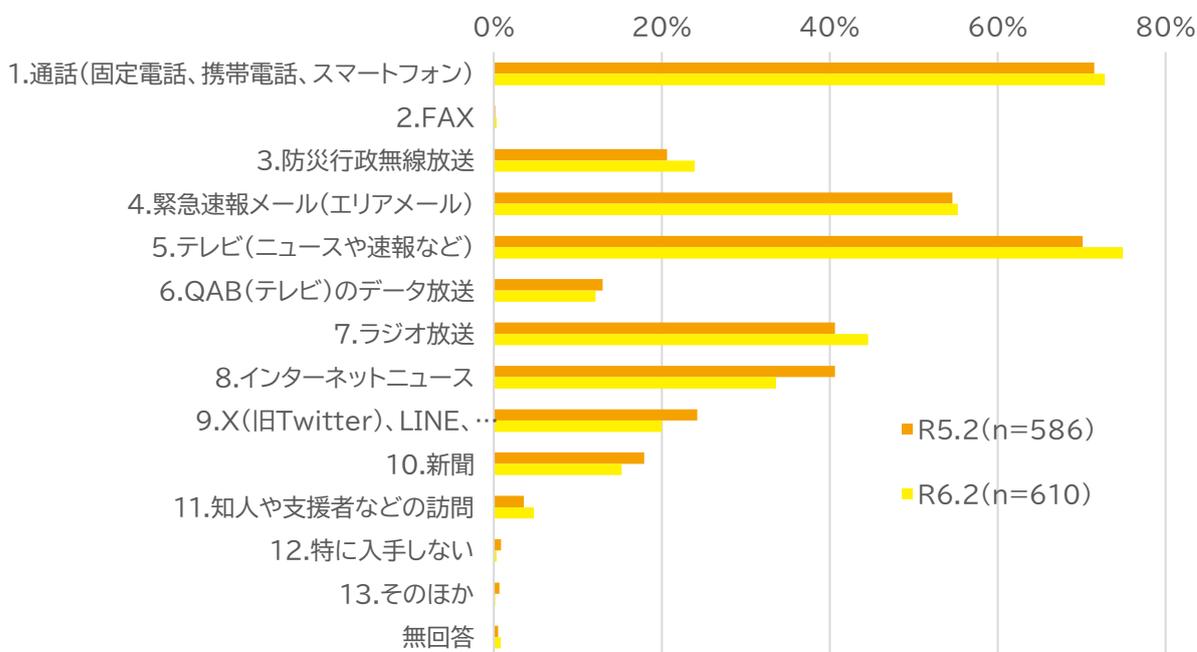
### 【地区別】



	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	13.0%	14.5%	13.7%	12.7%	21.6%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	3.4%	3.4%	4.7%	1.8%	17.6%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	21.9%	17.1%	16.5%	23.6%	18.9%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	40.4%	33.3%	36.3%	30.9%	25.7%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	27.4%	22.2%	23.6%	25.5%	21.6%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	6.2%	7.7%	10.4%	3.6%	1.4%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	15.1%	23.9%	11.8%	20.0%	13.5%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	8.2%	5.1%	3.3%	18.2%	10.8%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	2.1%	4.3%	1.9%	0.0%	5.4%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	7.5%	6.0%	4.2%	9.1%	9.5%
11. 特に何もしていない	41.1%	44.4%	38.7%	49.1%	44.6%
12. そのほか	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.4%	2.6%	5.2%	3.6%	0.0%

**[令和5年度調査 問25 複数回答]**あなたは、災害が発生または発生の恐れがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。

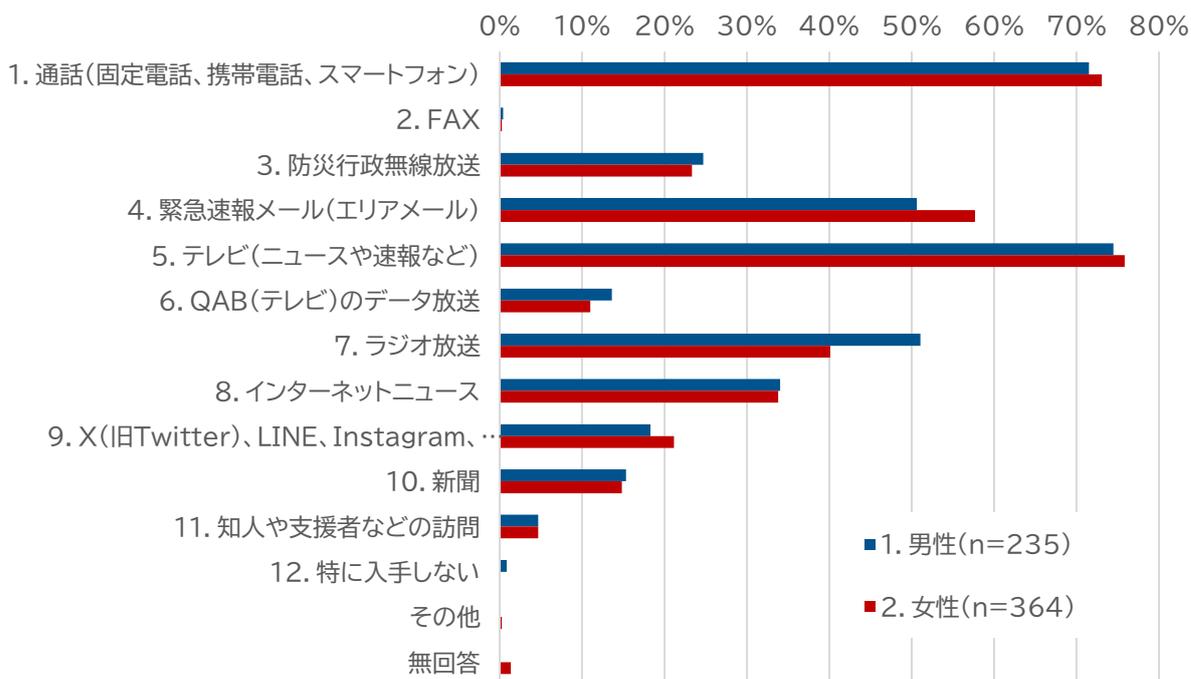
「5. テレビ(ニュースや速報など)」と答えた割合が74.9%と最も高く、次いで「1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)」72.8%、「4. 緊急速報メール(エリアメール)」55.2%となっている。



	R5.2(n=586)	R6.2(n=610)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	71.5%	72.8%
2. FAX	0.2%	0.3%
3. 防災行政無線放送	20.6%	23.9%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	54.6%	55.2%
5. テレビ(ニュースや速報など)	70.1%	74.9%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	13.0%	12.1%
7. ラジオ放送	40.6%	44.6%
8. インターネットニュース	40.6%	33.6%
9. Twitter、LINE、Instagram、Facebook などのSNS	24.2%	20.0%
10. 新聞	17.9%	15.2%
11. 知人や支援者などの訪問	3.6%	4.8%
12. 特に入手しない	0.9%	0.3%
13. そのほか	0.7%	0.2%
無回答	0.5%	0.8%

男女別では、「4. 緊急速報メール(エリアメール)」と答えた割合が男性 50.6%、女性57.7%と女性が高くなっている。また、「1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)」と答えた割合も男性 71.5%、女性73.1%、「5. テレビ(ニュースや速報など)」と答えた割合も男性 74.5%、女性75.8%と女性が高くなっている。一方で、「10. 新聞」と答えた割合は男性 15.3%、女性14.8%と男性が高くなっている。

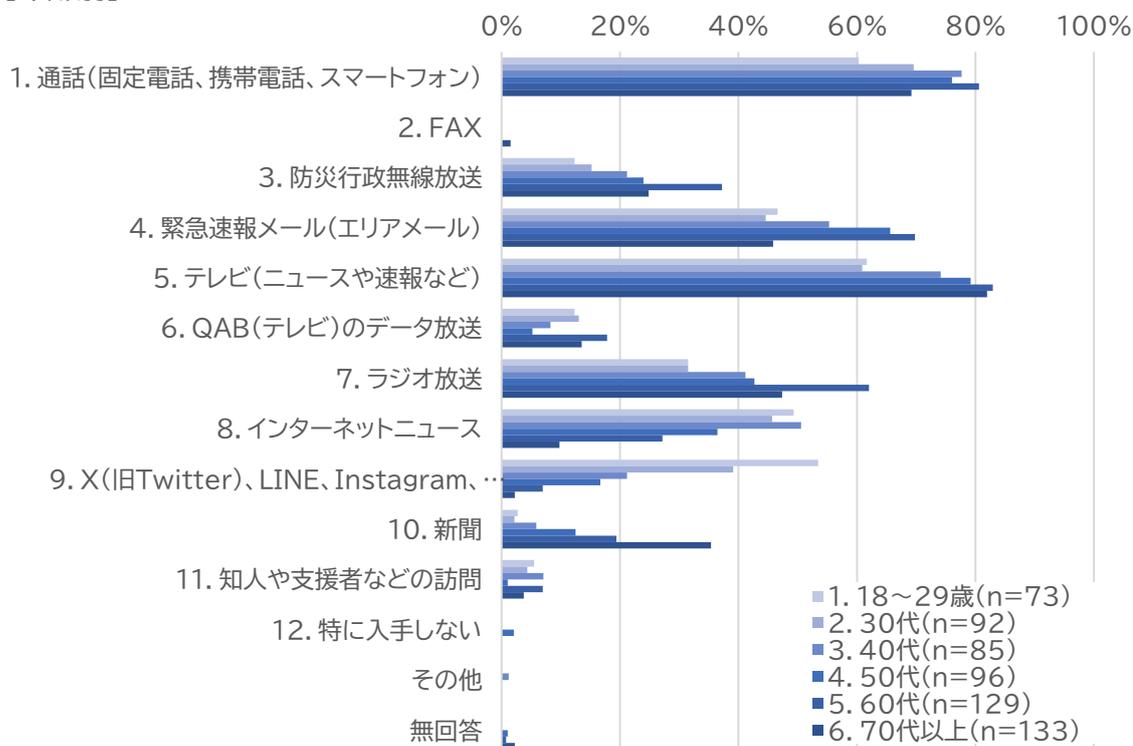
### 【男女別】



	1. 男性(n=235)	2. 女性(n=364)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	71.5%	73.1%
2. FAX	0.4%	0.3%
3. 防災行政無線放送	24.7%	23.4%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	50.6%	57.7%
5. テレビ(ニュースや速報など)	74.5%	75.8%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	13.6%	11.0%
7. ラジオ放送	51.1%	40.1%
8. インターネットニュース	34.0%	33.8%
9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS	18.3%	21.2%
10. 新聞	15.3%	14.8%
11. 知人や支援者などの訪問	4.7%	4.7%
12. 特に入手しない	0.9%	0.0%
13. そのほか	0.0%	0.3%
無回答	0.0%	1.4%

年代別では、18～29才においては「9.X(旧 Twitter)、LINE、Instagram、Facebook などの SNS」と答えた割合が 53.4%(全体 20.0%)と他の年代よりも高くなっている。60 代以上で「8.インターネットニュース」、「9.X(旧 Twitter)、LINE、Instagram、Facebook などの SNS」と答えた割合が他の年代と比べても極端に低くなっている。

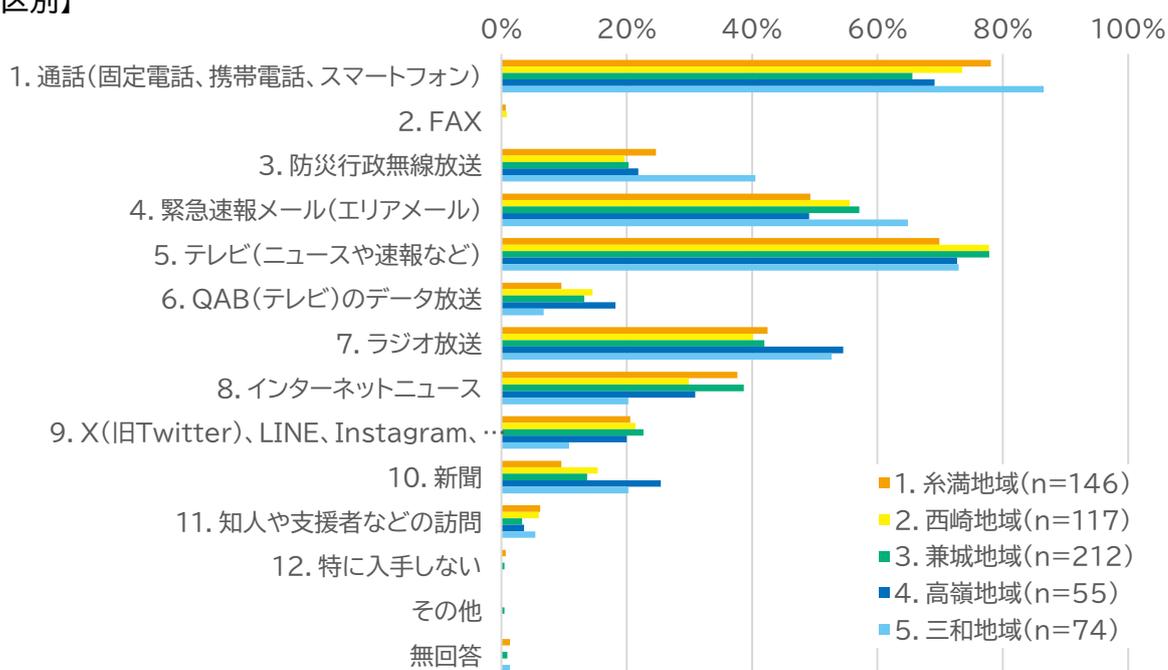
### 【年齢別】



	1. 18~29歳 (n=73)	2. 30代 (n=92)	3. 40代 (n=85)	4. 50代 (n=96)	5. 60代 (n=129)	6. 70代以上 (n=133)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	60.3%	69.6%	77.6%	76.0%	80.6%	69.2%
2. FAX	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
3. 防災行政無線放送	12.3%	15.2%	21.2%	24.0%	37.2%	24.8%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	46.6%	44.6%	55.3%	65.6%	69.8%	45.9%
5. テレビ(ニュースや速報など)	61.6%	60.9%	74.1%	79.2%	82.9%	82.0%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	12.3%	13.0%	8.2%	5.2%	17.8%	13.5%
7. ラジオ放送	31.5%	31.5%	41.2%	42.7%	62.0%	47.4%
8. インターネットニュース	49.3%	45.7%	50.6%	36.5%	27.1%	9.8%
9. Twitter、LINE、Instagram、Facebook などの SNS	53.4%	39.1%	21.2%	16.7%	7.0%	2.3%
10. 新聞	2.7%	2.2%	5.9%	12.5%	19.4%	35.3%
11. 知人や支援者などの訪問	5.5%	4.3%	7.1%	1.0%	7.0%	3.8%
12. 特に入手しない	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
13. そのほか	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.8%	2.3%

地域別では、高嶺地域において「6. QAB(テレビ)のデータ放送」と答えた割合が18.2%(全体12.1%)、「7.ラジオ放送」54.5%(全体44.6%)、「10.新聞」25.5%(全体15.2%)と他の地域よりも高くなっている。また、三和地域において「1.通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)」と答えた割合が86.5%(全体72.8%)、「3.防災行政無線放送」40.5%(全体23.9%)、「4.緊急速報メール(エリアメール)」64.9%(全体55.2%)と他の地域よりも高くなっている。

### 【地区別】

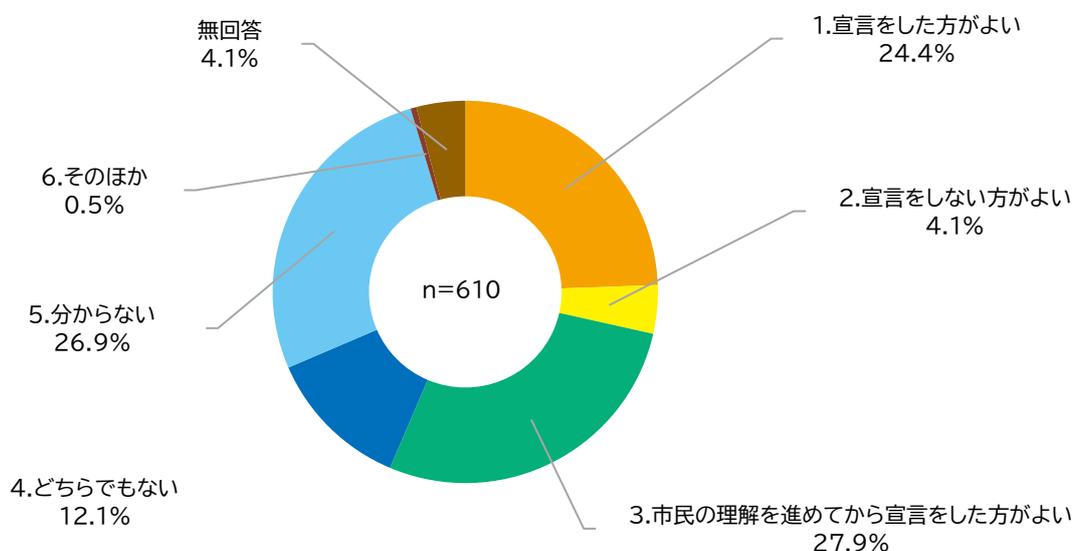


	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	78.1%	73.5%	65.6%	69.1%	86.5%
2. FAX	0.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 防災行政無線放送	24.7%	19.7%	20.3%	21.8%	40.5%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	49.3%	55.6%	57.1%	49.1%	64.9%
5. テレビ(ニュースや速報など)	69.9%	77.8%	77.8%	72.7%	73.0%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	9.6%	14.5%	13.2%	18.2%	6.8%
7. ラジオ放送	42.5%	40.2%	42.0%	54.5%	52.7%
8. インターネットニュース	37.7%	29.9%	38.7%	30.9%	20.3%
9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS	20.5%	21.4%	22.6%	20.0%	10.8%
10. 新聞	9.6%	15.4%	13.7%	25.5%	20.3%
11. 知人や支援者などの訪問	6.2%	6.0%	3.3%	3.6%	5.4%
12. 特に入手しない	0.7%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
13. そのほか	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
無回答	1.4%	0.0%	0.9%	0.0%	1.4%

**【令和5年度調査 問27 単一回答】**すべての市民が暮らしやすい社会の形成や性的マイノリティへの支援を目的として、「糸満市性の多様性尊重宣言(仮称)」をするために取り組んでいます。あなたは、「糸満市性の多様性尊重宣言(仮称)」をすることについてどのように思いますか。

「1.宣言をした方がよい」と答えた割合は24.4%だが、「2. 宣言をしない方がよい」4.1%、「3. 市民の理解を進めてから宣言をした方がよい」27.9%と答えた割合の合計が32.0%となっている。

また、「5. 分からない」と答えた割合が26.9%と他より高くなっている。



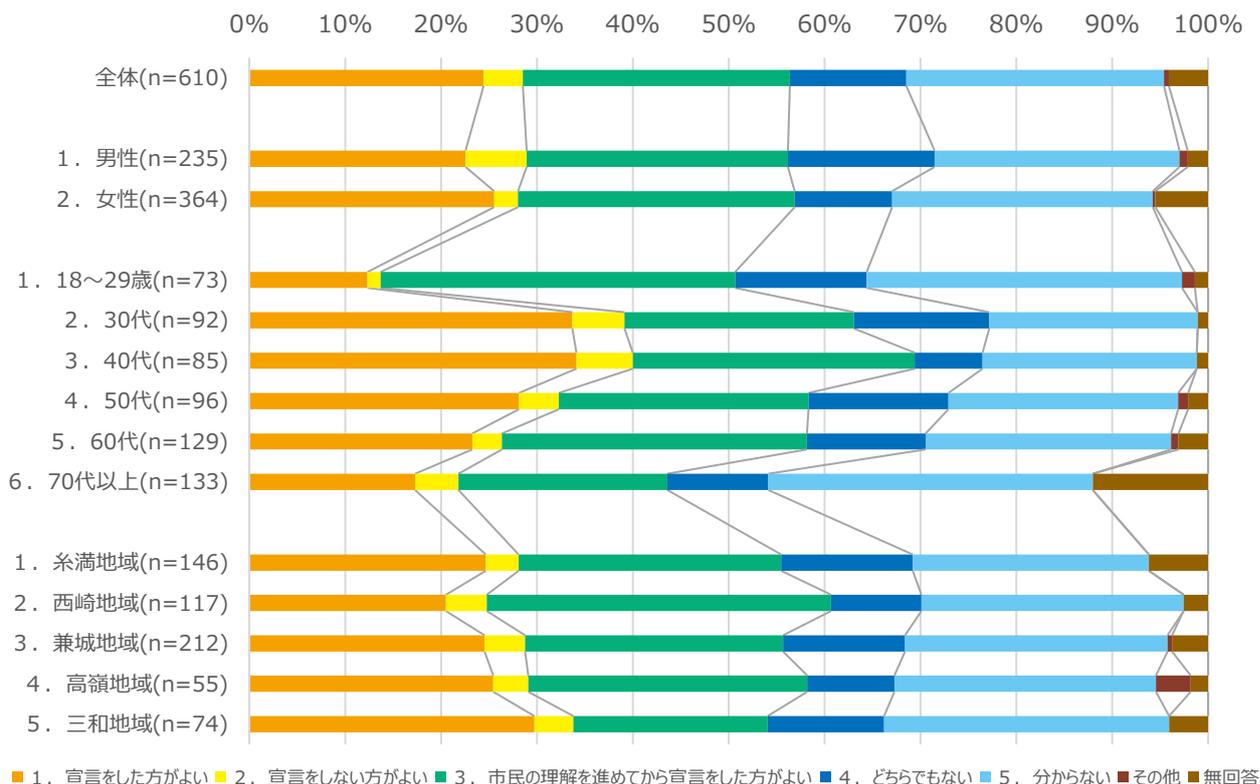
	回答数(n=610)	比率
1.宣言をした方がよい	149	24.4%
2.宣言をしない方がよい	25	4.1%
3.市民の理解を進めてから宣言をした方がよい	170	27.9%
4.どちらでもない	74	12.1%
5.分からない	164	26.9%
6.そのほか	3	0.5%
無回答	25	4.1%

全体で、「3.市民の理解を進めてから宣言をした方がよい」、「4.どちらでもない」、「5.分からない」と答えた割合の合計は66.8%となっている。

男女別では、「1. 宣言をした方がよい」と答えた男性の割合は22.6%と女性25.5%が高くなっている。

年齢別では、「1. 宣言をした方がよい」と答えた18～29歳の割合が12.3%と一番低く、30代の割合は33.7%、40代の割合は34.1%と高くなっている。

地域別では、「1. 宣言をした方がよい」と答えた三和地域が29.7%と一番高く、西崎地域が20.5%と一番低くなっている。



	1. 宣言をした方がよい	2. 宣言をしない方がよい	3. 市民の理解を進めてから宣言をした方がよい	4. どちらでもない	5. 分からない	その他	無回答
全体(n=610)	24.4%	4.1%	27.9%	12.1%	26.9%	0.5%	4.1%
1. 男性(n=235)	22.6%	6.4%	27.2%	15.3%	25.5%	0.9%	2.1%
2. 女性(n=364)	25.5%	2.5%	28.8%	10.2%	27.2%	0.3%	5.5%
1. 18～29歳(n=73)	12.3%	1.4%	37.0%	13.7%	32.9%	1.4%	1.4%
2. 30代(n=92)	33.7%	5.4%	23.9%	14.1%	21.7%	0.0%	1.1%
3. 40代(n=85)	34.1%	5.9%	29.4%	7.1%	22.4%	0.0%	1.2%
4. 50代(n=96)	28.1%	4.2%	26.0%	14.6%	24.0%	1.0%	2.1%
5. 60代(n=129)	23.3%	3.1%	31.8%	12.4%	25.6%	0.8%	3.1%
6. 70代以上(n=133)	17.3%	4.5%	21.8%	10.5%	33.8%	0.0%	12.0%
1. 糸満地域(n=146)	24.7%	3.4%	27.4%	13.7%	24.7%	0.0%	6.2%
2. 西崎地域(n=117)	20.5%	4.3%	35.9%	9.4%	27.4%	0.0%	2.6%
3. 兼城地域(n=212)	24.5%	4.2%	26.9%	12.7%	27.4%	0.5%	3.8%
4. 高嶺地域(n=55)	25.5%	3.6%	29.1%	9.1%	27.3%	3.6%	1.8%
5. 三和地域(n=74)	29.7%	4.1%	20.3%	12.2%	29.7%	0.0%	4.1%

●「その他」の回答

- ・ 何をするの？宣言する必要は無いです。

- ・ 当事者ではないので、特に何も思わない。
- ・ それよりも先にやるべきことができていない。これをやったから住みやすくなるという人は一部いるだろうが非常に限定的だ

**[令和5年度調査 問28 自由記述]**「宣言をした方がよい」、「宣言をしない方がよい」を選択した方※は、その理由を教えてください。

※[令和5年度調査 問27 単一回答]すべての市民が暮らしやすい社会の形成や性的マイノリティへの支援を目的として、「糸満市性の多様性尊重宣言(仮称)」をするために取り組んでいます。あなたは、「糸満市性の多様性尊重宣言(仮称)」をすることについてどのように思いますか。

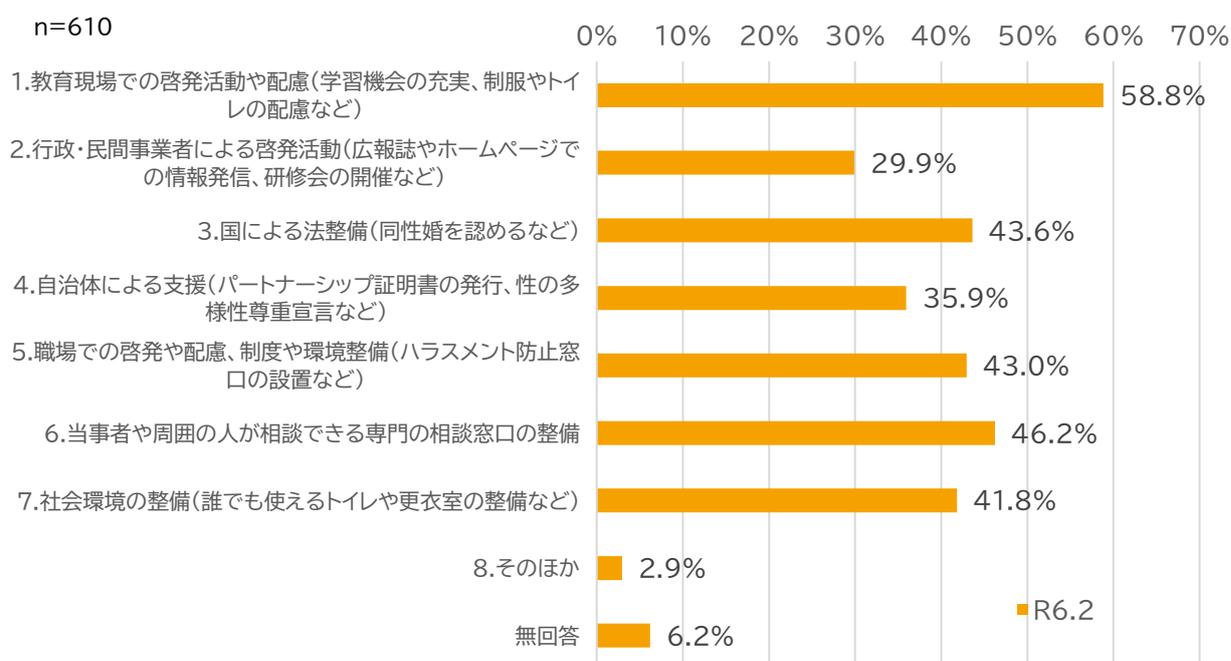
- ・ いろいろな人が安心して住みやすくなると思う。
- ・ 多様性は大事。個人の性認識を他人が犯す事はあってはならない。どのような人でも受け入れるべき。
- ・ ”世間の意識が高まっているから。
- ・ 誰もが認められている地域であれば、住みやすくなると思うから。”
- ・ みんなが住みやすい街になることなので、良いことだと思います。なぜ宣言したくないのかが分からないな。
- ・ 今の時代には当たり前。小中学校で学んでいる子どもたちからしたら宣言してない糸満市をどう思うのか考えた方がよい。若い世代が住みたいと思わない。
- ・ 宣言することで、少しでも色々な人の目にとまると思うし、誰かの救いになると思うから。
- ・ 性的マイノリティに配慮する必要性を感じない。これに有限のリソースを割くくらいなら教育や自然環境の保全に注力して欲しい。
- ・ うまく言えないが、肩身の狭い思いや生活に困難を感じている人からしたら、『尊重します』と公言してくれた方が生きやすくなると思う。
- ・ 自分らしく生きやすい地域 場所作りがこれからは、必要だと思う
- ・ 住みやすくするため。
- ・ 世界の流れだし、同意します。
- ・ 多様性が平等になる様これからの社会は、性の多様性に限らず、障害も含め個性として全てが受け入れられる社会であって欲しいと思います。
- ・ 多様性に厳しい田舎のイメージがあるから
- ・ ”性についても人権についても全てにおいて生まれながらに平等だと思うから
- ・ 性については如何なる状況でも差別はあってはならないと思う”
- ・ ”子ども(長女)が男子バスケット部に入部した。監督や父母、チームのメンバーは快く迎えてくれたが、島尻地区バスケットボール連盟が娘のベンチ入り(マネージャー)を許さなかったことがある。部員の母がマネージャーをすることは許されているのに、女子部員だからと言ってスコアを書いていただけなのに試合途中でベンチから追い出された。今は監督のおかげで試合出場もできるようになったが(連盟に訴えてくれた)、あのときは悔しい思いをした。これは一例だが、まだまだ社会の理解が足りないと感じるから行政から変わるべき。”
- ・ ”宣言をして、何が変わるのか？
- ・ 市民にとって具体的にどんなメリットがあるのかわからない。役所は、宣言したという既成事実だけ作ってどうせ終わり。”

- ・ 市が率先して宣言する事で差別や偏見を減らす、なくす姿勢を見せる事につながるのではないが、時間はかかるかもしれないが、市民の意識も変わり、社会全体で考え、多様性を受け入れる、いろんな人がいていいんだという意識に変わっていけば、性的マイノリティだけではなく、性別も年齢も障害の有無にも関わらず、誰もが平等だし、お互いを思いやる行動ができるのではないかと思います。
- ・ ”宣言ではなく実際になにか行動を起こした方がいいと思う”
- ・ 性の多様性が世界的に受け入れられているのに日本の取り組みや周知が遅れているためにその方々への差別や生きずらさや人間として不平等な扱いをされてるので、多様性の宣言をは早急に取り組んでほしい。
- ・ 色々な人がいるのが普通だと思う。
- ・ 周りにいろんな人間がいた方が、これからの子どもたちの当たり前を広げていけるから。
- ・ ”流行りに乗ってスタートしている政策で、理念ベースで始まっておらず、無駄に予算をかけるだけなので、他の所に予算を割いたほうがいいため。
- ・ 本当に糸満市のためを考えて宣言しているならまだいいですが、大多数の糸満市民に、還元されるものもないと考えているため。”
- ・ 誰もが住みやすい環境にするなら、宣言して性にコンプレックスがある人も受け入れより人の集まる町にした方が良くと思う。
- ・ 他の市町村に合わせれば良くと思う
- ・ ”困っている人がいるため
- ・ 男性で生まれて心が女性だからといって女性用トイレや更衣室を使用している、となると、嘘についてでも男性が女性用トイレや更衣室に入る危険があるのではと不安。またはその逆もあり得る。
- ・ 性で差別する時代は終わったと思います。市が宣言することにより、救われる方も沢山いるし日本全国や世界からいい市だなと移住者や、観光も増えるのでは？と思います。
- ・ いろいろな問題が起きていることと、LGBTQのQという意味不明のものがあるので、声の大きい人達に配慮しないでもっと考えた方がいいとおもう
- ・ 日本は民主主義で基本メジャーな意見が通されるべきで多様性の錦の下マイノリティに力を与えるのは間違っているから
- ・ 自分の意思、自己肯定感を普通に持ちつつ家庭や仕事(職場)で前向きに意欲的に何事にも取り組んでいくことが、人生の最期のときに後悔なく、やり切った、生ききった感を得ることができると想像できるため。
- ・ 自分自身もはっきり理解していない
- ・ 海外の観光客が増えている事、多様性を宣言することで多くの人に選択肢を与えることが出来る為
- ・ 多様性を尊重するという考え方を広げた方が、考え方が違うひと、性的マイノリティも含めて、いろんな考え方を否定しない、より良い社会、サービスを検討することができると思うから。
- ・ 性的マイノリティへの理解が深まると思われるから。
- ・ ”どんな人でも住みやすくするため

- ・ そのような場所を求めている人の居場所作りのため”
- ・ 今の時代、性の多様性は認められて当たり前だから。
- ・ やらないよりははした方がいいと思う為
- ・ わざわざ宣言などする事ではなく、当然の考え。宣言すれば時代の流れや世論へのアピールと思われ、信憑性に欠ける。
- ・ これからの世の中は全てのひとが暮らしやすく、様々な多様性に対応すべきだと思う。
- ・ ”特に宣言する必要はないと思う。
- ・ どちらにせよ世の中がその流れなので、あえて宣言しなくても良い”
- ・ 様々な選択肢が増えることは良いことだと思う。
- ・ ”トランスジェンダーの人が、心の性に合わせてトイレ、更衣室、シャワー室、入浴場を利用するのは抵抗があるため。”
- ・ その人達が他人に迷惑をかけなければいいし、幸せな人が増えるのはいい事だから
- ・ 多様性を認めるまち住みやすいまちとしてアピールになるが性的マイノリティを受け入れられない人々の意見がある程度理解し受け入れることも必要だと思うので市民の理解を得てから宣言したほうがいいと思う。

**[令和5年度調査 問29 複数回答]**性の多様性に対する社会の理解促進や支援について、どのような取り組みが必要だと思いますか。

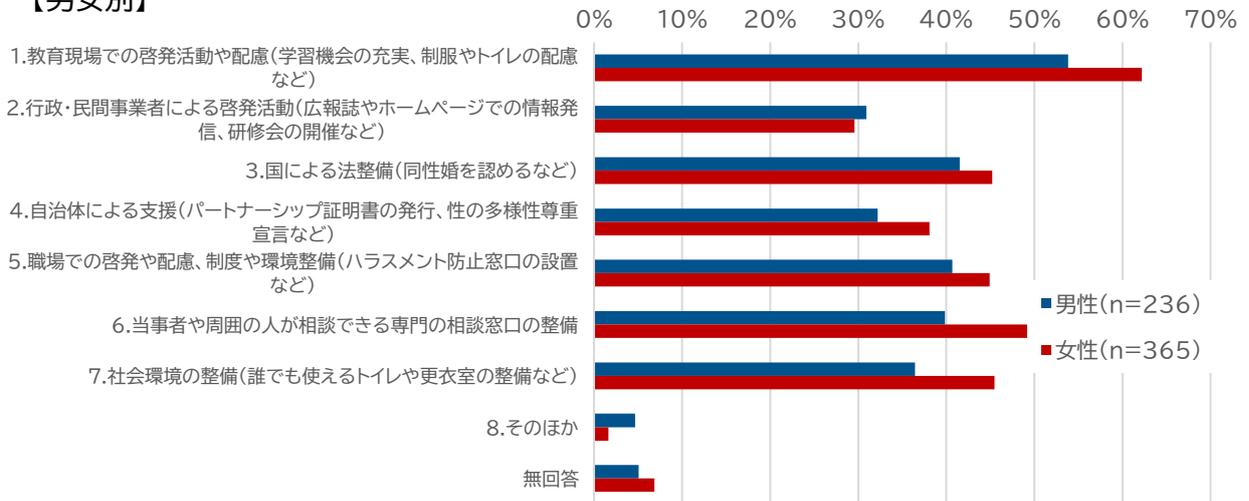
「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」と答えた割合は58.7%、「6. 当事やや周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備」46.2%、「3. 国による法整備(同性婚を認めるなど)」43.4%となっている。



	回答数(n=610)	比率
1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)	358	58.7%
2.行政・民間事業者による啓発活動(広報誌やホームページでの情報発信、研修会の開催など)	182	29.8%
3.国による法整備(同性婚を認めるなど)	265	43.4%
4.自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)	218	35.7%
5.職場での啓発や配慮、制度や環境整備(ハラスメント防止窓口の設置など)	262	43.0%
6.当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備	282	46.2%
7.社会環境の整備(誰でも使えるトイレや更衣室の整備など)	255	41.8%
8.その他	18	3.0%
無回答	38	6.2%

男女別では、「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」と答えた男性の割合は53.8%、女性の割合は62.1%と他の項目と比べて高くなっている。

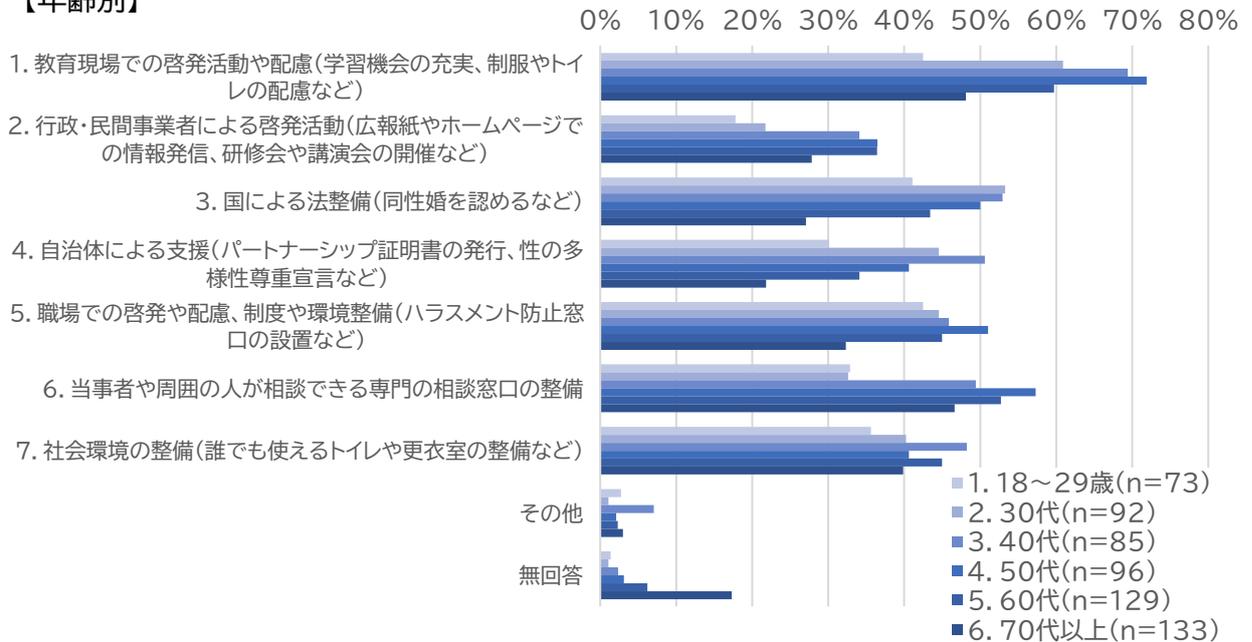
【男女別】



	1. 男性(n=235)	2. 女性(n=364)
1. 教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)	53.6%	62.1%
2. 行政・民間事業者による啓発活動(広報紙やホームページでの情報発信、研修会や講演会の開催など)	31.1%	29.4%
3. 国による法整備(同性婚を認めるなど)	41.3%	45.1%
4. 自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)	31.9%	37.9%
5. 職場での啓発や配慮、制度や環境整備(ハラスメント防止窓口の設置など)	40.9%	44.8%
6. 当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備	40.0%	50.5%
7. 社会環境の整備(誰でも使えるトイレや更衣室の整備など)	36.6%	45.3%
その他	4.7%	1.6%
無回答	5.1%	6.9%

年齢別では、「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」と答えた全ての年代で1番高くなっている。18～29歳は「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」で42.5%と高くなっている。

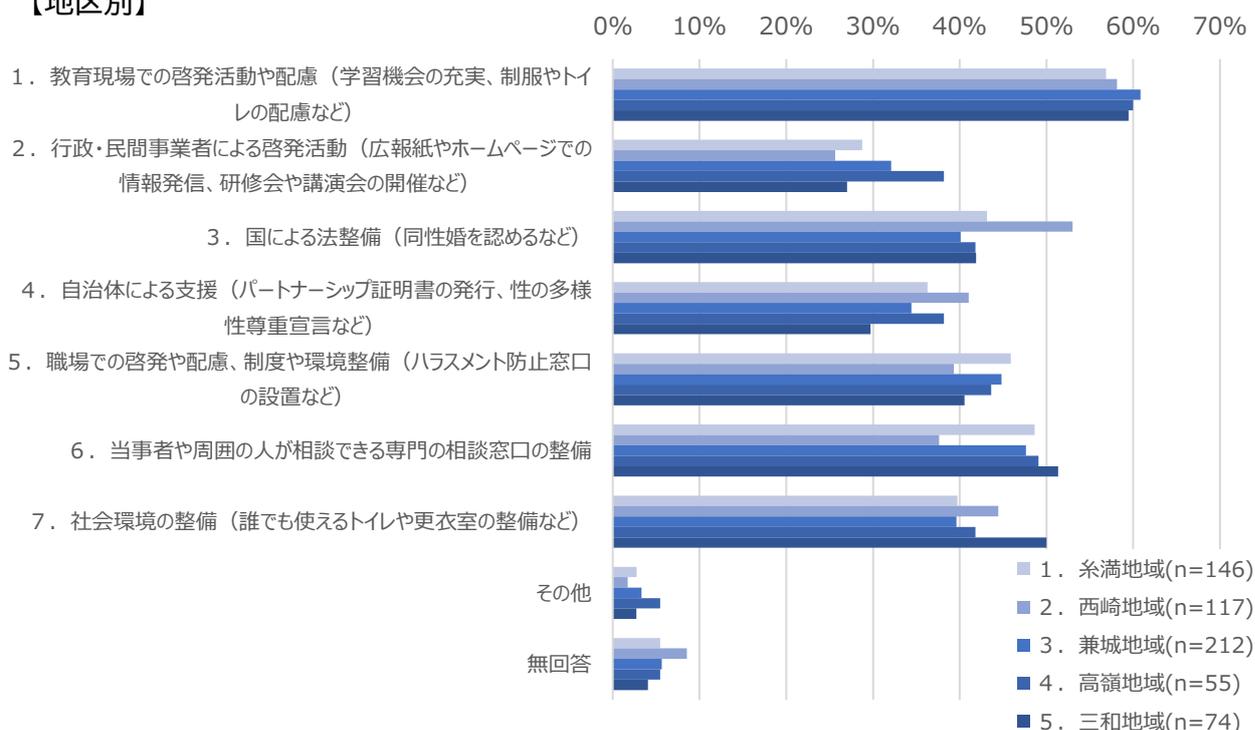
【年齢別】



	1. 18~29歳 (n=73)	2. 30代 (n=92)	3. 40代 (n=85)	4. 50代 (n=96)	5. 60代 (n=129)	6. 70代以上 (n=133)
1. 教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)	42.5%	60.9%	69.4%	71.9%	59.7%	48.1%
2. 行政・民間事業者による啓発活動(広報紙やホームページでの情報発信、研修会や講演会の開催など)	17.8%	21.7%	34.1%	36.5%	36.4%	27.8%
3. 国による法整備(同性婚を認めるなど)	41.1%	53.3%	52.9%	50.0%	43.4%	27.1%
4. 自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)	30.1%	44.6%	50.6%	40.6%	34.1%	21.8%
5. 職場での啓発や配慮、制度や環境整備(ハラスメント防止窓口の設置など)	42.5%	44.6%	45.9%	51.0%	45.0%	32.3%
6. 当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備	32.9%	32.6%	49.4%	57.3%	52.7%	46.6%
7. 社会環境の整備(誰でも使えるトイレや更衣室の整備など)	35.6%	40.2%	48.2%	40.6%	45.0%	39.8%
その他	2.7%	1.1%	7.1%	2.1%	2.3%	3.0%
無回答	1.4%	1.1%	2.4%	3.1%	6.2%	17.3%

地域別では、西崎地域では「3.国による法整備(同性婚を認めるなど)」53.0%、「4.自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)」41.0%と他の地域よりも高くなっている。兼城地域では「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」60.8%と他の地域よりも高くなっている。高嶺地域では「2.行政・民間事業者による啓発活動(広報紙やホームページでの情報発信、研修会や講演会の開催など)」38.2%と他の地域よりも高くなっている。

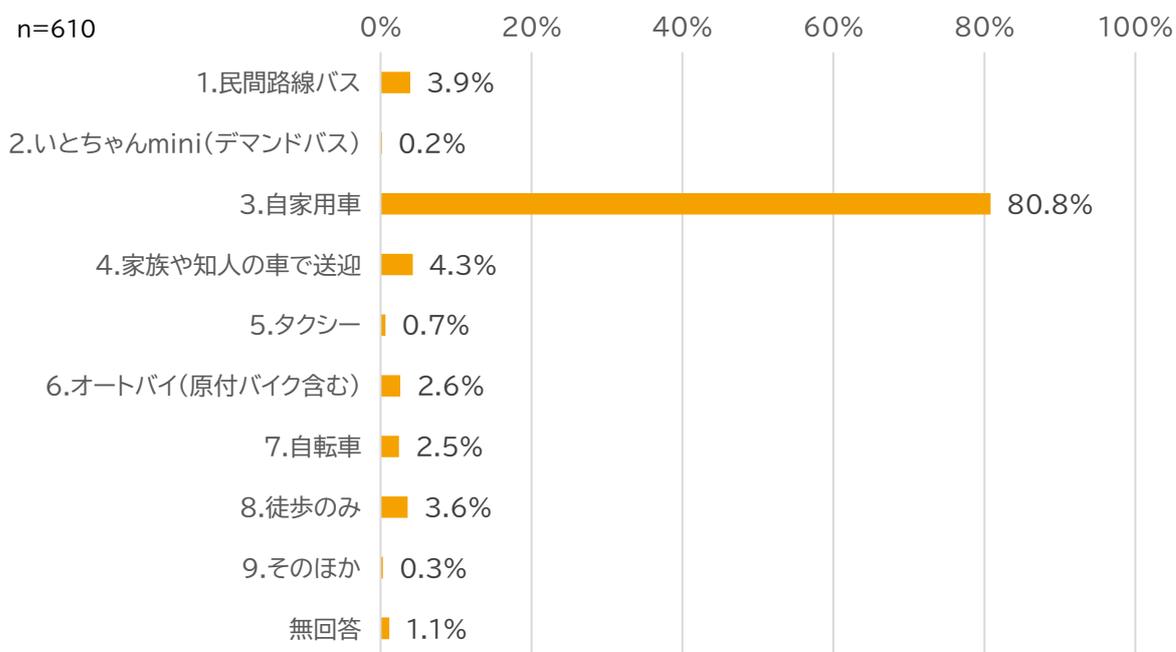
### 【地区別】



	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 教育現場での啓発活動や配慮 (学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)	56.8%	58.1%	60.8%	60.0%	59.5%
2. 行政・民間事業者による啓発活動 (広報紙やホームページでの情報発信、研修会や講演会の開催など)	28.8%	25.6%	32.1%	38.2%	27.0%
3. 国による法整備 (同性婚を認めるなど)	43.2%	53.0%	40.1%	41.8%	41.9%
4. 自治体による支援 (パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)	36.3%	41.0%	34.4%	38.2%	29.7%
5. 職場での啓発や配慮、制度や環境整備 (ハラスメント防止窓口の設置など)	45.9%	39.3%	44.8%	43.6%	40.5%
6. 当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備	48.6%	37.6%	47.6%	49.1%	51.4%
7. 社会環境の整備 (誰でも使えるトイレや更衣室の整備など)	39.7%	44.4%	39.6%	41.8%	50.0%
その他	2.7%	1.7%	3.3%	5.5%	2.7%
無回答	5.5%	8.5%	5.7%	5.5%	4.1%

**[令和5年度調査 問30 単一回答]**あなたの通勤・通学・通院・買い物などの主な移動手段を教えてください。

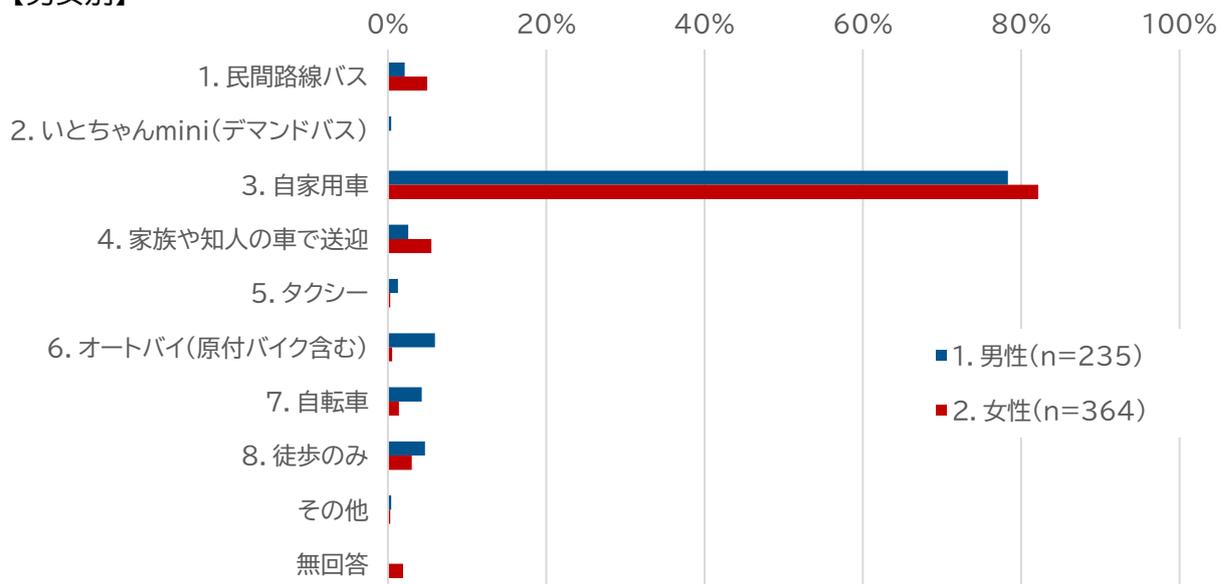
通勤・通学・通院・買い物などの主な移動手段として「3. 自家用車」と答えた割合は80.8%となっている。次に「4. 家族や知事の車で送迎」4.3%、「1. 民間路線バス」3.9%となっている。



	回答数(n=610)	比率
1.民間路線バス	24	3.9%
2.いとちゃん mini(デマンドバス)	1	0.2%
3.自家用車	493	80.8%
4.家族や知人の車で送迎	26	4.3%
5.タクシー	4	0.7%
6.オートバイ(原付バイク含む)	16	2.6%
7.自転車	15	2.5%
8.徒歩のみ	22	3.6%
9.そのほか	2	0.3%
無回答	7	1.1%

男女別では、「1. 民間路線バス」と答えた割合が男性 2.1%、女性 4.9%、「3.自家用車」と答えた割合が男性 78.3%、女性 82.1%、「4. 家族や知人の車で送迎」と答えた割合が男性 2.6%、女性 5.5%と3つの項目で女性が高くなっている。「6.オートバイ(原付バイク含む)」、「7. 自転車」、「8.徒歩のみ」は男性が高くなっている。

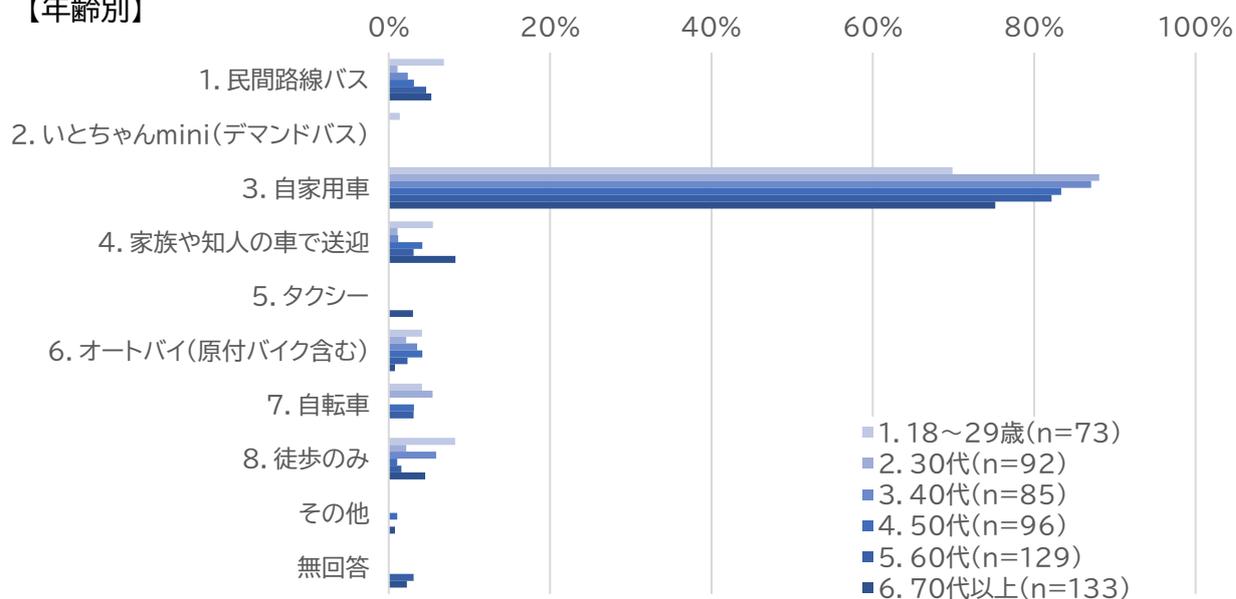
【男女別】



	1. 男性(n=235)	2. 女性(n=364)
1. 民間路線バス	2.1%	4.9%
2. いとちゃん mini(デマンドバス)	0.4%	0.0%
3. 自家用車	78.3%	82.1%
4. 家族や知人の車で送迎	2.6%	5.5%
5. タクシー	1.3%	0.3%
6. オートバイ(原付バイク含む)	6.0%	0.5%
7. 自転車	4.3%	1.4%
8. 徒歩のみ	4.7%	3.0%
その他	0.4%	0.3%
無回答	0.0%	1.9%

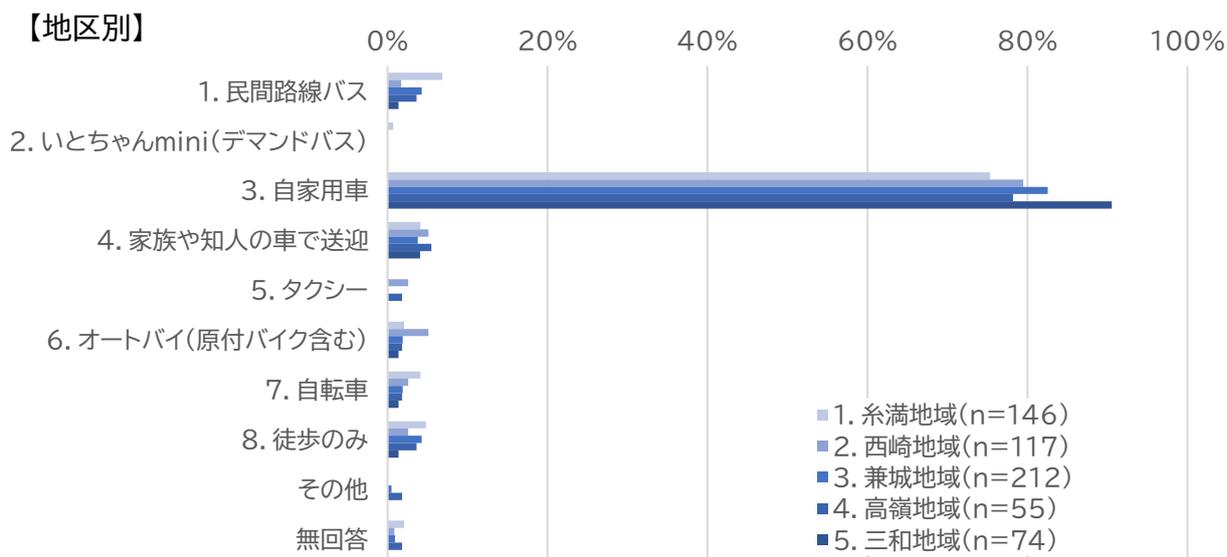
年齢別では、「1. 民間路線バス」と答えた割合が18～29才では6.8%、「2. いとちゃん mini(デマンドバス)」1.4%と他の年代に比べて高くなっている。また、「3. 自家用車」と答えた割合が30代では88.0%、「7. 自転車」5.4%と他の年代よりも高くなっている。一方、「4. 家族や知人の車で送迎」と答えた割合が70代では8.3%、「5. タクシー」3.0%と他の年代よりも高くなっている。

【年齢別】



	1. 18~29歳 (n=73)	2. 30代 (n=92)	3. 40代 (n=85)	4. 50代 (n=96)	5. 60代 (n=129)	6. 70代以上 (n=133)
1. 民間路線バス	6.8%	1.1%	2.4%	3.1%	4.7%	5.3%
2. いとちゃん mini(デマンドバス)	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 自家用車	69.9%	88.0%	87.1%	83.3%	82.2%	75.2%
4. 家族や知人の車で送迎	5.5%	1.1%	1.2%	4.2%	3.1%	8.3%
5. タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%
6. オートバイ(原付バイク含む)	4.1%	2.2%	3.5%	4.2%	2.3%	0.8%
7. 自転車	4.1%	5.4%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%
8. 徒歩のみ	8.2%	2.2%	5.9%	1.0%	1.6%	4.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	2.3%

地域別では、糸満地域では「1.民間路線バス」6.8%、「2.いとちゃんmini(デマンドバス)」0.7%、「7.自転車」4.1%、「8.徒歩のみ」4.8%と他の地域よりも高くなっている。西崎地域では「5.タクシー」2.6%、「6.オートバイ(原付バイク含む)」5.1%と他の地域よりも高くなっている。高嶺地域では「4.家族や知人の車で送迎」5.5%と他の地域よりも高くなっている。三和地域では「3.自家用車」90.5%と他の地域よりも高くなっている。



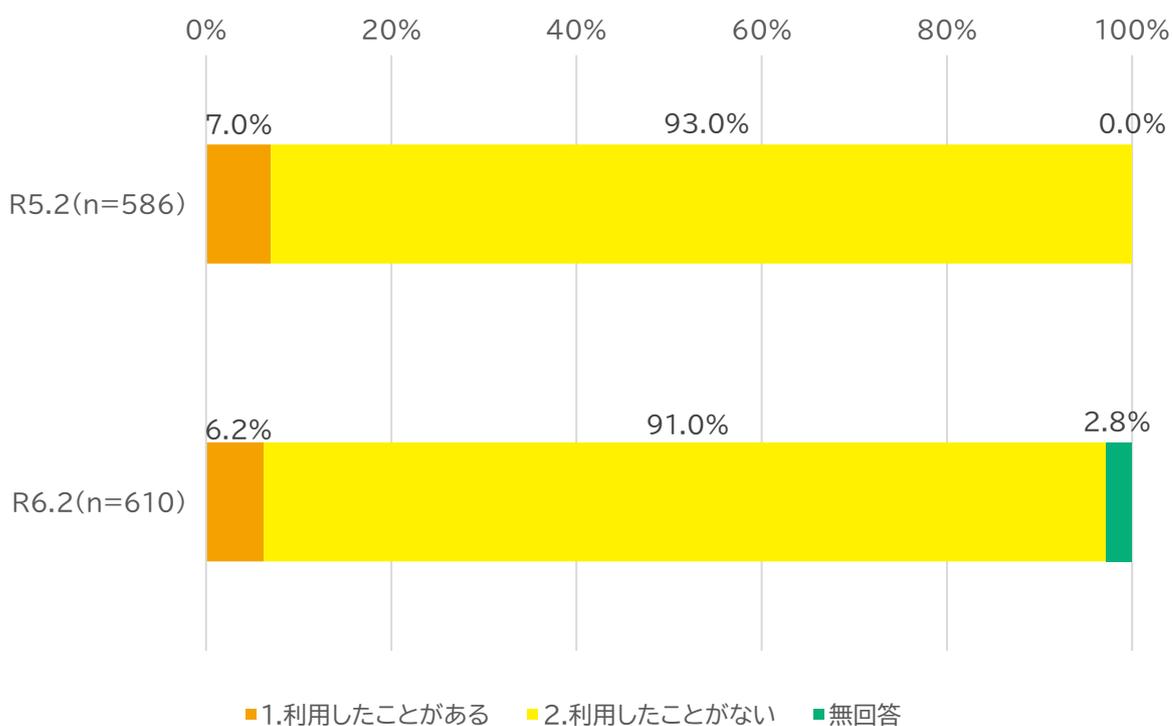
	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 民間路線バス	6.8%	1.7%	4.2%	3.6%	1.4%
2. いとちゃん mini(デマンドバス)	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 自家用車	75.3%	79.5%	82.5%	78.2%	90.5%
4. 家族や知人の車で送迎	4.1%	5.1%	3.8%	5.5%	4.1%
5. タクシー	0.0%	2.6%	0.0%	1.8%	0.0%
6. オートバイ(原付バイク含む)	2.1%	5.1%	1.9%	1.8%	1.4%
7. 自転車	4.1%	2.6%	1.9%	1.8%	1.4%
8. 徒歩のみ	4.8%	2.6%	4.2%	3.6%	1.4%
その他	0.0%	0.0%	0.5%	1.8%	0.0%
無回答	2.1%	0.9%	0.9%	1.8%	0.0%

●「その他」の回答

- ・ 徒歩がほとんどだけど、バスやタクシーも使用します。
- ・ 職なし

**【令和5年度調査 問31 単一回答】**あなたは、交通弱者の移動手段の確保・維持を目的に市内を運行している「いとちゃん mini」を利用したことがありますか。

「2. 利用したことがない」と答えた割合が91.0%と大半を占め、「1. 利用したことがある」と答えた割合は6.2%と前年度と比べて0.8%低くなっている。

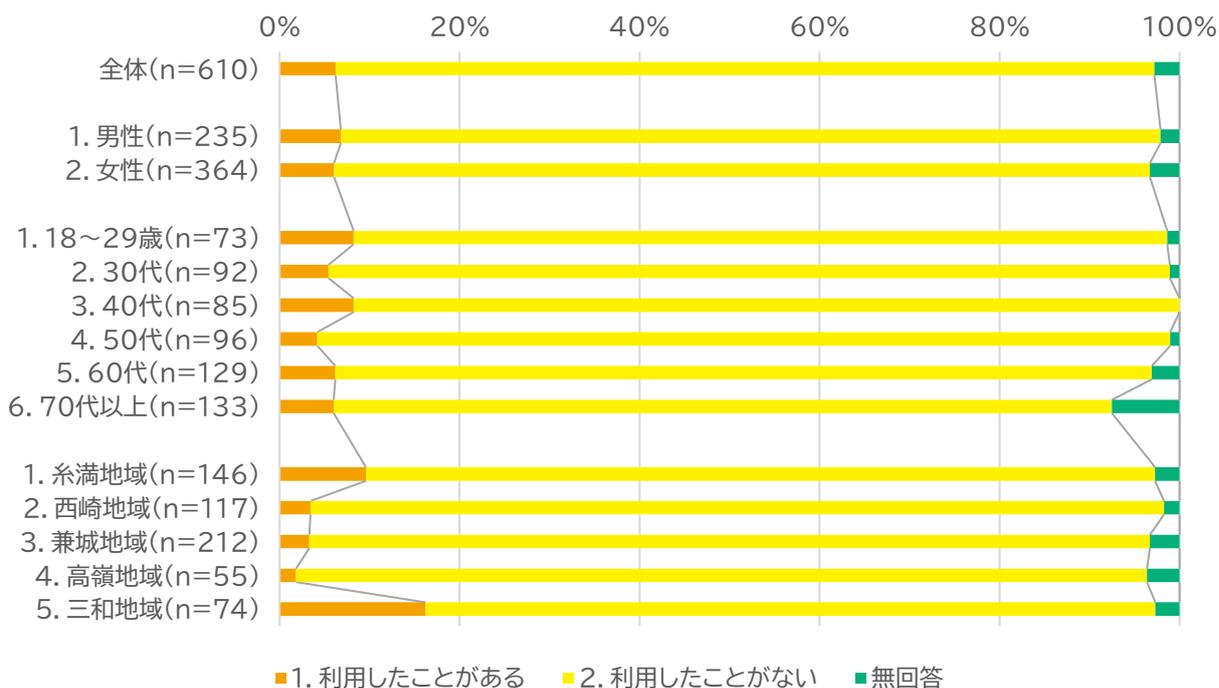


	R5.2(n=586)	R6.2(n=610)
1.利用したことがある	7.0%	6.2%
2.利用したことがない	93.0%	91.0%
無回答	0.0%	2.8%

男女別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が男性 6.8%、女性 6.0%と男性が高くなっている。

年代別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が 50代で4.2%と最も低く、18~29才と 40代で 8.2%と最も高くなっている。

地域別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が高嶺地域で 1.8%と最も低くなっている。一方で、三和地域で16.2%と最も高く、次いで糸満地域 9.6%となっている。

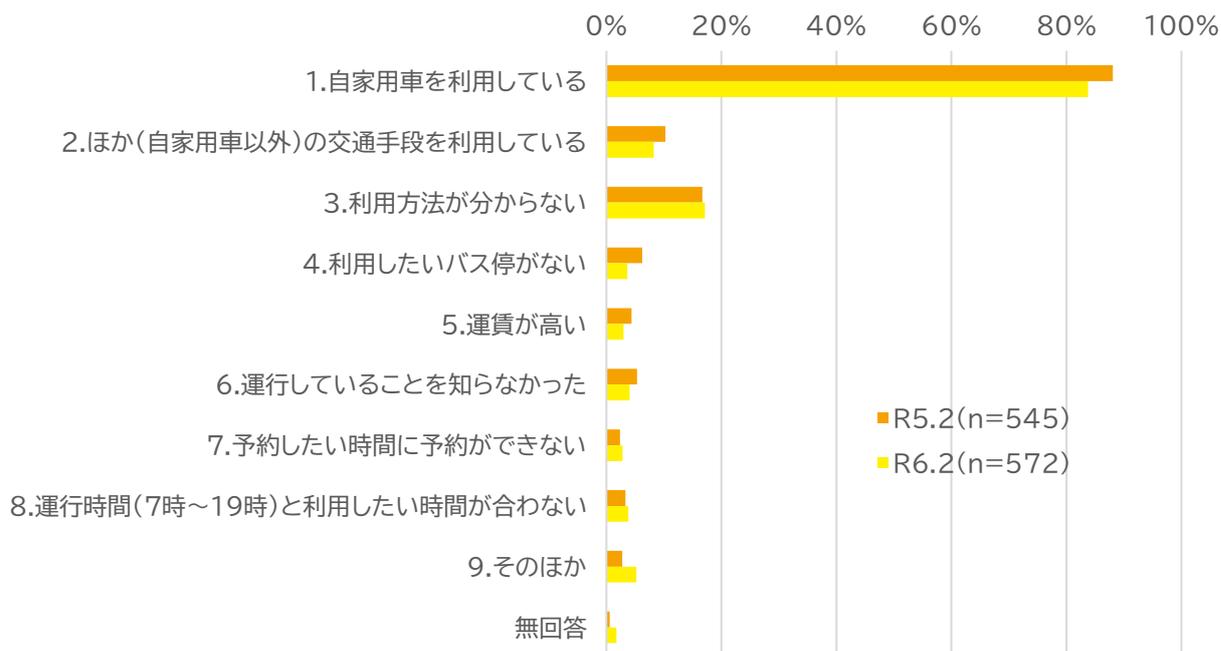


	1. 利用したことがある	2. 利用したことがない	無回答
全体(n=610)	6.2%	91.0%	2.8%
1. 男性(n=235)	6.8%	91.1%	2.1%
2. 女性(n=364)	6.0%	90.7%	3.3%
1. 18~29歳(n=73)	8.2%	90.4%	1.4%
2. 30代(n=92)	5.4%	93.5%	1.1%
3. 40代(n=85)	8.2%	91.8%	0.0%
4. 50代(n=96)	4.2%	94.8%	1.0%
5. 60代(n=129)	6.2%	90.7%	3.1%
6. 70代以上(n=133)	6.0%	86.5%	7.5%
1. 糸満地域(n=146)	9.6%	87.7%	2.7%
2. 西崎地域(n=117)	3.4%	94.9%	1.7%
3. 兼城地域(n=212)	3.3%	93.4%	3.3%
4. 高嶺地域(n=55)	1.8%	94.5%	3.6%
5. 三和地域(n=74)	16.2%	81.1%	2.7%

**[令和5年度調査 問32 複数回答]**「利用したことがない」を選択した方※は、その理由を教えてください。

※[令和5年度調査 問31 単一回答]あなたは、交通弱者の移動手段の確保・維持を目的に市内を運行している「いとちゃん mini」を利用したことがありますか。

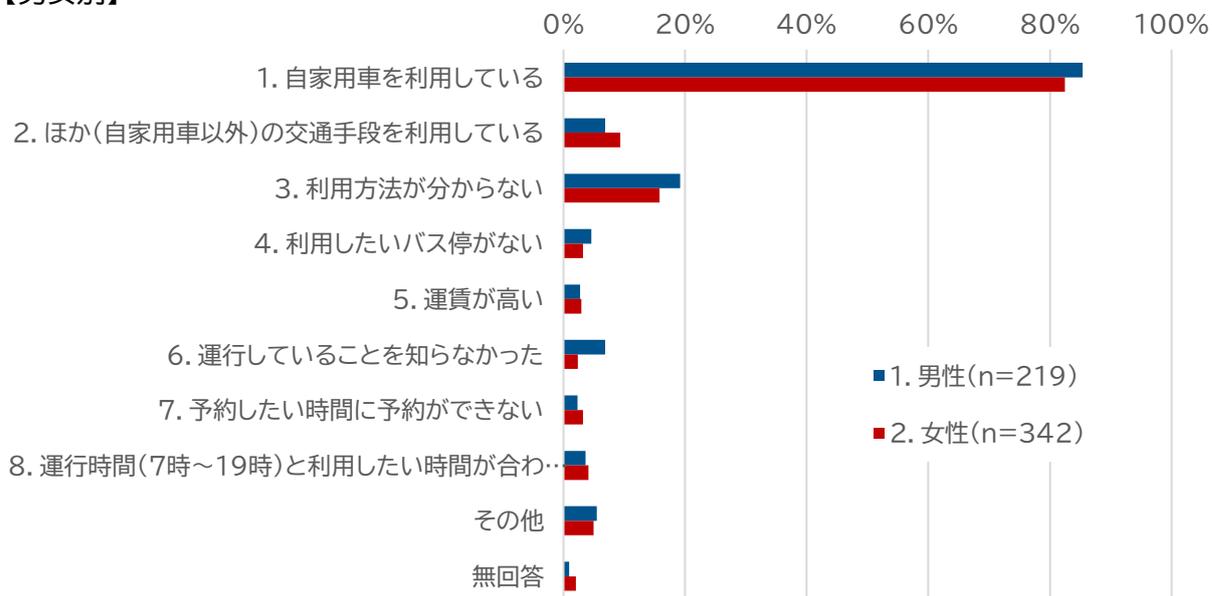
「1. 自家用車を利用している」と答えた割合が83.7%と最も高く、次いで「3. 利用方法が分からない」17.1%、「2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している」8.2%となっている。



	R5.2 (n=545)	R6.2 (n=572)
1. 自家用車を利用している	88.1%	83.7%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	10.3%	8.2%
3. 利用方法が分からない	16.7%	17.1%
4. 利用したいバス停がない	6.2%	3.7%
5. 運賃が高い	4.4%	3.0%
6. 運行していることを知らなかった	5.3%	4.0%
7. 予約したい時間に予約ができない	2.4%	2.8%
8. 運行時間(7時~19時)と利用したい時間が合わない	3.3%	3.8%
その他	2.8%	5.2%
無回答	0.6%	1.7%

男女別では、「6. 運行していることを知らなかった」と答えた割合が男性 6.8%、女性2.3%と男性が高くなっている。

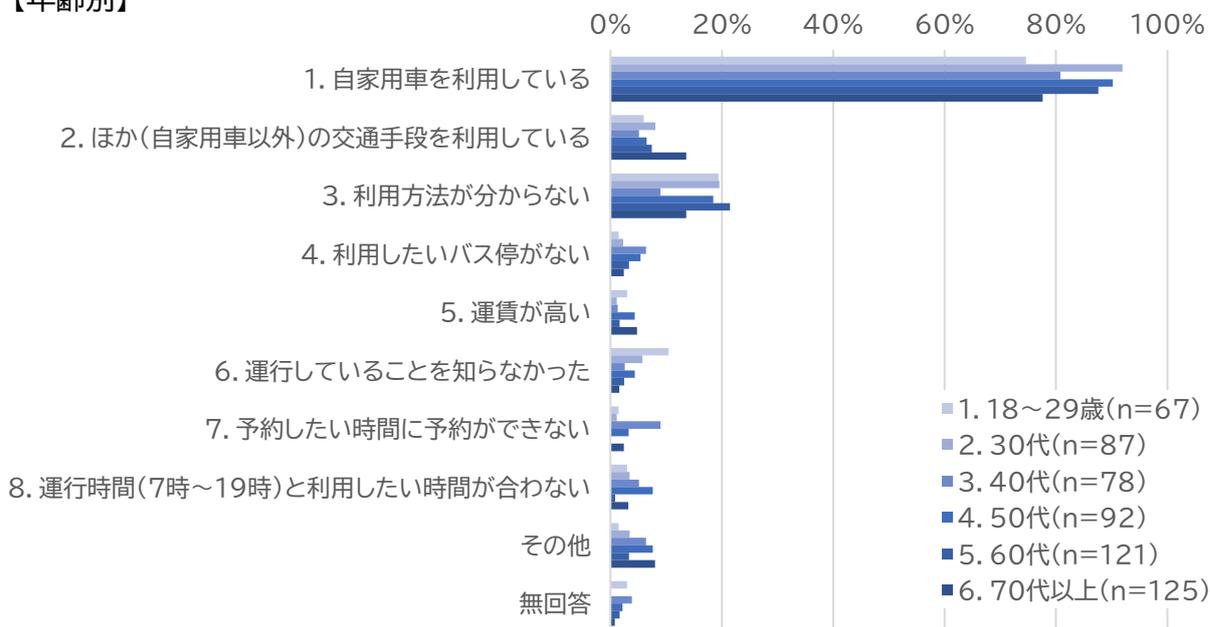
【男女別】



	1. 男性(n=219)	2. 女性(n=342)
1. 自家用車を利用している	85.4%	82.5%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	6.8%	9.4%
3. 利用方法が分からない	19.2%	15.8%
4. 利用したいバス停がない	4.6%	3.2%
5. 運賃が高い	2.7%	2.9%
6. 運行していることを知らなかった	6.8%	2.3%
7. 予約したい時間に予約ができない	2.3%	3.2%
8. 運行時間(7時~19時)と利用したい時間が合わない	3.7%	4.1%
その他	5.5%	5.0%
無回答	0.9%	2.0%

年代別では、「2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している」と答えた割合が70代以上で13.6%(全体 8.2%)と他の年代よりも高くなっている。

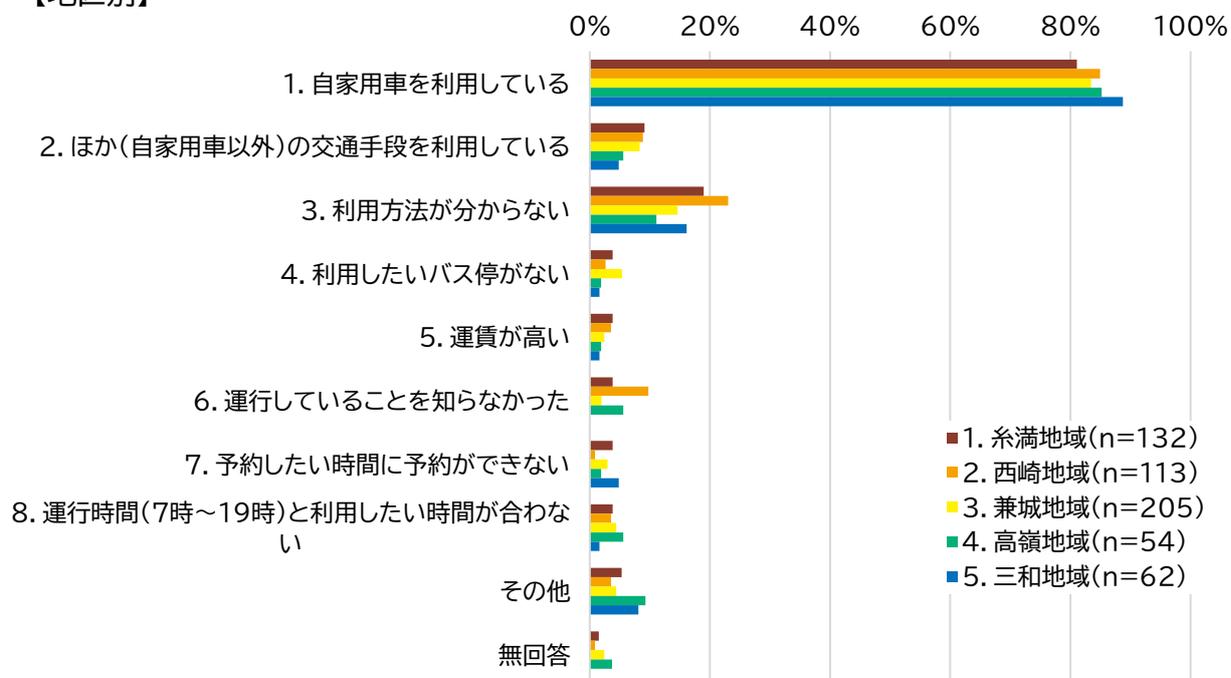
【年齢別】



	1. 18~29歳 (n=67)	2. 30代 (n=87)	3. 40代 (n=78)	4. 50代 (n=92)	5. 60代 (n=121)	6. 70代以上 (n=125)
1. 自家用車を利用している	74.6%	92.0%	80.8%	90.2%	87.6%	77.6%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	6.0%	8.0%	5.1%	6.5%	7.4%	13.6%
3. 利用方法が分からない	19.4%	19.5%	9.0%	18.5%	21.5%	13.6%
4. 利用したいバス停がない	1.5%	2.3%	6.4%	5.4%	3.3%	2.4%
5. 運賃が高い	3.0%	1.1%	1.3%	4.3%	1.7%	4.8%
6. 運行していることを知らなかった	10.4%	5.7%	2.6%	4.3%	2.5%	1.6%
7. 予約したい時間に予約ができない	1.5%	1.1%	9.0%	3.3%	0.0%	2.4%
8. 運行時間(7時~19時)と利用したい時間が合わない	3.0%	3.4%	5.1%	7.6%	0.8%	3.2%
その他	1.5%	3.4%	6.4%	7.6%	3.3%	8.0%
無回答	3.0%	0.0%	3.8%	2.2%	1.7%	0.8%

地域別では、「3.利用方法が分からない」と答えた割合が西崎地域で23.0%と他の地域より高くなっている。また、「4.利用したいバス停がない」と答えた割合が兼城地域で5.4%と他の地域より高くなっている。

【地区別】



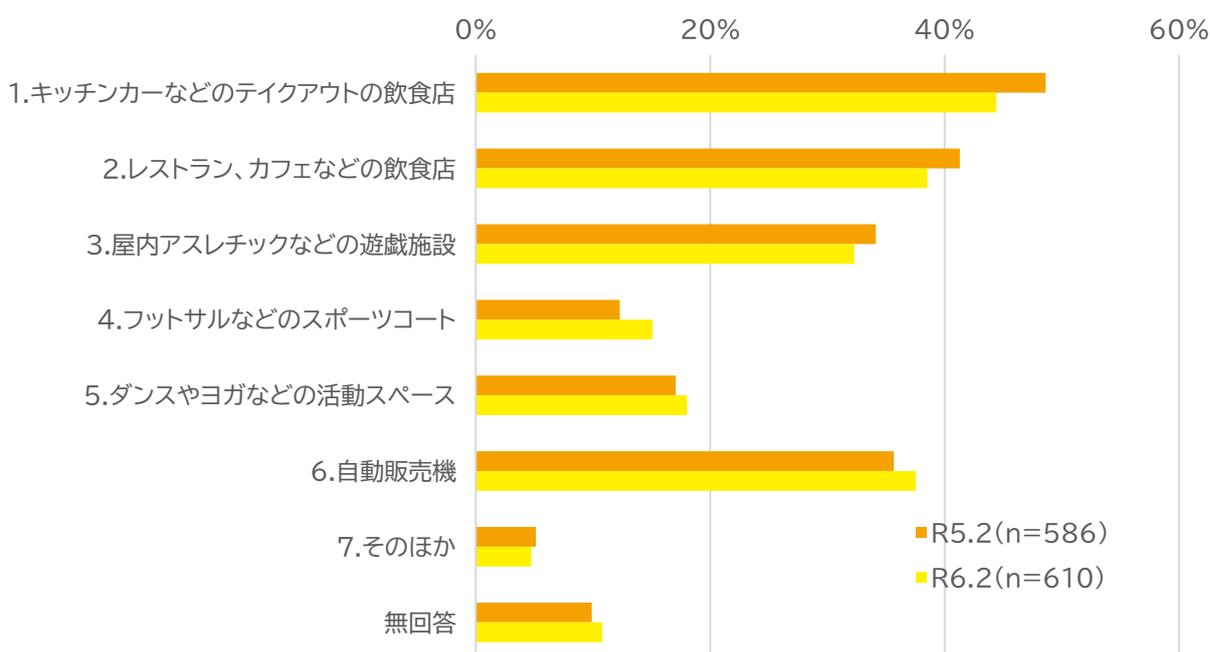
	1. 糸満地域 (n=132)	2. 西崎地域 (n=113)	3. 兼城地域 (n=205)	4. 高嶺地域 (n=54)	5. 三和地域 (n=62)
1. 自家用車を利用している	81.1%	85.0%	3.4%	85.2%	88.7%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	9.1%	8.8%	8.3%	5.6%	4.8%
3. 利用方法が分からない	18.9%	23.0%	14.6%	11.1%	16.1%
4. 利用したいバス停がない	3.8%	2.7%	5.4%	1.9%	1.6%
5. 運賃が高い	3.8%	3.5%	2.4%	1.9%	1.6%
6. 運行していることを知らなかった	3.8%	9.7%	2.0%	5.6%	0.0%
7. 予約したい時間に予約ができない	3.8%	0.9%	2.9%	1.9%	4.8%
8. 運行時間(7時~19時)と利用したい時間が合わない	3.8%	3.5%	4.4%	5.6%	1.6%
その他	5.3%	3.5%	4.4%	9.3%	8.1%
無回答	1.5%	0.9%	2.4%	3.7%	0.0%

●「その他」の回答

- ・ 予約なしで気軽に利用したいから
- ・ 運転免許返納後は利用したい。
- ・ 利用に関してあまり気にかけてことがなかった。
- ・ ケイタイ電話持っていないため、固定電話もないから。
- ・ 利用必要の機会がなかった。
- ・ 利用範囲が合わない。
- ・ めんどくさい、予約するのが。
- ・ 家族の送迎
- ・ 自転車
- ・ 事前に予約するという事がネックになっている。
- ・ 今は使用しない、いずれ
- ・ 家の近くまでこれたら、たすかります。
- ・ いらぬ質問だ！
- ・ 利用してみたいが少しハードルが高い。
- ・ 今後は利用することもありそうです。
- ・ いとちゃんバスの時は利用していた。
- ・ 予約する手間がめんどくさい。
- ・ 仕事で子どもを塾に送迎できない時に、娘が利用している。
- ・ 前日に予約制度が不可。病院や買物へはタクシーを利用。
- ・ これからの健康状態がどうなるか、又、高齢者の事故等があり不安
- ・ 晴れていれば100キロまでは自転車を使うようにしている。
- ・ 市外まで行かないから
- ・ 予約するのが面倒、予約をしようとしたら1週間前にと言われた事がある
- ・ 必要性が無いから
- ・ 予約が面倒。予約してまで利用したいと思わないから。
- ・ 予約が面倒。バス停まで遠い。
- ・ すぐには乗れない、呼んだらすぐ来てくれるわけではない
- ・ 個人的に使用する事は無いが使用した方から聞いた話で運転手の接客に問題があるようで使う気にならない
- ・ まず、それを知らない。
- ・ 利用したい場合でも、予約がとれない場合があり、お世辞にも使い勝手がいいとは思わない。移動手段が無くて時間に余裕がある人には良いかと思う

**[令和5年度調査 問35 複数回答]**公園で有料でも利用してみたいと思う施設について教えてください。

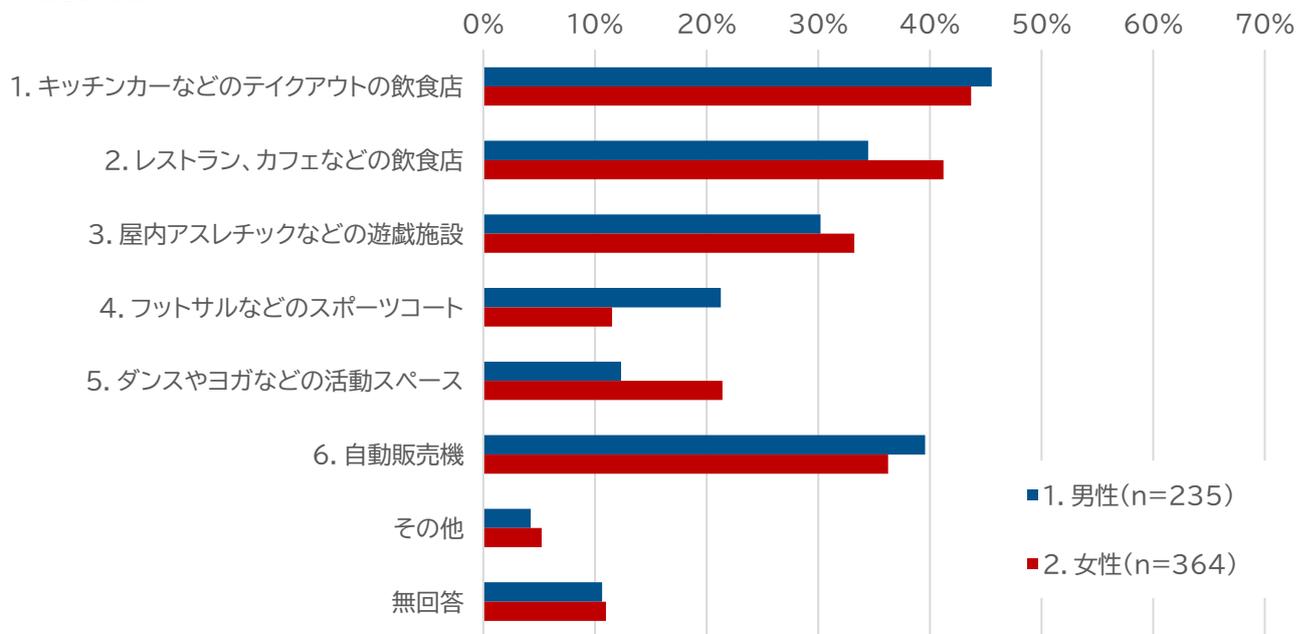
「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が44.4%と最も高く、次いで「2. レストラン、カフェなどの飲食店」38.5%、「6.自動販売機」37.5%、「3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設」32.3%となっている。なお、無回答が10.8%ある他、「7. そのほか」の回答において「何にも利用したいと思わない」といった記述があることから、有料で利用してみたいと思う施設は無いという回答も一定程度存在すると考えられる。



	R5.2(n=586)	R6.2(n=610)
1.キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	48.6%	44.4%
2.レストラン、カフェなどの飲食店	41.3%	38.5%
3.屋内アスレチックなどの遊戯施設	34.1%	32.3%
4.フットサルなどのスポーツコート	12.3%	15.1%
5.ダンスやヨガなどの活動スペース	17.1%	18.0%
6.自動販売機	35.7%	37.5%
7.そのほか	5.1%	4.8%
無回答	9.9%	10.8%

男女別では、「5. ダンスやヨガなどの活動スペース」と答えた割合が男性 12.3%、女性21.4%と女性が高く、「2. レストラン、カフェなどの飲食店」と答えた割合も男性 34.5%、女性41.2%、「3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設」と答えた割合も男性 30.2%、女性 33.2%と女性が高くなっている。

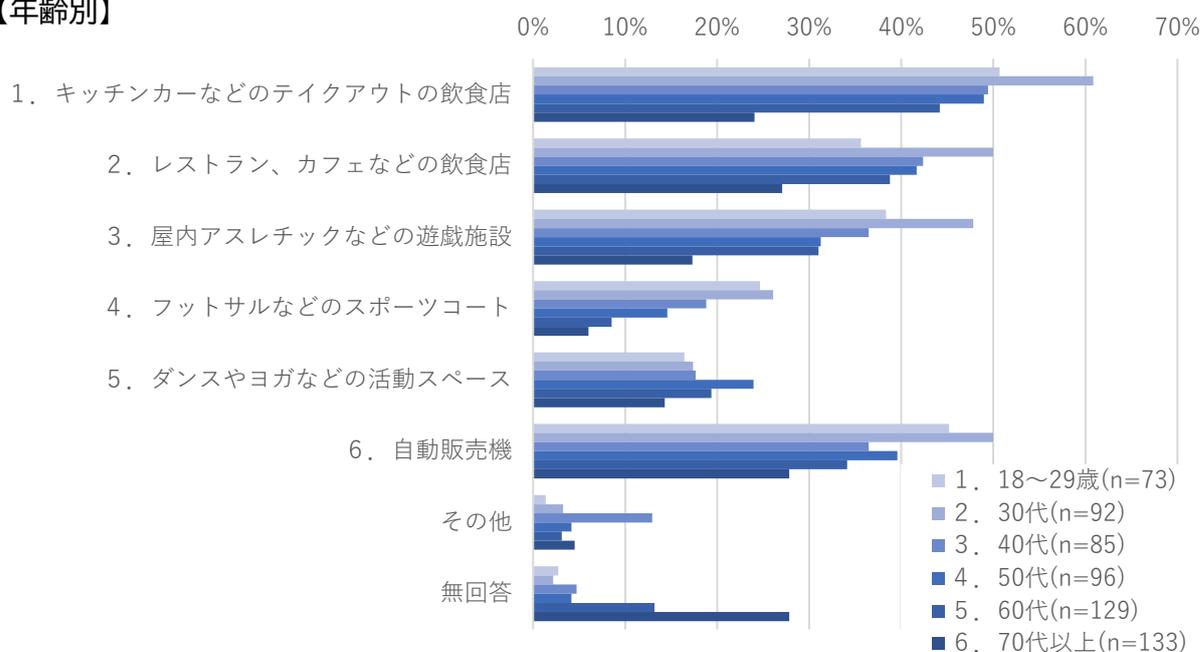
【男女別】



	1. 男性(n=235)	2. 女性(n=364)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	45.5%	43.7%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	34.5%	41.2%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	30.2%	33.2%
4. フットサルなどのスポーツコート	21.3%	11.5%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	12.3%	21.4%
6. 自動販売機	39.6%	36.3%
その他	4.3%	5.2%
無回答	10.6%	11.0%

年代別では、30代では、「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が60.9%(全体44.4%)、「2. レストラン、カフェなどの飲食店」50.0%(全体38.5%)、「3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設」47.8%(全体32.3%)、「4. フットサルなどのスポーツコート」と答えた割合が26.1%(全体15.1%)と他の年代よりも高くなっている。一方で、70代以上では無回答が27.8%と他の年代よりも高く、多くの項目で他の年代よりも低くなっている。

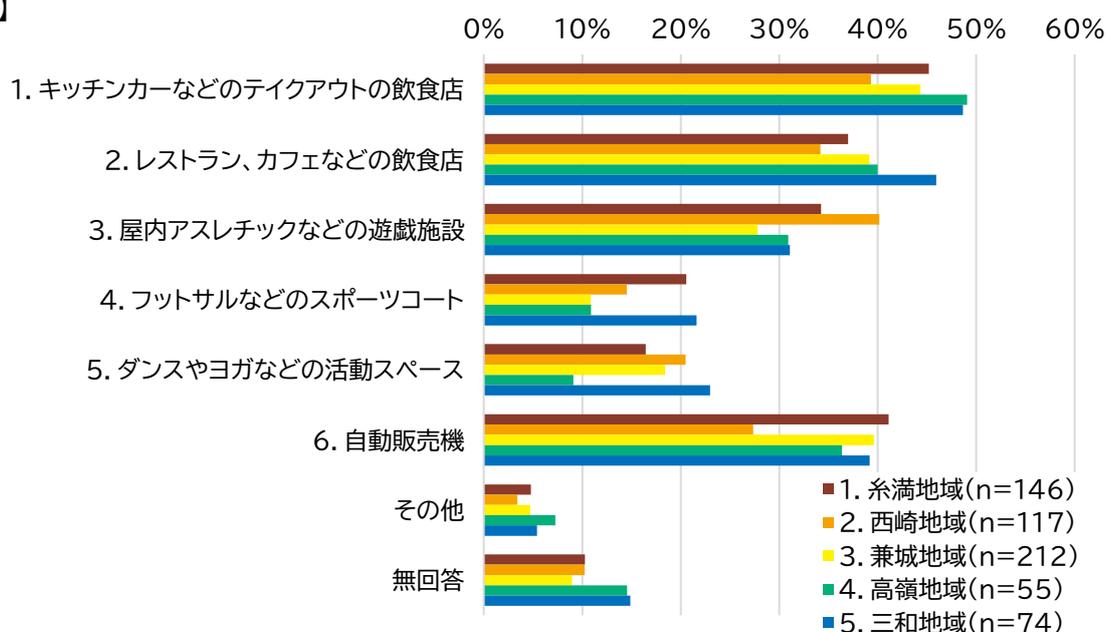
### 【年齢別】



	1. 18~29歳 (n=73)	2. 30代 (n=92)	3. 40代 (n=85)	4. 50代 (n=96)	5. 60代 (n=129)	6. 70代以上 (n=133)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	50.7%	60.9%	49.4%	49.0%	44.2%	24.1%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	35.6%	50.0%	42.4%	41.7%	38.8%	27.1%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	38.4%	47.8%	36.5%	31.3%	31.0%	17.3%
4. フットサルなどのスポーツコート	24.7%	26.1%	18.8%	14.6%	8.5%	6.0%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	16.4%	17.4%	17.6%	24.0%	19.4%	14.3%
6. 自動販売機	45.2%	50.0%	36.5%	39.6%	34.1%	27.8%
その他	1.4%	3.3%	12.9%	4.2%	3.1%	4.5%
無回答	2.7%	2.2%	4.7%	4.2%	13.2%	27.8%

地域別では、高嶺地域で「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が49.1%(全体44.4%)と他の地域よりも高くなっている。また、三和地域では「2. レストラン、カフェなどの飲食店」45.9%(全体38.5%)、「4. フットサルなどのスポーツコート」21.6%(全体15.1%)、「5. ダンスやヨガなどの活動スペース」と答えた割合が23.0%(全体18.0%)と他の地域よりも高くなっている。

【地区別】



	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	45.2%	39.3%	44.3%	49.1%	48.6%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	37.0%	34.2%	39.2%	40.0%	45.9%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	34.2%	40.2%	27.8%	30.9%	31.1%
4. フットサルなどのスポーツコート	20.5%	14.5%	10.8%	10.9%	21.6%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	16.4%	20.5%	18.4%	9.1%	23.0%
6. 自動販売機	41.1%	27.4%	39.6%	36.4%	39.2%
その他	4.8%	3.4%	4.7%	7.3%	5.4%
無回答	10.3%	10.3%	9.0%	14.5%	14.9%

●「その他」の回答

- ・ 何にも利用したいと思わない
- ・ ちょっとした食材や日用品が買えるところ。ウィンドウショッピングとかできそうなところ。本屋。
- ・ そこまでしても利用しないかも
- ・ テニスを 37 年やっている。みなと公園コートを利用。
- ・ オートキャンプ
- ・ 掃除、草刈・遊具の手入れなど、管理が良い所
- ・ とてもきれいなトイレ、コインロッカーのような一時的に荷物のおける所
- ・ 屋内プール温水
- ・ 有料になるなら、利用しない。
- ・ バーベキューやキャンプ場等ができるスペース
- ・ 公園は無料だからこそ、みんな使うんだと思う。
- ・ 子どもの習い事教室。心と体に良いオーガニックのカフェやレストランなどだとありがたいです。
- ・ 1人でも運動出来る様壁打ち用壁を作ってほしい。
- ・ 見通しが明るい。
- ・ 子供のバスケットボール、フットサル等の施設
- ・ 市民プール
- ・ 子供達が遊びたいと思えるような遊具の充実、公園内の清潔感、特にトイレは設備を整える(水漏れがない、洋式トイレにする、清潔感が感じるように整えるなど) 清潔感がなく不衛生だと感じると使用する側もキレイに使用する気持ちを持たなくなると思います。(心理的にそうさせるのではないですか?)例えば、街中に落書きが多いと治安が悪くなるのは有名な話し、綺麗に整備されていると使用する側も大切に清潔に使用する気持ちになると思います。
- ・ 特になし
- ・ 利用したいと思わない
- ・ 運動公園などは一部の人が独占して使っていることがあるので、子どもから大人まで誰でも使えるようにしてほしい。また、夜間に飲み会などをしてゴミがそのまま残されていることがある夜間の利用の制限をしてほしい。
- ・ 自転車、ボート、ソリなど
- ・ 時間がないから使わない
- ・ ドックランできれば無料にしてほしい
- ・ 潮崎の海岸辺りは上手く活用してください
- ・ 有料で良いので綺麗に整備された授乳室、トイレ
- ・ 高齢者も自由に使える運動器具が公園に欲しい。